

神戸市

公園施設標準図集

(令和5年10月改訂版)

建設局 公園部

1. 園路広場整備工

法面工

- (1) シガラ工 (A) (B) 1～2

ウォール工

- (1) ウォール工(現場打) (A) - 1 3, 4
- (2) ウォール工(プレキャスト) (A) - 2 5
- (3) ウォール工(現場打) (A) - 3 6
- (4) ウォール工(現場打) (B) - 1 7, 8
- (5) ウォール工(プレキャスト) (B) - 2 9
- (6) ウォール工(現場打) (C) - 1 10, 11
- (7) ウォール工(プレキャスト) (C) - 2 12, 13
- (8) ウォール工 (A) ～ (C) 正面図 14

腰石積

- (1) 腰石積工 (A) - 1～6 15
- (2) 腰石積工 (A) 正面図 16-2

排水工

- (1) ヒューム管布設工 (φ150～φ600) 17～18
- (2) ヒューム管布設工 (基礎一体型) 20-1
- (3) 透水管工 21-1
- (4) 硬質塩化ビニール管工 21-2
- (5) U型側溝工(U型トラフ) (T₋₁₅～T₋₃₀) タイプ -1, 2 22～23-1
- (6) U型側溝工(U型トラフ) (T₋₁₅～T₋₃₀) 細目グレーチング蓋 23-2
- (7) 皿溝工 24
- (8) U型側溝工(プレキャスト) - 1, 2 25-1～2
- (9) U型側溝工(プレキャスト) 細目かさ上げグレーチング蓋 26

- (10) 皿型ブロック工 27
- (11) L型ブロック工 28
- (12) U型側溝工(現場打) (A) (B) 29
- (13) U型側溝工(現場打) (D) (E) 蓋付 30
- (14) U型側溝工(現場打) (F) (G) 蓋付 30-2
- (15) U型側溝工(現場打) (D)～(G) 細目グレーチング蓋 31
- (16) 集水枳工 (A) ～ (F) 32-1～37-4

縁石工

- (1) 縁石ブロック工 (A) (B) (C) (D) (F) 38～39
- (2) レンガ縁石工 (A) ～ (D) 41
- (3) 石材縁石工 43-1～3
- (4) 植樹枳工 (A) (B) 44-1～2

(注) 16-1, 19-1, 19-2, 20-2, 36, 37-1, 37-2, 40, 42 頁は図面なし

2. 修景施設整備工

舗装工

- (1) コンクリート舗装工-1, 2 45-1
- (2) 真砂土敷均し工 (A) (B) 45-2
- (3) 平板舗装工-1, 2 46-1
- (4) インターロッキングブロック舗装工-1, 2 46-2
- (5) レンガ舗装工 (A) (B) 47-2
- (6) 鉄平石舗装工 48
- (7) 洗い出し舗装工-1 49
- (8) 簡易アスファルト舗装工-1, 2 50
- (9) 透水性アスファルト舗装工-1, 2 51-1
- (10) 脱色カラーアスファルト舗装工-1, 2 51-2
- (11) 透水性脱色カラーアスファルト舗装工-1, 2 51-3
- (12) 視覚障がい者誘導用ブロック工-1, 2 52-2~4

階段工

- (1) 丸太階段工 (A) ~ (D) 53-1

植栽工

- (1) 2脚鳥居型支柱 (2T-15, 18) 54
- (2) 3脚鳥居型支柱 (3T-15, 18) 55
- (3) 4脚鳥居型支柱 (4T-15, 18) 56
- (4) 1本支柱 (1S-15, 18, 1B-05, 12, 15) 57-1~2
- (5) 添柱 58
- (6) 3本支柱 (3S-3, 3.6, 4, 6) 59
- (7) 4脚合掌型支柱 (4G-18) 60
- (8) 生垣工 (A) ~ (C) 61~63
- (9) 張芝工 66

(注) 47-1, 52-1, 64, 65, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79 頁は
図面なし

3. 休養施設工

休憩所工

- (1) パーゴラ (シェルター) 柱工 (E) (F) 80
パーゴラ屋根工 (C)、シェルター屋根工 (C)
- (2) パーゴラ屋根工 (C) 81
- (3) パーゴラ (シェルター) 柱工 (E) (F) (基礎工) ... 82
- (4) シェルター屋根工 (C) 83

ベンチ工

- (1) ベンチ工 (A) (B) (D) (E) 84-1~88
- (2) 野外卓工 (B) ~ (C) 92~93-1
- (3) 縁台工 93-2
- (4) スツール工 (A) (B) 94

4. 遊戯施設整備工

遊器具

- (1) 二連ブランコ工 98
- (2) 二連ブランコ工 (安全柵) 99~100
- (3) 二連ブランコ工 (踏板, カップリング) 101
- (4) ジャングルジム工 102
- (5) ラダー工 103
- (6) スベリ台工 105-1~2
- (7) 三連、二連鉄棒工 106
- (8) 施設プレート工 107

砂場工

- (1) 砂場縁取工 (A) 砂場工 108
- (2) 砂場縁取工 (C) 砂場工 110

5. 便益施設整備工

水飲み台工

- (1) 水飲み台工（柵なし）…………… 111-1
- (2) 水飲み台工（現場打柵）…………… 111-2
- (3) 水飲み台工（P C柵）…………… 111-3
- (4) 水飲み台工グレーチング蓋…………… 113

6. 管理施設整備工

門工

- (1) 園名柱工・園名板工…………… 114

柵工

- (1) 鉄柵工（A）…………… 116
- (2) 鉄柵工（B）…………… 117
- (3) 擬木柵工…………… 120-2
- (4) 手すり工（A）…………… 120-3
- (5) 手すり工（B）…………… 120-4
- (6) 手すり用点字シール…………… 120-5

照明工

- (1) 照明工LED（灯柱）…………… 121-1
- (2) 照明工（引込柱）…………… 121-3
- (3) 施設プレート（照明用）…………… 122-1
- (4) 照明工遮光板…………… 122-2
- (5) ハンドホール工…………… 123-1～2
- (6) 分電盤A・B・C…………… 124-1～2
- (7) 電線管布設工・水道管布設工…………… 125
- (8) 参考図：照明工LED（アルミポール灯柱）…………… 126-1～2

（注）112, 115, 118, 119, 120-1, 121-2 頁は図面なし

給水工

- (1) 散水栓工 127-1~2

車止工

- (1) 車止工 (A) (B) (E) (F) (G) 128-1~5

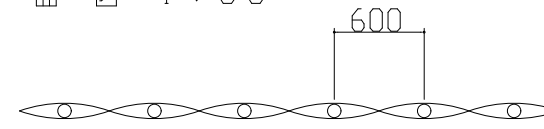
擁壁工

- (1) 石積工、ブロック積工 129
- (2) 石積、ブロック積基礎工 (A) (B) 130

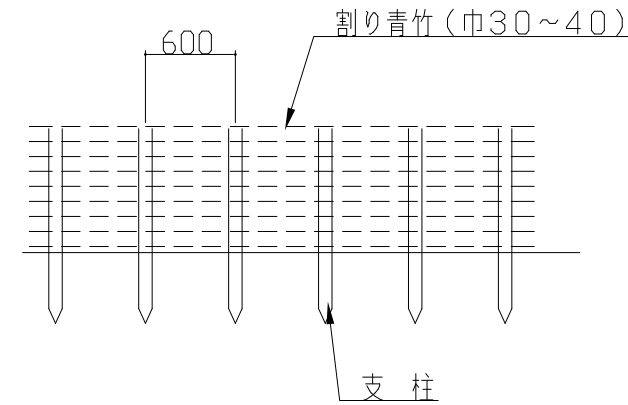
(1.0m当り)

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			H=500	H=800	
支柱	皮はぎ松丸太 末口径90 L=1500	本	1.666	—	加圧式防腐処理 JIS A 9002
〃	皮はぎ松丸太 末口径90 L=1800	〃	—	1.666	
編材	青竹、不織布	式	1	1	割り竹、巾30~40

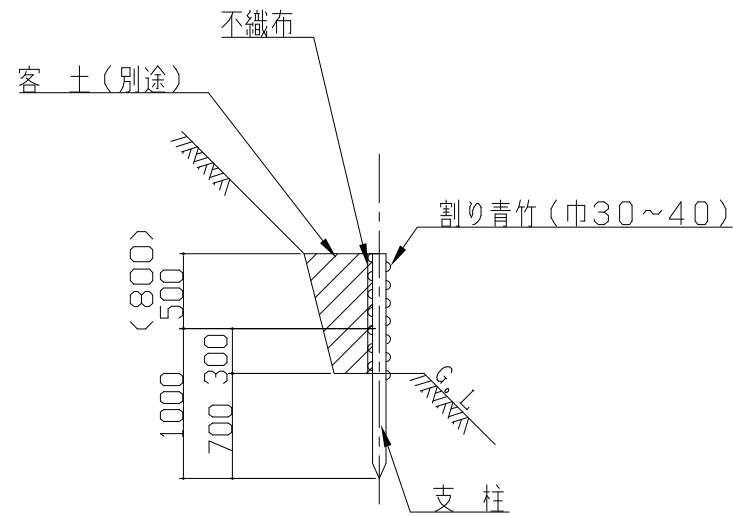
平面図 1:50



正面図 1:50



断面図 1:50

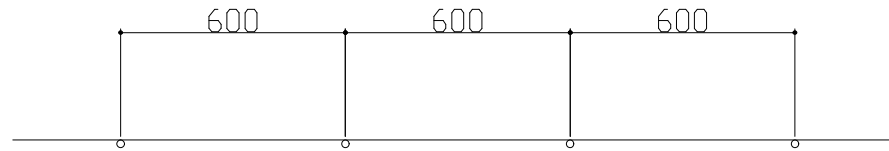


令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
			シ ガ ラ I (A)	備 考 14年 9月修正 15年10月修正	

・竹の継目の重ねしろは300mmとする。
 ・支柱は末口を上にして使用すること。また、木材の加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理JIS A 9002」に適合するものとする。

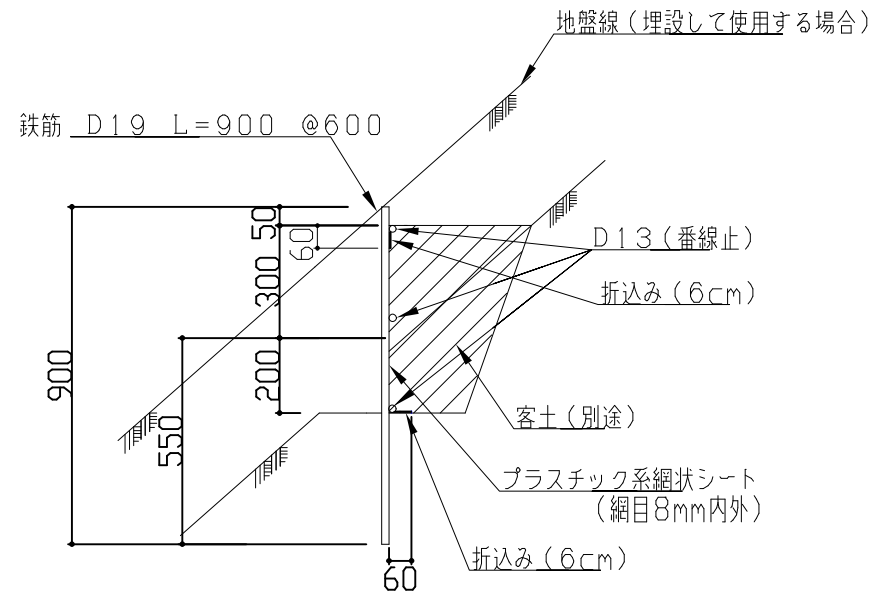
法面平面図 1:20



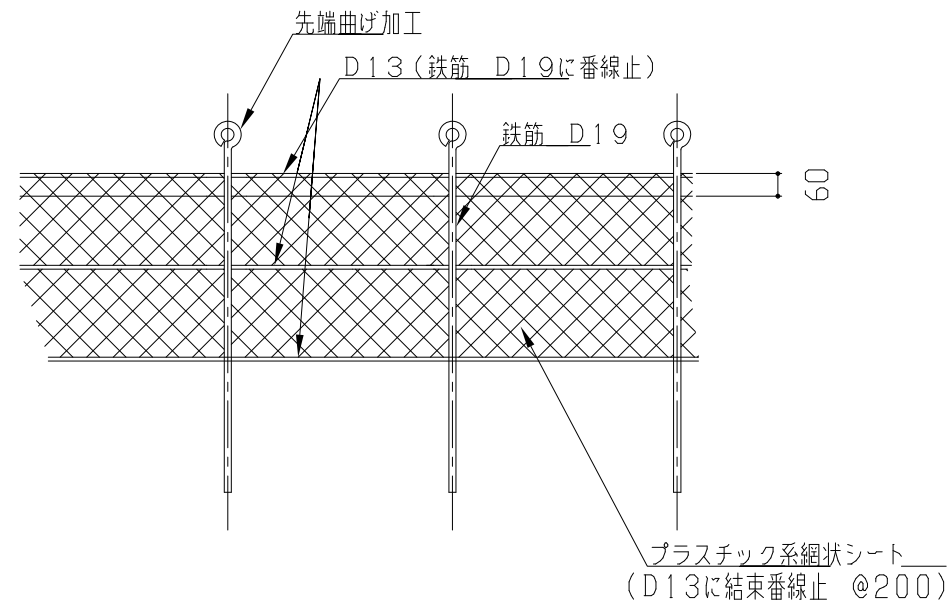
(1.0m当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
支柱	鉄筋 D19	kg	3.375	
編材	プラスチック網	m ²	0.620	
横補強筋	鉄筋 D13	kg	2.985	
雑材料		式	1.0	

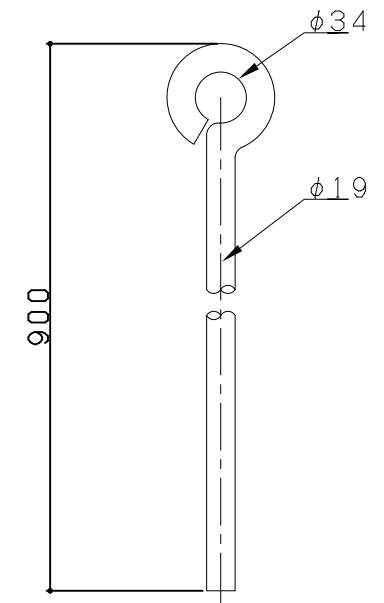
断面図 1:20



立面図 1:20



先端曲げ加工詳細

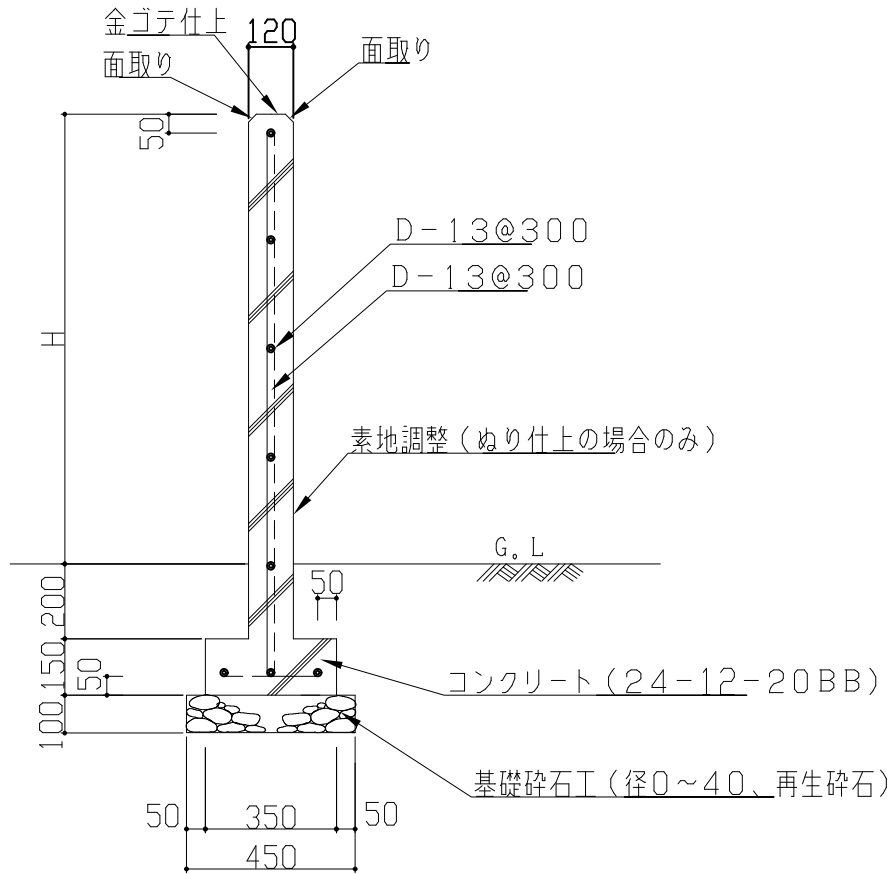


令和5年10月改定

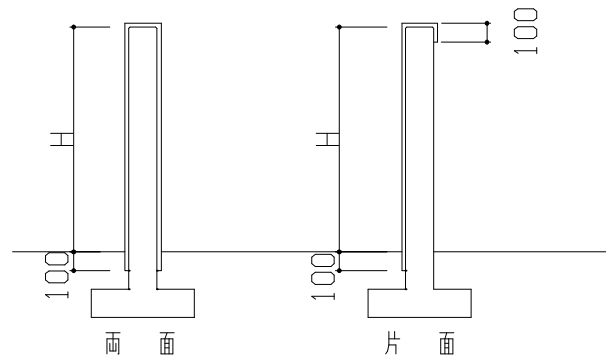
神戸市公園施設標準図集	仕 様 名 称	シガラ工 (B)	コード番号	記 号	ページ
			備 考		2
			5年7月修正 21年10月修正 14年9月修正		

- ・鉄筋の先端を尖らせて貫入しやすくすること。
- ・シガラ上部については折込み、下部は客土の下に敷くこと。
- ・切土部、岩盤部等に使用。
- ・人の立ち入るところには使用しない。
- ・鉄筋規格はSD345を標準とする。

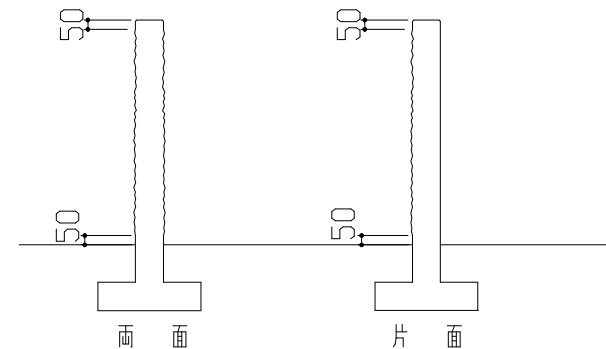
(1.0m当り)



躯体断面図 1:20



仕上面詳細 (ぬり仕上、吹付仕上)



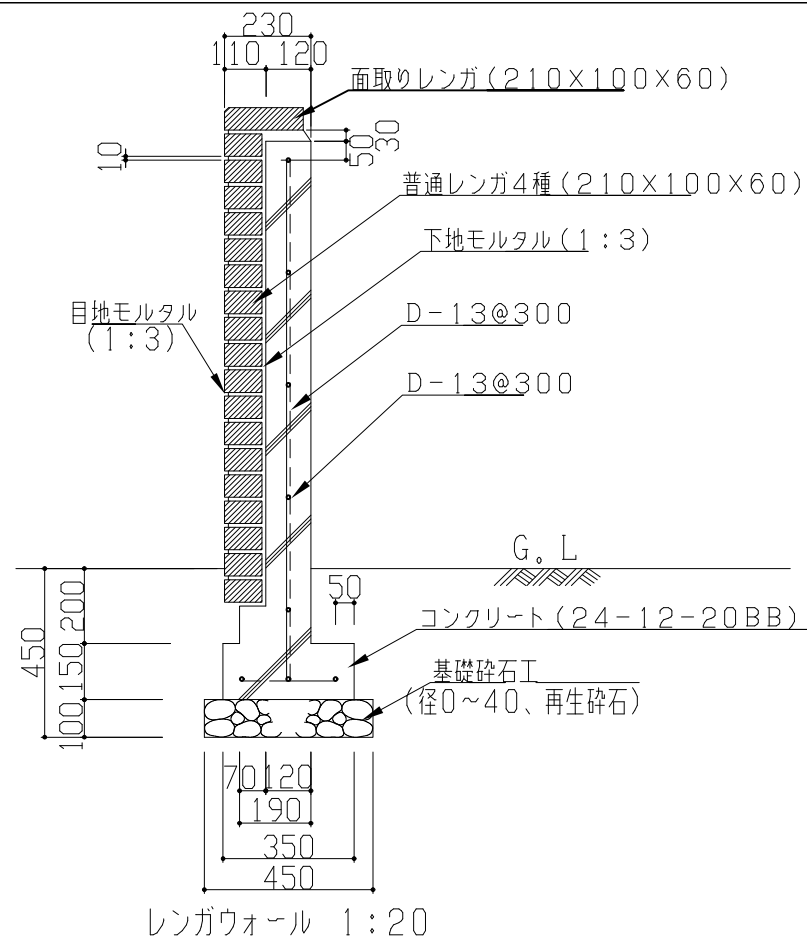
はつり仕上

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			片側	両側	
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.4		再生砕石
コンクリート	24-12-20BB	m ³	0.1H+0.07		
型枠損料		m ²	2H+0.70		
鉄筋工	D-13	kg	6.63H+5.06		
素地調整		m ²	H+0.3	2H+0.3	ぬり仕上の場合のみ
ぬり仕上	カラーモルタル仕上 t20	"	H+0.3	2H+0.3	
	人造石研出仕上 t20				
	人造石洗い出し仕上 t20				
吹付仕上	アクリル系リシン	"	H+0.3	2H+0.3	JASS 23
	吹付タイルE				
はつり仕上		"	H-0.10	2H-0.20	
床掘		m ³	-		
埋戻		"	-		
残土処分		"	-		

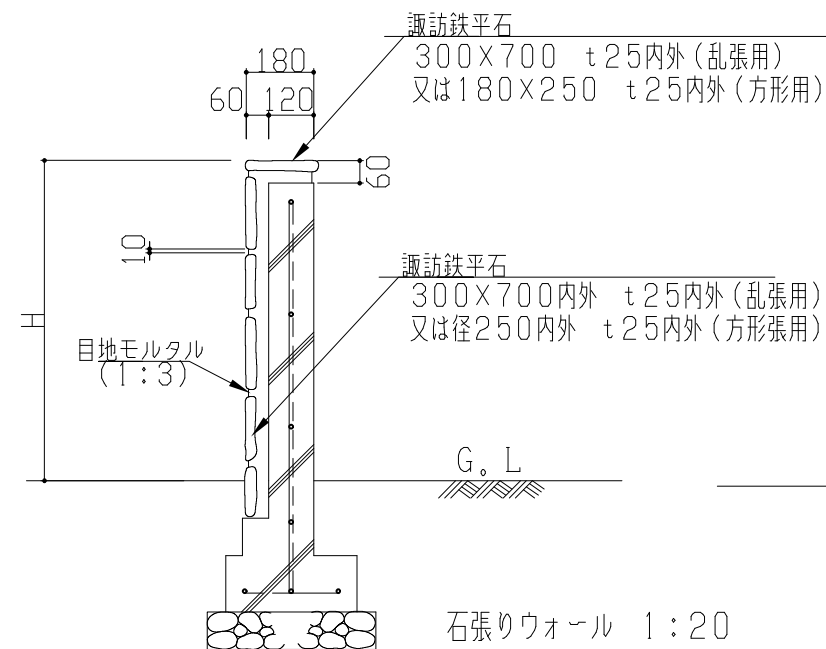
※600 ≤ H ≤ 1,200とする。

令和5年10月改定

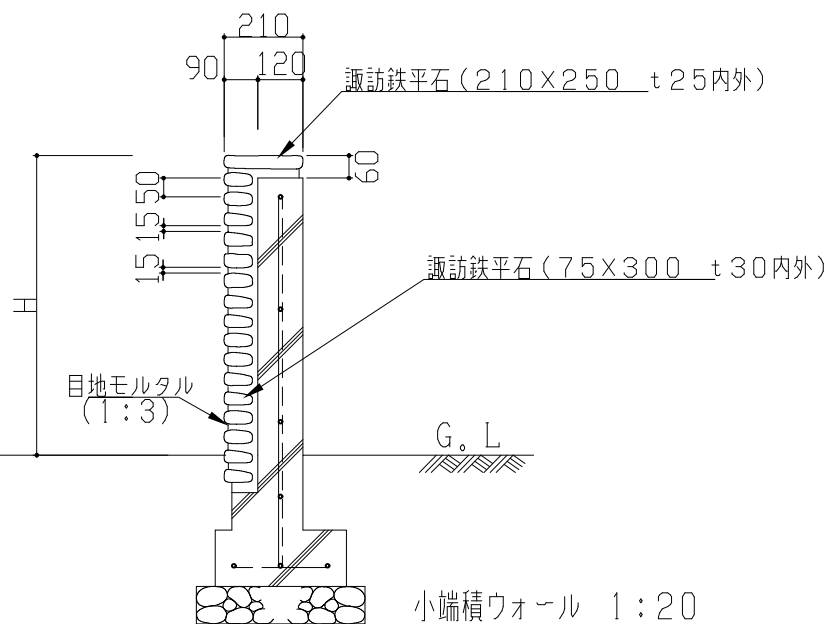
神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記	号	ページ
					<ul style="list-style-type: none"> 15~20mごとに1カ所、伸縮目地をいれること。 モルタルは、高炉セメントを使用すること。 鉄筋規格はSD345を標準とする。 	ウォール工(現場打)(A)-1 (ぬり仕上) (吹付仕上) (はつり仕上)	S5015	備考



レンガウォール 1:20



石張りウォール 1:20



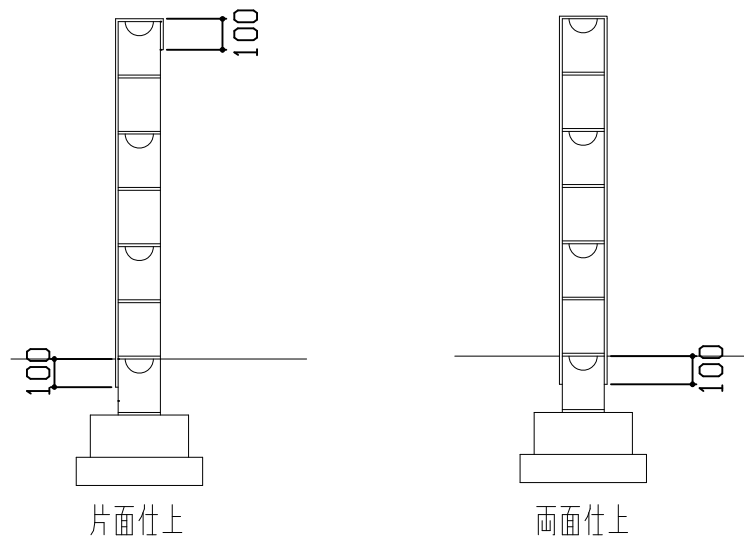
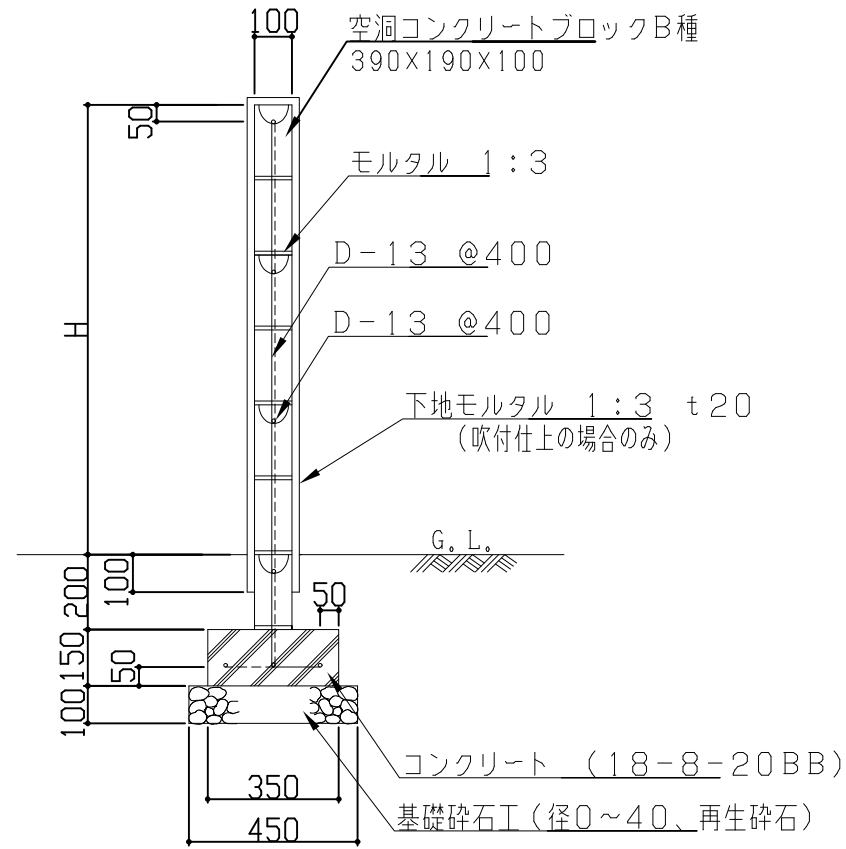
小端積ウォール 1:20

(1.0m当り)				
名称	形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.4	再生砕石
コンクリート	レンガウォール	m ³	0.1H+0.07	
	小端積、石張ウォール	〃	0.1H+0.07	
型枠損料	レンガウォール	m ²	2H+0.5	
	小端積、石張ウォール	〃	2H+0.5	
鉄筋工	D13	kg	6.63H+4.46	
モルタル 1:3	レンガウォール	m ³	0.01H+0.004	
	小端積ウォール		0.01H+0.005	
	石張ウォール		0.03H+0.006	
天端材	面取りレンガ	m	1.0	
	鉄平石(小端積用)		1.0	
	鉄平石(方形張用)		1.0	
	鉄平石(乱張用)		1.0	
壁材	普通レンガ4種	m ²	H+0.03	JIS R1250
	鉄平石(小端積用)		H+0.065	
	鉄平石(方形張用)		H+0.065	
	鉄平石(乱張用)		H+0.065	
床堀		m ³	-	
埋戻		〃	-	
残土処分		〃	-	

※600 ≤ H ≤ 1,200とする。

- 仕
- ・15~20m毎に1カ所、伸縮目地を入れること。
 - ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。
 - ・鉄筋規格はSD345を標準とする。

断面図 1:20



(1.0m当り)

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			片側	両側	
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.4		再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.05		
型枠損料		m ²	0.3		
下地モルタル	1:3	〃	H+0.32	2H+0.34	吹付仕上の場合のみ
鉄筋工	D-13	kg	4.98H+4.54		
空洞ブロック積	B種 (390x190x100)	m ²	H+0.2		JIS A5406
ぬり仕上	カラーモルタル仕上 t20	m ²	H+0.32	2H+0.34	
	人造石研出仕上 t20				
	人造石洗出仕上 t20				
吹付仕上	アクリル系リシン	m ²	H+0.36	2H+0.38	JASS 23
	吹付タイルE				
床堀		m ³	-		
埋戻		〃	-		
残土処分		〃	-		

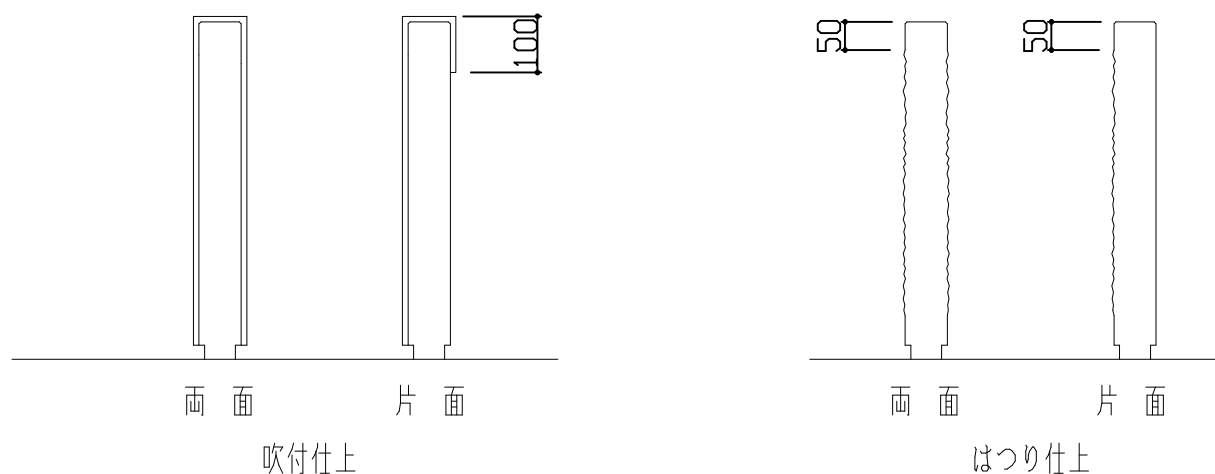
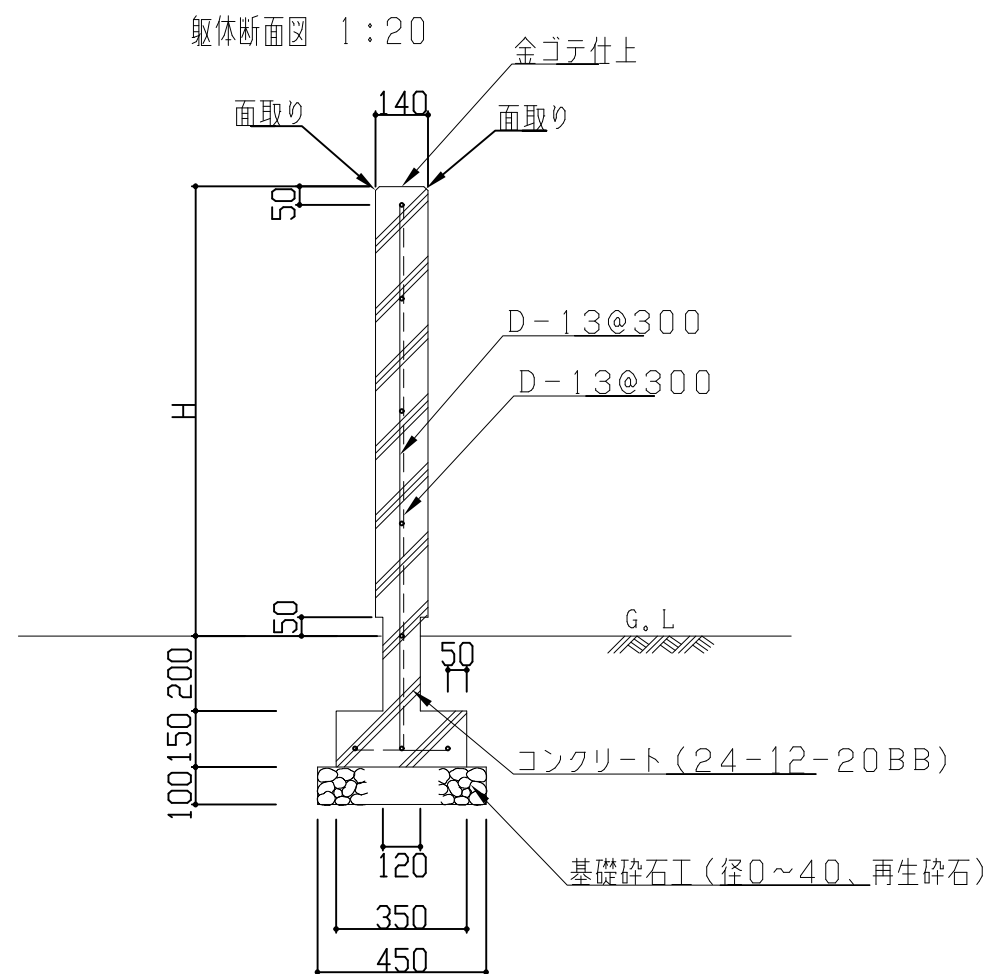
※600 ≤ H ≤ 1,200とする

令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
			S5020		5
			備 考		
		ウォール工(プレート)(A)-2 (ぬり、吹付仕上)	13年9月修正 21年10月修正 14年9月修正		

- ヨコ筋が通る位置のブロックには、ヨコ筋用ブロックを使用すること。
- ブロック間の空隙は、モルタル1:3で充填すること。
- モルタルは、高炉セメントを使用すること。
- 鉄筋規格はSD345を標準とする。

(1.0m当り)



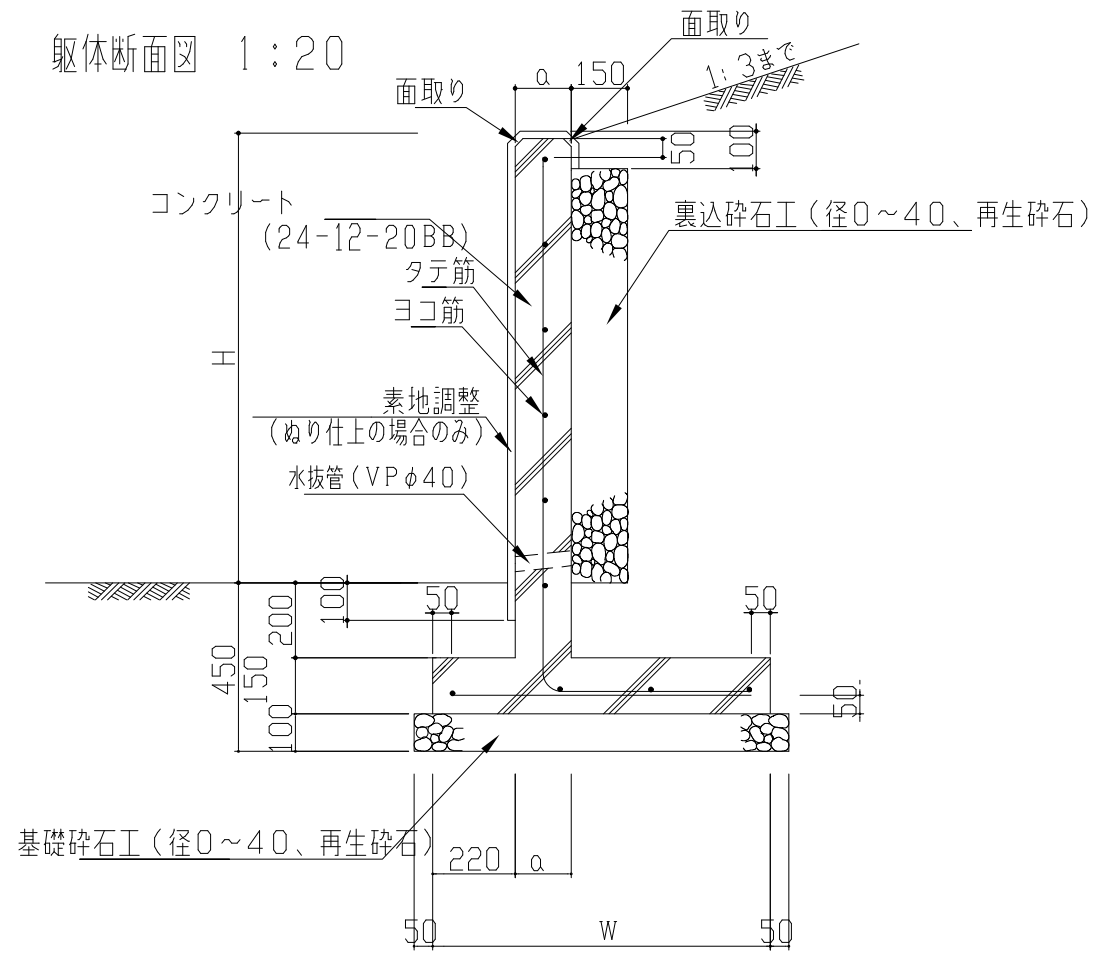
名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			片側	両側	
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.4		再生砕石
コンクリート	24-12-20BB	m ³	0.14H+0.075		
型枠損料		m ²	2H+0.70		
鉄筋工	D-13	kg	6.63H+5.06		
吹付仕上	アクリル系リシン	m ²	H+0.19	2H+0.04	JASS 23
	吹付タイルE				
はつり仕上			H-0.10	2H-0.20	
床堀		m ³	-		
埋戻		"	-		
残土処分		"	-		

※600 ≤ H ≤ 1,200とする

令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
			<ul style="list-style-type: none"> 15~20m毎に1ヵ所、伸縮目地を入れること。 鉄筋規格はSD345を標準とする。 		

躯体断面図 1:20

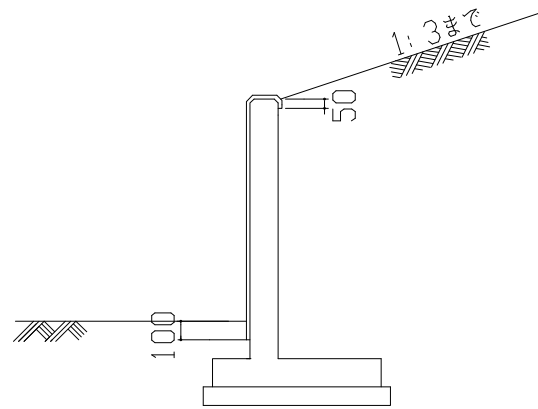


(1.0m当り)

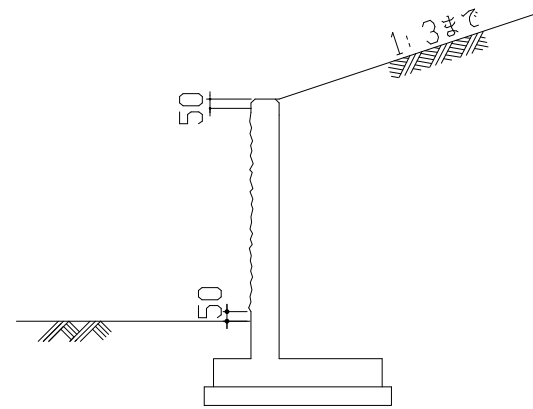
名称	形状寸法	単位	数量			摘要
			H=600	H=900	H=1,200	
基礎砕石工	径0~40、t100	m ²	0.7	0.8	1.0	再生砕石
裏込砕石工	径0~40、再生砕石	m ³	0.075	0.1	0.1	設計書指示
コンクリート	24-12-20BB	〃	0.2	0.2	0.3	
型枠損料		m ²	1.9	2.5	3.1	
鉄筋工	D-13	kg	13	18	21	
素地調整		m ²	0.95	1.25	1.55	ぬり仕上のみ
ぬり仕上	カラーモルタル仕上 t20	〃	0.9	1.2	1.5	
	人造石研出仕上 t20					
	人造石洗出仕上 t20					
吹付仕上	tクリル系リシン	〃	0.9	1.2	1.5	JASS 23
	吹付タイルE					
はつり仕上			0.500	0.800	1.100	
床掘		m ³	-	-	-	
埋戻		〃	-	-	-	
残土処分		〃	-	-	-	

寸法表

H	a	W	鉄筋	
			タテ筋	ヨコ筋
600	120	600	D13 @250	D13 @250 7本
900	120	750	D13 @250	D13 @250 9本
1,200	150	900	D13 @250	D13 @250 10本



仕上詳細図(ぬり仕上、吹付仕上)

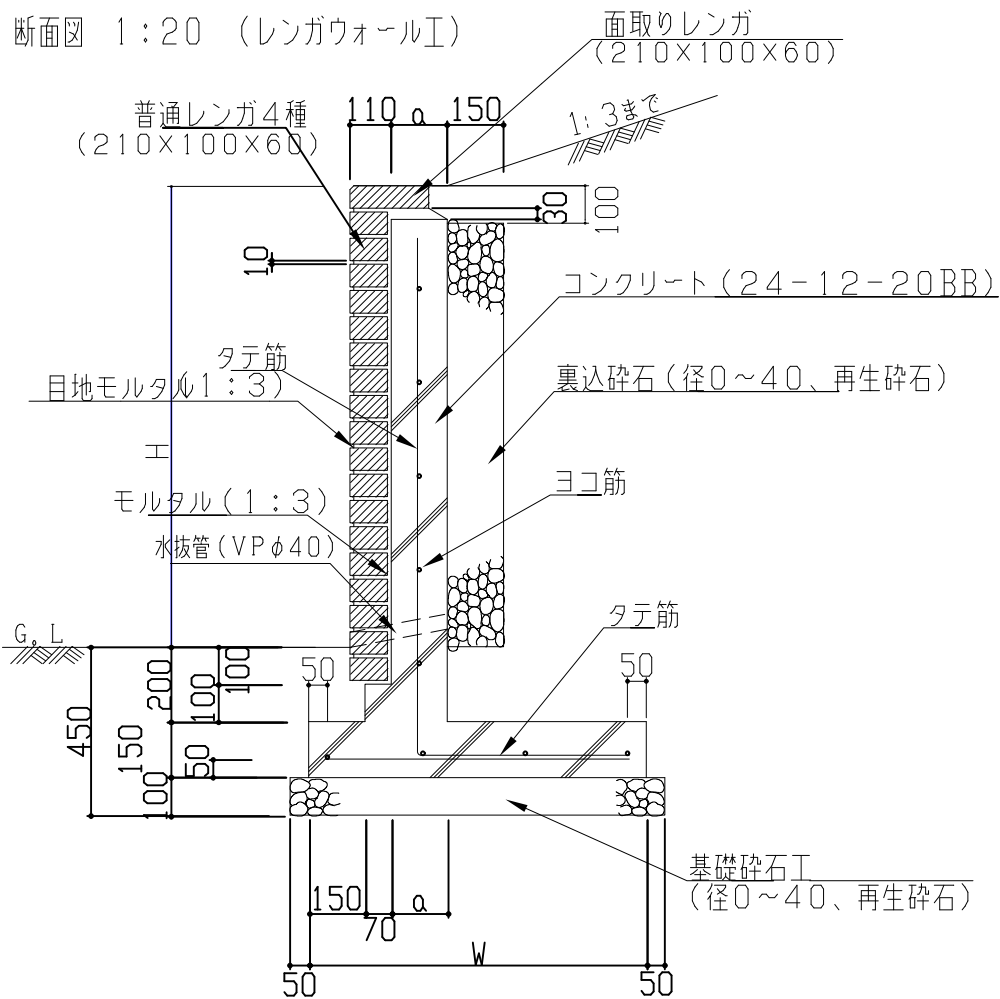


(はつり仕上)

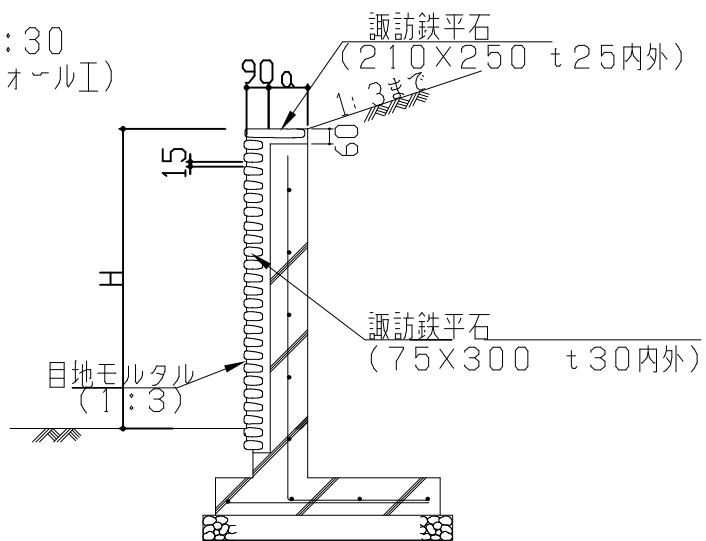
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記号	ページ
	<ul style="list-style-type: none"> 2m²毎に1本、水抜管(VPφ40)を入れること。 15~20m毎に1ヵ所、伸縮目地を入れること。 必要地耐力は、5t/m²とする。 背面土の勾配は、1:3まで可とする。 ウォール背後に車両が通行する場所には使用しないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> モルタルは、高炉セメントを使用すること。 鉄筋規格はSD345を標準とする。 	ウォール工(現場打)(B)-1 (ぬり、はつり、吹付)		S5015		7
					備考		
				13年9月修正 21年10月修正 14年9月修正 05年4月修正 18年3月修正			

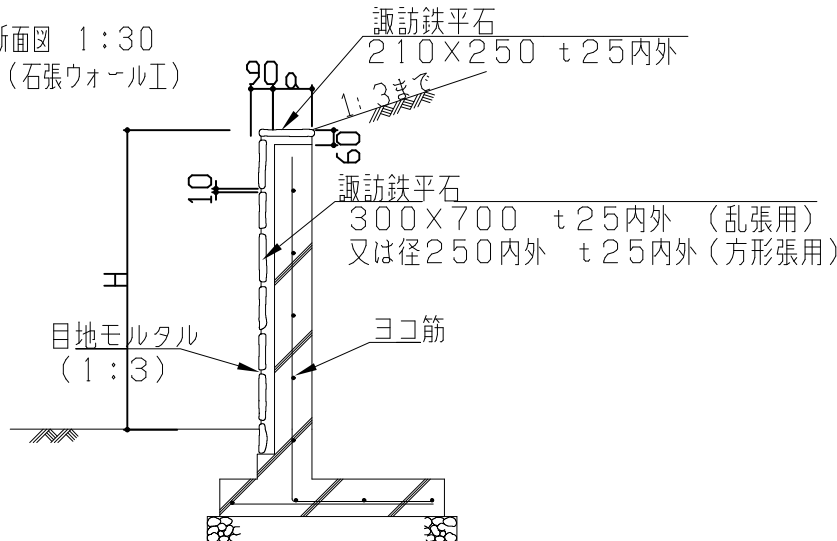
断面図 1:20 (レンガウォール工)



断面図 1:30 (小端積ウォール工)



断面図 1:30 (石張ウォール工)



(1.0m当り)

名称	形状寸法	単位	数量			摘要
			H=600	H=900	H=1,200	
基礎砕石工	径0~40、t100	m ²	0.7	0.8	1.0	しめ固め共
裏込砕石工	径0~40、再生砕石	m ³	0.07	0.1	0.1	設計書指示
コンクリート	レンガ	〃	0.1	0.2	0.3	
	小端積、石張	〃	0.1	0.2	0.3	
型枠損料	レンガ	m ²	1.7	2.3	2.9	
	小端積、石張	m ²	1.7	2.3	2.9	
鉄筋工	D-13	kg	12	16	20	
モルタル	レンガウォール	m ³	0.01	0.01	0.01	
	石張ウォール		0.02	0.03	0.04	
	小端積ウォール					
天端材	面取レンガ	m	1.0	1.0	1.0	
	鉄平石 (小端積用)					
	鉄平石 (乱張用)					
	鉄平石 (方形張用)					
壁材	普通レンガ4種	m ²	0.640	0.940	1.240	JIS R1250
	鉄平石 (小端積用)					
	鉄平石 (乱張用)					
	鉄平石 (方形張用)					
床堀		m ³	-	-	-	
埋戻		〃	-	-	-	
残土処分		〃	-	-	-	

寸法表

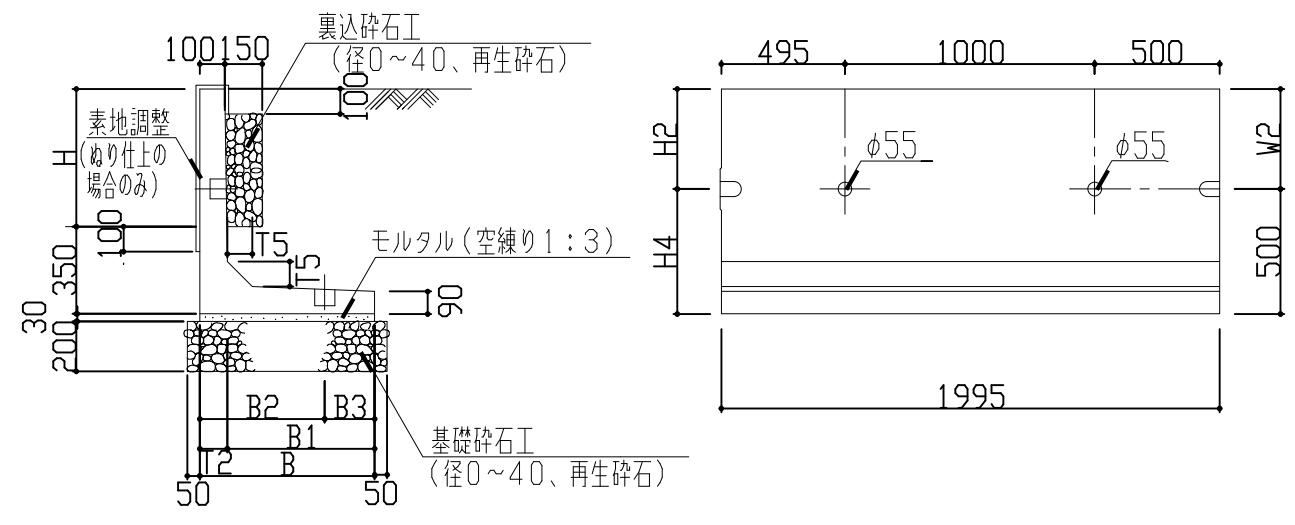
H	a	W	鉄筋	
			タテ筋	ヨコ筋
600	120	600	D-13@250	D-13@250
900	120	750	D-13@250	D-13@250
1,200	150	900	D-13@250	D-13@250

令和5年10月改定

- 仕
- ・2m²毎に1本、水抜管 (VPφ40) を入れること。
 - ・15~20m毎に1ヵ所、伸縮目地を入れること。
 - ・必要地耐力は、5t/m²とする。
 - ・背面土の勾配は、1:3まで可とする。
 - ・ウォール背後に車両が通行する場所には使用しないこと。

- 様
- ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。
 - ・鉄筋規格はSD345を標準とする。

(1.0m当り)

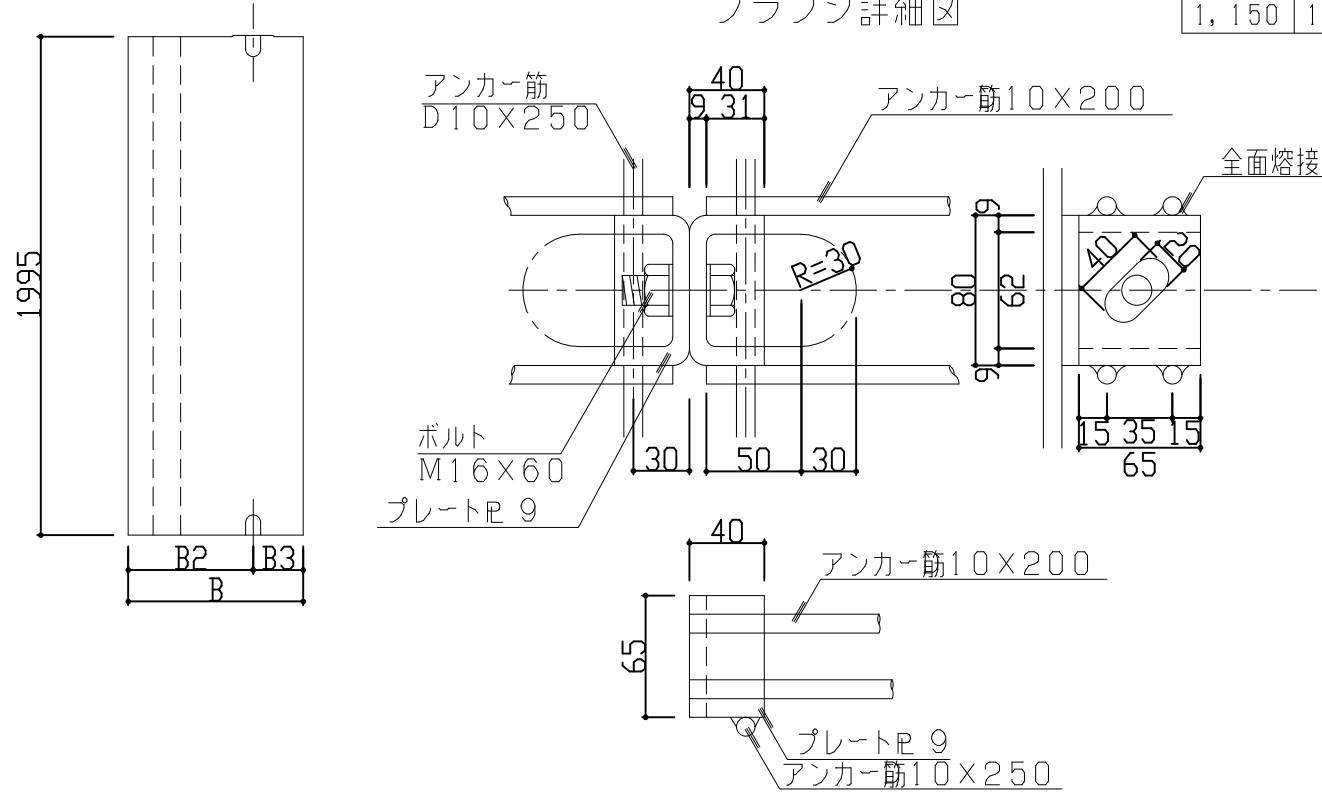


名称	形状寸法	単位	数量			摘要
			H=650	H=850	H=1,150	
本体		m	1.0	1.0	1.0	
基礎砕石工	径0~40 t200	m ²	0.8	0.8	1.2	再生碎石
モルタル	空練り1:3	m ³	0.02	0.02	0.03	
裏込砕石工	径0~40、再生碎石	〃	0.08	0.1	0.1	設計書指示
素地調整		m ²	0.9	1.1	1.4	ぬり仕上のみ
ぬり仕上	カラモルタル仕上 t20	〃	0.9	1.1	1.4	
	人造石研出仕上 t20					
	人造石洗出仕上 t20					
吹付仕上	アクリル系リシン	〃	0.9	1.1	1.4	JASS 23
	吹付タイルE					
床堀		m ³	-	-	-	
埋戻		〃	-	-	-	
残土処分		〃	-	-	-	

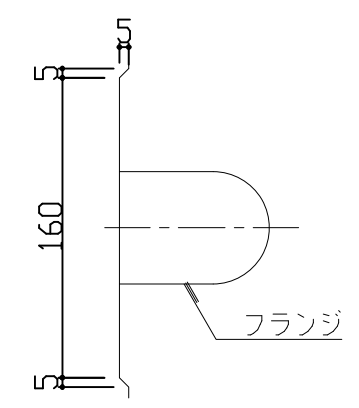
寸法表

H	B	H2	H4	B1	B2	B3	T2	T4	T5	W2
650	750	500	500	640	500	250	110	110	100	500
850	850	500	700	730	600	250	120	120	100	700
1,150	1,100	500	1,000	980	700	400	120	120	120	1,000

フランジ詳細図



合端部拡大図



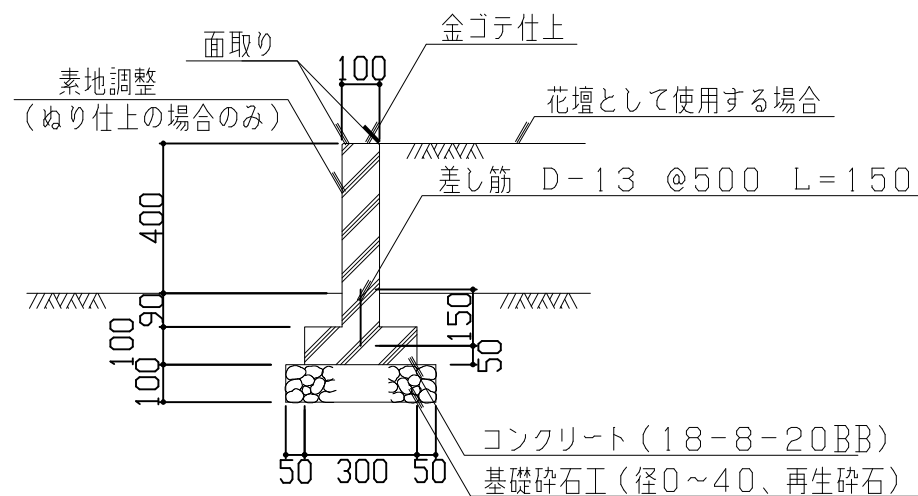
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
			S5020		9
			備 考		
13年9月修正 18年3月修正 14年9月修正					

- 2m²毎に1本、水抜管 (VPφ40) を入れること。
- 15~20m毎に1カ所、伸縮目地を入れること。
- 必要地耐力は、5t/m²とする。
- ウォール工背後に法面が生じる場所には使用しないこと。
- ウォール背後に車両が通行する場所には使用しないこと。
- モルタルは、高炉セメントを使用すること。

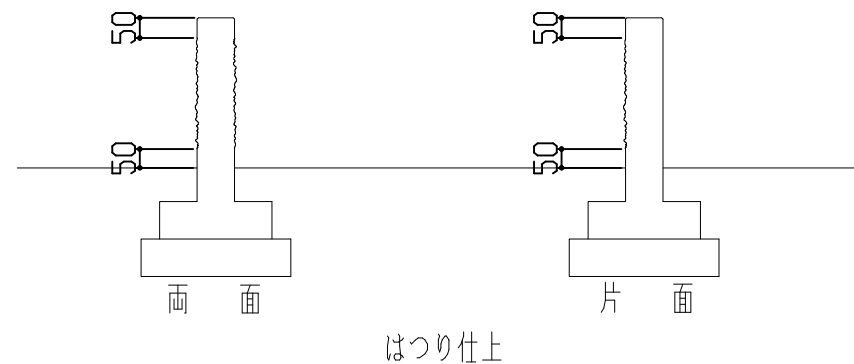
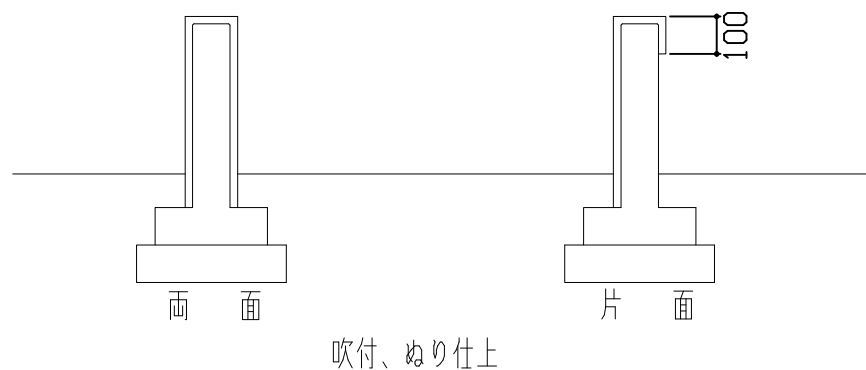
ウォール工(プレート)(B)-2

(1.0m当り)



躯体断面図 1:20

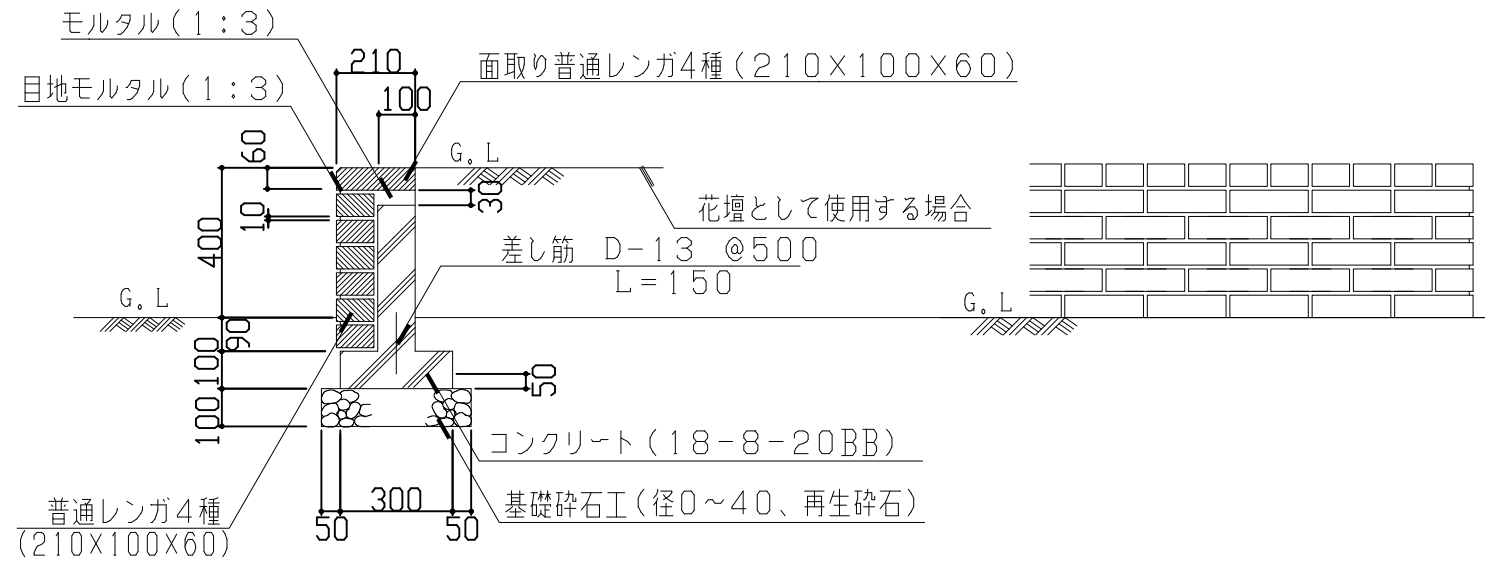
名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			片側	両側	
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.4		再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.07		
型枠損料		m ²	1.1		
差し筋	D-13	kg	0.299		
素地調整		m ²	0.6	1.0	ぬり仕上のみ
ぬり仕上	カラーモルタル仕上 t20	"	0.6	1.0	
	人造石研出仕上 t20				
	" 洗い出仕上 t20				
吹付仕上	アクリル系リシン	"	0.6	1.0	JASS 23
	吹付タイルE				
はつり仕上		"	0.3	0.6	
床掘		m ³	-		
埋戻		"	-		
残土処分		"	-		



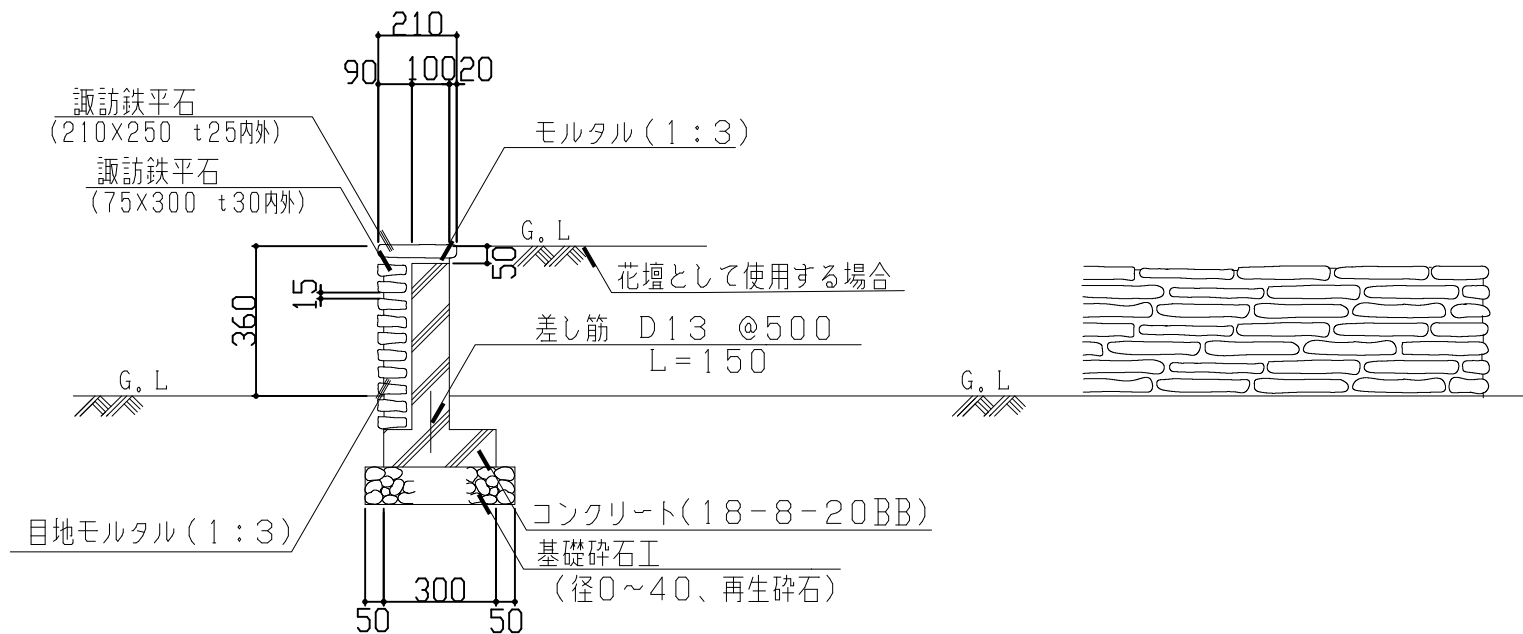
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記	号	ペー	ジ
	• 15~20m毎に1カ所、伸縮目地を入れること。 • 鉄筋規格はSD345を標準とする。		ウォール工(現場打)(C)-1	(はつり 吹付 ぬり)	S5015				10
					備考				
					13年9月修正 21年10月修正 14年9月修正				

(1.0m当り)



断面図 1:20



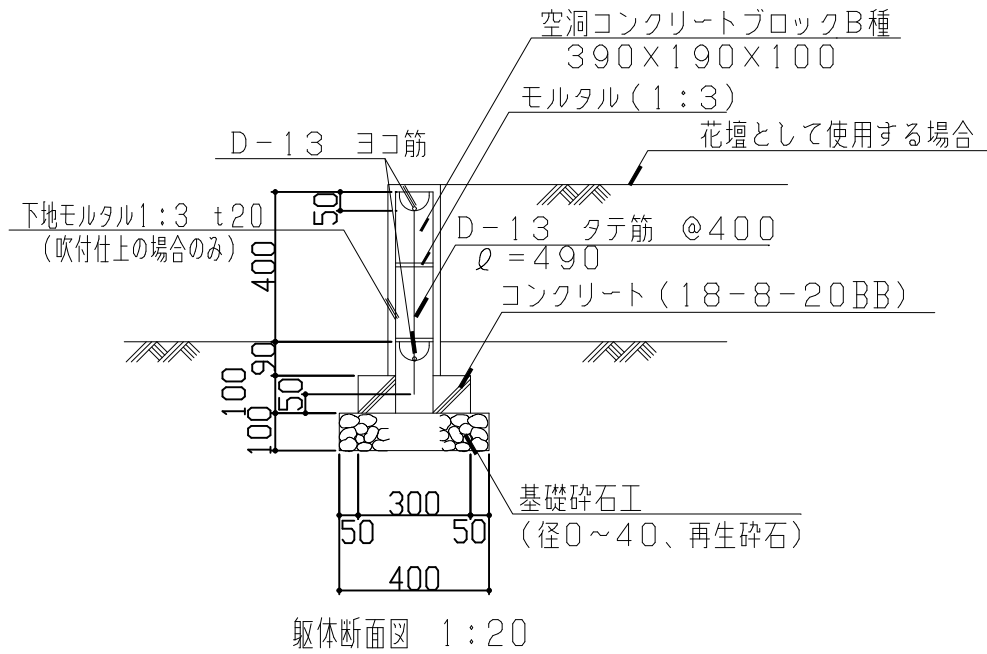
断面図 1:20

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.4	再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.070	
型枠損料		m ²	1.0	
差し鉄	D-13	kg	0.299	
モルタル	1:3	m ³	0.006	
天端材	面取り普通レンガ4種 (210×100×60)	m	1.0	JIS R1250
	鉄平石 (210×250 t25内外)		1.0	
壁材	普通レンガ4種 (210×100×60)	m ²	0.420	JIS R1250
	鉄平石 (75×300 t30内外)		0.410	
床掘		m ³	-	
埋戻		〃	-	
残土処分		〃	-	

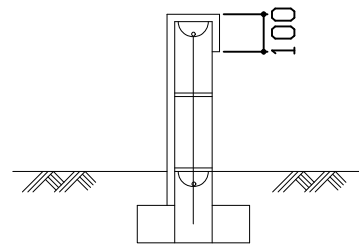
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記	号	ペー	ジ
	<ul style="list-style-type: none"> 15~20m毎に1カ所、伸縮目地を入れること。 モルタルは、高炉セメントを使用すること。 鉄筋規格はSD345を標準とする。 		ウォール工(現場打)(C)-1	(レンガ小端積)	S5015				11
					備考				
					13年9月修正 21年10月修正 14年9月修正 22年10月修正				

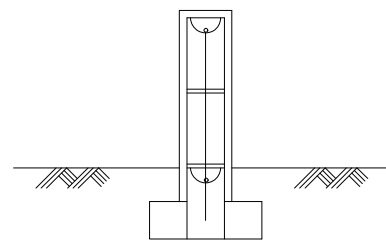
(1.0m当り)



名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			片面仕上	両面仕上	
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.4		再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.02		
型枠損料		m ²	0.2		
異形棒工	D-13	kg	3.7		
空洞ブロック積	B種 390x190x100	m ²	0.6		JIS A5406
下地モルタル	1:3	〃	0.7	1.1	吹付仕上のみ
ぬり仕上	カラーモルタル t20	〃	0.7	1.1	
	人造石研出仕上 t20				
	人造石洗出仕上 t20				
吹付仕上	アクリル系リシン	〃	0.7	1.1	JASS 23
	吹付タイルE				
床堀		m ³	-		
埋戻		〃	-		
残土処分		〃	-		



片面仕上



両面仕上

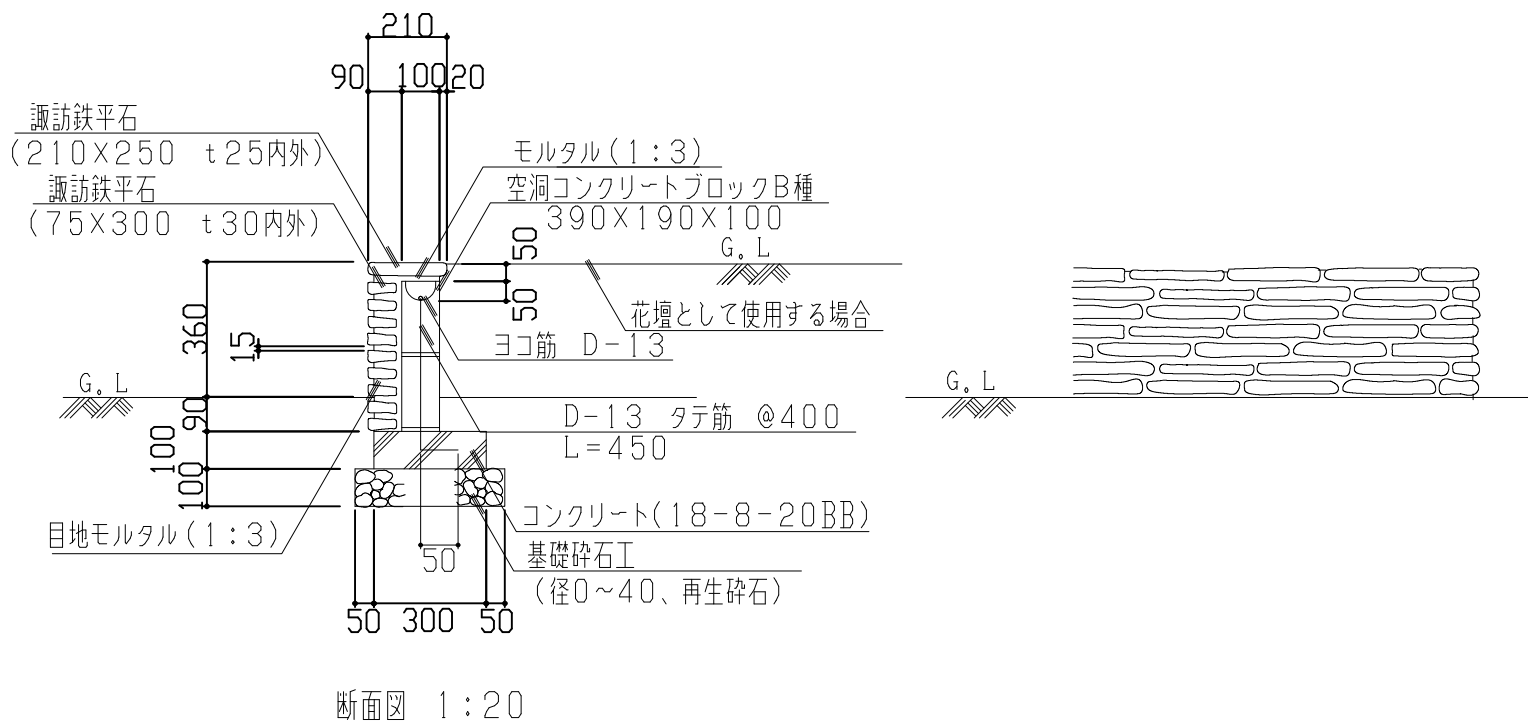
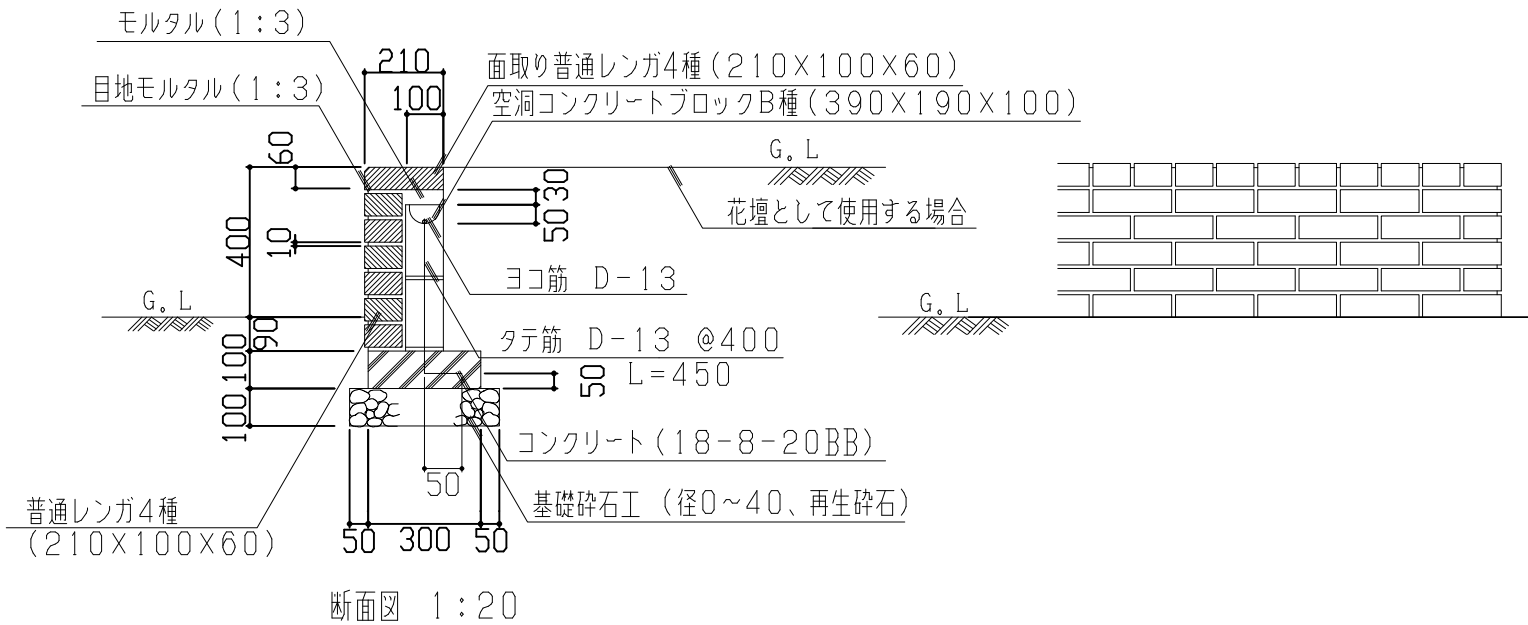
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
			ウオール工(ブロック) (C)-2 (ぬり仕上) (吹付仕上)		

- 空洞コンクリートブロック間の空隙は、モルタル1:3で充填すること。
- ヨコ筋の入る位置のブロックは、横筋用ブロックを使用すること。
- モルタルは、高炉セメントを使用すること。
- 鉄筋規格はSD345を標準とする。

(1.0m当り)

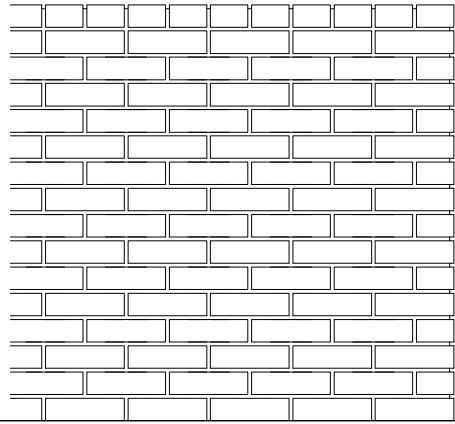
名称	形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.4	再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.03	
型枠損料		m ²	0.2	
鉄筋工	D-13	kg	2.1	
空洞ブロック積	B種(390×190×100)	m ²	0.4	JIS A5406
モルタル	レンガ	m ³	0.007	
	小端積	”	0.008	
天端材	面取り普通レンガ4種(210×100×60)	m	1.0	JIS R1250
	鉄平石(210×250 t25内外)			
壁材	普通レンガ4種(210×100×60)	m ²	0.420	JIS R1250
	鉄平石(75×300 t30内外)			0.410
床堀		m ³	-	
埋戻		”	-	
残土処分		”	-	



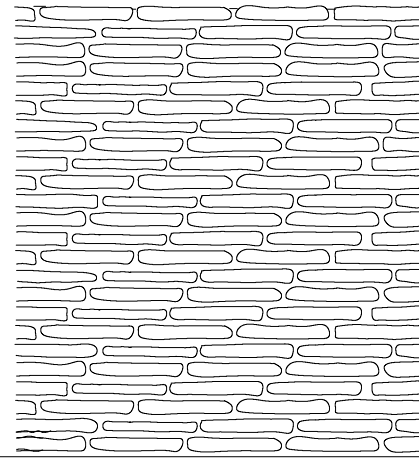
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
			S5020		
ウォールI(プレキャスト)(C)-2(レンガ小端積)			備 考		13
			14年9月修正 15年10月修正 21年10月修正	22年10月修正 05年10月修正	

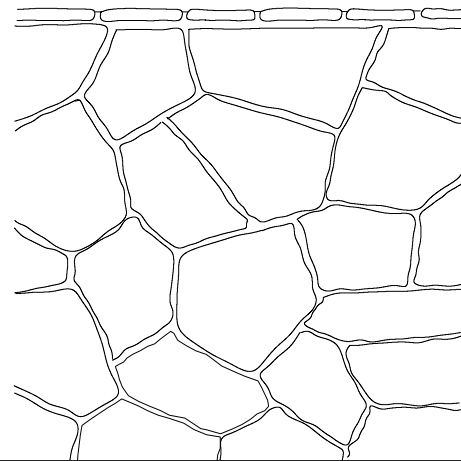
- ヨコ筋の入る位置のブロックは、横筋用ブロックを使用すること。
- モルタルは、高炉セメントを使用すること。
- 鉄筋規格はSD345を標準とする。



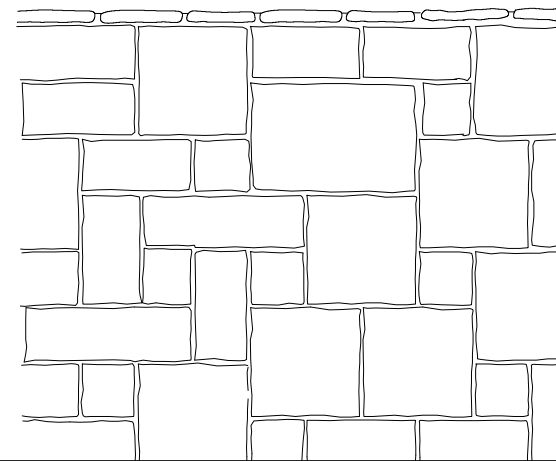
レンガ積



小端積



鉄平石乱張



鉄平石方形張

令和5年10月改定

	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
神戸市公園施設標準図集	<ul style="list-style-type: none"> 目地深さは、レンガウォールでは10mm程度、小端積ウォールでは15mm程度、石張ウォールは1mm程度を標準とする。 目地幅は、レンガ、石張ウォールでは10mm、小端積みウォールでは15mmを標準とする。 	ウォール工(A)～(C)正面図 (レンガ、小端積、乱張、方形乱張)	_____ 備 考 5年7月追加		14

基礎部 1.0m当り (S5031)

名称	形状寸法	単位	数量						摘要
			(A)-1	(A)-2	(A)-3	(A)-4	(A)-5	(A)-6	
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.40	0.45	0.50	0.55	0.60	0.65	再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.040	0.045	0.050	0.055	0.060	0.065	
型枠損料		m ²	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
床掘		m ³	0.176	0.193	0.211	0.229	0.246	0.264	
埋戻		〃	0.051	0.051	0.051	0.051	0.051	0.051	
残土処分		〃	0.125	0.142	0.160	0.178	0.195	0.213	

石積部 1.0 m² 当り (S5036)

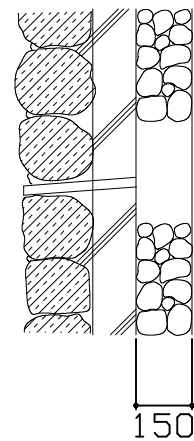
名称	形状寸法	単位	数量						摘要
			(A)-1	(A)-2	(A)-3	(A)-4	(A)-5	(A)-6	
石材	玉石	m ²	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
	丹波雑石								
	花コウ岩雑石								
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.200	0.216	0.233				玉石
			0.225	0.250	0.275	0.300	0.325	0.350	丹波雑石
目地モルタル ※	1:2	〃	0.007	0.008	0.008	0.009	0.01	0.01	
裏込砕石工	径0~40、再生砕石	m ³	(H-0.10) × 0.15 × 1.0						

※花コウ岩雑石については目地モルタルを使用しない。

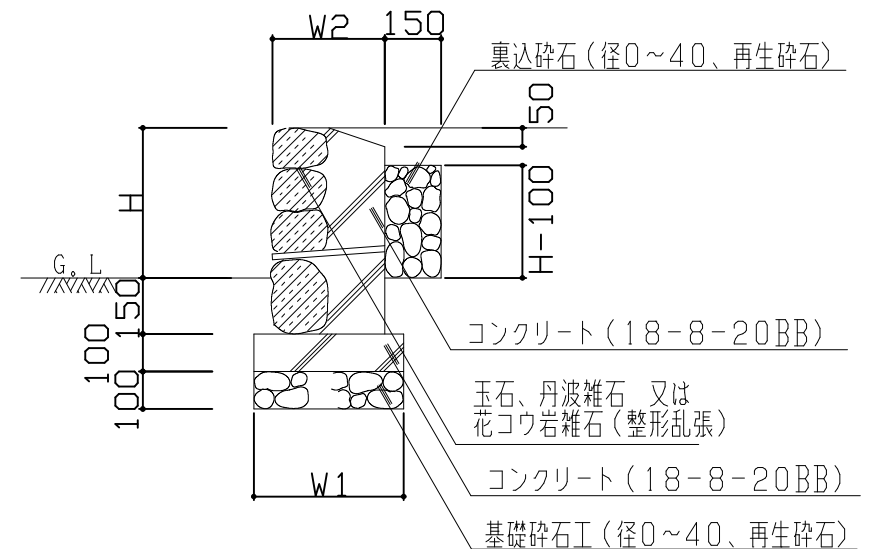
	玉石	丹波雑石	花コウ岩雑石
(A)-1	φ150 内外	控15cm以上	控15cm以上
(A)-2	φ200 内外	控20cm以上	控20cm以上
(A)-3	φ250 内外	控25cm以上	控25cm以上
(A)-4		控30cm以上	控30cm以上
(A)-5		控35cm以上	控35cm以上
(A)-6		控40cm以上	控40cm以上

	W1	W2
(A)-1	400	300
(A)-2	450	350
(A)-3	500	400
(A)-4	550	450
(A)-5	600	500
(A)-6	650	550

平面図 1:20



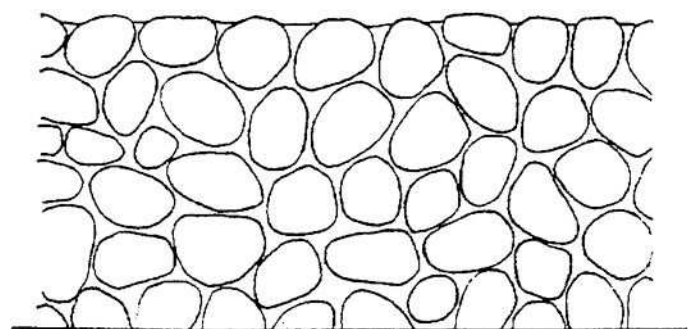
標準断面図 1:20



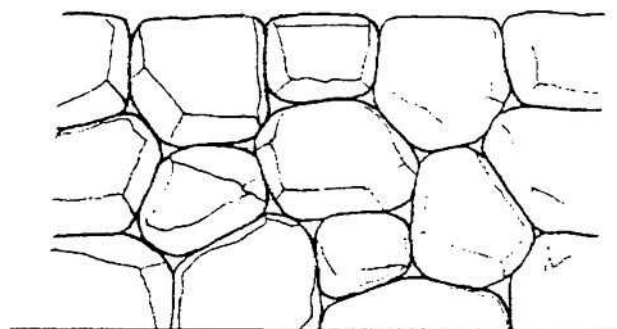
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
			S5031, S5036		15
腰石積工 (A)-1~6			備 考		
			14年9月修正 15年10月修正 21年10月修正	24年10月修正 27年10月修正 05年10月修正	

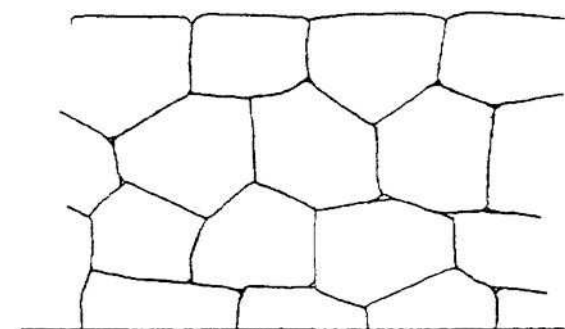
- H=0.8mまでは直とし、H=0.8~1.5mまでを2分勾配とする。
- 2m²毎に1本、水抜管 (VPφ40) を入れること。
- 背面土に法勾配が生じる場所や、車両が通行する場所には使用しないこと。
- 1.5~2.0m毎に1ヵ所、伸縮目地を入れること。
- 目地モルタルについては深目地とする。
- モルタルは、高炉セメントを使用すること。
- 裏込砕石は、H=400以上で湧水の有る場合に別途計上する。



玉 石



丹波雑石



花コウ岩雑石

令和5年10月改定

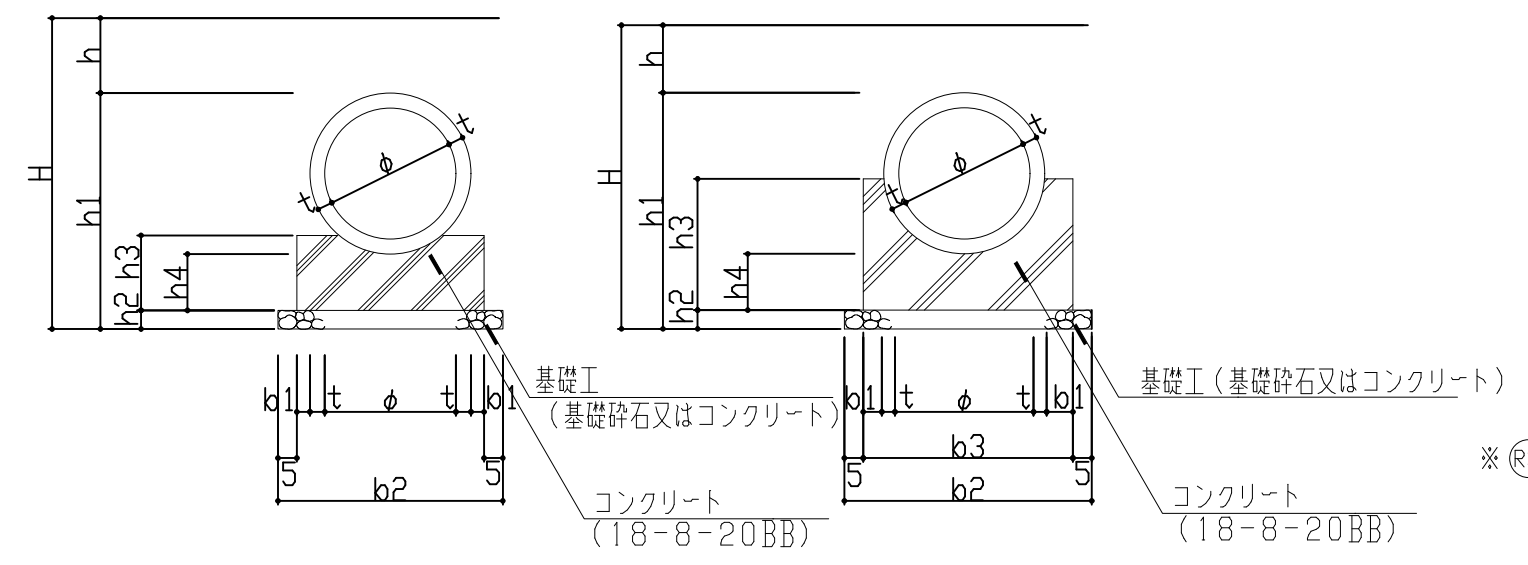
	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
神戸市公園施設標準図集		腰石積工(A) 正面図	S5031, S5036 備 考 4年7月追加 24年10月修正		16-2

(1.0m当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
基礎工	基礎砕石	径0~40 t100	m ²	-
	コンクリート	18-8-20BB		-
コンクリート	18-8-20BB	m ³	-	
ヒューム管	1種B型管	m	1.0	JIS A 5372
鉄筋工	D-13	kg	-	
〃	D-16	〃	-	
型枠損料		m ²	-	
床堀		m ³	-	
埋戻		〃	-	
残土処分		〃	-	

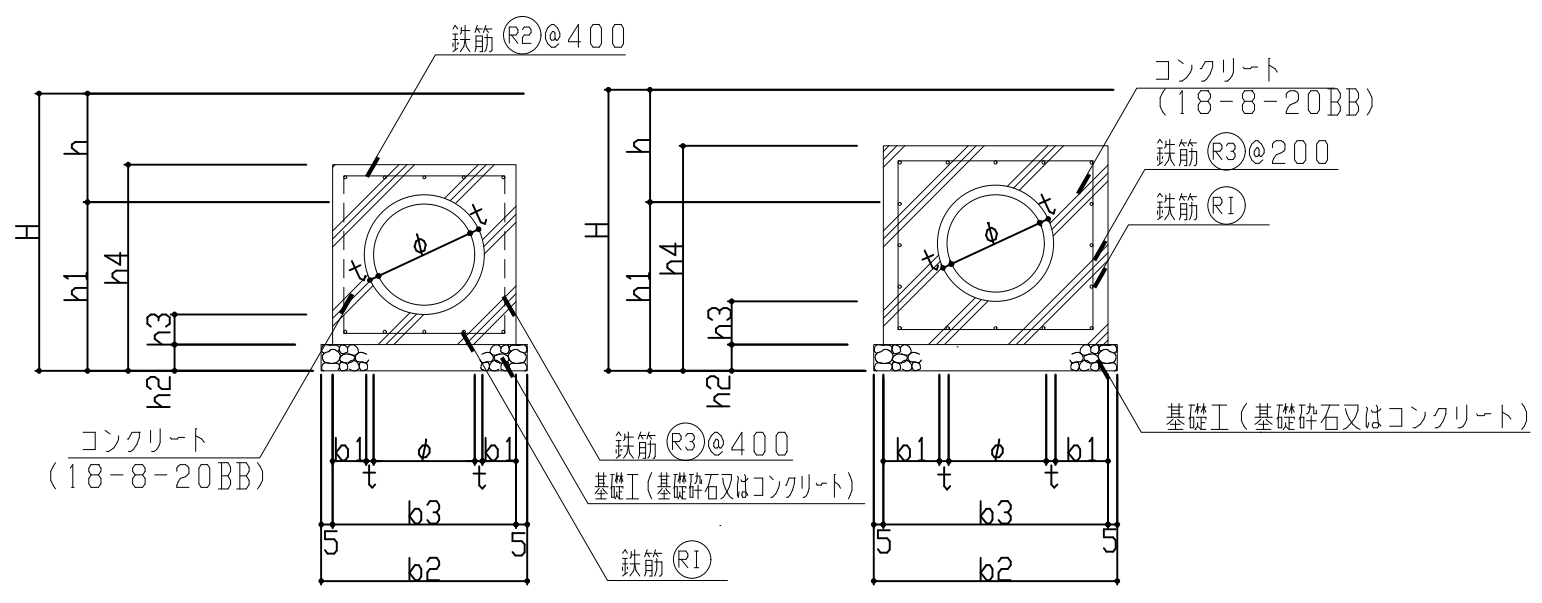
90°基礎断面図

180°基礎断面図



360°基礎 (φ ≤ 500の場合) 断面図

360°基礎 (φ 600の場合) 断面図

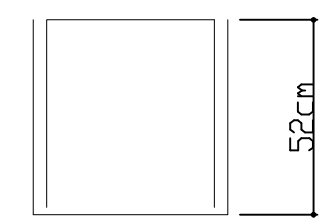
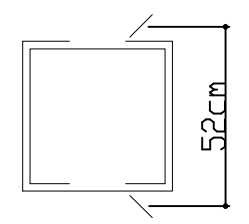


※ (R2) と (R3) は、@200で交互に配列する。

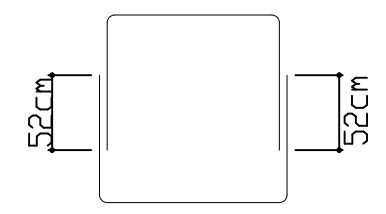
※ (R3) 鉄筋加工図

φ300以下

φ350以上



φ400以上



令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
	<ul style="list-style-type: none"> 設置にあたっては(社)日本道路協会「道路土工 擁壁・カルバート・仮設構造物工指針」を参照の事 鉄筋規格はSD345を標準とする。 	ヒューム管布設工 (φ150~φ600)	CB222860		17
			備 考		
			13年9月修正 14年9月修正 21年10月修正	23年10月修正	

表-1-1

寸 法 表 (90° 基礎) (CM)												
I 種	φ	h1			h2		h3	h4	t	b1	b2	b3
		A	B	C	A	B						
90° 基礎(150)	15	40.2	35.2	30.2	10	5	13	10	2.6	7.4	45	35
(200)	20	45.4	40.4	35.4	10	5	14	10	2.7	7.3	50	40
(250)	25	50.6	45.6	40.6	10	5	15	10	2.8	7.2	55	45
(300)	30	56.0	51.0	46.0	10	5	16	10	3.0	7.0	60	50
(350)	35	61.4	56.4	51.4	10	5	17	10	3.2	6.8	65	55
(400)	40	72.0	67.0	62.0	10	5	22	15	3.5	4.0	65	55
(450)	45	77.6	72.6	67.6	10	5	23	15	3.8	3.7	70	60
(500)	50	83.4	78.4	73.4	10	5	24	15	4.2	3.3	75	65
(600)	60	100.0	95.0	85.0	15	10	26	15	5.0	2.5	85	75

表-1-2

寸 法 表 (180° 基礎) (CM)												
I 種	φ	h1			h2		h3	h4	t	b1	b2	b3
		A	B	C	A	B						
180° 基礎(150)	15	41.1	36.1	31.1	10	5	21	10	2.6	12.4	55	45
(200)	20	45.4	40.4	35.4	10	5	23	10	2.7	12.3	60	50
(250)	25	50.6	45.6	40.6	10	5	26	10	2.8	12.2	65	55
(300)	30	56.0	51.0	46.0	10	5	28	10	3.0	12.0	70	60
(350)	35	61.4	56.4	51.4	10	5	31	10	3.2	11.8	75	65
(400)	40	72.0	67.0	62.0	10	5	39	15	3.5	11.5	80	70
(450)	45	77.6	72.6	67.6	10	5	42	15	3.8	11.2	85	75
(500)	50	83.4	78.4	73.4	10	5	45	15	4.2	10.8	90	80
(600)	60	100.0	95.0	85.0	15	10	50	15	5.0	10.0	100	90

表-1-3

寸 法 表 (360° 基礎・鉄筋入り) (CM)																		
I 種	φ	h1			h2		h3	h4	t	b1	b2	鉄 筋						b3
		A	B	C	A	B						(R1)		(R2)		(R3)		
												D13	D16	本	cm	本	cm	
360° 基礎(150)	15	40.2	35.2	30.2	10	5	10	42	2.6	10.9	52	6	—	5	32	5	116	42
(200)	20	45.4	40.4	35.4	10	5	10	46	2.7	10.3	56	6	—	5	36	5	124	46
(250)	25	50.6	45.6	40.6	10	5	10	52	2.8	10.7	62	6	—	5	42	5	136	52
(300)	30	56.0	51.0	46.0	10	5	10	56	3.0	10.0	66	6	—	5	46	5	144	56
(350)	35	61.4	56.4	51.4	10	5	10	62	3.2	10.3	72	8	—	5	52	5	156	62
(400)	40	72.0	67.0	62.0	10	5	15	78	3.5	15.5	88	10	—	5	68	5	188	78
(450)	45	77.6	72.6	67.6	10	5	15	84	3.8	15.7	94	10	—	5	74	5	200	84
(500)	50	83.4	78.4	73.4	10	5	15	90	4.2	15.8	100	—	10	5	80	5	212	90
(600)	60	100.0	95.0	85.0	15	10	15	100	5.0	15.0	110	20	—	—	—	10	232	100

基礎区分

基礎の区分	材 質	形 状 寸 法
A	基礎碎石	径0~40mm
B	コンクリート	18-8-20BB
C	な し	—

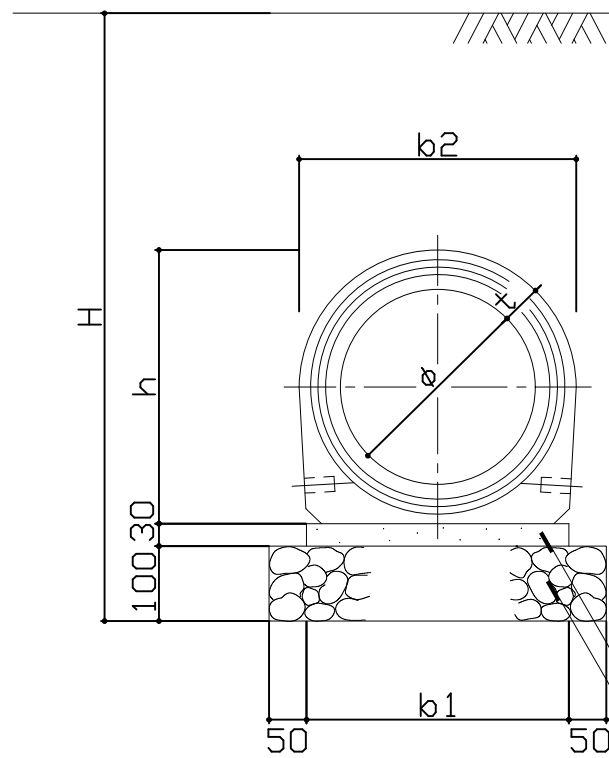
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様		名 称		コード番号	記 号	ページ
			ヒューム管布設工(φ150~φ600) 寸 法 表		CB222860		18
					備 考		
				13年9月修正 14年9月修正			

(1.0m当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
本体		m	1.0	
モルタル	空練 1:3	m ³	-	
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	-	再生砕石
床堀		m ³	-	
埋戻		〃	-	
残土処分		〃	-	

180°巻タイプ 断面図



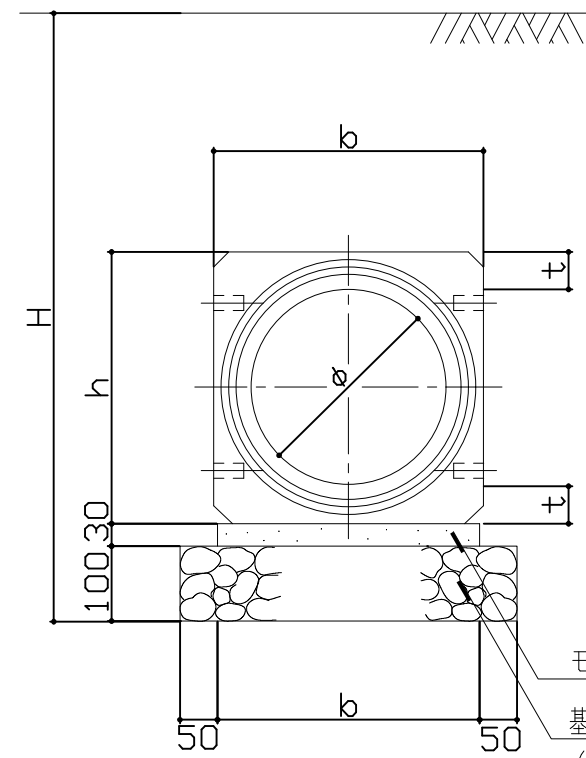
寸法表

単位cm

呼び径 (mm)	φ	h	b1	b2	t
200	20	31.2	28	31.4	5.6
250	25	36.2	33	36.4	5.6
300	30	42.0	38	42.4	6.0
350	35	47.8	44	48.2	6.4
400	40	54.0	50	54.6	7.0
450	45	60.4	56	61.0	7.7
500	50	66.6	62	67.4	8.3
600	60	78.6	73	79.6	9.3

モルタル (空練 1:3)
基礎砕石工
(径0~40、再生砕石)

360°巻タイプ 断面図



寸法表

単位cm

呼び径 (mm)	φ	h	b	t
150	15	25.4	25.4	5.2
200	20	30.8	30.8	5.4
250	25	36.2	36.2	5.6
300	30	42.0	42.0	6.0
350	35	47.8	47.8	6.4
400	40	54.0	54.0	7.0
450	45	60.4	60.4	7.7
500	50	66.6	66.6	8.3
600	60	78.6	78.6	9.3

モルタル (空練 1:3)
基礎砕石工
(径0~40、再生砕石)

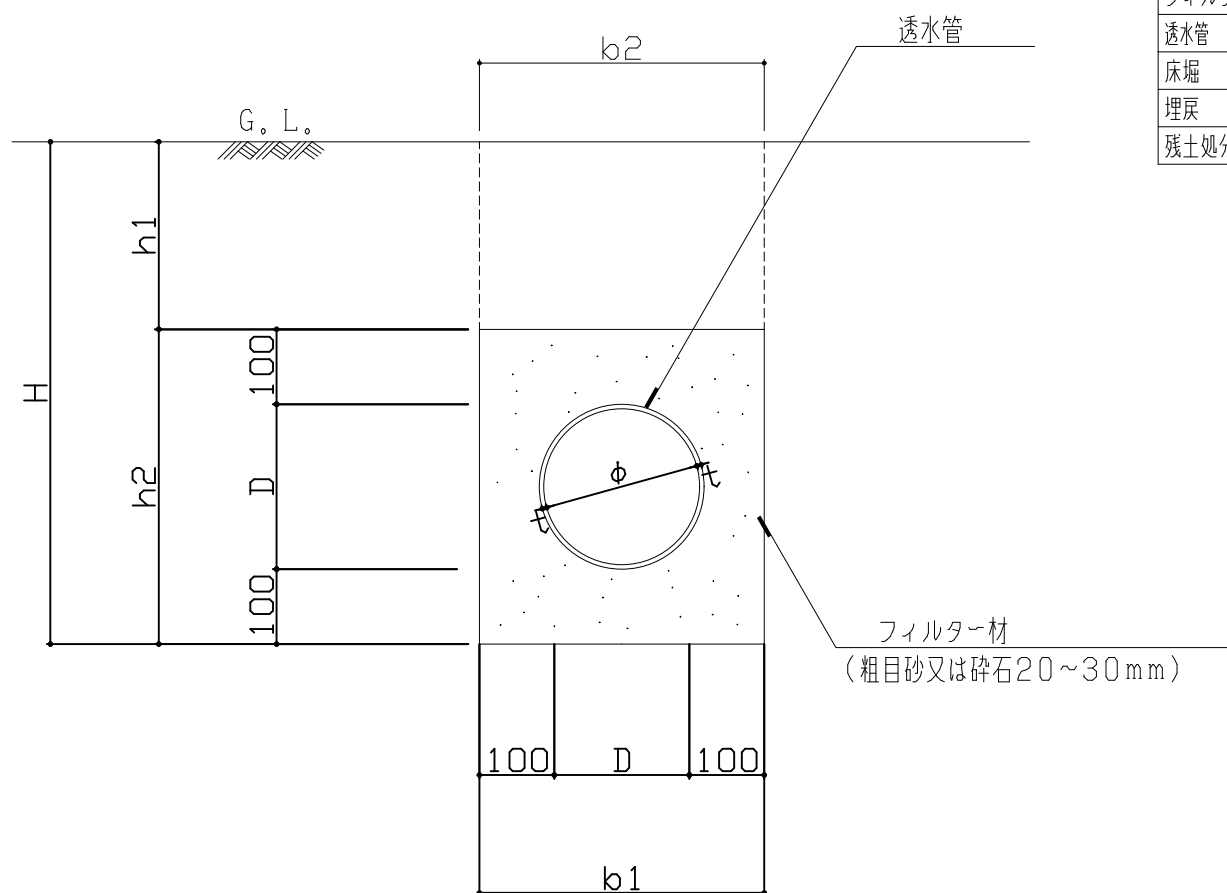
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記	号	ページ
					CB222850	備	考	20-1
					13年9月修正 05年10月修正 14年9月修正			

ヒューム管布設工 (基礎一体型)

(1.0m当り)

名称	形状寸法	単位	数量					摘要
			φ50	φ75	φ100	φ150	φ200	
フィルター材	粗目砂又は碎石20~30mm	m ³	下記数量表参照					
透水管	波状・網状	m	1.0					
床堀		m ³	-					
埋戻		''	-					
残土処分		''	-	-	-	-	-	



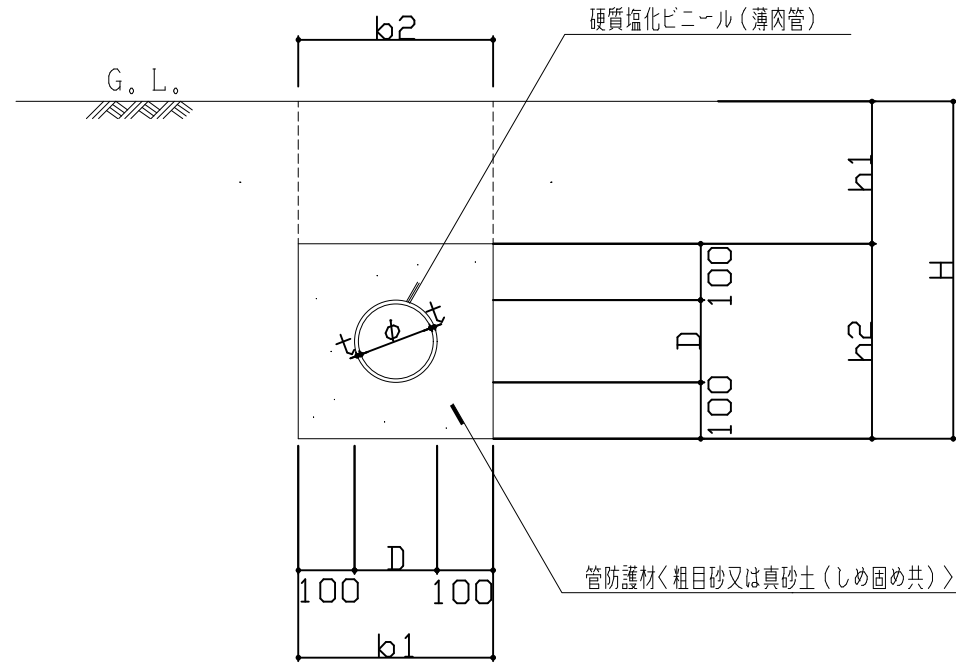
単位：mm

呼び径	D (外径)	b1	b2	h2	フィルター材 (m ³)
φ50	60	260	260	260	0.06
φ75	84	285	285	285	0.07
φ100	110	310	310	310	0.08
φ150	160	360	360	360	0.10
φ200	210	410	410	410	0.13

令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様 名 称 透水管工 ・埋戻は、良質土によること。	コード番号	記号	ページ
		CB222770		21-1
		備考 14年9月修正 21年10月修正 15年10月修正 29年10月修正		

(1.0m当り)



名称	形状寸法	単位	数量					摘要
			φ150	φ200	φ250			
管防護材	粗目砂又は真砂土	m ³	下記数量表参照					
硬質塩化ビニール管	薄肉管	m	1.0					
床堀		m ³	-					
埋戻		〃	-					
残土処分		〃	-	-	-			

単位：mm

呼び径	D (外径)	b1	b2	h2	管防護剤 (m ³)
φ150	165	365	365	365	0.11
φ200	216	416	416	416	0.13
φ250	267	467	467	467	0.16

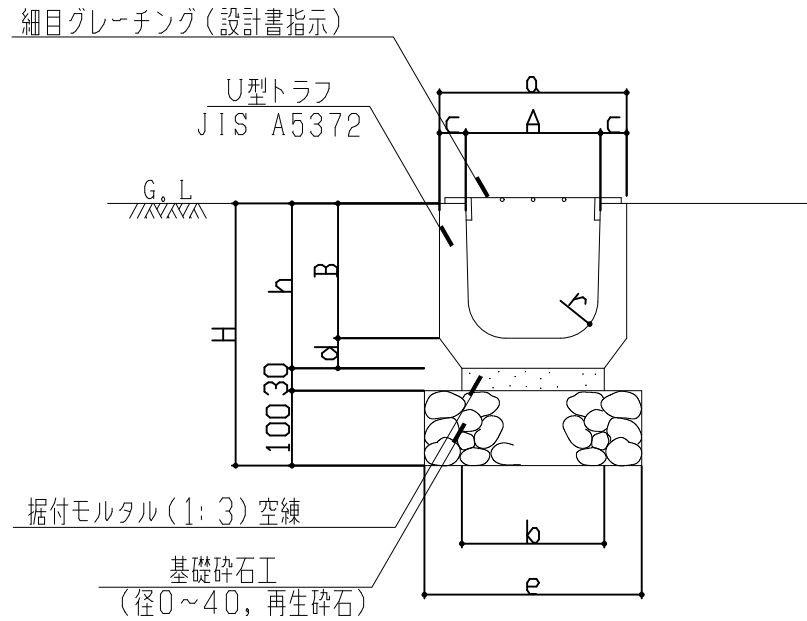
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記号	ページ
					WB610370		21-2
					備考		
					14年9月修正 21年10月修正 15年10月修正 05年10月修正		

- ・集水樹等に接続する場合は、砂つき管を使用すること。
- ・硬質塩化ビニール管の接合方式は、ゴム輪接合方式とする。
- ・ゴム輪形受口の形状及び寸法は、JIS K6741によること。
- ・埋戻は、良質土によること。

硬質塩化ビニール管工

タイプ1 断面図



(1.0m当り)

名称	形状寸法	単位	数量						摘要
			T-15	T-18	T-24	T-30(A)	T-30(B)	T-30(C)	
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.2	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	再生砕石
据付モルタル	空練1:3	m ³	0.004	0.005	0.007	0.009	0.009	0.009	
U型トラフ		m	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	JIS A5372
細目グレーチング	T-2(軽荷重)	枚	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	設計書指示
床掘		m ³	-	-	-	-	-	-	
埋戻		〃	-	-	-	-	-	-	
残土処分		〃	-	-	-	-	-	-	

寸法表

単位:mm

名称	A	B	H	a	b	c	d	e	h	r
T-15	150	150	315	210	160	30	35	260	185	30
T-18	180	180	350	250	190	35	40	290	220	50
T-24	240	240	420	330	240	45	50	340	290	50
T-30(A)	300	240	430	400	300	50	60	400	300	50
T-30(B)	300	300	490	400	300	50	60	400	360	50
T-30(C)	300	360	555	400	300	50	65	400	425	50

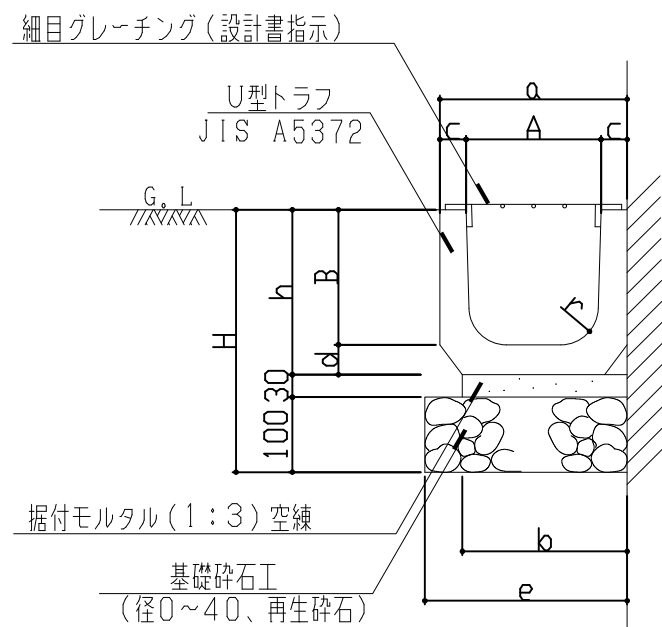
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記	号	ペー	ジ
					WB821410				22
					備考				
					13年9月修正 14年9月修正 29年10月修正	18年3月修正 25年10月修正			

- 目地巾は10mmを標準とし、目地モルタル(1:2)使用とする。
- モルタルは、高炉セメントを使用すること。

U型側溝工(U型トラフ)(T-15~T-30)
タイプ-1

タイプ2 断面図



(1.0m当り)

名称	形状寸法	単位	数量						摘要
			T-15	T-18	T-24	T-30(A)	T-30(B)	T-30(C)	
基礎砕石工	t100	m ²	0.2	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	再生砕石
据付モルタル	空練1:3	m ³	0.005	0.006	0.008	0.010	0.010	0.010	
U型トラフ		m	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	JIS A5372
細目グレーチング	T-2 (軽荷重)	枚	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	設計書指示
床堀		m ³	-	-	-	-	-	-	
埋戻		〃	-	-	-	-	-	-	
残土処分		〃	-	-	-	-	-	-	

寸法表

単位: mm

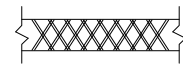
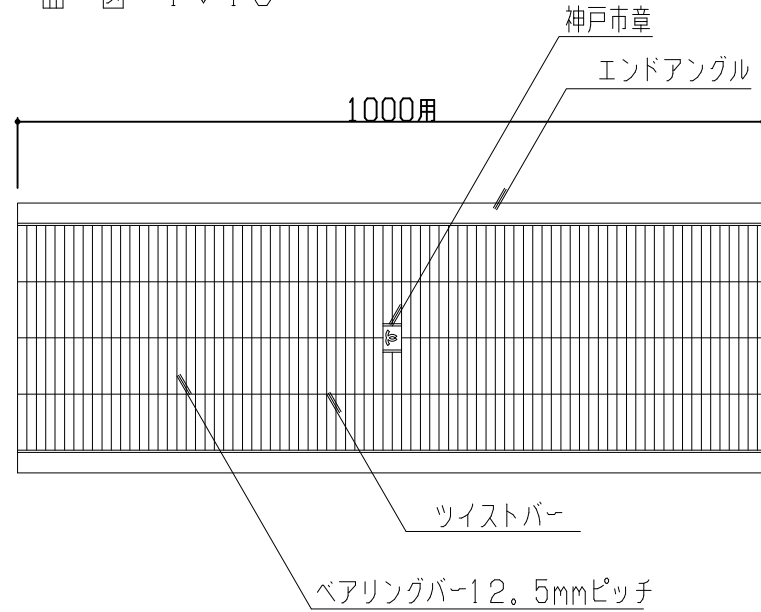
名称	A	B	H	a	b	c	d	e	h	r
T-15	150	150	315	210	185	30	35	235	185	30
T-18	180	180	350	250	220	35	40	270	220	50
T-24	240	240	420	330	285	45	50	335	290	50
T-30(A)	300	240	430	400	350	50	60	400	300	50
T-30(B)	300	300	490	400	350	50	60	400	360	50
T-30(C)	300	360	555	400	350	50	65	400	425	50

令和5年10月改定

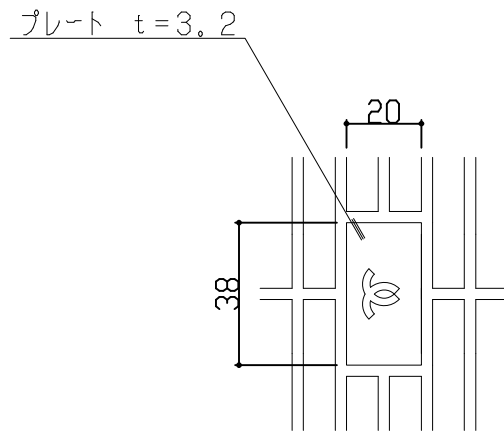
神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記	号	ページ
					WB821410			23-1
U型側溝工 (U型トラフ) (T-15~T-30) タイプ-2					備考			
					13年 9月修正 14年 9月修正 29年10月修正	18年3月修正 25年10月修正		

- 目地巾は10mmを標準とし、目地モルタル(1:2)使用とする。
- モルタルは、高炉セメントを使用すること。

平面図 1:10

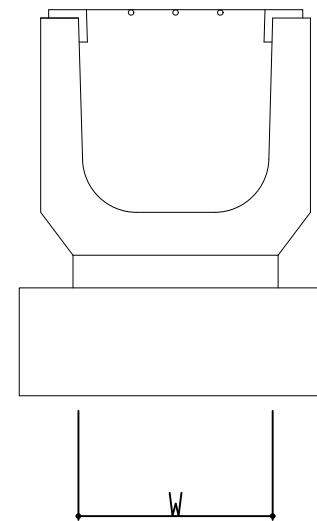


ベアリングバー上面
(ノンスリップ)



市章プレート

断面図 1:10



みぞ幅W
150
180
240
300

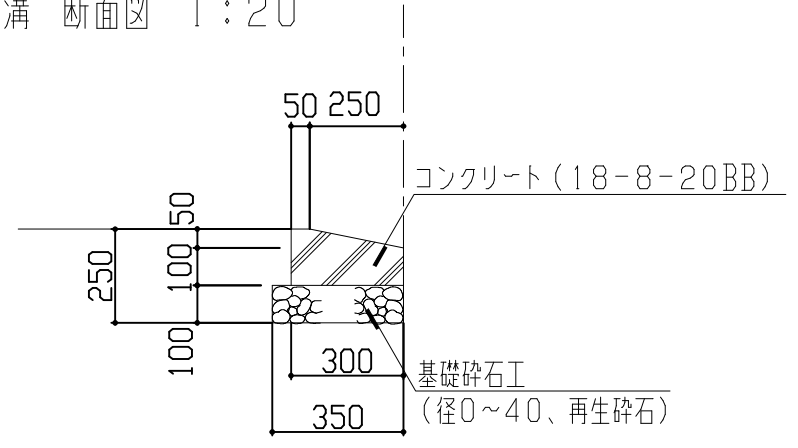
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
			WB821430		23-2
			備考		
			6年7月修正 29年10月修正 25年10月修正		

- ・荷重はT-2(軽荷重)とする。
- ・グレーチング同士必要に応じて連結させること。
- ・表面はノンスリップタイプとする。

U型側溝工(U型17) (T-15~T-30)
細目グレーチング蓋

皿溝 断面図 1:20



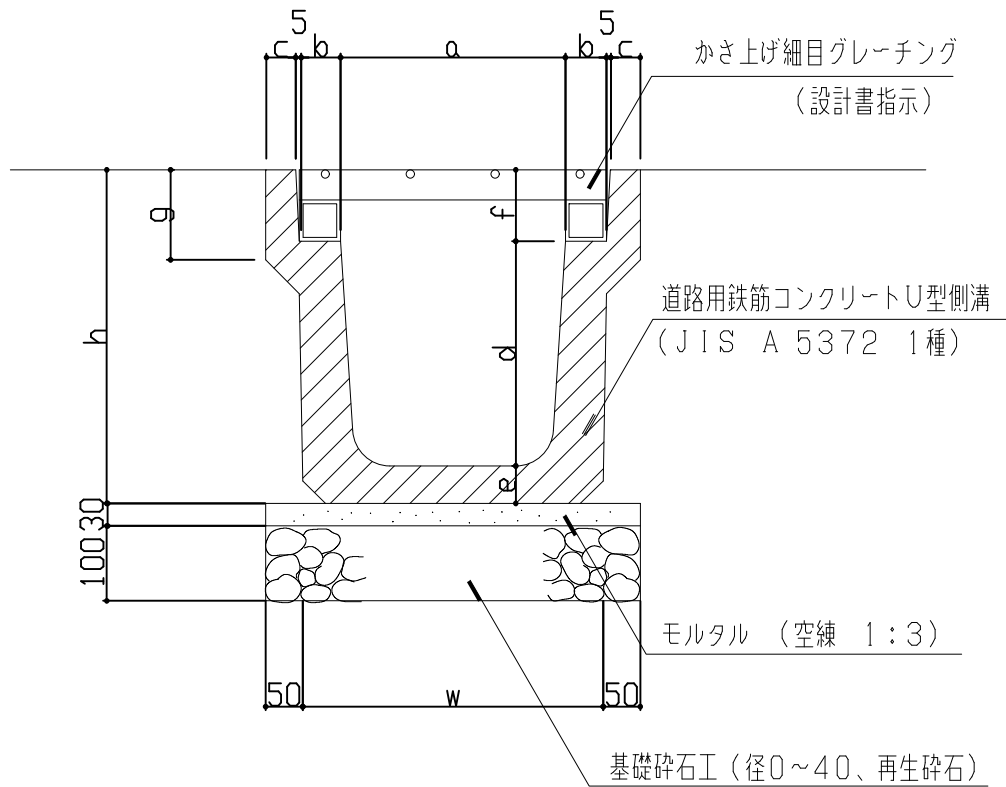
(1.0m当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.3	再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.03	
型枠損料		m ²	0.1	
床堀		m ³	-	
埋戻		〃	-	
残土処分		〃	-	

令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記	号	ページ
					S5075			
					13年9月修正 14年9月修正			

(1.0m当り)



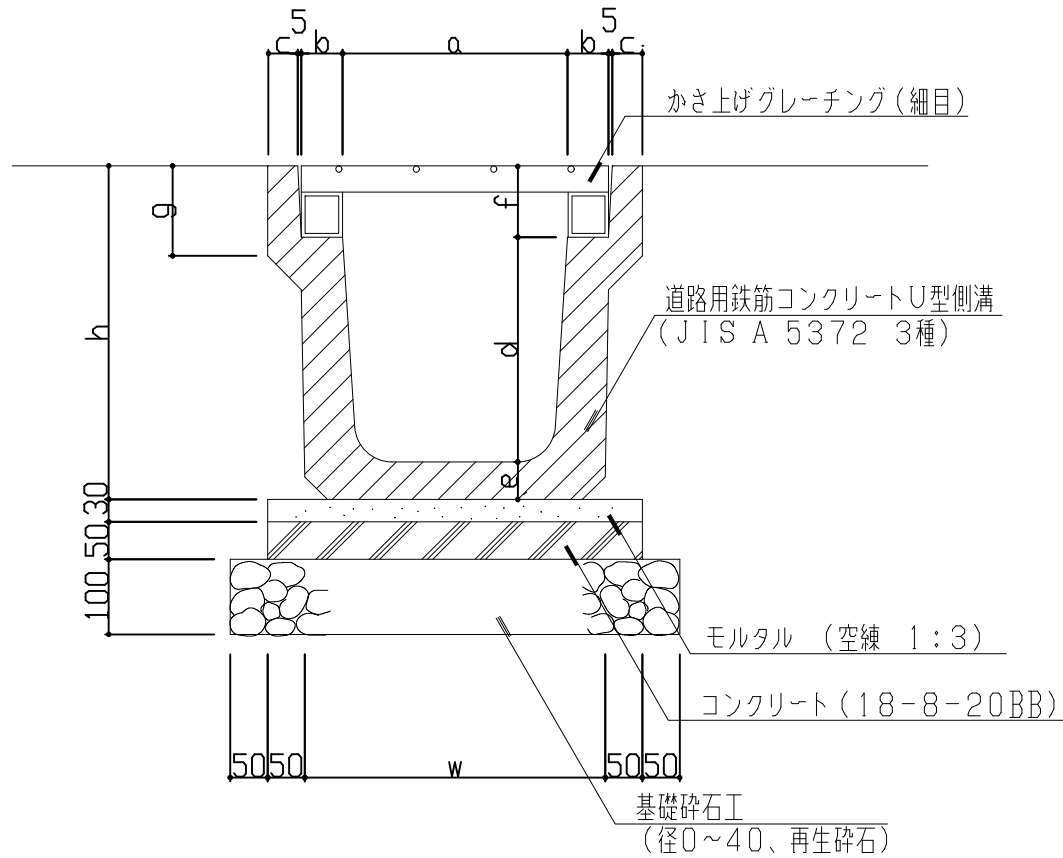
名称	形状寸法	単位	数量								摘要
			250	300A	300B	300C	400A	400B	500A	500B	
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.4	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.7	0.7	再生砕石
モルタル	空練 1:3	m ³	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	
道路用鉄筋コンクリートU型側溝	1種	m	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	JIS A 5372
かさ上げグレーチング	T-2 (細目)	枚	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	設計書指示
床堀		m ³	-	-	-	-	-	-	-	-	
埋戻		〃	-	-	-	-	-	-	-	-	
残土処分		〃	-	-	-	-	-	-	-	-	

寸法表 単位: mm

名称	a	b	c	d	e	f	g	h	w	L(長さ)
250	250	55	40	250	55	90	120	395	360	2,000
300A	300	55	40	300	60	95	120	455	410	2,000
300B	300	55	40	400	65	95	120	560	410	2,000
300C	300	55	40	500	70	95	120	665	410	2,000
400A	400	55	40	400	65	110	135	575	510	2,000
400B	400	55	40	500	70	110	135	680	510	2,000
500A	500	60	45	500	70	125	150	695	610	2,000
500B	500	60	45	600	75	125	150	800	610	2,000

- 目地幅は10mmを標準とし、目地モルタル(1:2)を使用すること。
- グレーチングの荷重はT-2とし、歩行者用とする。
- グレーチング同士必要に応じて連結させること。
- モルタルは、高炉セメントを使用すること。

(1.0m当り)



名称	形状寸法	単位	数量								摘要
			250	300A	300B	300C	400A	400B	500A	500B	
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.5	0.6	0.6	0.6	0.7	0.7	0.8	0.8	再生碎石
モルタル	空練 1:3	m ³	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	
道路用鉄筋コンクリートU型側溝	3種	m	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	JIS A 5372
かさ上げグレーチング	T-6 (細目)	枚	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	設計書指示
コンクリート	18-8-20	m ³	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	
型枠損料		m ²	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	
床堀		m ³	-	-	-	-	-	-	-	-	
埋戻		〃	-	-	-	-	-	-	-	-	
残土処分		〃	-	-	-	-	-	-	-	-	

寸法表

単位: mm

名称	a	b	c	d	e	f	g	h	w	L (長さ)
250	250	55	45	250	65	90	120	405	360	2,000
300A	300	55	50	300	70	95	140	465	410	2,000
300B	300	55	50	400	70	95	140	565	410	2,000
300C	300	55	50	500	80	95	140	675	410	2,000
400A	400	55	55	400	70	110	140	560	510	2,000
400B	400	55	55	500	80	110	140	690	510	2,000
500A	500	60	60	500	80	125	155	705	620	2,000
500B	500	60	60	600	90	125	175	815	620	2,000

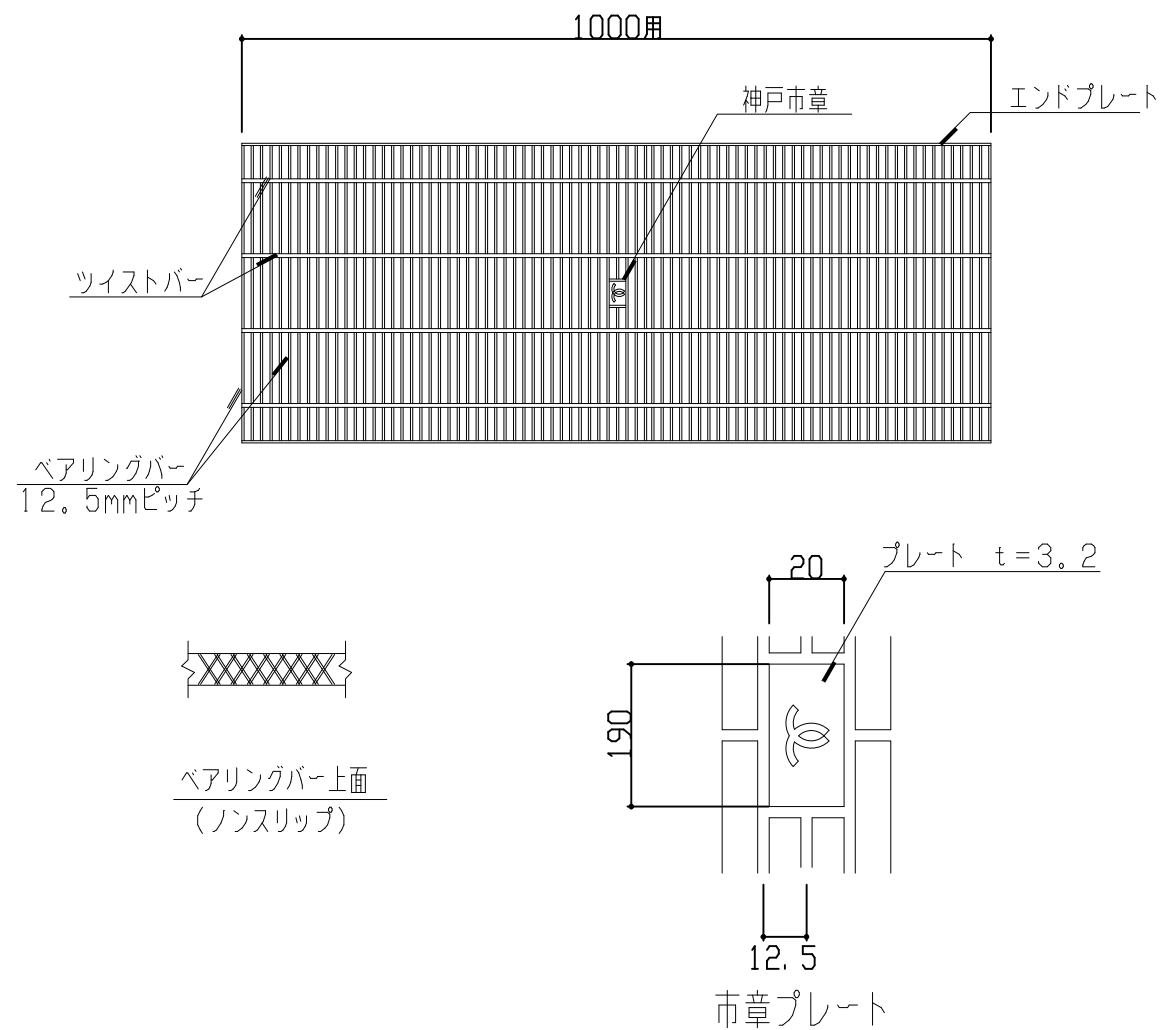
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
			WB821410		
			備 考		
	<ul style="list-style-type: none"> 目地幅は10mmを標準とし、目地モルタル(1:2)を使用すること。 グレーチングの荷重はT-6とし、管理車両通行用とする。 グレーチング同士必要に応じて連結させること。 モルタルは、高炉セメントを使用すること。 	U型側溝工(プレキャスト) - 2	13年9月修正 14年8月修正 25年10月修正	27年10月修正 28年10月修正	25-2

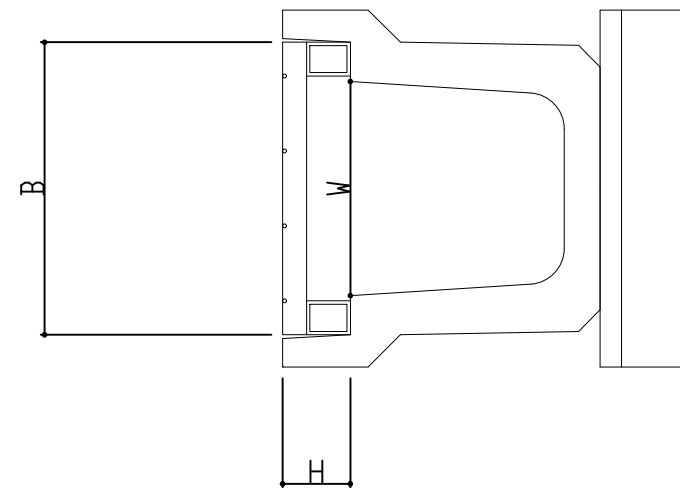
寸法表

B	W	H	
360	250	90	T 2 用
410	300	95	
510	400	110	
620	500	125	
360	250	90	T 6 用
410	300	95	
510	400	110	
620	500	125	

平面図 1:10



断面図 1:10



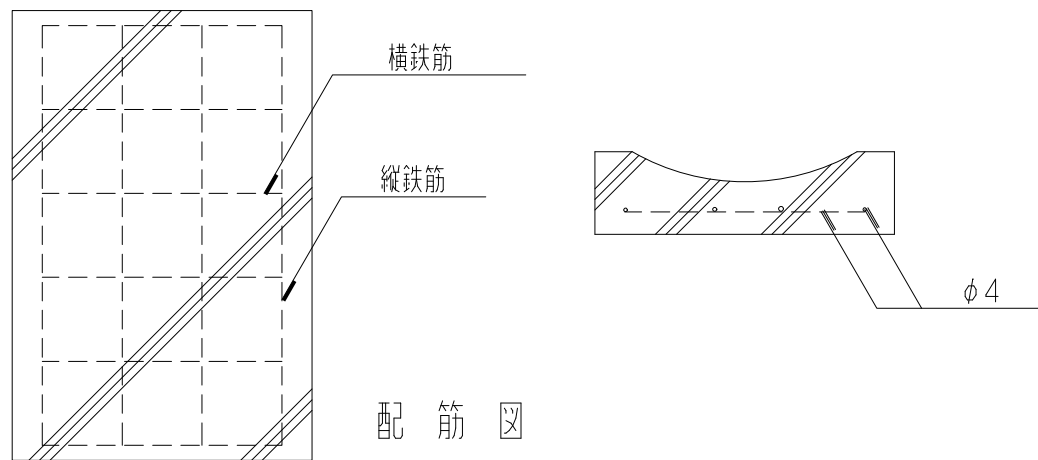
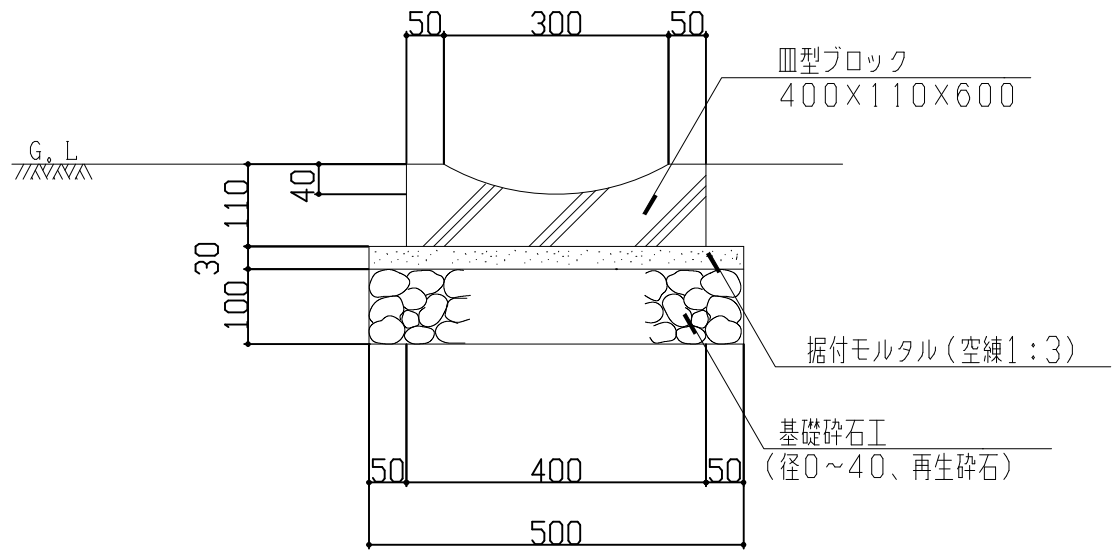
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
			WB821430		26
			備 考		
			6年7月修正 25年10月修正		

- ・グレーチング同士必要に応じて連結させること。
- ・表面はノンスリップタイプとする。

U型側溝工(プレキャスト)
細目かさ上げグレーチング蓋

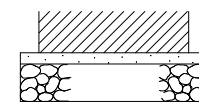
皿型ブロック工 1:10



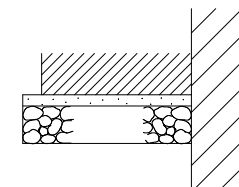
(1.0m当り)

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			タイプ-1	タイプ-2	
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.5	0.4	再生砕石
据付モルタル	空練, 1:3	m ³	0.01	0.01	
皿型ブロック	コンクリート打ちはなし	m	1.0	1.0	
	洗出(白ミカゲ、金華、鹿島、蛇紋)				
	擬石皿型(錆、万成を除く)				
床掘		m ³	-	-	
埋戻		"	-	-	
残土処分		"	-	-	

タイプ-1



タイプ-2



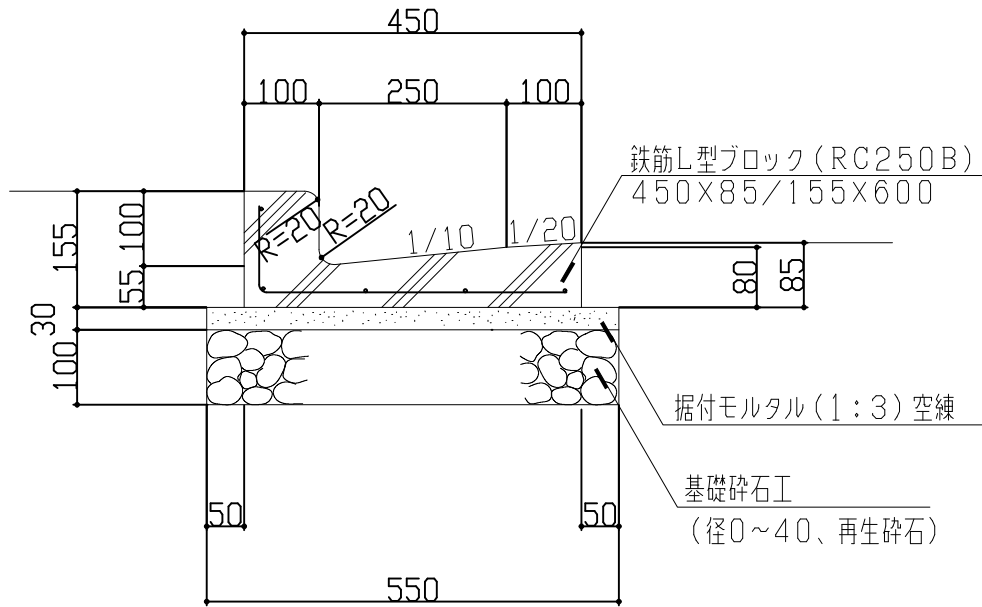
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	<ul style="list-style-type: none"> 目地巾は10mmとし目地モルタル(1:2)使用とする。 車椅子の通行には適さない。 モルタルは、高炉セメントを使用すること。 歩行者動線には設置しないこと。 	皿型ブロック工	WC698500		27
			備考		
			13年9月修正 21年10月修正 14年9月修正		

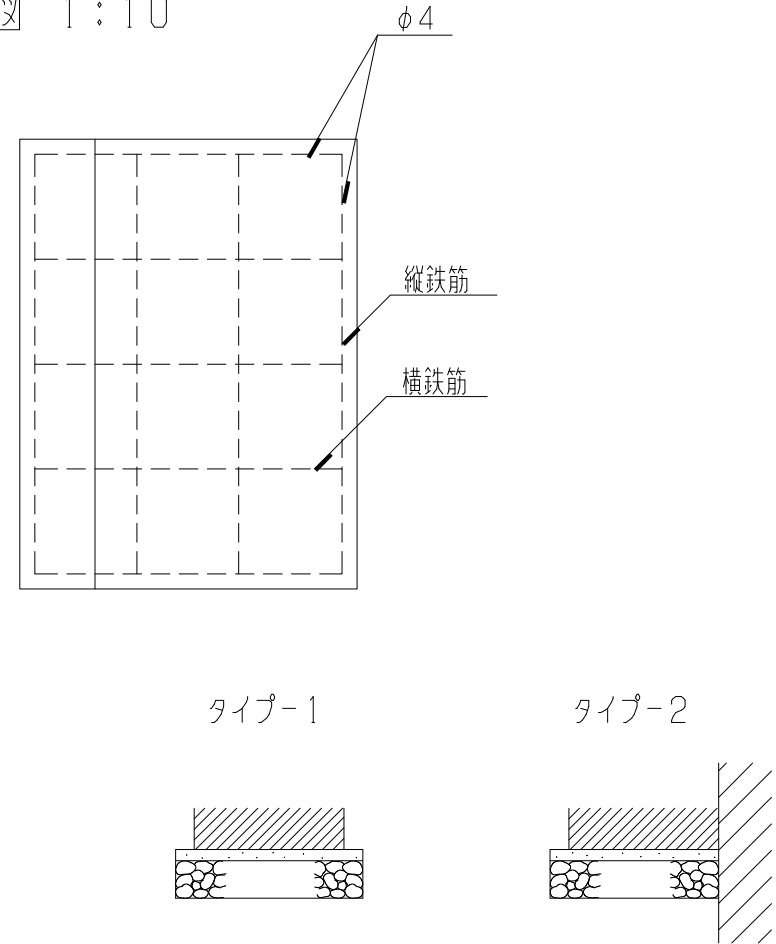
(1.0m当り)

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			タイプ-1	タイプ-2	
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.5	0.45	再生砕石
据付モルタル	空練1:3	m ³	0.01	0.01	
鉄筋L型ブロック	450×85/155×600	m	1.0	1.0	JIS A 5372 RC250B
床掘		m ³	-	-	
埋戻		〃	-	-	
残土処分		〃	-	-	

L型ブロック工 1:10



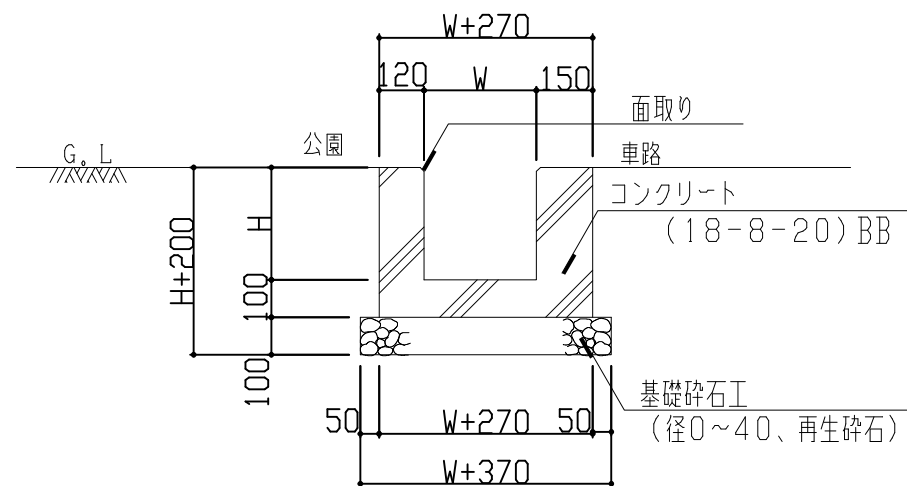
配筋図 1:10



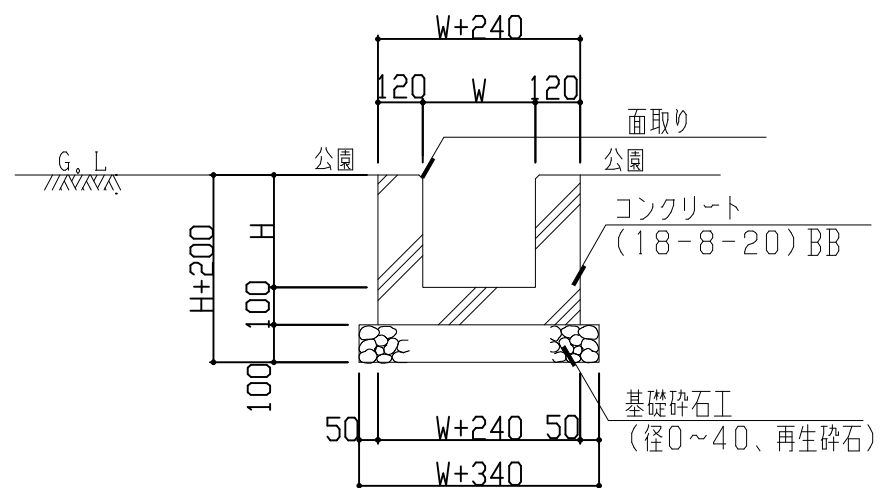
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
			WC698500		28
<ul style="list-style-type: none"> 目地巾は10mmとし目地モルタル(1:2)使用とする。 モルタルは、高炉セメントを使用すること。 		L 型 ブ ロ ッ ク I	備 考		
			13年9月修正 27年10月修正 14年9月修正 28年10月修正 18年3月修正		

U型側溝 (A) 断面図 1:20



U型側溝 (B) 断面図 1:20



(1.0m当り)

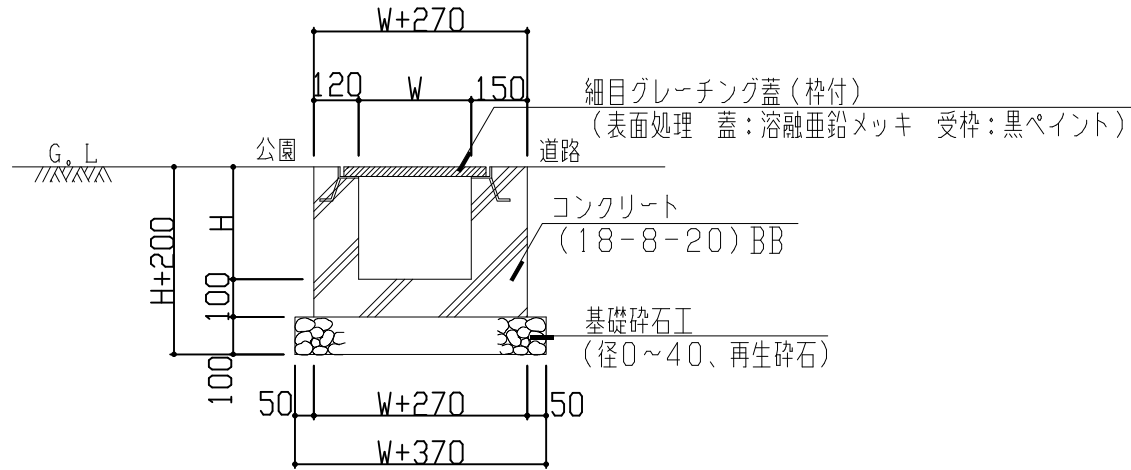
	名称	形状寸法	単位	数量	摘要
(A)	基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	W+0.37	再生砕石
	コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.1W+0.27H+0.027	
	型枠損料		m ²	4H+0.44	
	床掘		m ³	-	
	埋戻		〃	-	
	残土処分		〃	-	
(B)	名称	形状寸法	単位	数量	摘要
	基礎砕石工	径0~40、t100	m ²	W+0.34	再生砕石
	コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.1W+0.24H+0.024	
	型枠損料		m ²	4H+0.44	
	床掘		m ³	-	
	埋戻		〃	-	
残土処分		〃	-		

注) 側溝深さは、150 ≤ H ≤ 600とする。
側溝幅は、250、300、400、500の4種とする。

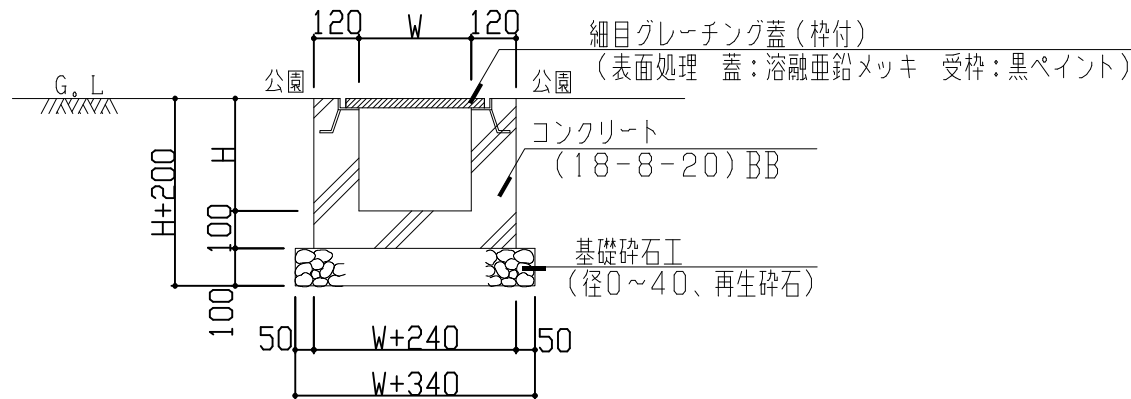
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記	号	ペ	ージ
			U型側溝工(現場打)	(A)(B)	S5065				29
					備考				
					13年9月修正 28年10月修正 14年9月修正				

U型側溝(D)断面図 1:20



U型側溝(E)断面図 1:20



(1.0m当り)

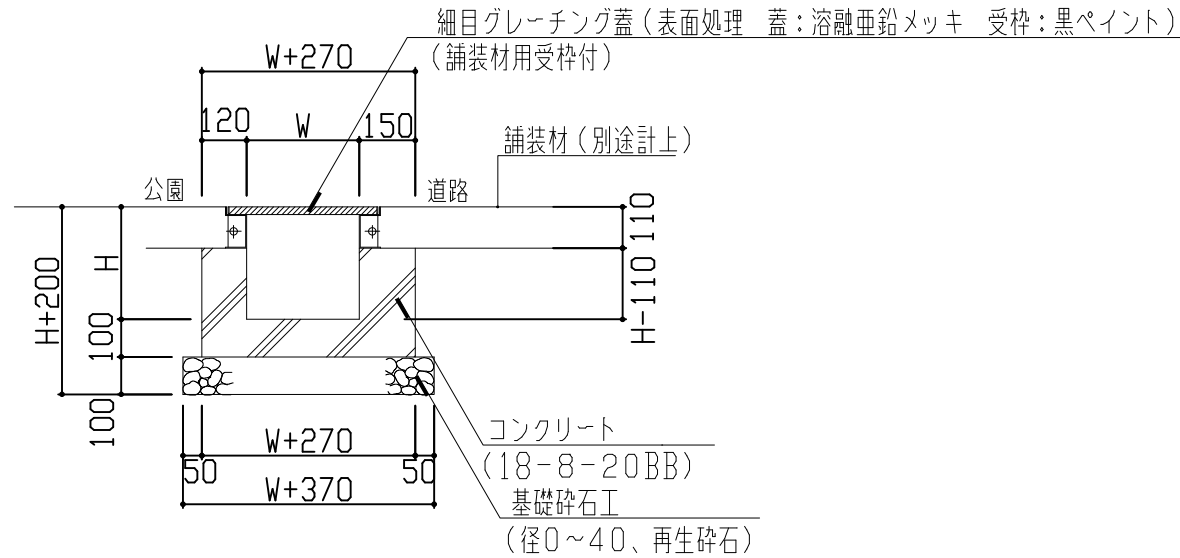
	名称	形状寸法	単位	数	量	摘要
	(D)	基礎碎石工	径0~40 t100	m ²	W+0.37	
コンクリート		18-8-20BB	m ³	0.1W+0.27H+0.027		
型枠損料			m ²	4H+0.44		
細目グレーチング		枠付	枚	1.0		設計書指示
床堀			m ³	-		
埋戻			〃	-		
残土処分			〃	-		
(E)	名称	形状寸法	単位	数	量	摘要
	基礎碎石工	径0~40、t100	m ²	W+0.34		再生碎石
	コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.1W+0.24H+0.024		
	型枠損料		m ²	4H+0.44		
	細目グレーチング	枠付	枚	1.0		設計書指示
	床堀		m ³	-		
	埋戻		〃	-		
残土処分		〃	-			

注) 側溝深さは、150 ≤ H ≤ 600とする。
側溝幅は250、300、400、500の4種とする。

令和5年10月改定

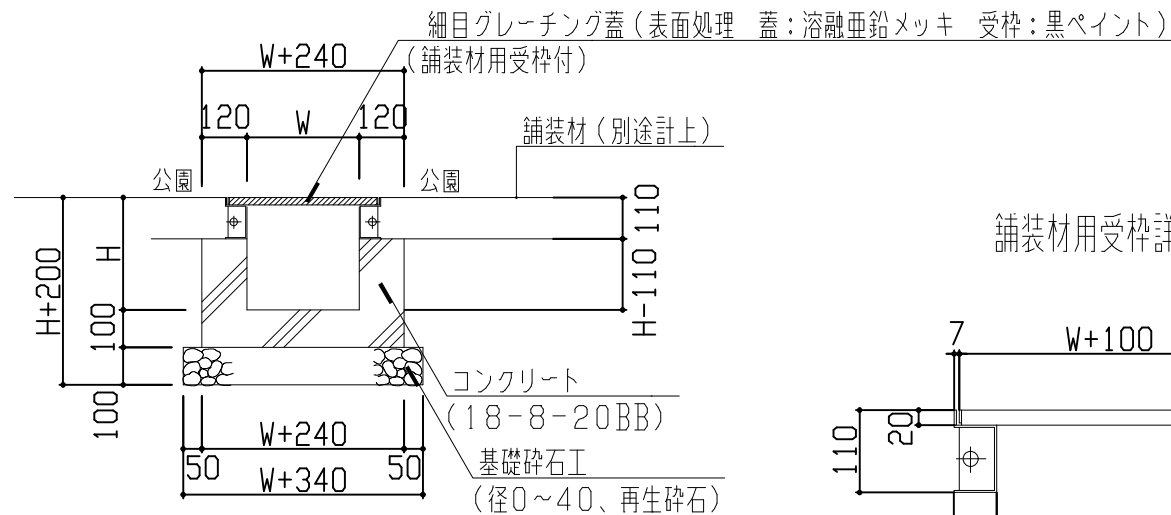
神戸市公園施設標準図集	仕 様 ・グレーチング同士、必要に応じて連結させること。	名 称 U型側溝工(現場打)(D)(E)蓋付	コード番号	記 号	ペー ジ 30
			S5065		
			備 考 14年9月修正 25年10月修正 15年9月修正 27年10月修正 18年3月修正 28年10月修正		

U型側溝(F)断面図 1:20



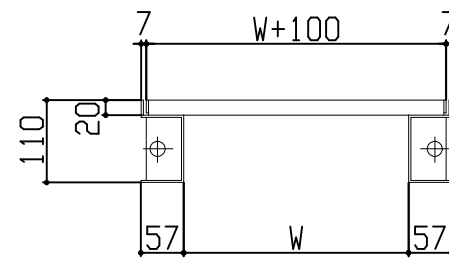
(1.0m当り)					
	名称	形状寸法	単位	数量	摘要
(F)	基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	W+0.37	再生砕石
	コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.1W+0.27H-0.002	
	型枠損料		m ²	4H+0.04	
	細目グレーチング	舗装材用受枠付	枚	1.0	設計書指示
	床掘		m ³	-	
	埋戻		〃	-	
	残土処分		〃	-	
(G)	名称	形状寸法	単位	数量	摘要
	基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	W+0.34	再生砕石
	コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.1W+0.24H-0.002	
	型枠損料		m ²	4H+0.04	
	細目グレーチング	舗装材用受枠付	枚	1.0	設計書指示
	床掘		m ³	-	
	埋戻		〃	-	
残土処分		〃	-		

U型側溝(G)断面図 1:20

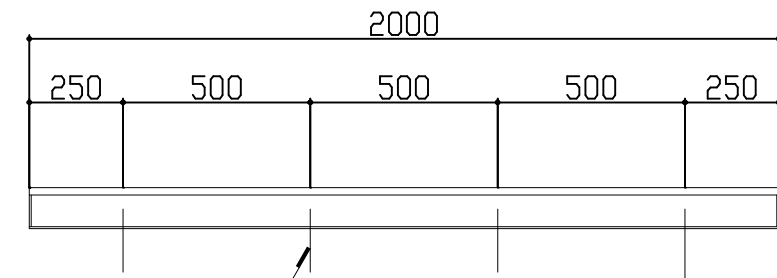


注)側溝深さは、150≦H≦600とする。
側溝幅は250、300、400、500の4種とする。

舗装材用受枠詳細図



断面図 1:10



アンカーボルト(M12)
@500

側面図 1:20

令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
			S5065		
			備 考		
14年9月修正 15年9月修正 18年3月修正	25年10月修正 27年10月修正 28年10月修正	U型側溝工(現場打)(F)(G)蓋付		30-2	

・グレーチング同士、必要に応じて連結させること。
・舗装材用受枠は、錆止塗装(1回塗り)とする。

U型側溝工(現場打)(F)(G)蓋付

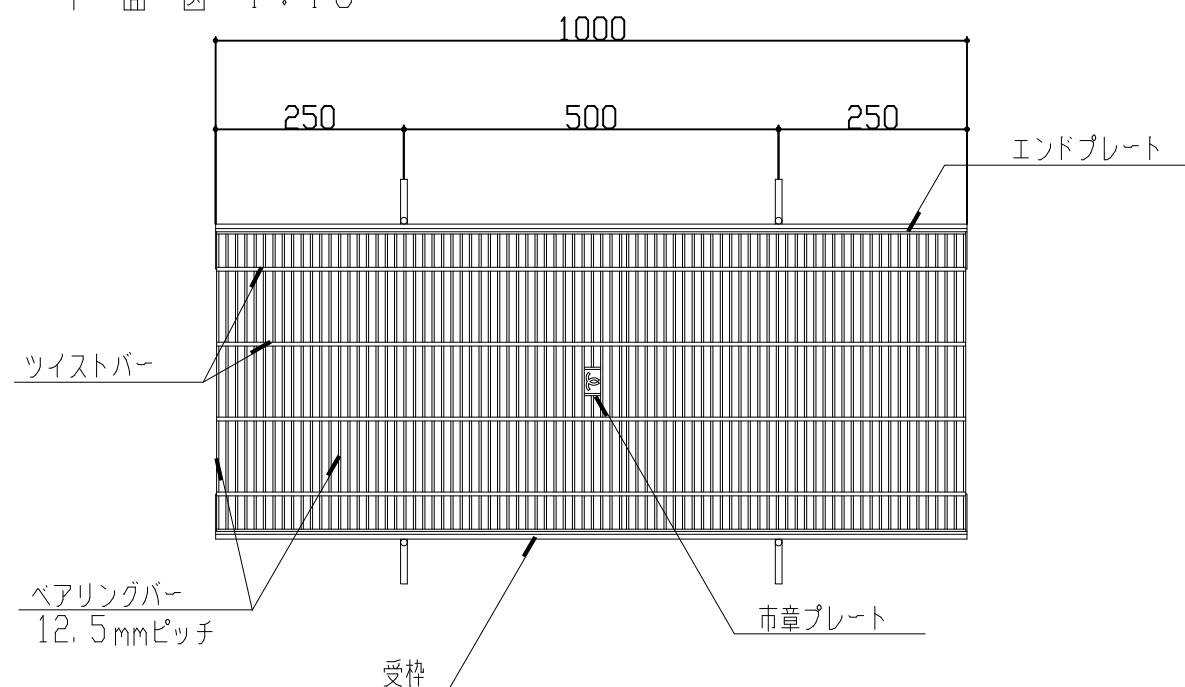
14年9月修正
15年9月修正
18年3月修正

25年10月修正
27年10月修正
28年10月修正

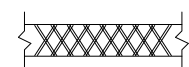
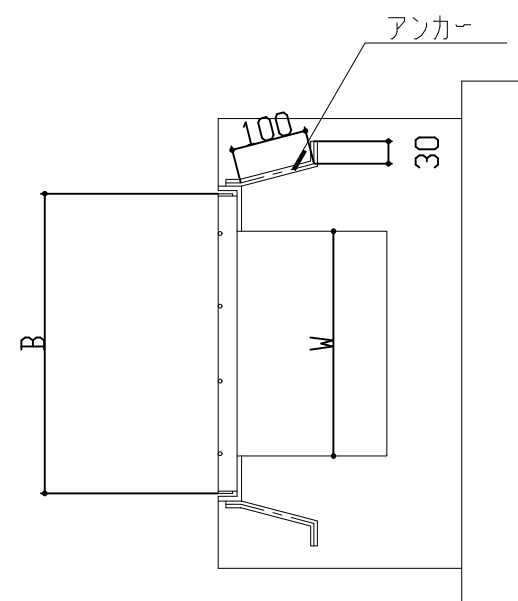
30-2

B	W	T 2 用
350	250	
400	300	
500	400	
600	500	T 6 用
350	250	
400	300	
500	400	
600	500	

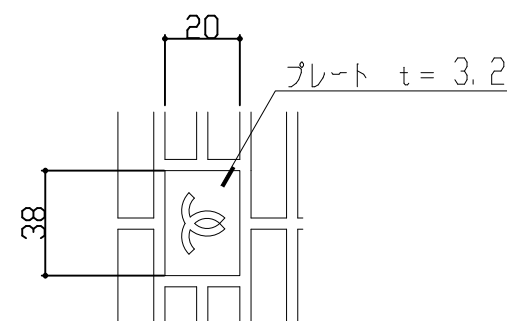
平面図 1:10



断面図 1:10



ベアリングバー上面
(ノンスリップ)

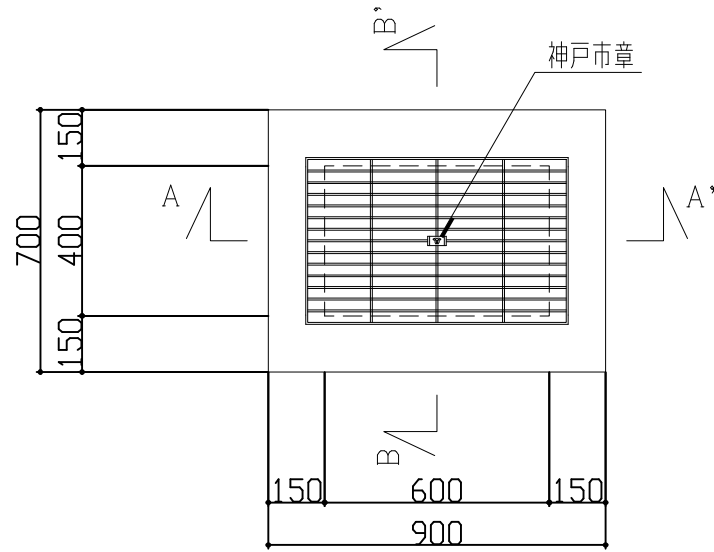


市章プレート

令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
			S5065		
			備 考		
	<ul style="list-style-type: none"> ・グレーチング同士必要に応じて連結させること。 ・(F)(G)については、受枠を含まない。 ・表面はノンスリップタイプとする。 	U型側溝工(現場打)(D)~(G) 細目グレーチング蓋	6年7月修正 25年10月修正 24年10月修正 27年10月修正		31

平面図 1:20



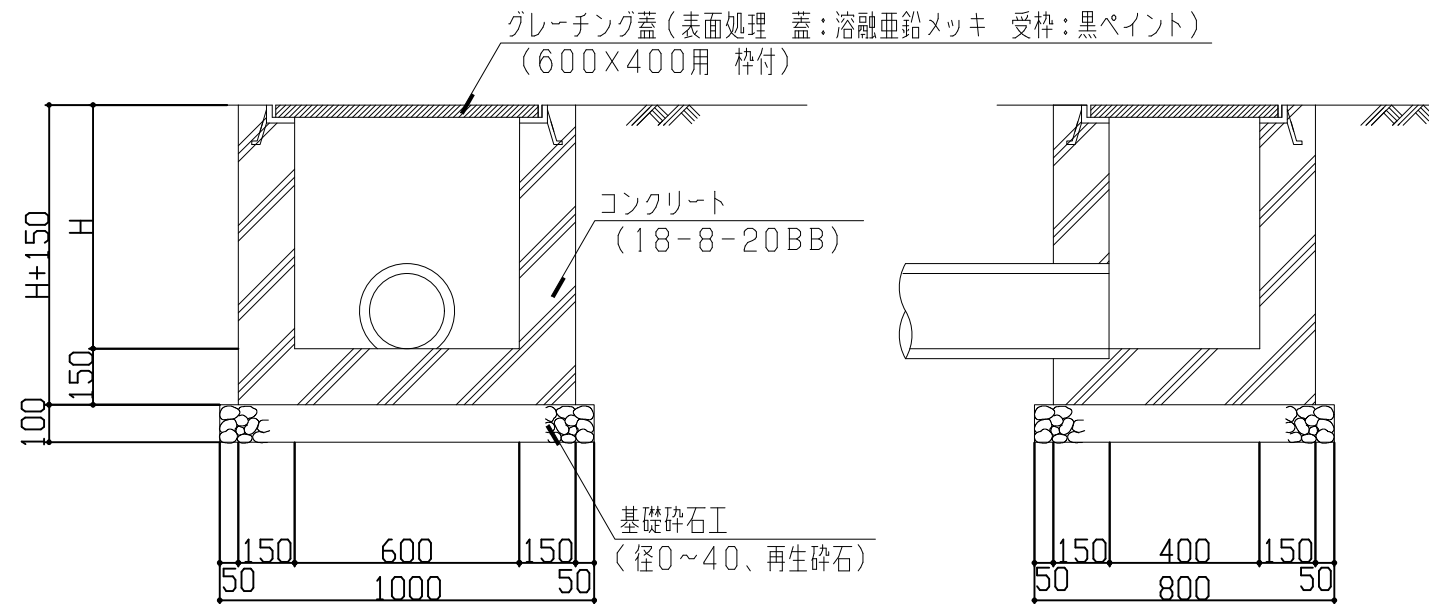
(1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.8	再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.39H+0.094	
型枠損料		m ²	5.2H+0.78	
グレーチング蓋	600×400用 枠付	枚	1.0	設計書指示
床掘		m ³	-	
埋戻		〃	-	
残土処分		〃	-	

使用範囲 H=0.6~1.2m

A-A' 断面図 1:20

B-B' 断面図 1:20

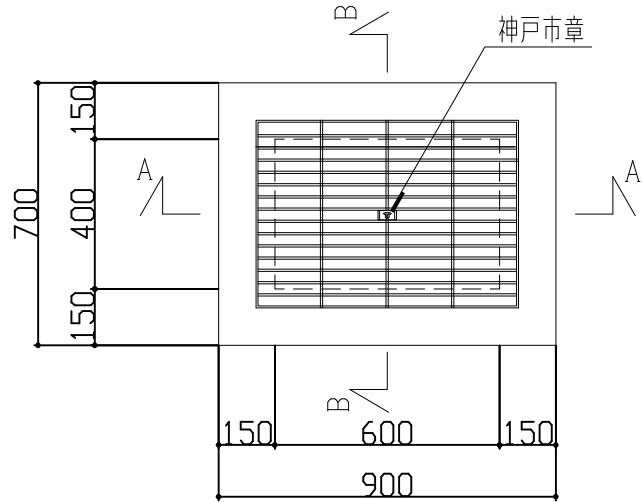


令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
			S5085		32-1
	・泥溜めが必要な場合は適宜設けること。	集 水 柵 工 (A)	備 考		
			13年9月修正 27年10月修正 14年9月修正		

(1.0基当り)

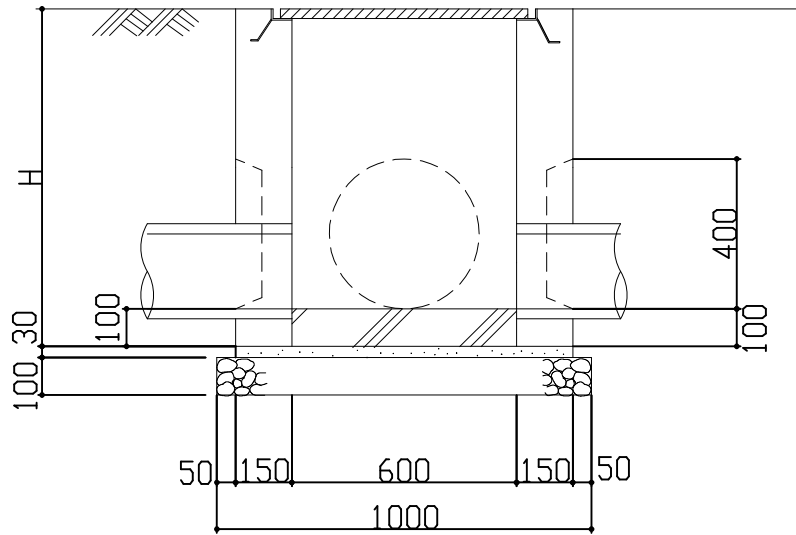
平面図 1:20



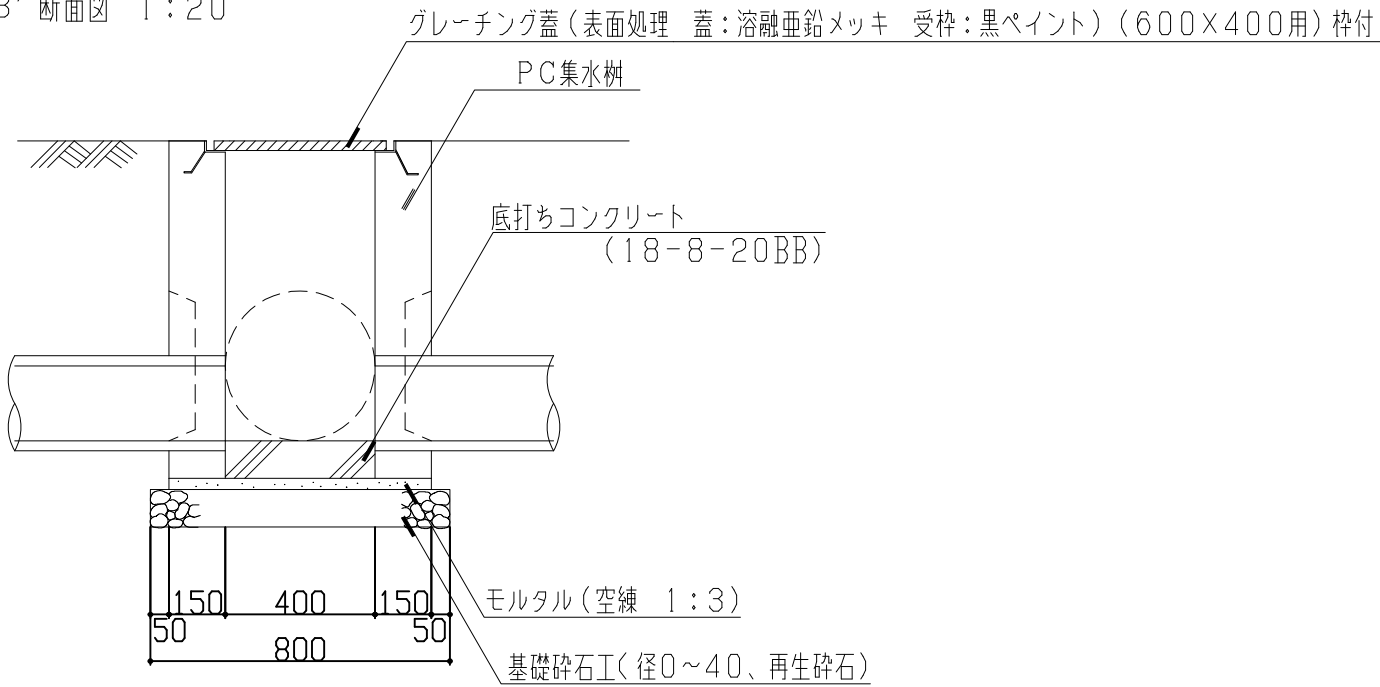
名称	形状寸法	単位	数量			摘要
			H=600	H=900	H=1,200	
本体		個	1.0	1.0	1.0	
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.02	0.02	0.02	
モルタル	空練 1:3	〃	0.01	0.01	0.01	
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.8	0.8	0.8	再生砕石
グレーチング		枚	1.0	1.0	1.0	設計書指示
床堀		m ³	-	-	-	
埋戻		〃	-	-	-	
残土処分		〃	-	-	-	

H=600、900、1,200とする。

A-A' 断面図 1:20



B-B' 断面図 1:20



令和5年10月改定

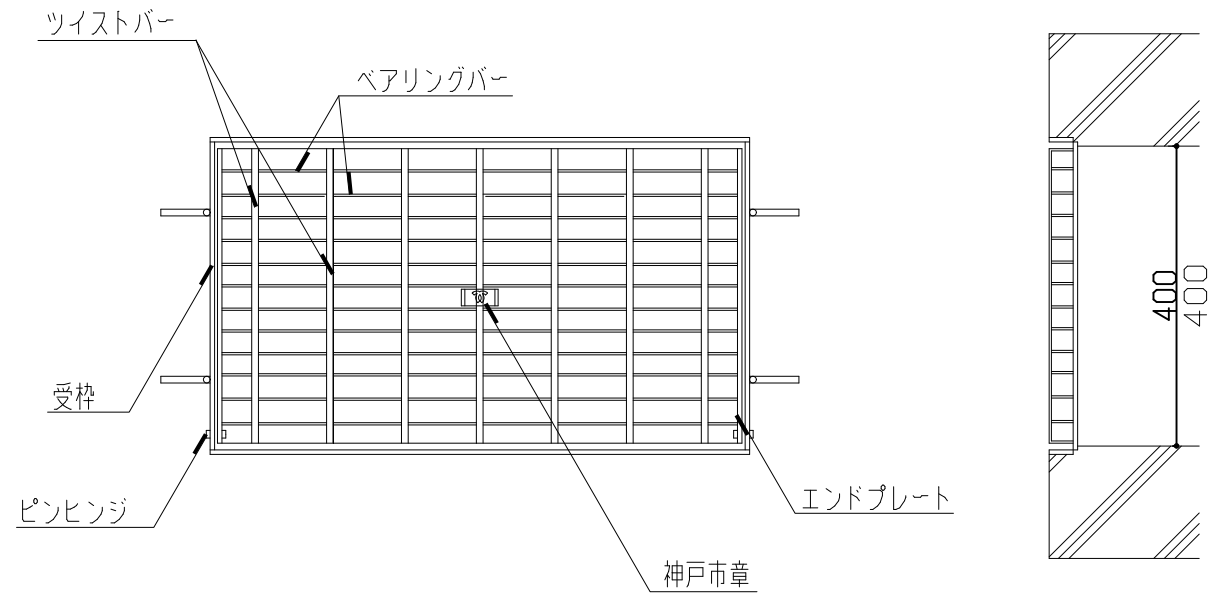
神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記号	ページ
					CB222800		32-2
					備考		
					13年9月修正 27年10月修正 14年9月修正		

・泥溜めが必要な場合は適宜設けること。

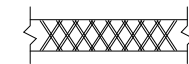
集水樹工(A)-2

平面図 1:10

断面図 1:10



表面処理 蓋 : 溶融亜鉛メッキ
受枠 : 黒ペイント



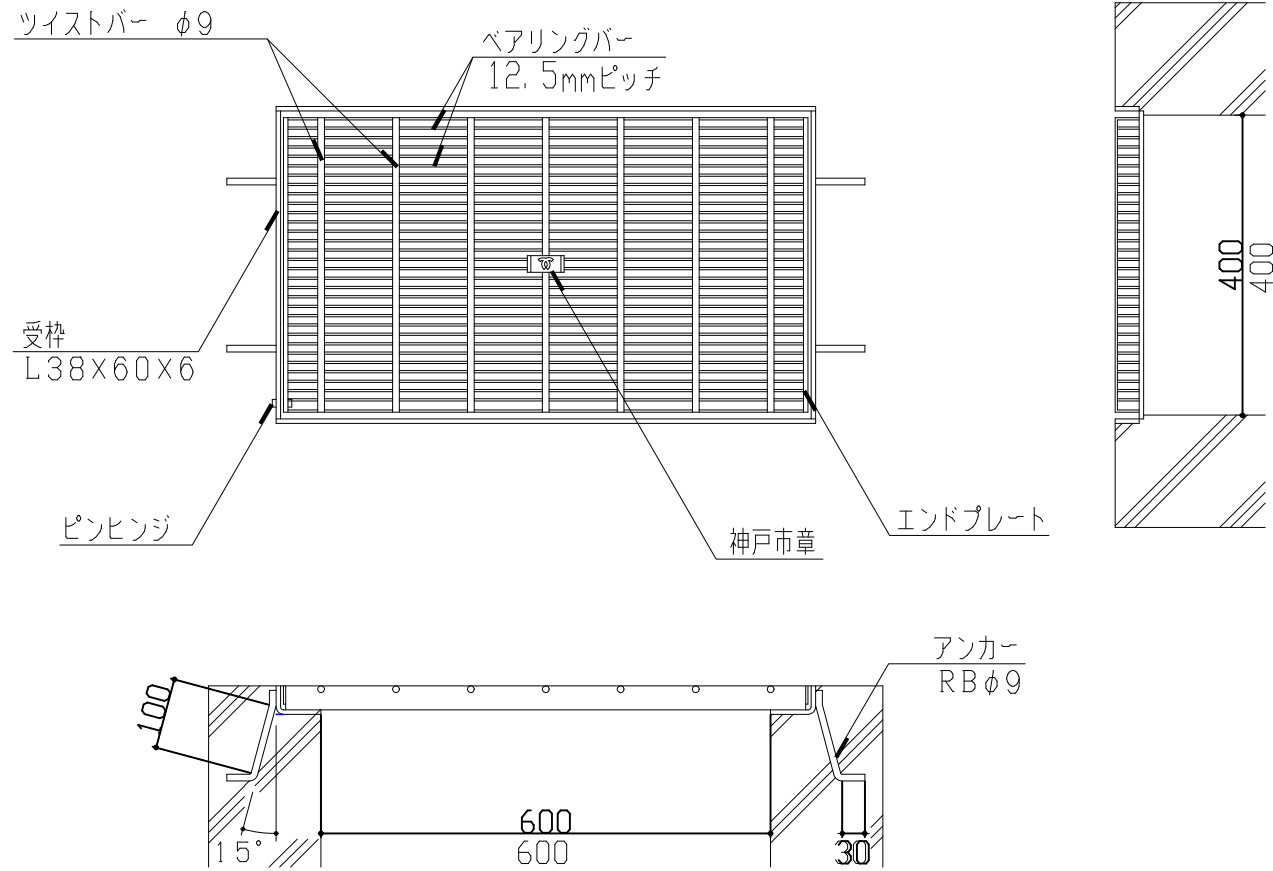
ベアリングバー上面
(ノンスリップ)

令和5年10月改定

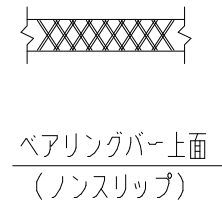
神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
神戸市公園施設標準図集	<ul style="list-style-type: none"> 荷重は歩行者用とする。 表面はノンスリップタイプとする。 蓋の開閉角度は110度とすること。 	集水樹工(A) (グレーチング蓋)	S5085		33-1
			CB222800		
			備 考		
			6年7月修正 27年10月修正 25年10月修正		

平面図 1:10

断面図 1:10



表面処理 蓋 : 溶融亜鉛メッキ
受枠 : 黒ペイント

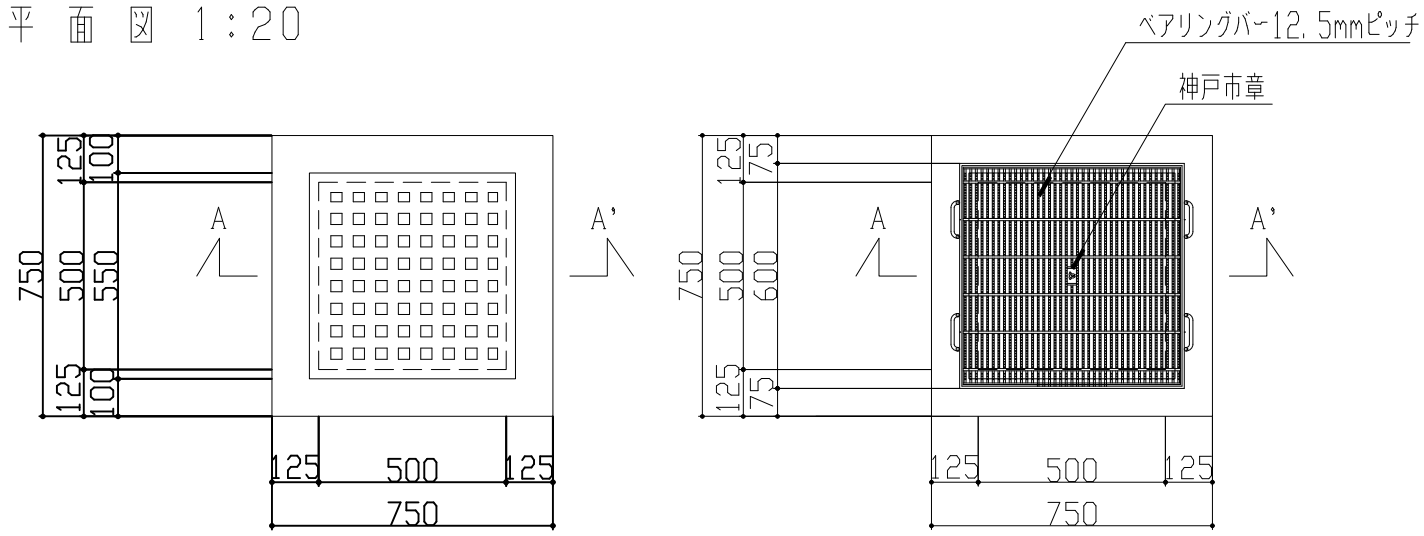


令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
	<ul style="list-style-type: none"> 荷重は歩行者用とする。 表面はノンスリップタイプとする。 蓋の開閉角度は110度とすること。 	集水柵工(A) (細目グレーチング蓋)	S5085 CB222800 備 考 6年7月修正 25年10月修正 14年9月修正 27年10月修正		33-2

(1.0基当り)

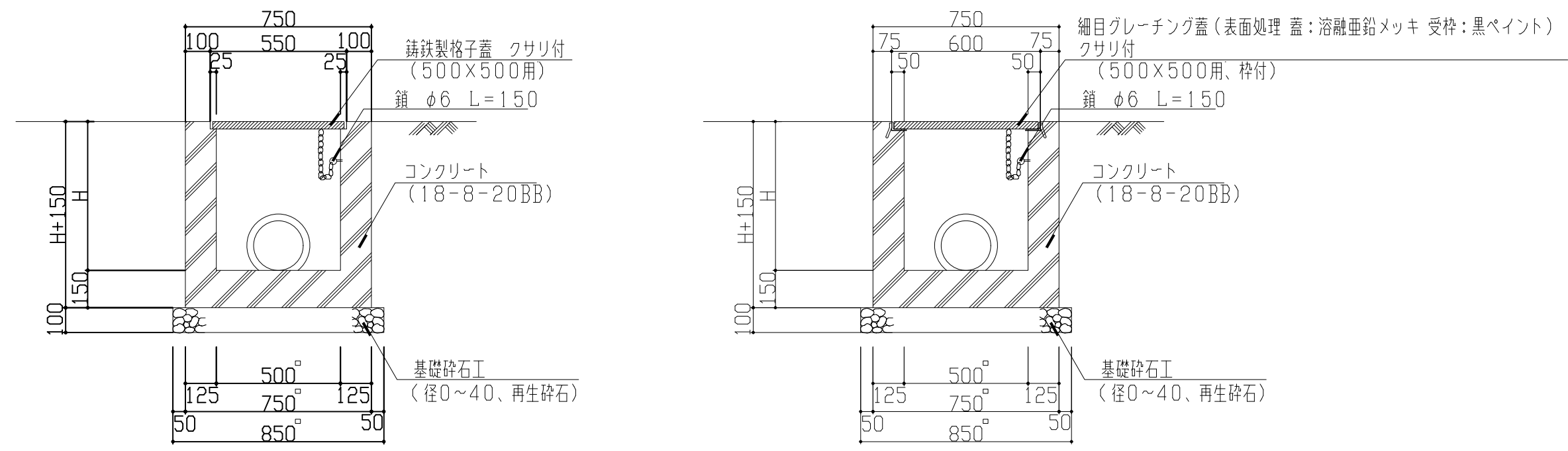
平面図 1:20



名称	形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.7	再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.312H+0.084	
型枠損料		m ²	5H+0.75	
鋼鉄製格子蓋 スチール製細目格子蓋	500×500用	枚	1.0	
床堀		m ³	-	
埋戻		〃	-	
残土処分		〃	-	

使用範囲 H=0.6~1.2m

A-A' 断面詳細図 1:20



令和5年10月改定

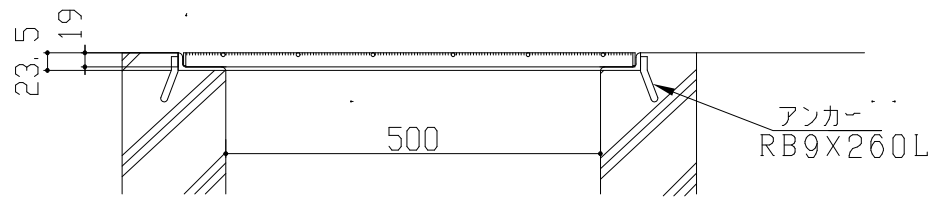
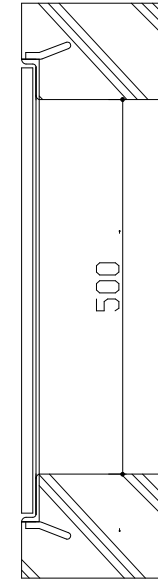
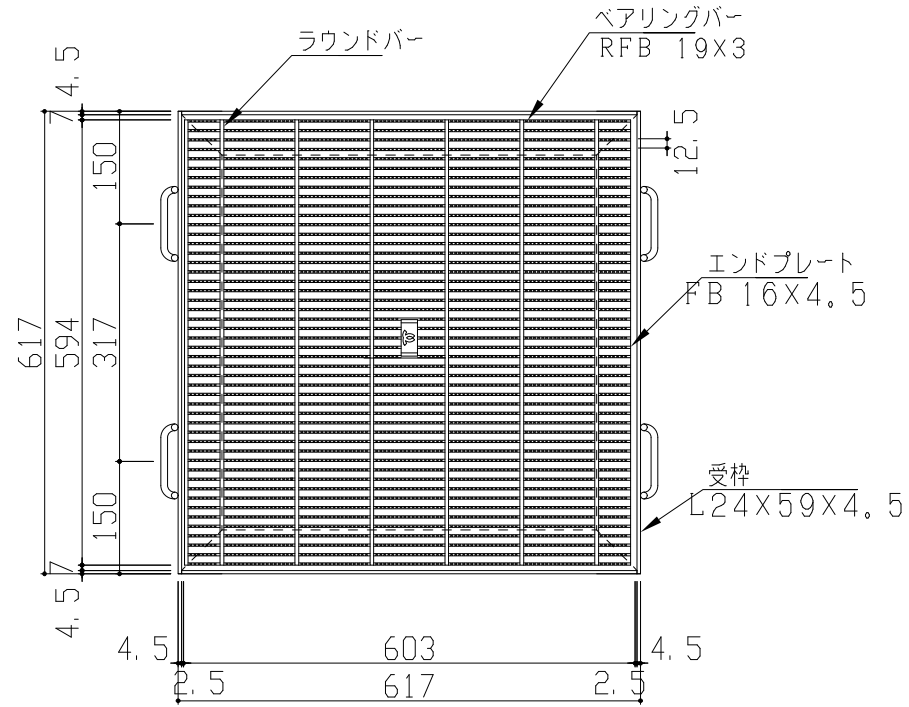
神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
			S5085		34-1
			備 考		
13年9月修正 21年10月追加 14年9月修正 25年10月修正					

- 荷重は歩行者用とする。
- 泥溜めが必要な場合は適宜設けること。
- 表面はノンスリップタイプとする。

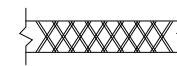
集水樹工 (B)

平面図 1:10

断面図 1:10



表面処理 蓋 : 溶融亜鉛メッキ
受枠 : 黒ペイント

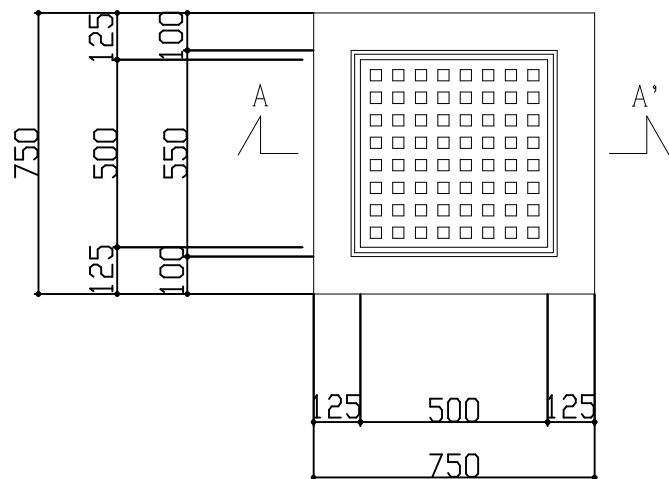


ベアリングバー上面
(ノンスリップ)

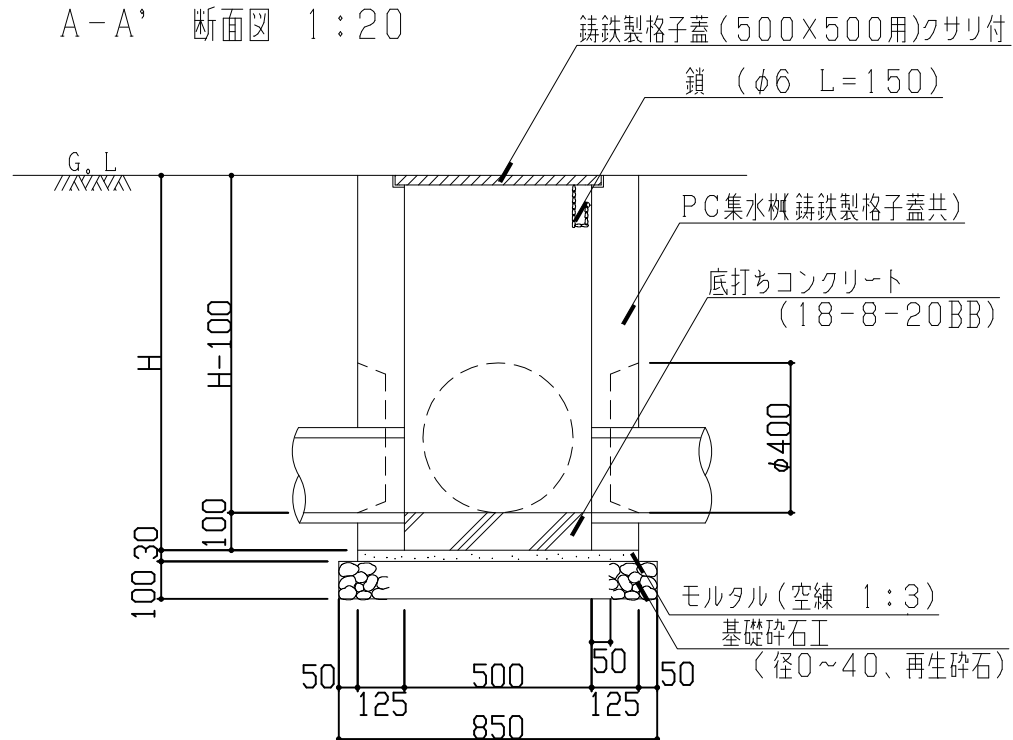
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記	号	ページ
	<ul style="list-style-type: none"> ・荷重は歩行者用とする。 ・表面はノンスリップタイプとする。 		集水樹工 (B)	(細目グレーチング蓋)	S5085 CB222800 備考 6年 7月修正 25年10月修正 21年10月修正			34-2

平面図 1:20



A-A' 断面図 1:20



(1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量			摘要
			H=600	H=900	H=1,200	
本体		個	1.0	1.0	1.0	
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.02	0.02	0.02	
モルタル	空練 1:3	〃	0.01	0.01	0.01	
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.7	0.7	0.7	再生砕石
铸铁製格子蓋		枚	1.0	1.0	1.0	設計書指示
床堀		m ³	-	-	-	
埋戻		〃	-	-	-	
残土処分		〃	-	-	-	

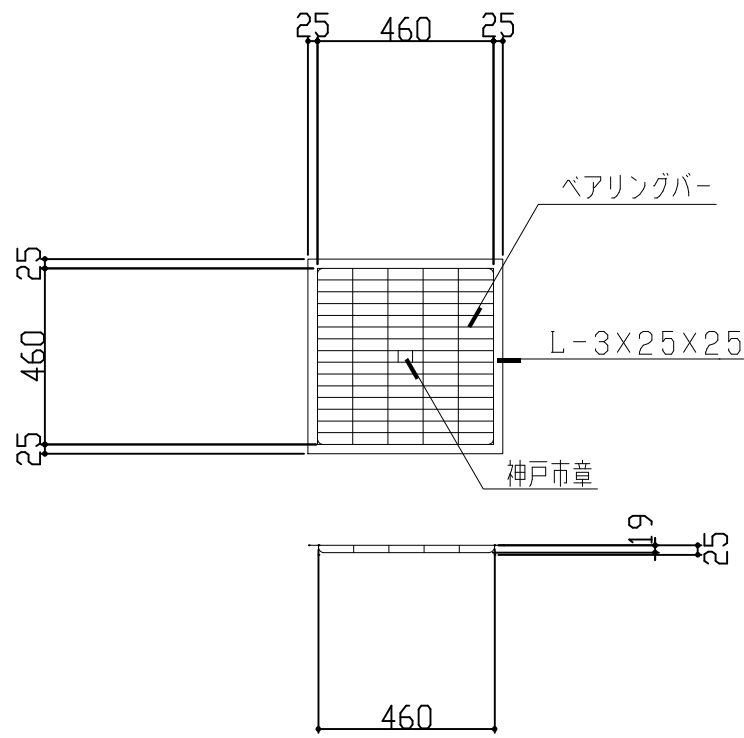
H=600、900、1,200とする。

令和5年10月改定

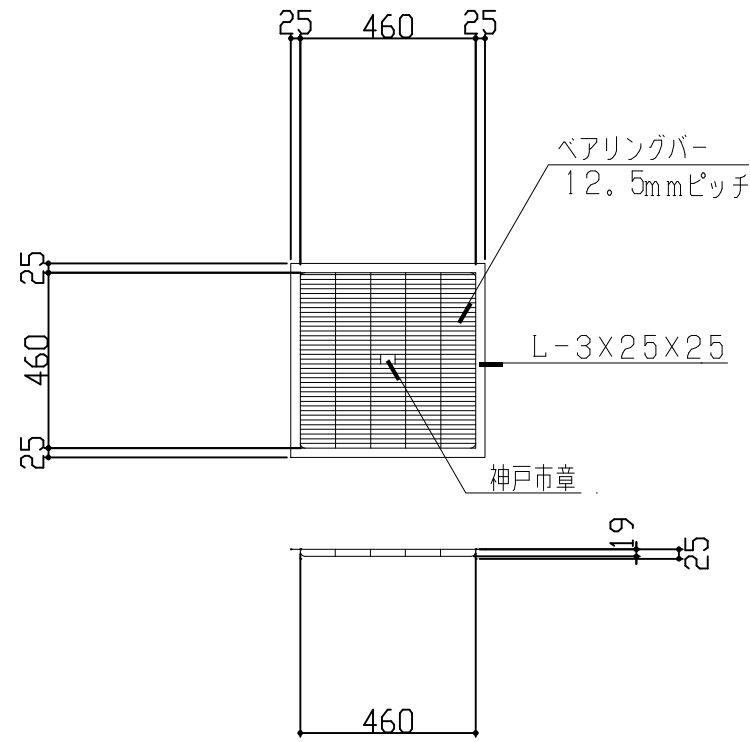
神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
			CB222800		34-3
		集水枘工(B)-2	備 考		
			13年9月修正 21年10月修正 14年9月修正		

- ・荷重は歩行者用とする。
- ・泥溜めが必要な場合は適宜設けること。
- ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。

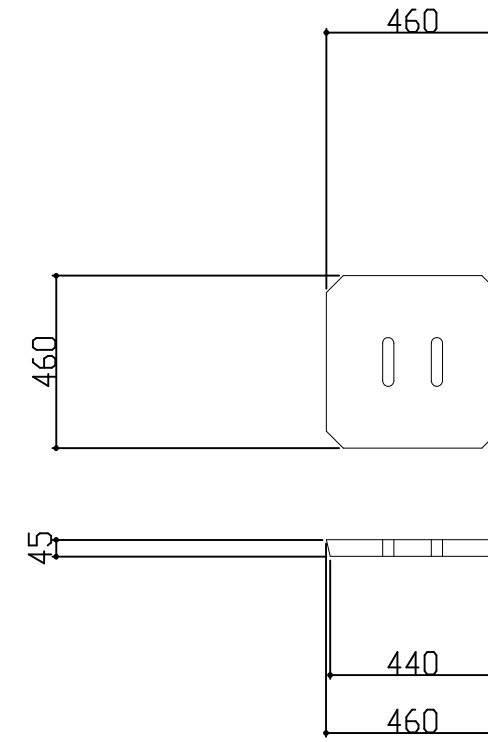
グレーチング蓋詳細図 1:20



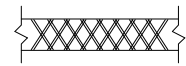
細目グレーチング蓋詳細図 1:20



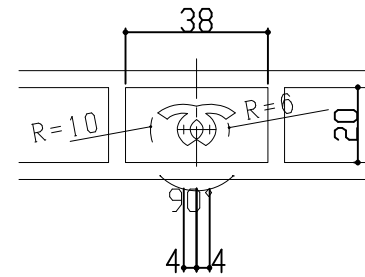
コンクリート蓋詳細図 1:20



グレーチング蓋 表面処理
溶融亜鉛メッキ



ベアリングバー上面
(ノンスリップ)

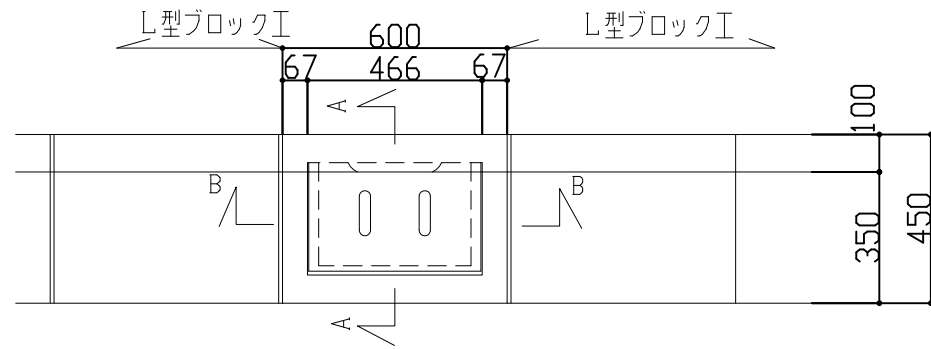


市章プレート

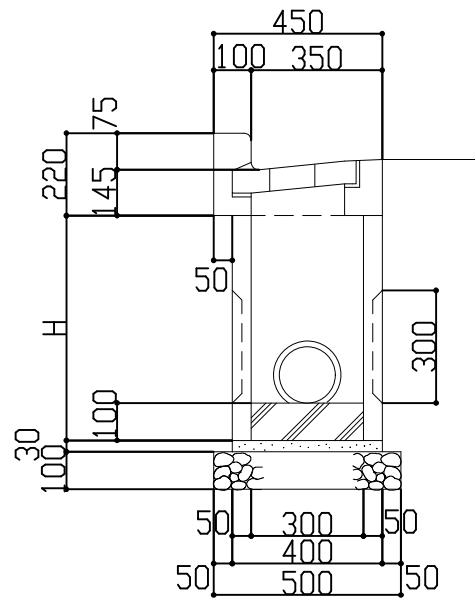
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
			CB222800		35-2
・荷重は歩行者用とする。 ・表面はノンスリップタイプとする。			備考		
			6年7月修正 25年10月修正 14年9月修正 27年10月修正		

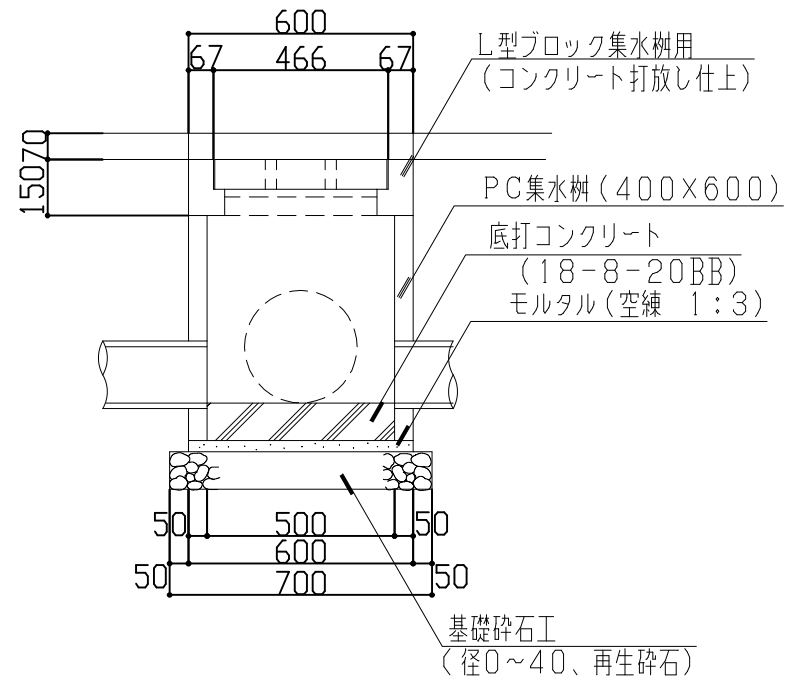
平面図 1:20



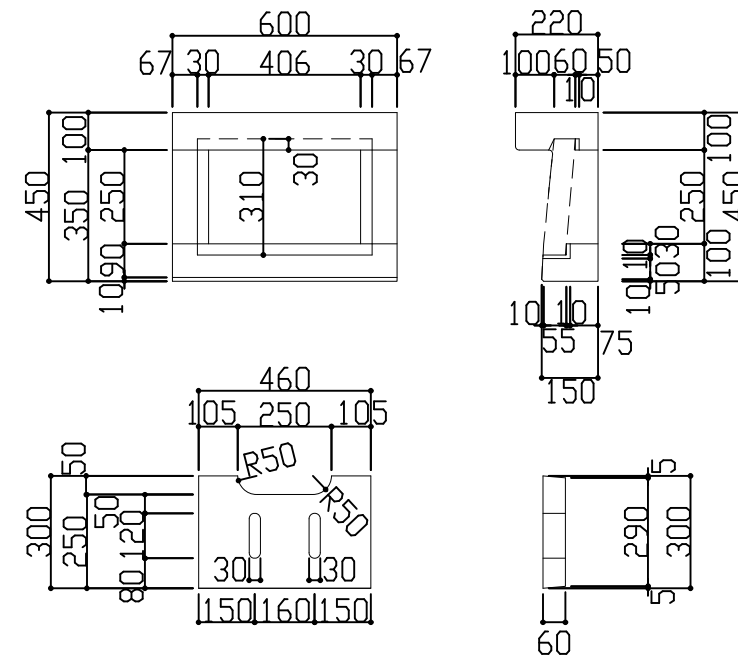
A-A断面図 1:20



B-B断面図 1:20



L型ブロック集水樹蓋詳細図 1:20



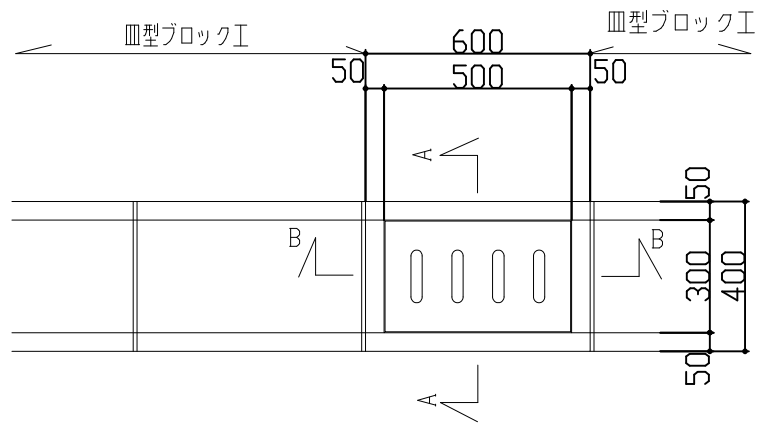
(1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			H=600	H=900	
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.3	0.3	再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.01	0.01	
モルタル	空練 1:3	〃	0.007	0.007	
集水樹		基	1.0	1.0	
L型ブロック	穴付き	個	1.0	1.0	
床堀		m ³	-	-	
埋戻		〃	-	-	
残土処分		〃	-	-	

令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
	<ul style="list-style-type: none"> ・泥溜めが必要な場合は適宜設けること。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 	集水樹工 (E)	CB222800		37-3
			備 考		
			13年9月追加 05年10月修正 14年9月修正		

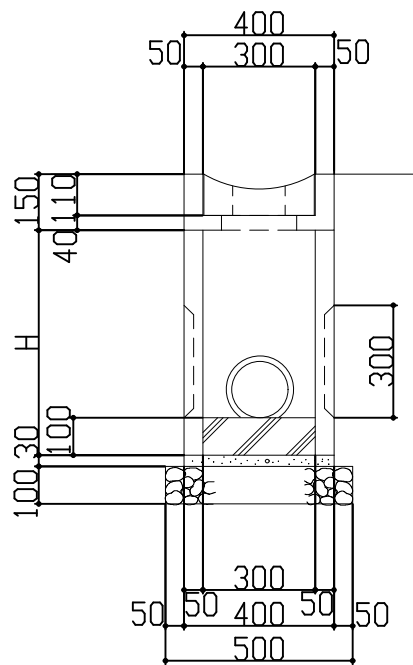
平面図 1:20



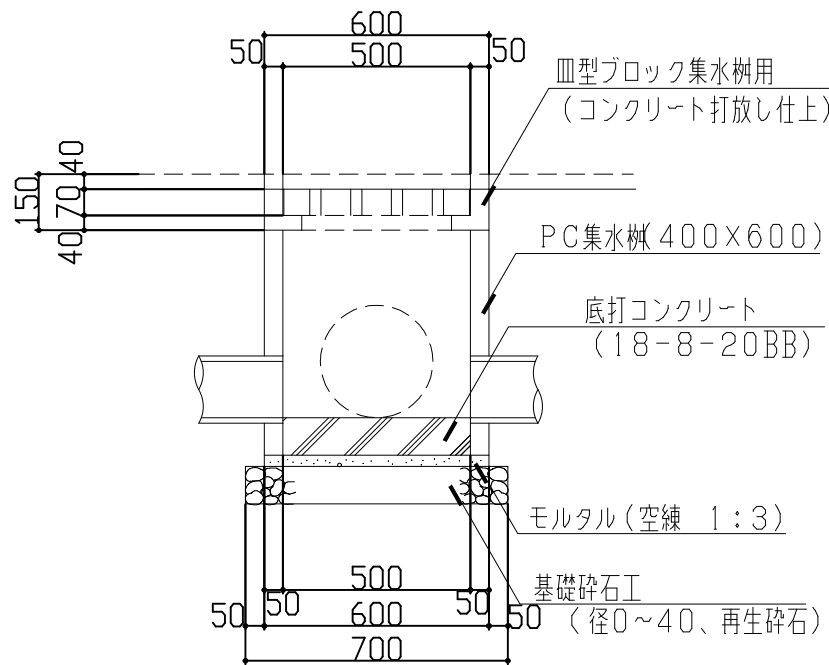
(1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			H=600	H=900	
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.3	0.3	再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.01	0.01	
モルタル	空練 1:3	〃	0.007	0.007	
集水樹		基	1.0	1.0	
皿型ブロック	穴付き	個	1.0	1.0	
床堀		m ³	-	-	
埋戻		〃	-	-	
残土処分		〃	-	-	

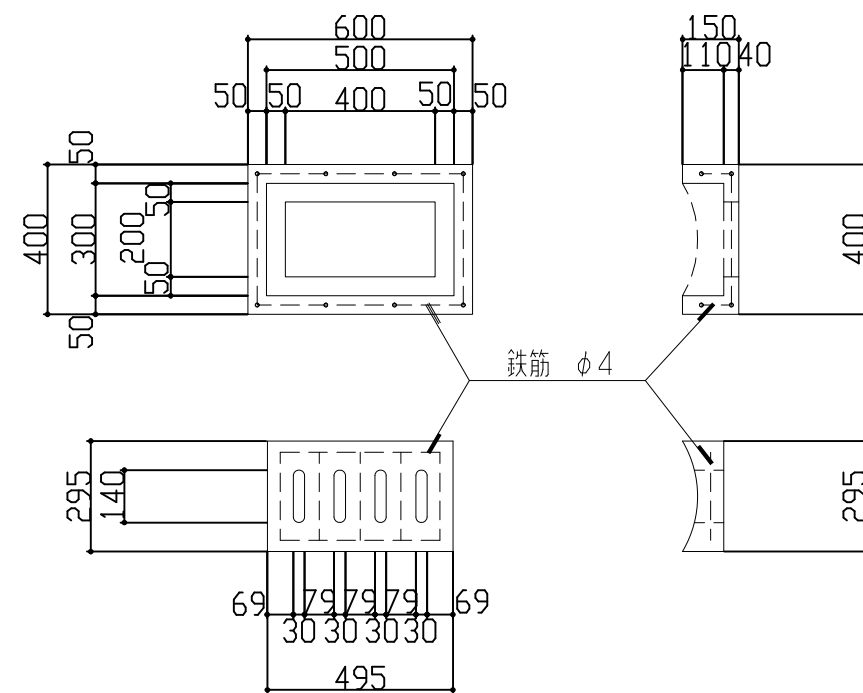
A-A断面図 1:20



B-B断面図 1:20



詳細図 1:20



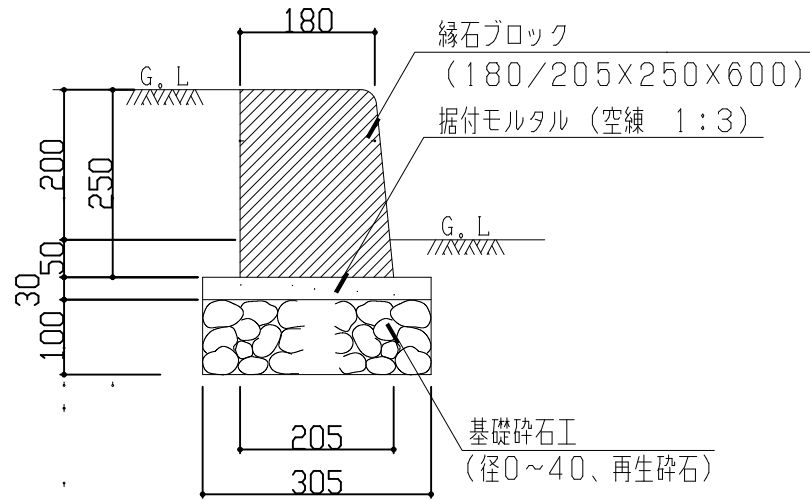
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
			CB222800		37-4
			備 考		
13年9月修正 14年9月修正					

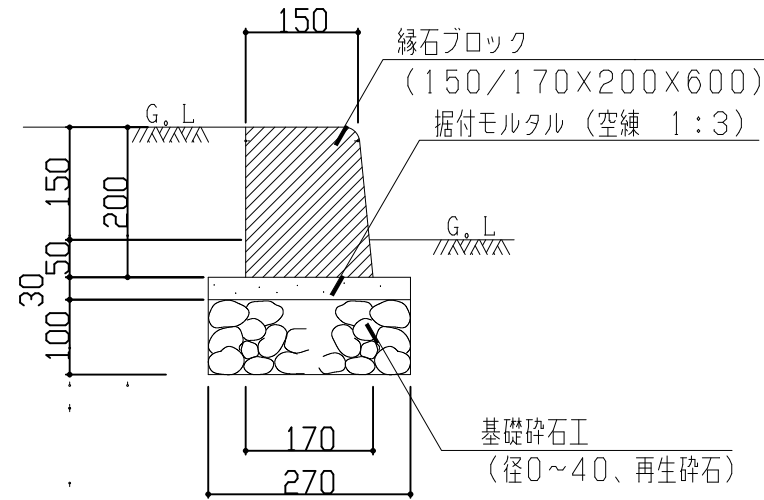
- 泥溜めが必要な場合は適宜設けること。
- モルタルは、高炉セメントを使用すること。

集水樹工 (F)

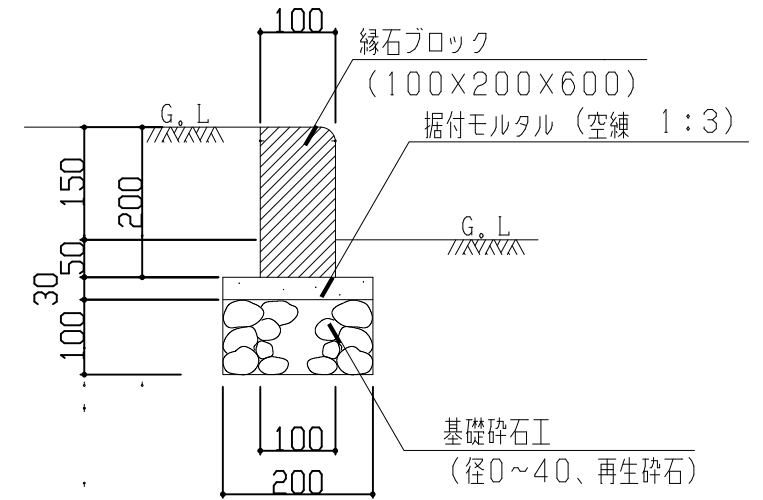
縁石ブロックⅠ(A) 1:10



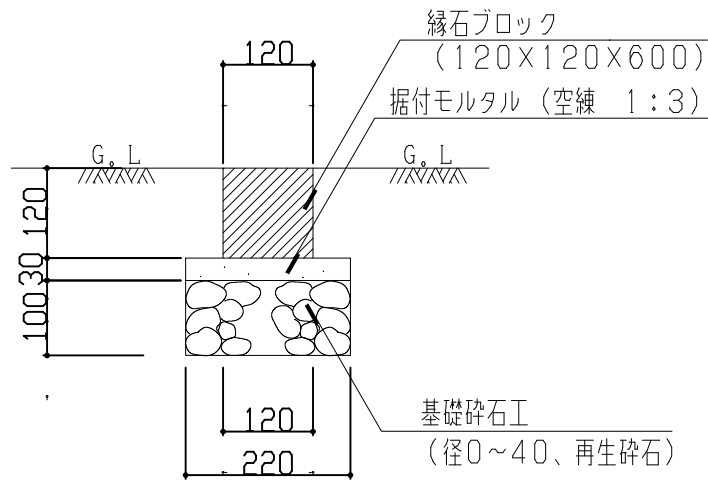
縁石ブロックⅠ(B) 1:10



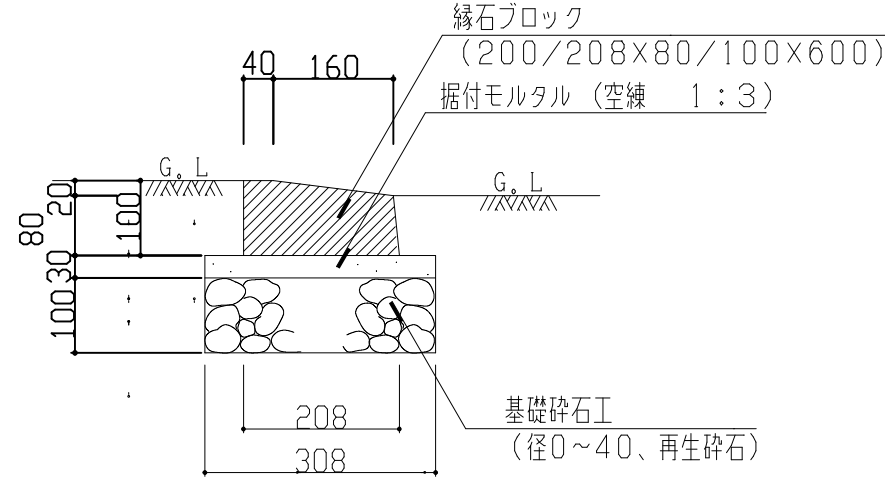
縁石ブロックⅠ(C) 1:10



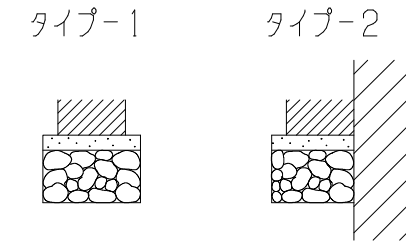
縁石ブロックⅠ(D) 1:10



縁石ブロックⅠ(F) 1:10



基礎工



令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペ ージ
			CB422510 CB422520		

- 目地巾は10mmを標準とし、目地モルタル(1:2)使用とする。
- 目地深さは係員指示とする。
- 輪荷重のかかる場合は別途検討すること。
- モルタルは、高炉セメントを使用すること。
- (A)、(B)、(C)、(D)、(F)は、下水汚泥溶融スラグ混入製品の使用を原則とする。

タイプ1 数量表

(1.0m当り)

名称	形状寸法	単位	数 量					摘要
			(A)	(B)	(C)	(D)	(F)	
基礎碎石工	再生碎石 径0~40 t100	m ²	0.305	0.270	0.200	0.220	0.308	
据付モルタル	空練り 1:3	m ³	0.009	0.008	0.006	0.006	0.009	
縁石ブロック		個	1.639	1.639	1.639	1.639	1.639	
床掘		m ³	-	-	-	-		
埋戻		〃	-	-	-	-		
残土処分		〃	-	-	-	-		

タイプ2 数量表

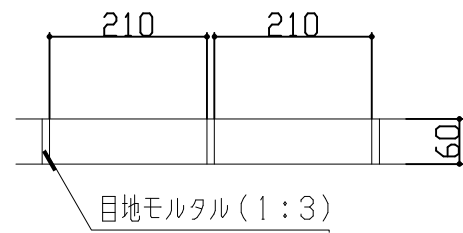
(1.0m当り)

名称	形状寸法	単位	数 量					摘要
			(A)	(B)	(C)	(D)	(F)	
基礎碎石工	再生碎石 径0~40 t100	m ²	0.25	0.22	0.15	0.17	0.25	
据付モルタル	空練り 1:3	m ³	0.007	0.006	0.004	0.005	0.007	
縁石ブロック		個	1.639	1.639	1.639	1.639	1.639	
床掘		m ³	-	-	-	-		
埋戻		〃	-	-	-	-		
残土処分		〃	-	-	-	-		

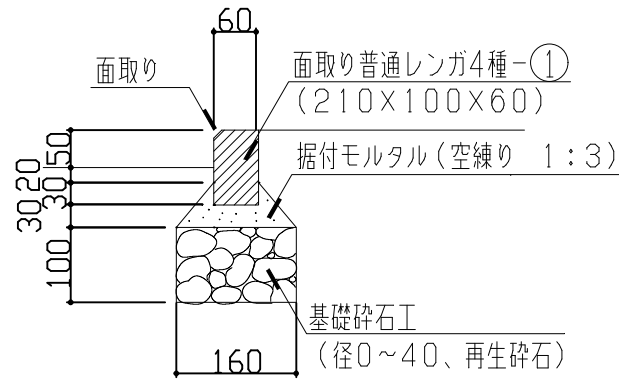
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
	・モルタルは、高炉セメントを使用すること。	縁石ブロック工 数量表 (A)、(B)、(C)、(D)、(F)	CB422510 CB422520		39
			備 考 14年 9月修正 21年10月修正 15年10月修正 22年10月修正		

レンガ縁石工 (A)

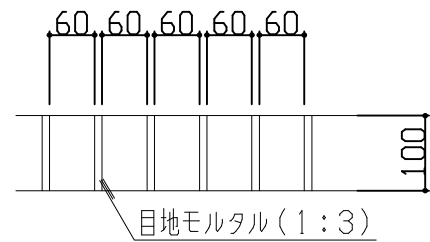


平面図 1:10

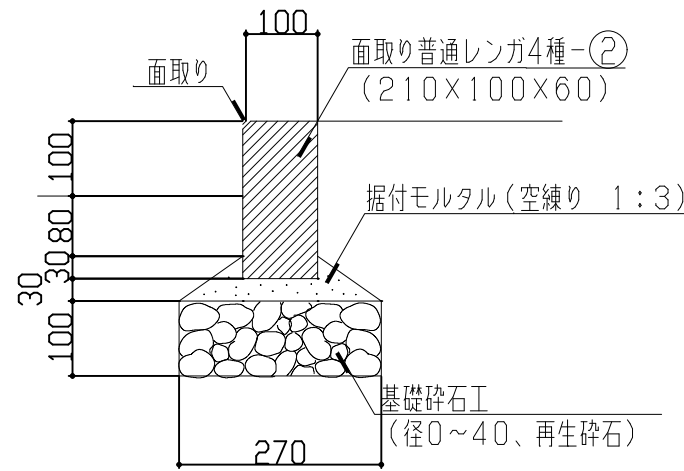


断面図 1:10

レンガ縁石工 (B)

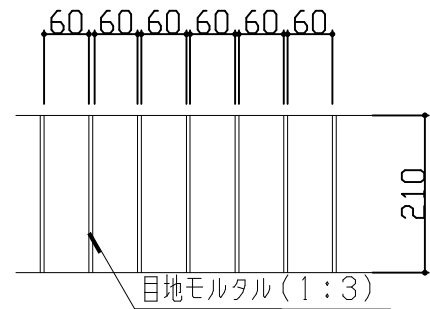


平面図 1:10

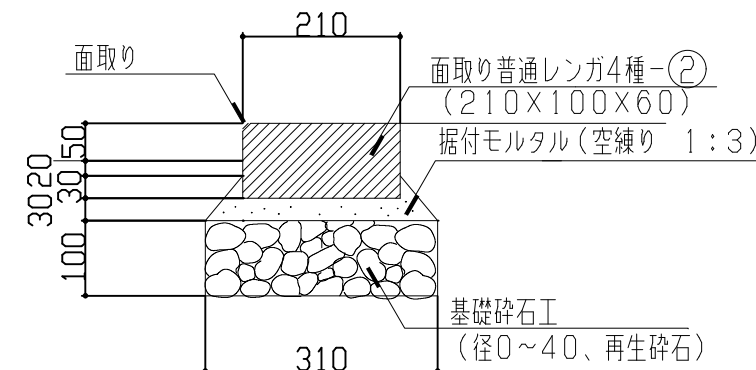


断面図 1:10

レンガ縁石工 (C)



平面図 1:10



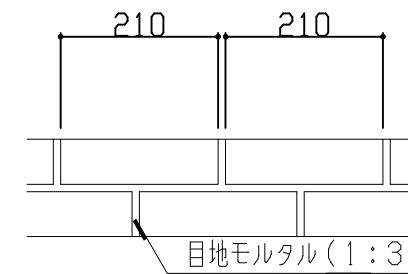
断面図 1:10

(10m当り)

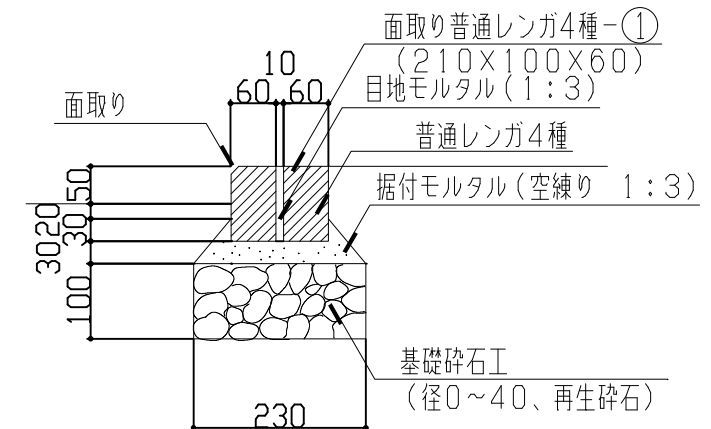
名称	形状寸法	単位	数量				摘要
			(A)	(B)	(C)	(D)	
基礎砕石工	再生砕石 径0~40 t100	m ²	1.6	2.7	3.1	2.3	
据付モルタル	1:3	m ³	0.048	0.081	0.093	0.069	
普通レンガ	4種 210x100x60	個				48,165	JIS R1250
面取り普通レンガ	4種 1面-①	〃	48,165			48,165	JIS R1250
面取り普通レンガ	4種 1面-②	〃		154,411	154,411		JIS R1250
目地モルタル	1:3	m ³	0.001	0.023	0.023	0.013	
床掘		m ³	-	-	-	-	
埋戻		〃	-	-	-	-	
残土処分		〃	-	-	-	-	

※レンガの個数にはロス率5%を含んでいる。

レンガ縁石工 (D)



平面図 1:10



断面図 1:10

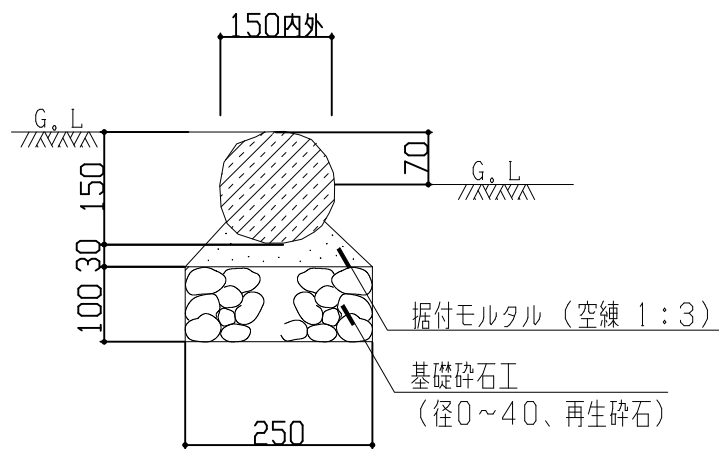
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
			WB610360		41
			備 考		
			13年9月修正 25年10月修正 14年9月修正 05年10月修正 22年10月修正		

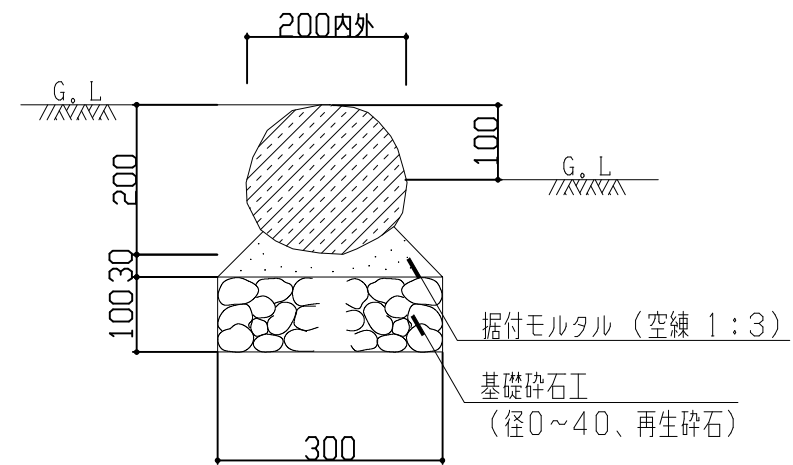
- ・目地は巾8mmを標準とし、モルタル(1:3)の使用とする。
- ・目地深さは、係員指示とする。
- ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。

レンガ縁石工
(A), (B), (C), (D)

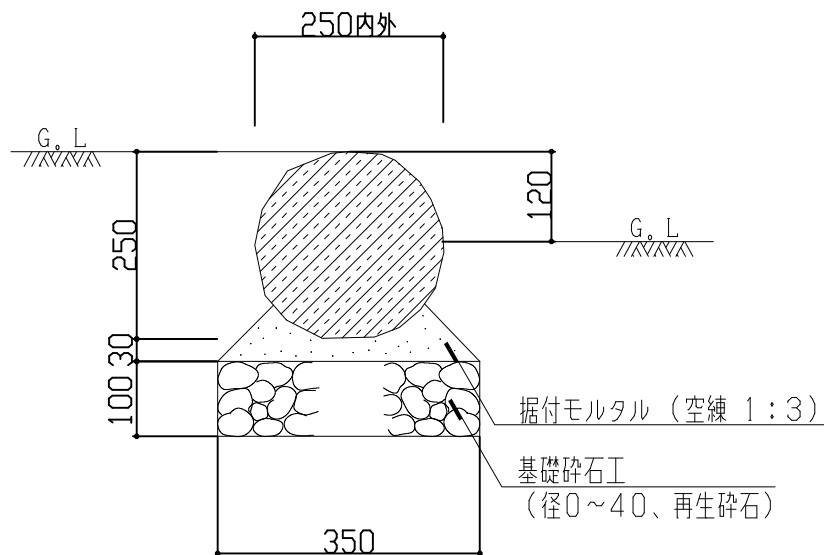
玉石縁石（径150級） 1：10



玉石縁石（径200級） 1：10



玉石縁石（径250級） 1：10



(1.0m当り)

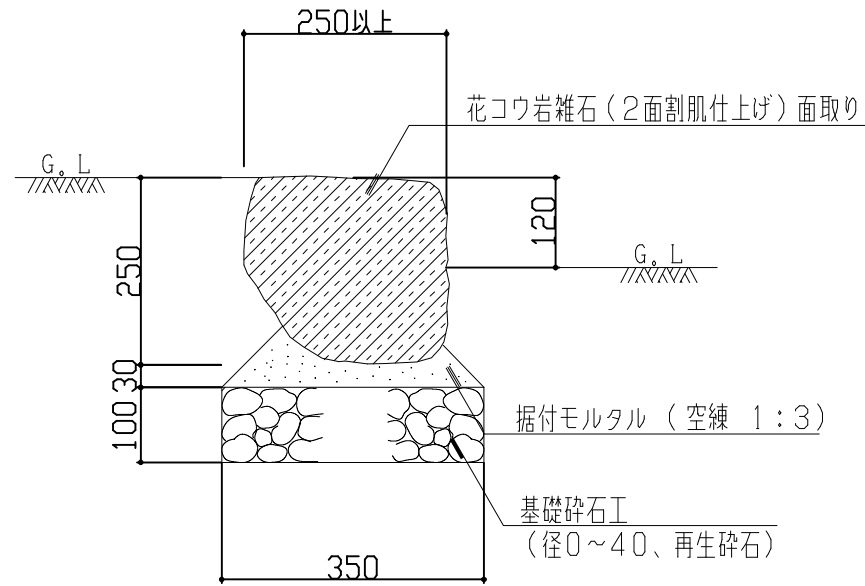
名称	形状寸法	単位	数 量			摘要
			花コウ岩系玉石			
			径150級	径200級	径250級	
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.25	0.30	0.35	
据付モルタル	空練 1:3	m ³	0.014	0.016	0.022	
自然石	玉石	個	6.6	5.0	4.0	
床掘		m ³	-	-	-	
埋戻		〃	-	-	-	
残土処分		〃	-	-	-	

令和5年10月改定

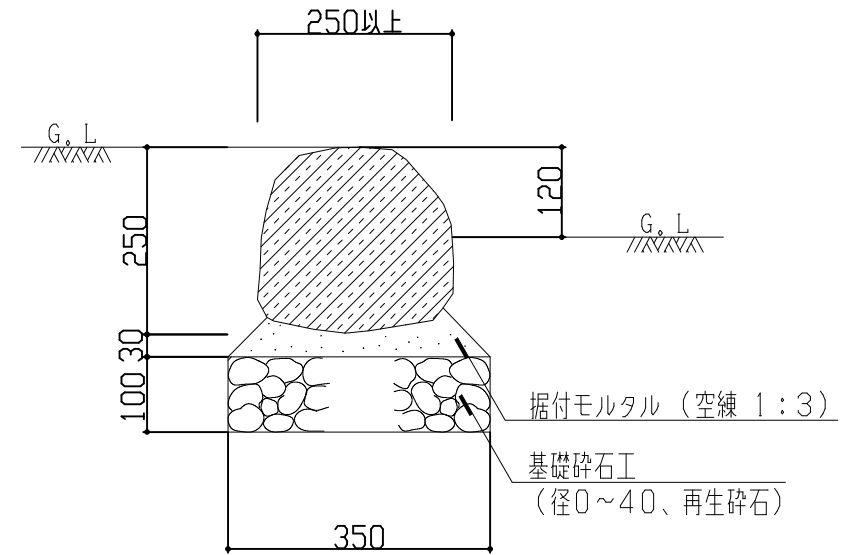
神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
			WC694300		
<ul style="list-style-type: none"> 目地モルタル(1:3)を使用すること。 目地深さについては係員指示とする。 モルタルは、高炉セメントを使用すること。 			備 考 05年 7月修正 27年10月修正 14年 9月修正 05年10月修正 18年 3月修正		

石材縁石工

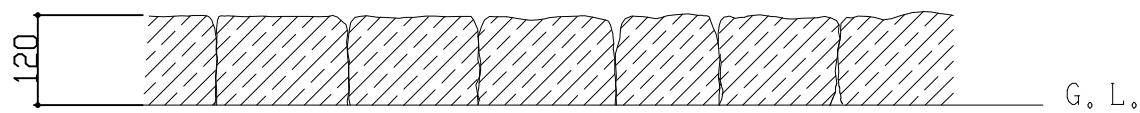
花コウ岩雑石縁石 1:10



丹波雑石縁石 1:10



正面図 1:10



注) メジは深メジとする。

(1.0m当り)

名称	形状寸法	単位	数量	
			雑石	摘要
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.35	
据付モルタル	空練 1:3	m ³	0.022	
自然石	雑石	m	1.0	
床掘		m ³	-	
埋戻		〃	-	
残土処分		〃	-	

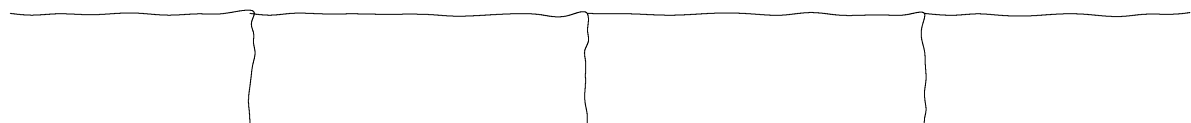
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記	号	ページ
	*モルタルは、高炉セメントを使用すること。			石材縁石工	WC694300			43-2
					備考			
			13年9月修正 21年10月修正 14年9月修正 27年10月修正 18年3月修正					

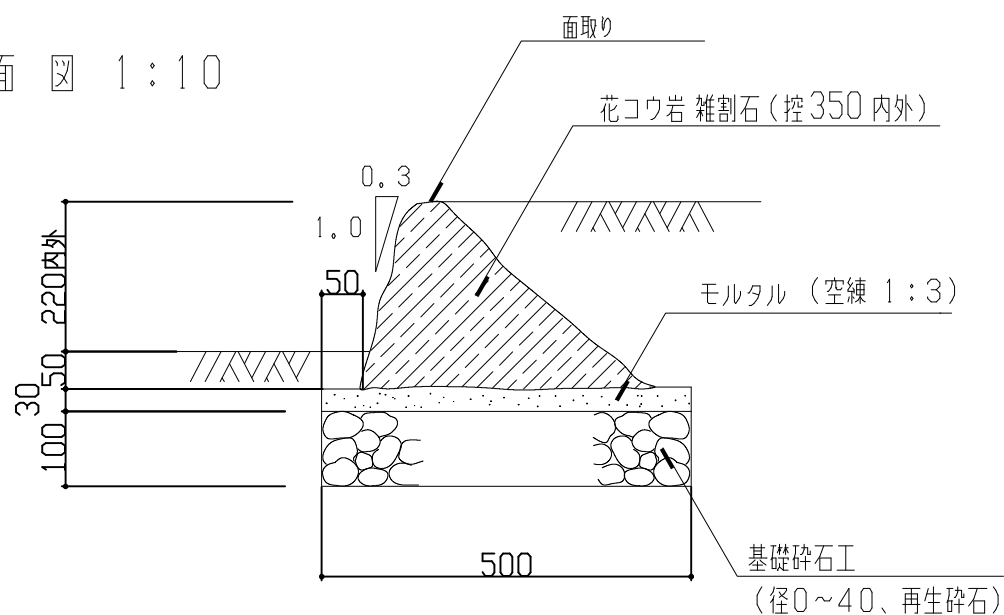
(1.0m当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工	再生砕石 径0~40 t100	m ²	0.5	
モルタル	空練 1:3	m ³	0.015	
雑割石	控350内外	個	3.0	
床堀		m ³	-	
埋戻		〃	-	
残土処分		〃	-	

正面図 1:10



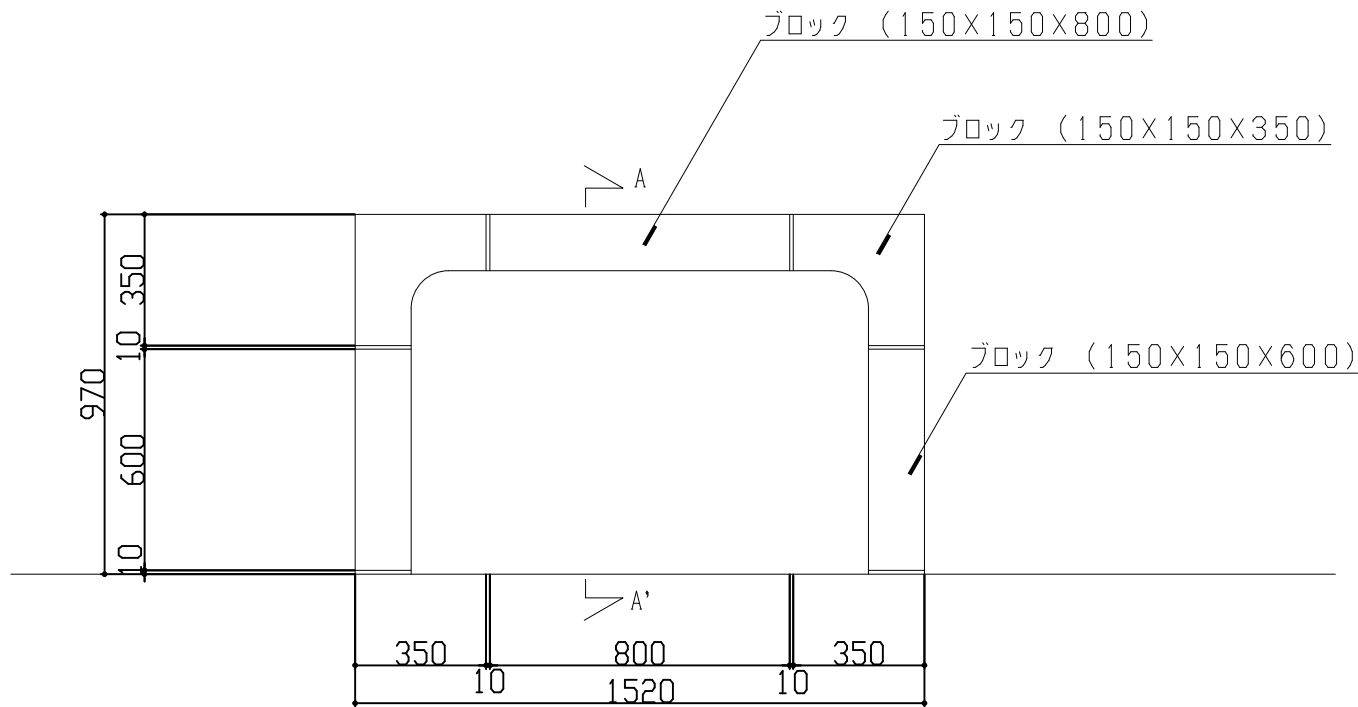
断面図 1:10



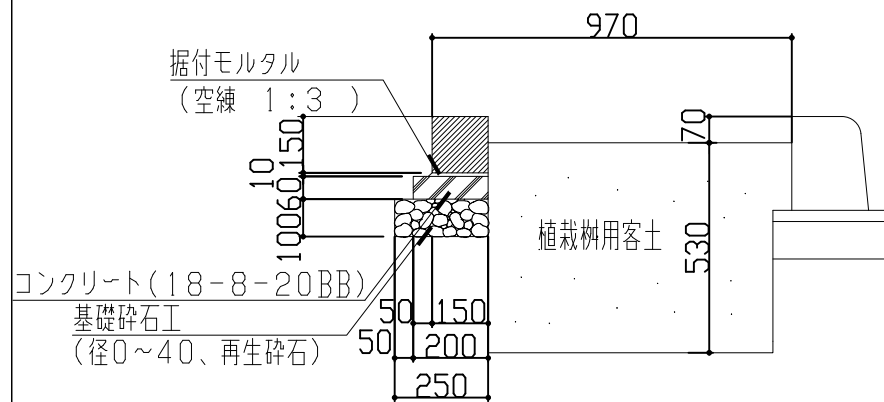
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記	号	ペー	ジ
	*モルタルは、高炉セメントを使用すること。		石 材 縁 石 工		WC694300			43-3	
					備 考				
						13年9月修正 27年10月修正 14年9月修正			

平面図 1:20
(根囲いブロック神戸市A型)



A-A' 断面図 1:20



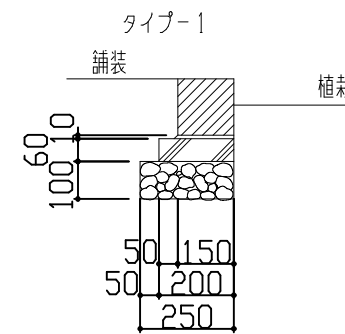
(1.0箇所当り)

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			タイプ-1	タイプ-2	
基礎砕石工	再生砕石 径0~40 t100	m ²	0.79	0.63	
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.037		
型枠損料		m ²	0.379	0.379	
据付モルタル	空練 1:3	m ³	0.004		
根囲いブロック	神戸市A型	箇所	1.0		
客土		m ³	0.530	0.457	
床掘		〃	-	-	
埋戻		〃	-	-	
残土処分		〃	-	-	

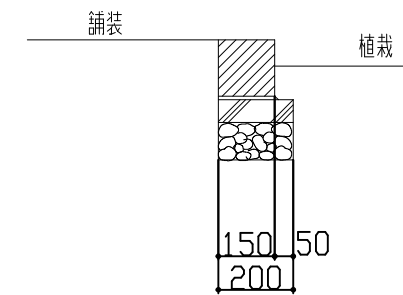
客土種類

名称	内容
植栽樹用真砂土	(真砂土1.0m ³)/m ³
植栽樹用客土(A)	(パーク100kg、真砂土0.8m ³)/m ³
植栽樹用客土(B)	(真砂土0.7m ³ 、ピートモス100ℓ、パーライト200ℓ、化成燐肥1kg)/m ³
植栽樹用客土(C)	(真砂土0.8m ³ 、パーライト200ℓ)/m ³

基礎工



タイプ-2



令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
			備考		

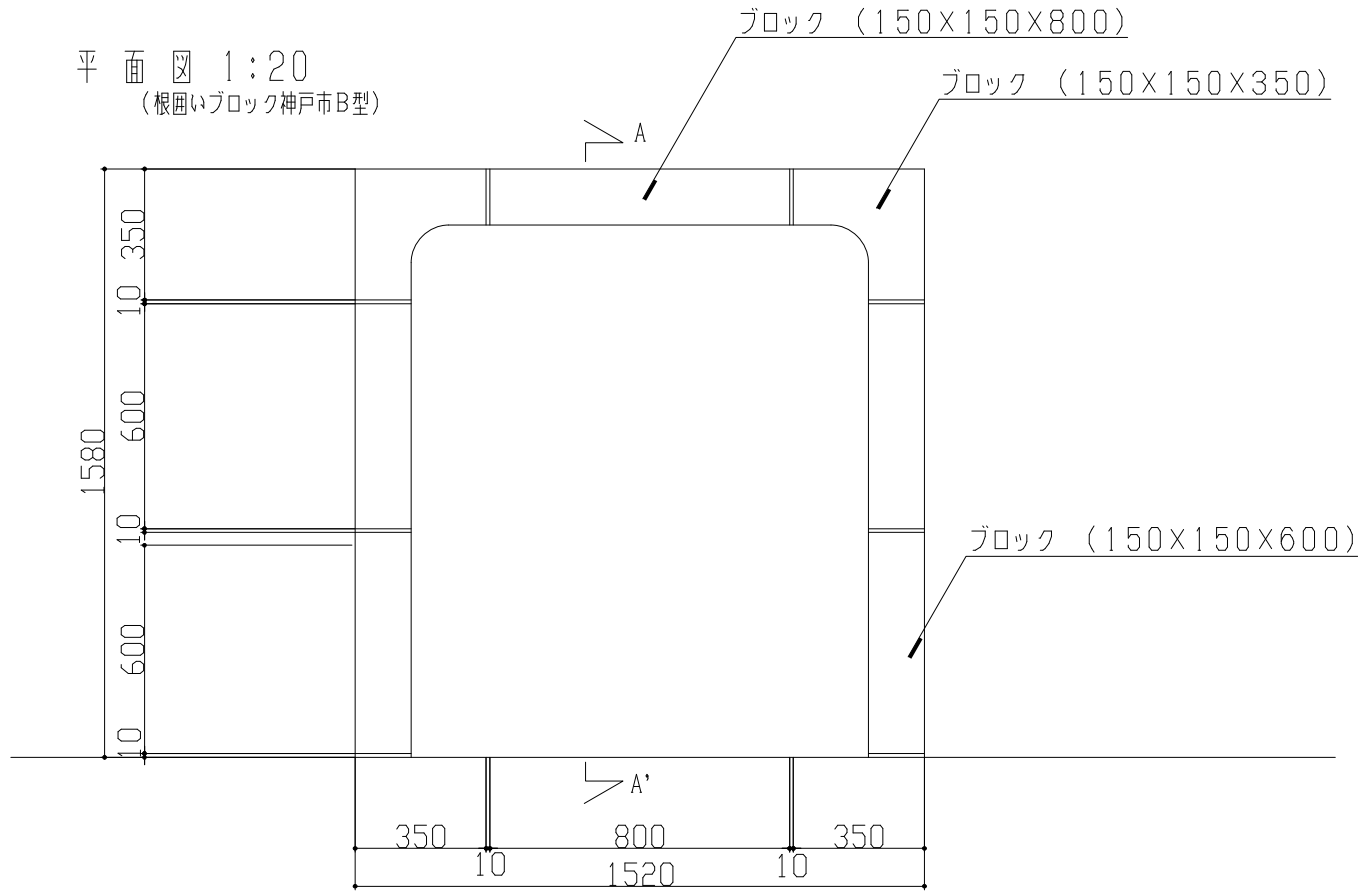
13年 9月修正 25年10月修正
14年 9月修正 05年10月修正
18年 3月修正

- 目地巾は10mmを標準とし、目地モルタル(1:3)使用とする。
- モルタルは、高炉セメントを使用すること。
- 根囲いブロックは、下水汚泥溶融スラグ混入製品の使用を原則とする。

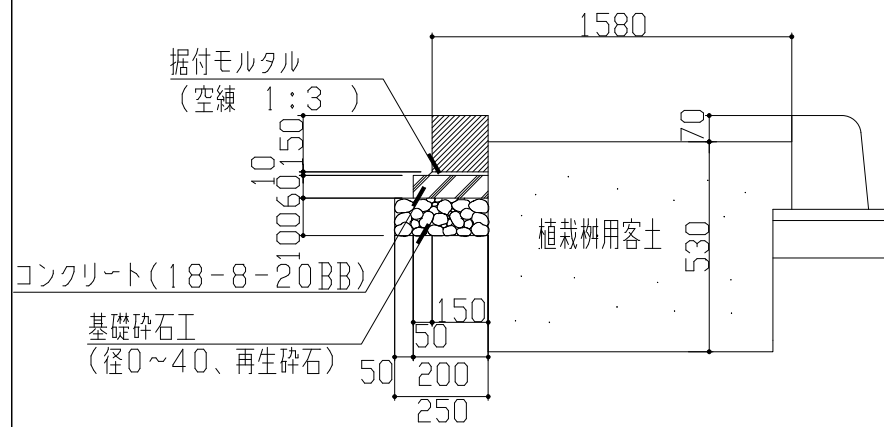
植 樹 柵 工 (A)

44-1

平面図 1:20
(根囲いブロック神戸市B型)



A-A' 断面図 1:20



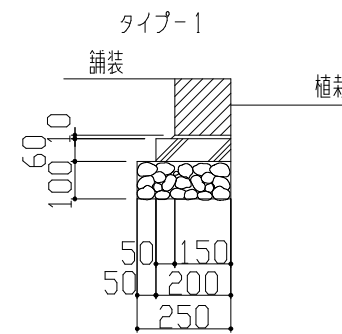
(1.0箇所当り)

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			タイプ-1	タイプ-2	
基礎砕石工	再生砕石 径0~40 t100	m ²	1.09	0.87	
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.052		
型枠損料		m ²	0.525	0.525	
据付モルタル	空練 1:3	m ³	0.006		
根囲いブロック	神戸市B型	箇所	1.0		
客土		m ³	0.924	0.819	
床掘		〃	-	-	
埋戻		〃	-	-	
残土処分		〃	-	-	

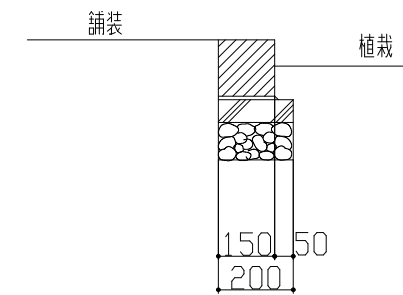
客土種類

名称	内容
植栽樹用真砂土	(真砂土1.0m ³)/m ³
植栽樹用客土(A)	(パーク100kg、真砂土0.8m ³)/m ³
植栽樹用客土(B)	(真砂土0.7m ³ 、ピートモス100ℓ、パーライト200ℓ、化成燐肥1kg)/m ³
植栽樹用客土(C)	(真砂土0.8m ³ 、パーライト200ℓ)/m ³

基礎工



タイプ-2



令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記号	ページ	
					備考			44-2

- 目地巾は10mmを標準とし、目地モルタル(1:3)使用とする。
- モルタルは、高炉セメントを使用すること。
- 根囲いブロックは、下水汚泥溶融スラグ混入製品の使用を原則とする。

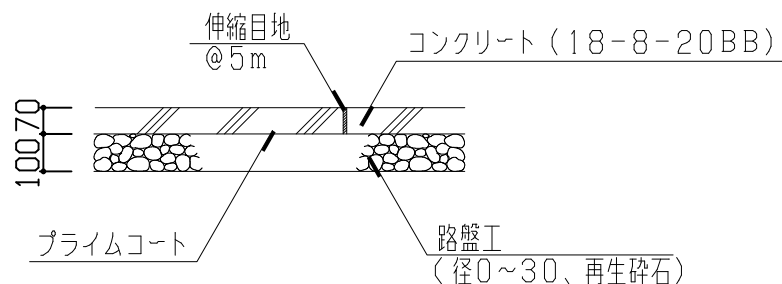
植樹樹工(B)

14年9月作成 25年10月修正
18年3月修正 05年10月修正

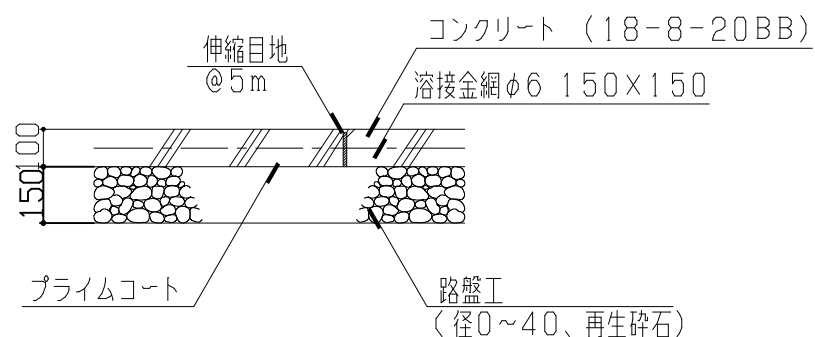
(1.0m²当り)

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			タイプ-1	タイプ-2	
路盤工	径0~30 t100	m ²	1.0		
〃	径0~40 t150	〃		1.0	
溶接金網	φ6 150×150	m ²		1.0	
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.07	0.10	
表面仕上	表面仕上げ無し				
	はけ引き仕上げ	m ²	1.0	1.0	
プライムコート		m ²	1.0	1.0	
堀削		m ³	-	-	
残土処分		〃	-	-	

コンクリート舗装工-1 1:20



コンクリート舗装工-2 1:20



令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ

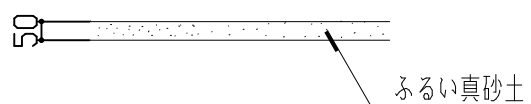
・伸縮目地間隔は5mを標準とする。
 ・タイプ1は歩行者通行用、タイプ2は管理車両通行用とする。

備考
 16年 9月・11月修正 25年10月修正
 22年10月修正 27年10月修正
 24年10月修正 02年10月修正

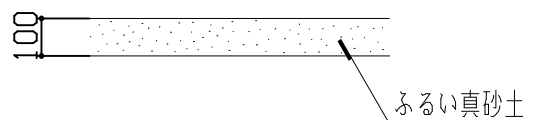
(1.0m²当り)

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			(A)	(B)	
ふるい真砂土	5mm目通し	m ³	0.063	0.127	
掘削		m ³	-	-	
残土処分		〃	-	-	

真砂土敷均し工(A) 1:20



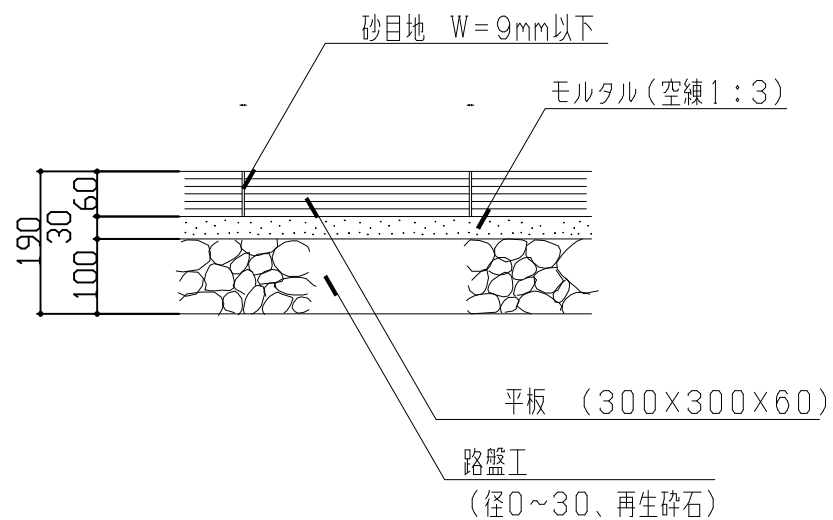
真砂土敷均し工(B) 1:20



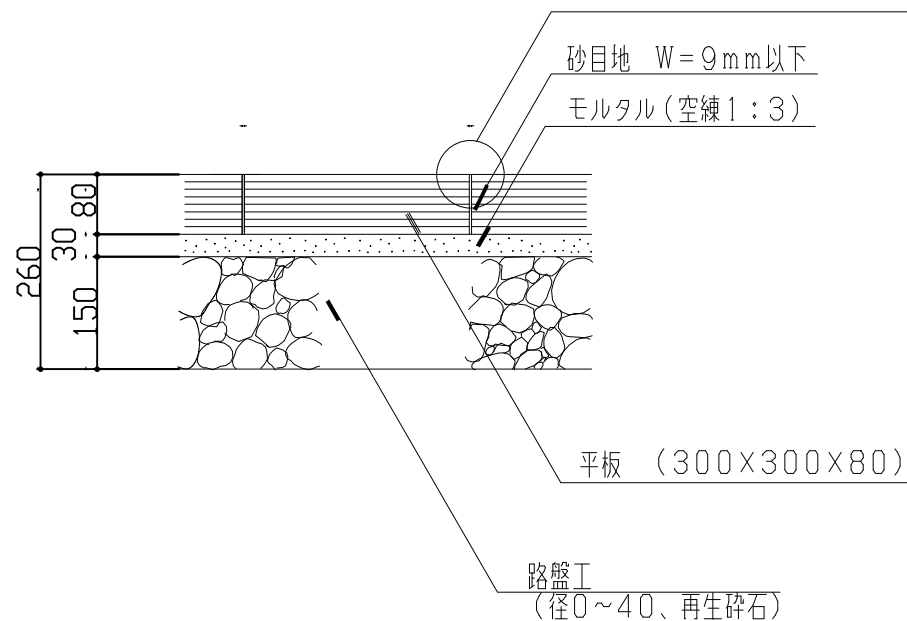
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記	号	ページ
				真砂土敷均し工(A)(B)	備考			45-2
					5年7月修正 15年10月修正			

平板舗装工-1 1:10



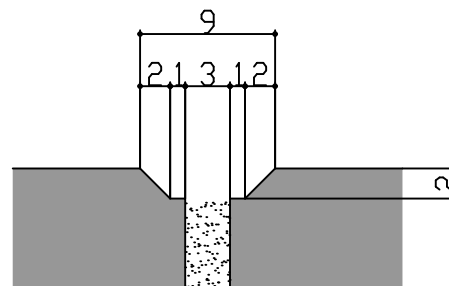
平板舗装工-2 1:10



(1.0m²当り)

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			タイプ-1	タイプ-2	
モルタル	空練 1:3	m ³	0.03	0.03	
路盤工	再生碎石 径0~30 t100	m ²	1.0		
〃	〃 径0~40 t150	〃		1.0	
平板	300×300×60	m ²	1.0		砂目地共
〃	300×300×80	m ²		1.0	砂目地共
掘削		m ³	-	-	
残土処分		〃	-	-	

拡大図

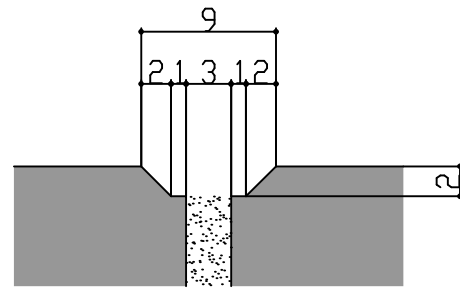


令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記	号	ペー	ジ
	<ul style="list-style-type: none"> タイプ1は歩行者通行用、タイプ2は管理車両通行用とする。 擬石平面は錆、万成を除く。 洗い出し平板は、白ミカゲ、金華、鹿島、蛇紋とする。 モルタルは、高炉セメントを使用すること。 				備考 15年10月修正 21年10月修正 16年9月・11月修正 25年10月修正			46-1	
	平板舗装工-1, 2								

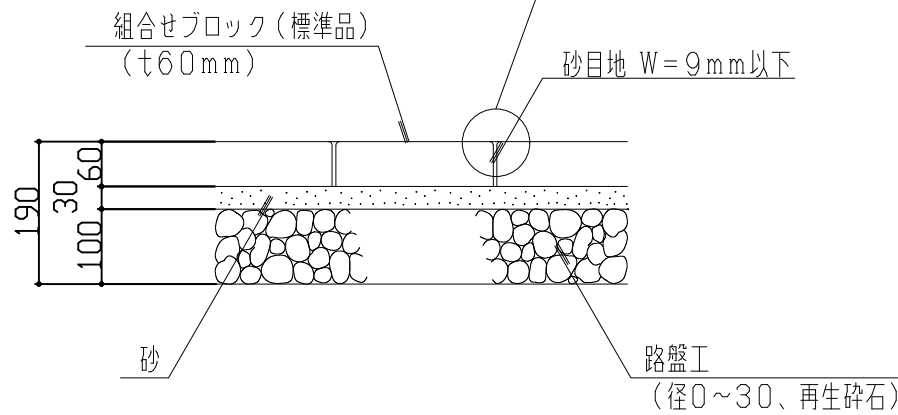
(1.0m²当り)

名称	形状寸法	単位	数量				摘要
			標準品		透水タイプ		
			タイプ-1	タイプ-2	タイプ-1	タイプ-2	
路盤工	径0~30 t100	m ²	1.0	/	1.0	/	
”	径0~40 t150	m ²	/	1.0	/	1.0	
砂		m ³	0.03	0.02	0.03	0.02	
透水シート		m ²	/	/	1.0	1.0	
インターロッキングブロック	t60	m ²	1.0	/	1.0	/	砂目地共
	t80	m ²	/	1.0	/	1.0	”
掘削		m ³	-	-	-	-	
残土処分		m ³	-	-	-	-	

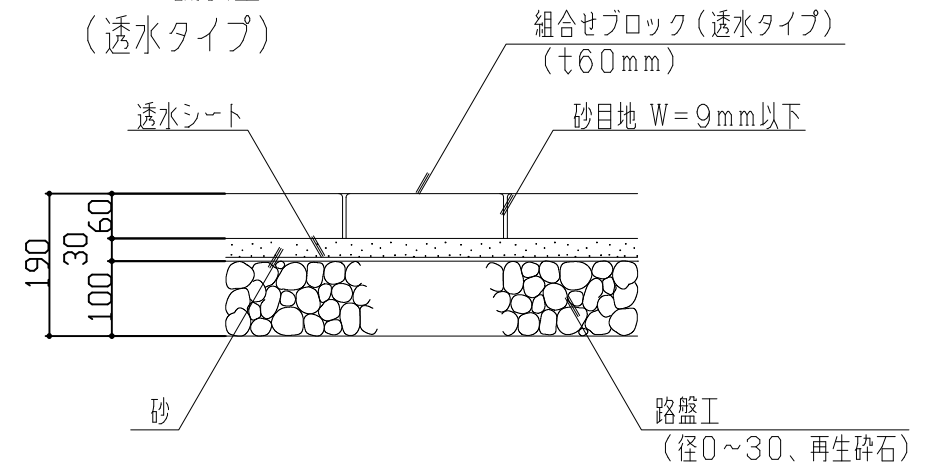


拡大図

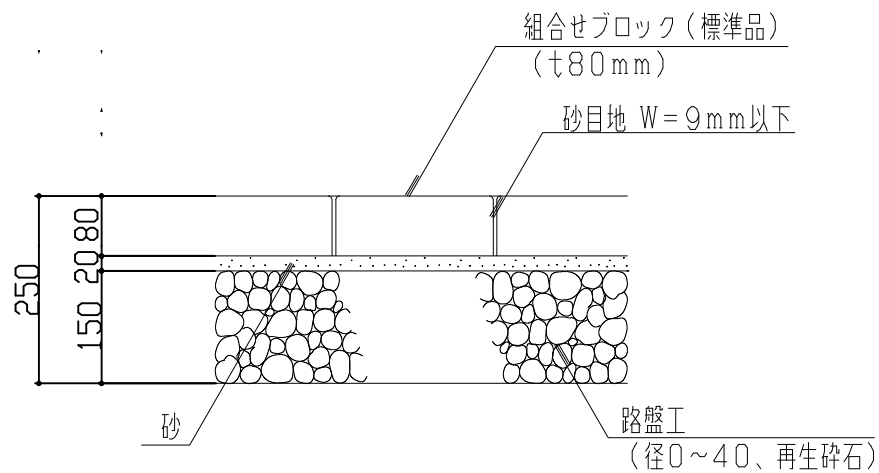
インターロッキングブロック舗装工-1 1:10



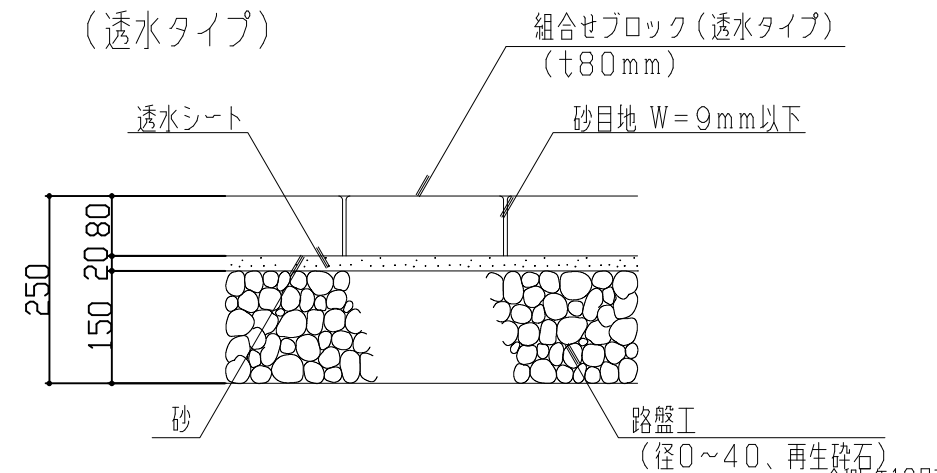
インターロッキングブロック舗装工-1 1:10
(透水タイプ)



インターロッキングブロック舗装工-2 1:10



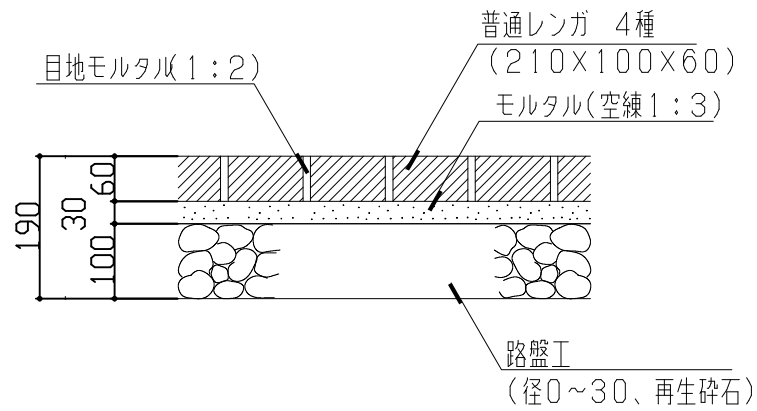
インターロッキングブロック舗装工-2 1:10
(透水タイプ)



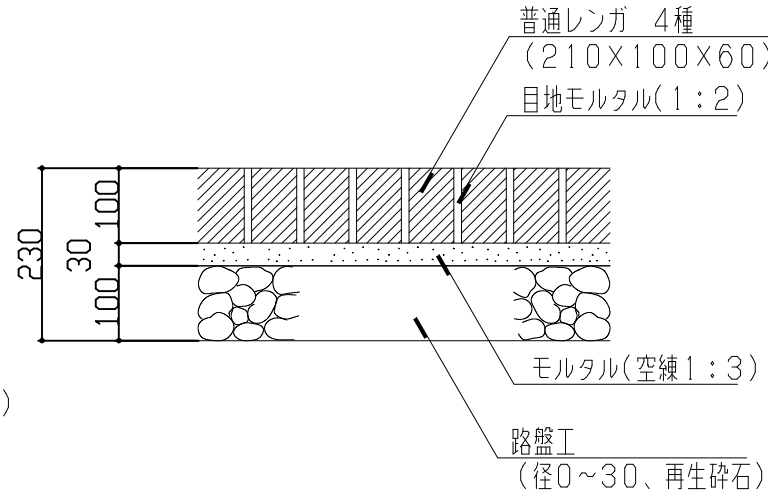
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
			WB810410 備 考 15年10月修正 22年10月修正 16年 9月・11月修正 25年10月修正		
<ul style="list-style-type: none"> タイプ1は歩行者通行用、タイプ2は管理車両通行用とする。 透水タイプのブロックは、透水係数が$1 \times 10^{-2} \text{cm} / \text{sec}$以上のものとする。 透水タイプのブロックを使用する場合、路床条件により必要と判断される時には、路盤工下部へのフィルター層の布設を別途検討すること。 ブロックは福祉対応型（目地の空きが9mm以下）のものとする。 透水シートの材質については、透水係数が$1 \times 10^{-2} \text{cm} / \text{sec}$以上、単位面積当りの質量が$60 \text{g} / \text{m}^2$以上、引張り強さが$100 \text{N} / 5 \text{cm}$以上の耐久性のあるものとする。 		インターロッキングブロック舗装工-1, 2			46-2

レンガ舗装工(A)-1 1:10
(平敷き)



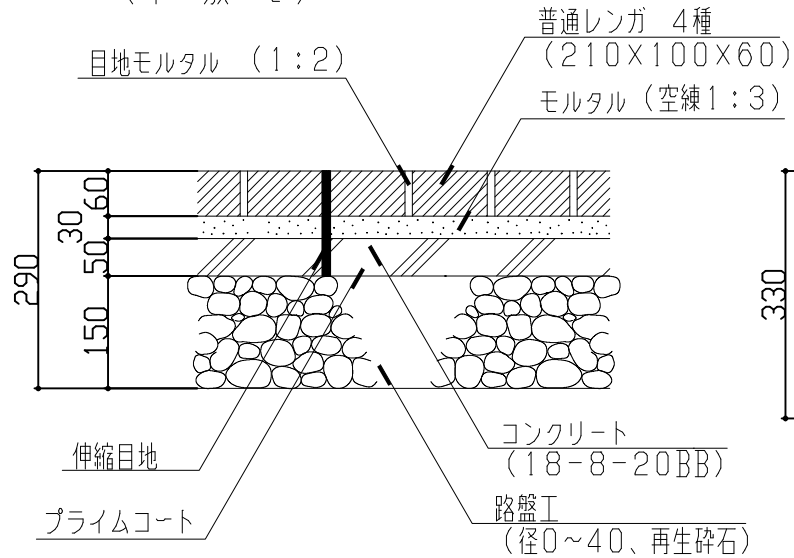
レンガ舗装工(B)-1 1:10
(小端立て敷き)



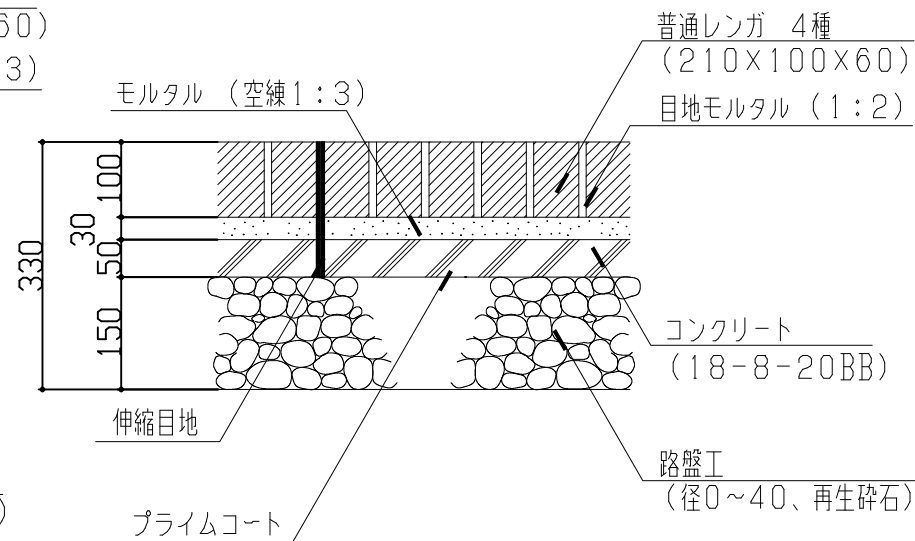
(1.0m²当り)

名称	形状寸法	単位	数				摘要
			(A)-1	(A)-2	(B)-1	(B)-2	
コンクリート	18-8-20BB	m ³	/	0.050	/	0.050	
モルタル	空練 1:3	〃	0.034	0.034	0.034	0.034	
普通レンガ	4種 210x100x60	m ²	1.0	1.0	1.0	1.0	JIS R1250 目地モルタル共
路盤工	再生砕石 径0~30 t100	〃	1.0	/	1.0	/	
〃	再生砕石 径0~40 t150	〃	/	1.0	/	1.0	
プライムコート		m ²	/	1.0	/	1.0	
掘削		m	-	-	-	-	
残土処分		〃	-	-	-	-	

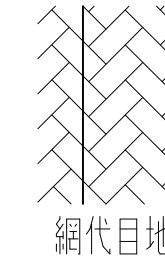
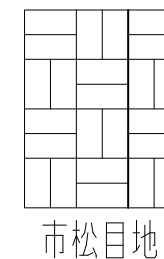
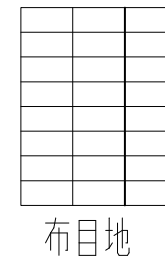
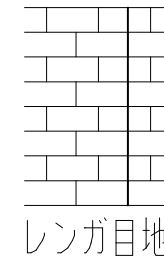
レンガ舗装工(A)-2 1:10
(平敷き)



レンガ舗装工(B)-2 1:10
(小端立て敷き)



敷方 (レンガ舗装)

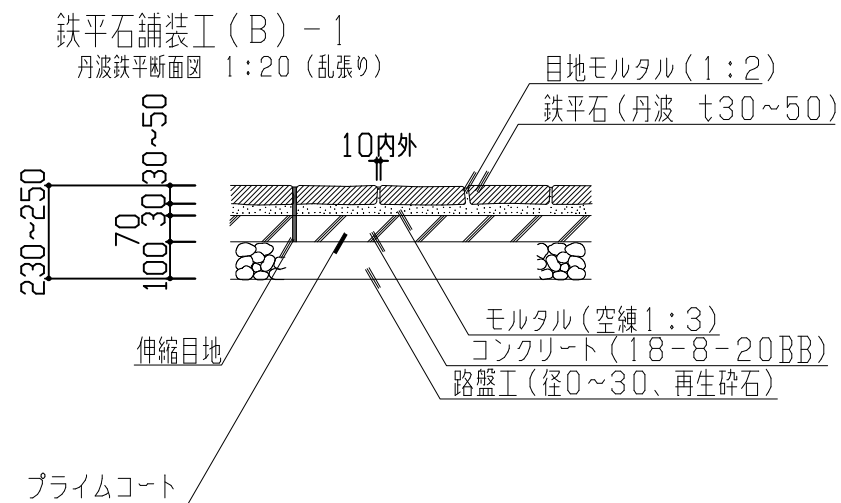
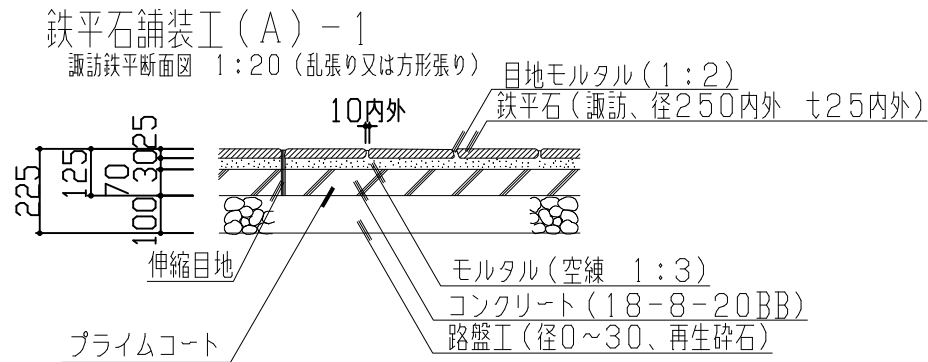


令和5年10月改定

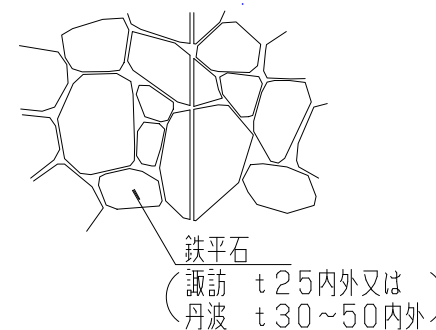
神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
			備考		
	<ul style="list-style-type: none"> 伸縮目地間隔については係員指示とする。 目地巾は8mmを標準とし、目地モルタル(1:2)使用とする。又、その仕上げ深さは、係員指示とする。 タイプ1は歩行者通行用、タイプ2は管理車両用とする。 敷き方は係員指示とする。 モルタルは、高炉セメントを使用すること。 	レンガ舗装工(A)-1, 2 〃 (B)-1, 2	WB610350		47-2
			15年10月修正 18年3月修正 16年9月・11月修正 22年10月修正		

(1.0m²当り)

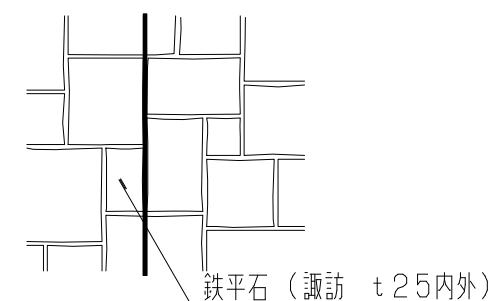
名 称	形 状 寸 法	単 位	数 量		摘 要
			(A)-1	(B)-1	
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.07	0.07	
モルタル	空練1:3	〃	0.034	0.034	
鉄平石		m ²	1.0	1.0	目地モルタル共
路盤工	再生砕石径0~30 t100	〃	1.0	1.0	
	再生砕石径0~40 t150	〃			
プライムコート		m ²	1.0	1.0	
掘 削		m ³	-	-	
残土処分		〃	-	-	



平面図 (乱張り)



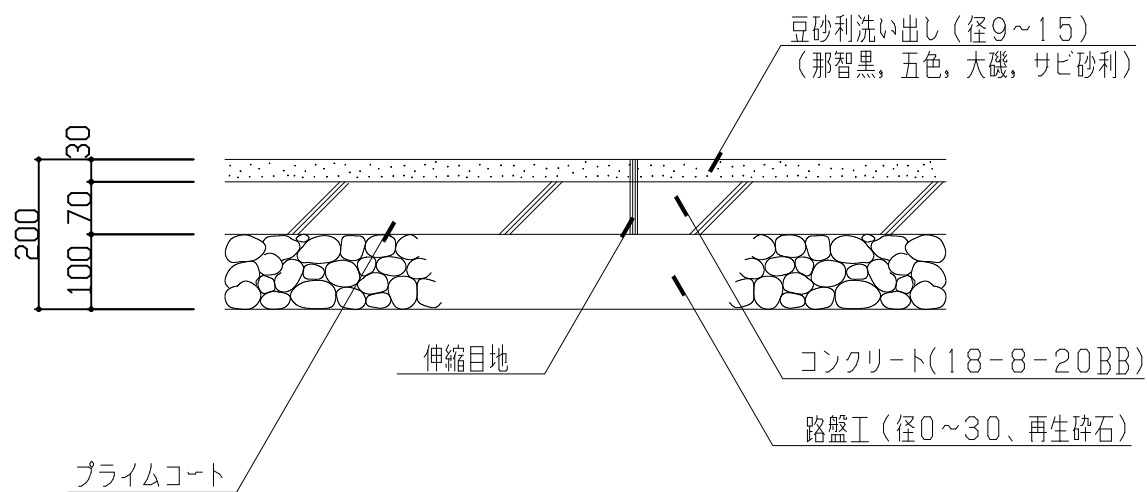
平面図 (方形張り)



令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
			CB221910 CB221911		
<ul style="list-style-type: none"> ・タイプ-1は歩行者通行用とする。 ・伸縮目地間隔については係員指示とする。 ・目地モルタル(1:2)の仕上げ深さは係員指示とする。 ・石材の仕上げは、割肌仕上げとする。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 			備 考 15年10月修正 25年10月修正 16年 9月・11月修正		

豆砂利洗い出舗装工-1 1:10



(1.0m²当り)

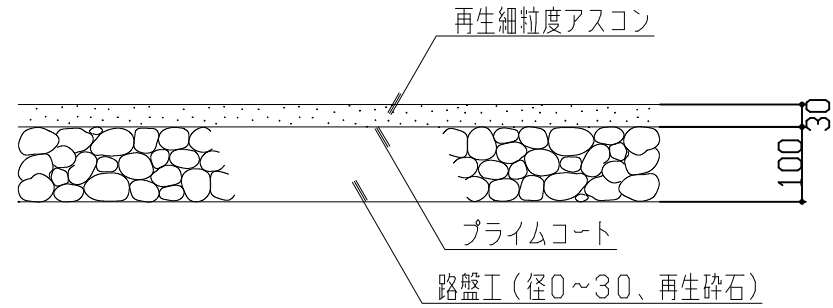
名称	形状寸法	単位	数量	
			タイプ-1	摘要
路盤工	再生碎石 径0~30 t100	m ²	1.0	
”	” 径0~40 t150	”		
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.07	
豆砂利	那智黒	m ²	1.0	
	五色			
	大磯			
	サビ砂利			
プライムコート		m ²	1.0	
残土処分		m ³	-	
堀削		m ³	-	

令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
			S5166		
<ul style="list-style-type: none"> 伸縮目地間隔については係員指示とする。 タイプ-1は歩行者通行用とする。 骨材は20kg/m²使用すること。 			備 考		
			15年10月修正 18年3月修正 16年9月・11月修正 25年10月修正		

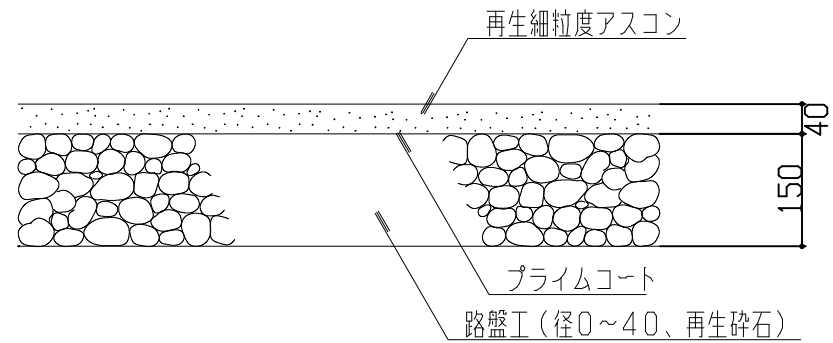
(1.0m²当り)

簡易アスファルト舗装工-1 断面図 1:10



名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			タイプ-1	タイプ-2	
路盤工	再生碎石 径0~30 t100	m ²	1.0		
〃	〃 径0~40 t150	〃		1.0	
再生細粒度アスコン	t30	〃	1.0		
再生細粒度アスコン	t40	〃		1.0	
掘削		m ³	-	-	
残土処分		〃	-	-	

簡易アスファルト舗装工-2 断面図 1:10



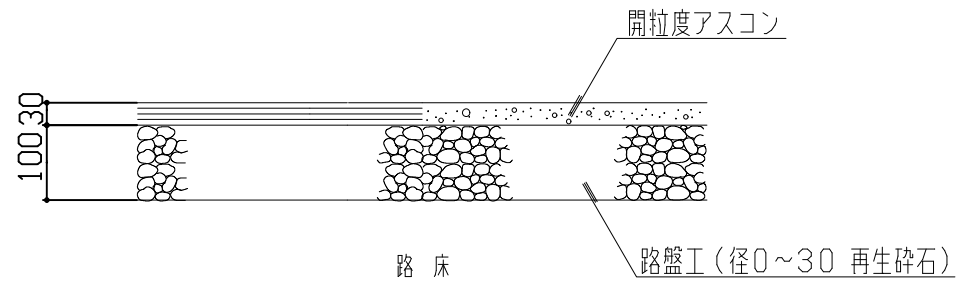
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記	号	ページ
					簡易アスファルト舗装工-1, 2			
					備考			
					15年10月修正 18年3月修正 16年9月・11月修正 27年10月修正			

- タイプ-1は歩行者通行用、タイプ-2は管理車両通行用とする。
- 下水汚泥焼却灰入りアスファルトの使用を原則とする。

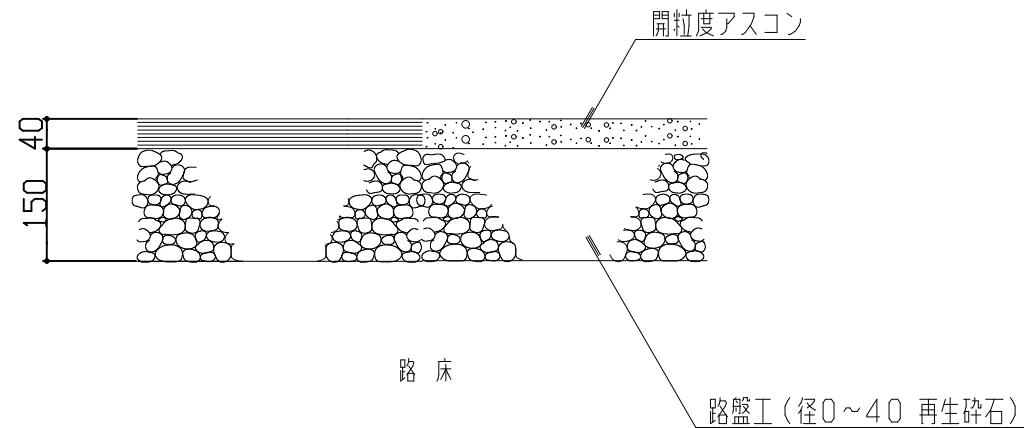
(1.0m²当り)

透水性アスファルト舗装工-1
断面図 1:10



名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			タイプ-1	タイプ-2	
路盤工	再生砕石 径0~30 t100	m ²	1.0		
	” 径0~40 t150	”		1.0	
開粒度アスコン	t30	”	1.0		
	t40	”		1.0	
掘削		m ³	-	-	
残土処分		”	-	-	

透水性アスファルト舗装工-2
断面図 1:10

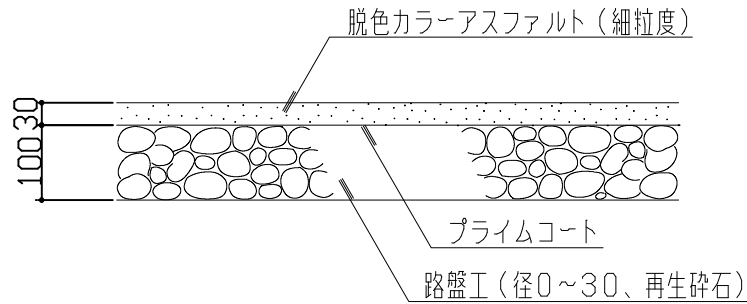


令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
			-		51-1
	<ul style="list-style-type: none"> タイプ-1は歩行者通行用、タイプ-2は管理車両通行用とする。 路床条件により必要と判断される場合、路盤工下部へのフィルター層の敷設を別途検討すること。 	透水性アスファルト舗装工-1、2	備考 15年10月修正 18年3月修正 16年 9月・11月修正		

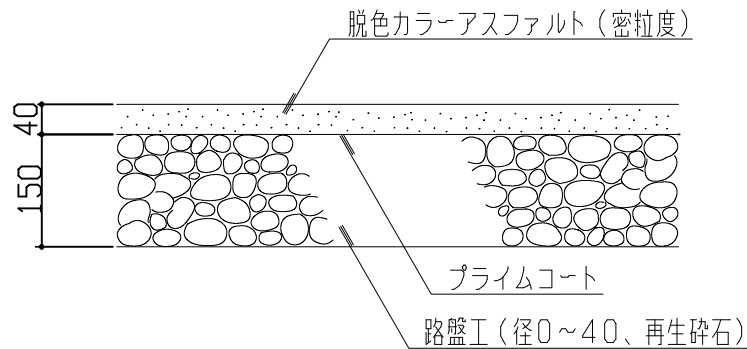
脱色カラーアスファルト舗装工-1 断面図 1:10

(1.0m²当り)



名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			タイプ-1	タイプ-2	
路盤工	再生砕石 径0~30 t100	m ²	1.0		
〃	〃 径0~40 t150	〃		1.0	
脱色カラーアスコン	細粒度 t30	〃	1.0		
〃	密粒度 t40	〃		1.0	
掘削		m ³	-	-	
残土処分		〃	-	-	

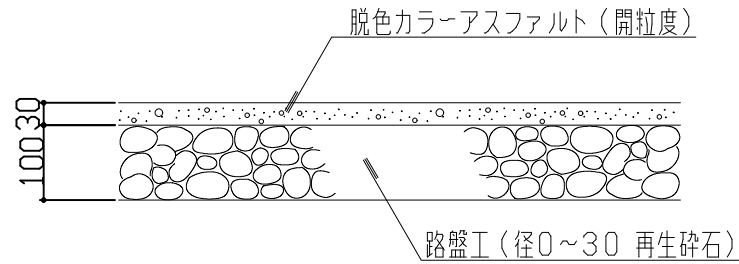
脱色カラーアスファルト舗装工-2 断面図 1:10



令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
			脱色カラーアスファルト 舗装工-1, 2	-	
<ul style="list-style-type: none"> この舗装は、脱色アスファルトの内、顔料を加え着色するものをいう。 タイプ-1は歩行者通行用、タイプ-2は管理車両通行用とする。 表層の色はアイボリー系とし、メーカーよりサンプルを取り寄せ監督員の承諾を得ること。 粗骨材最大寸法は13mmで、空隙率は3~6%とする。 細粒度、密粒度共にアスファルト混合物は舗装施工便覧に記載されている基準を満たすものであること。 バインダーは石油樹脂系とし、ポリマー改質アスファルトI型同程度もしくはそれ以上の性能を有するものを使用すること。 プライムコートには脱色乳剤を使用すること。 		備 考			
			24年10月追加 27年10月修正		

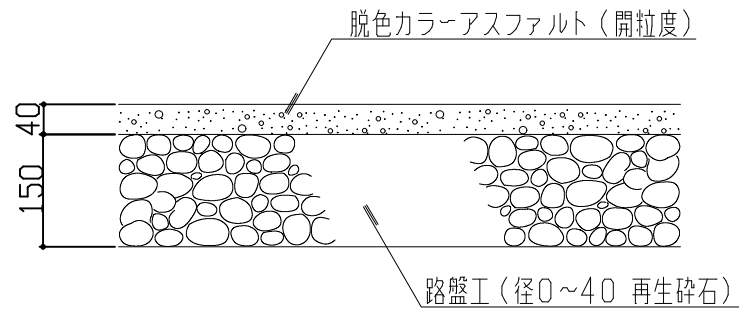
透水性脱色カラーアスファルト舗装工-1 断面図 1:10



(1.0m²当り)

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			タイプ-1	タイプ-2	
路盤工	再生碎石 径0~30 t100	m ²	1.0	/	
〃	〃 径0~40 t150	〃	/	1.0	
脱色カラーアスコン	開粒度 t30	〃	1.0	/	
〃	〃 t40	〃	/	1.0	
掘削		m ³	-	-	
残土処分		〃	-	-	

透水性脱色カラーアスファルト舗装工-2 断面図 1:10



令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
			透水性脱色カラーアスファルト 舗装工-1, 2		

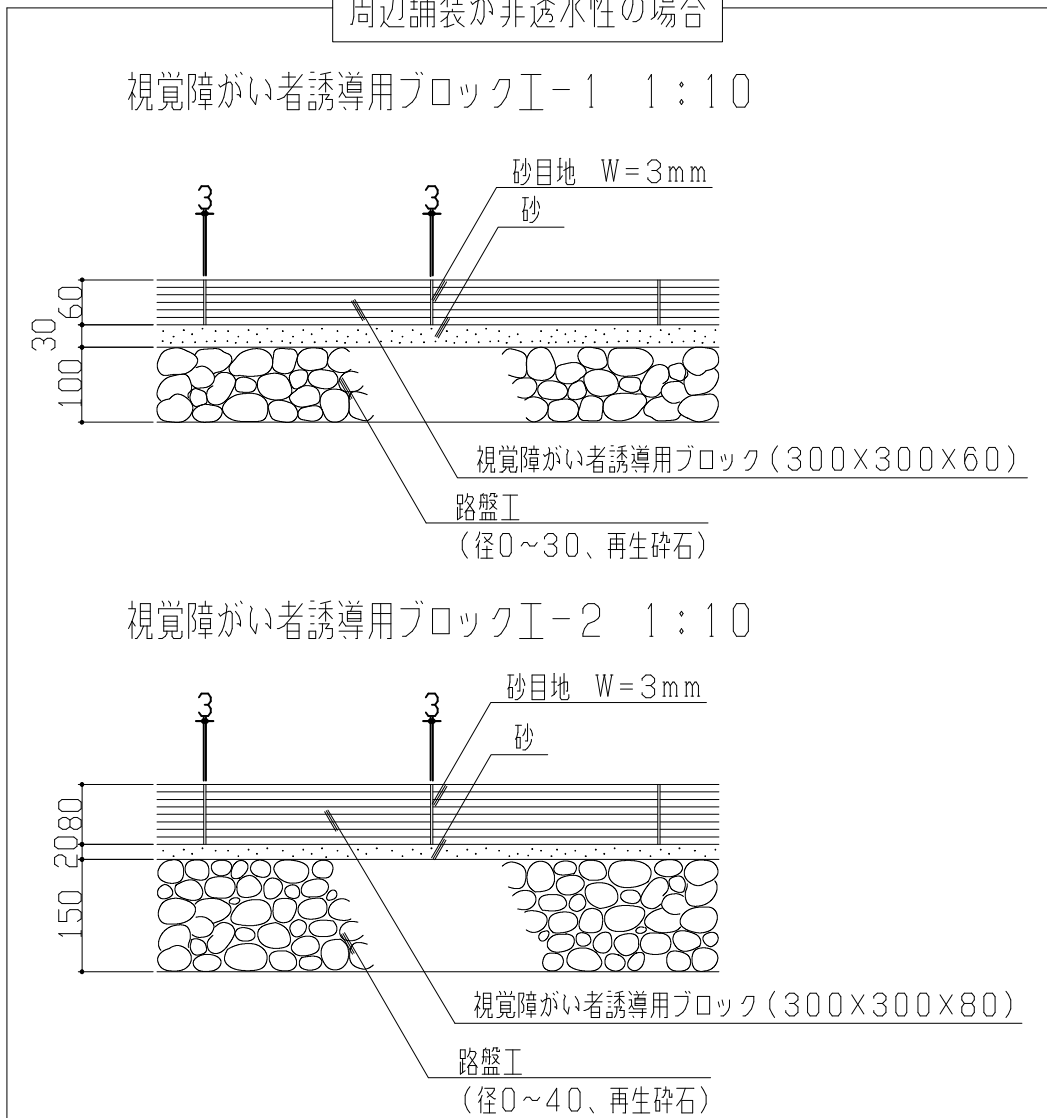
- この舗装は、脱色アスファルトの内、顔料を加え着色するものをいう。
- タイプ-1は歩行者通行用、タイプ-2は管理車両通行用とする。
- 表層の色はアイボリー系とし、メーカーよりサンプルを取り寄せ監督員の承諾を得ること。
- 粗骨材最大寸法は13mm、空隙率は12~20%とする。
- アスファルト混合物は舗装施工便覧に記載されている基準を満たすものであること。
- バインダーは石油樹脂系とし、性状はポリマー改質アスファルト I 型同程度もしくはそれ以上の性能を有するものを使用すること。

• 路床条件により必要と判断される場合、路盤工下部へのフィルター層の敷設を別途検討すること。

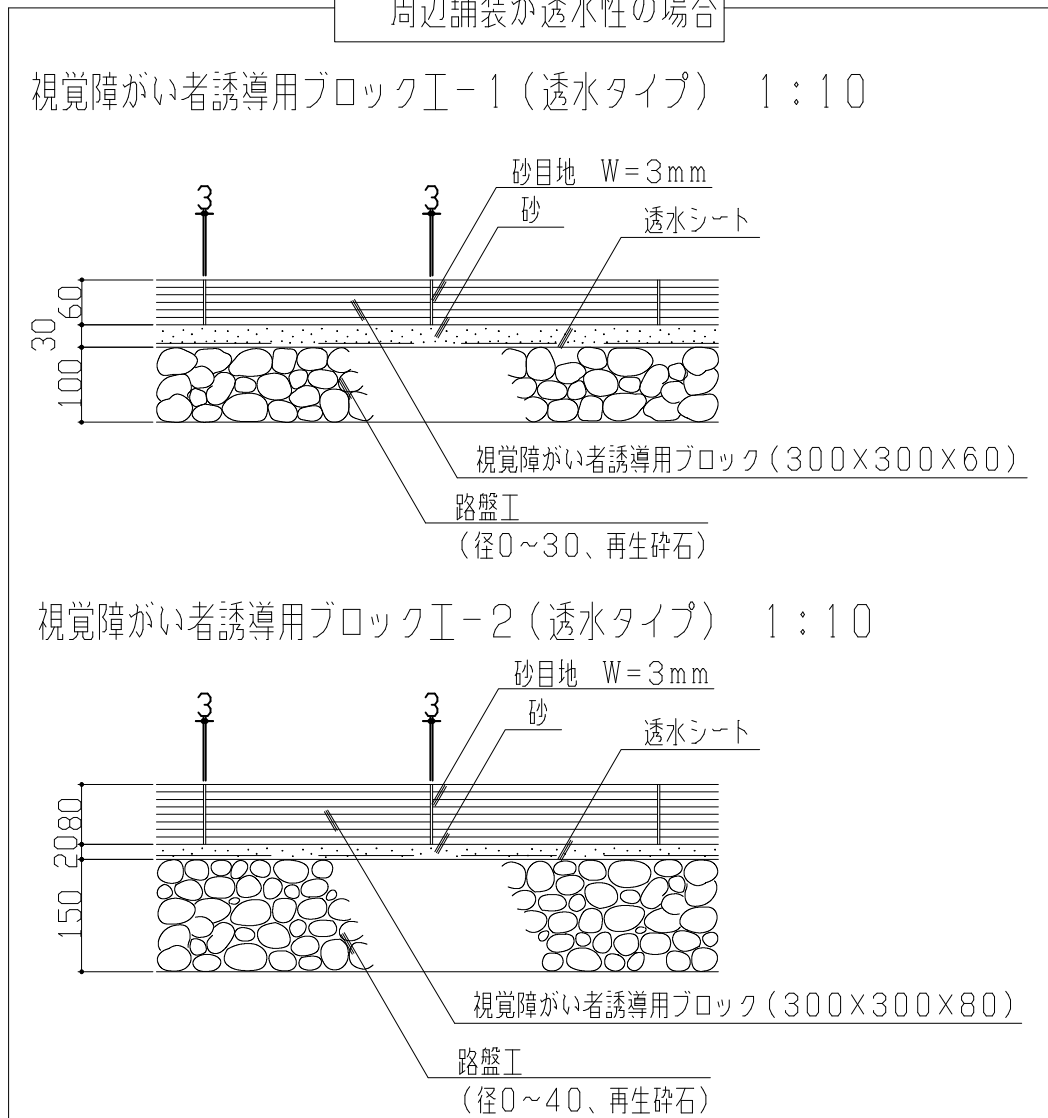
(インターロッキングブロック舗装の場合)

名称	形状寸法	単位	数量				摘要
			非透水		透水		
			タイプ-1	タイプ-2	タイプ-1	タイプ-2	
路盤工	再生砕石 径0~30 t100	m ²	1.0	/	1.0	/	
”	” 径0~40 t150	”	/	1.0	/	1.0	
砂		m ³	0.03	0.02	0.03	0.02	
透水シート		m ²	/	/	1.0	1.0	
視覚障がい者誘導用ブロック	300×300×60 t60	”	1.0	/	1.0	/	砂目地共、透水・非透水共通
誘導用ブロック	300×300×80 t80	”	/	1.0	/	1.0	砂目地共、透水・非透水共通
掘削		m ³	-	-	-	-	
残土処分		”	-	-	-	-	

周辺舗装が非透水性の場合



周辺舗装が透水性の場合

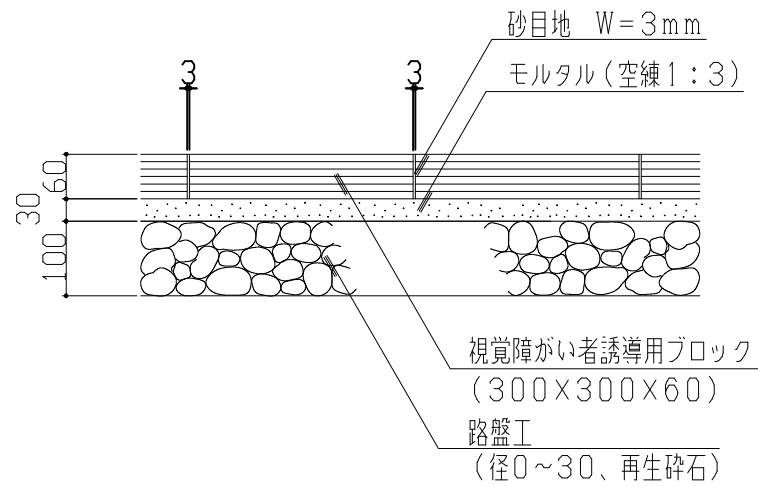


令和5年10月改定

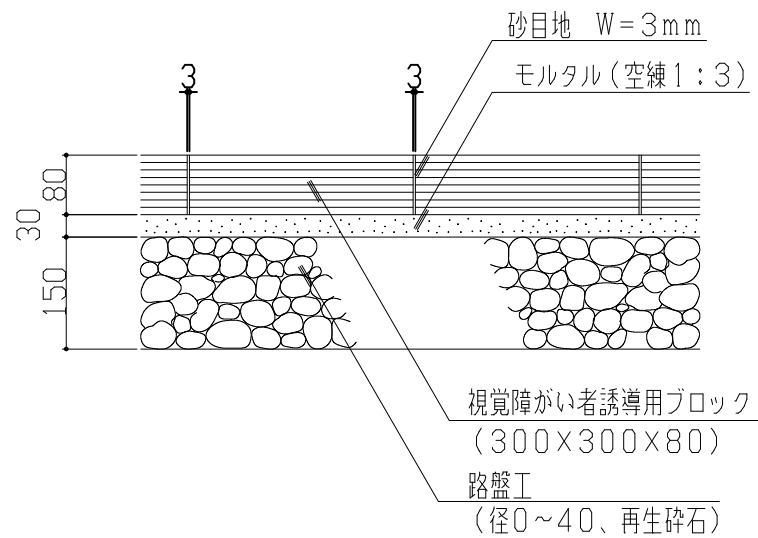
神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記	号	ペー	ジ
	<ul style="list-style-type: none"> ・タイプ1は歩行者通行用、タイプ2は管理車両通行用とする。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・形状については、JIS T 9251 (視覚障がい者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列) に示された仕様に従うこと。 ・設置の際には、周囲の路面との傾度比2.0以上を確保すること。 ・透水シートの材質については、透水係数が1×10⁻²cm/sec以上、単位面積当たりの質量が60g/m²以上、引張り強さが100N/5cm以上の耐久性のあるものとする。 ・透水タイプのブロックを使用する場合、路床条件により必要と判断される時には、路盤工下部へのフィルター層の布設を別途検討すること。 				CB422530			52-2	
	視覚障がい者誘導用ブロック工-1, 2				備考				
				24年10月追加 29年10月修正					

(平板ブロック舗装の場合)

視覚障がい者誘導用ブロック工-1 1:10



視覚障がい者誘導用ブロック工-2 1:10



(1.0m²当り)

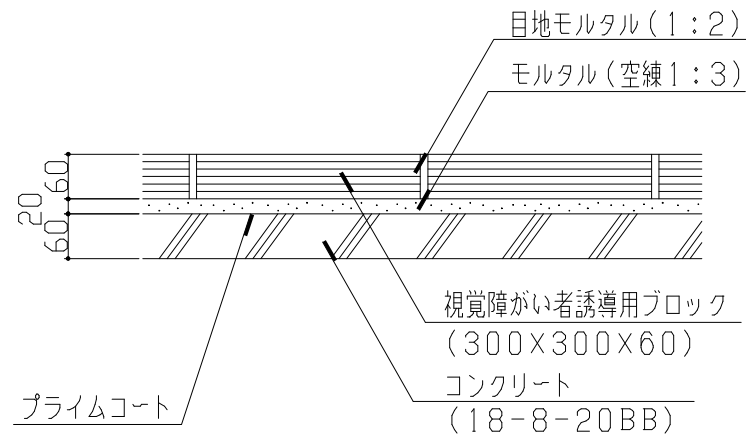
名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			タイプ-1	タイプ-2	
モルタル	空練 1:3	m ³	0.03	0.03	
路盤工	再生碎石 径0~30 t100	m ²	1.0		
〃	〃 径0~40 t150	〃		1.0	
視覚障がい者誘導用ブロック	300×300×60 t60	〃	1.0		砂目地共
	300×300×80 t80	〃		1.0	砂目地共
掘削		m ³	-	-	
残土処分		〃	-	-	

令和5年10月改定

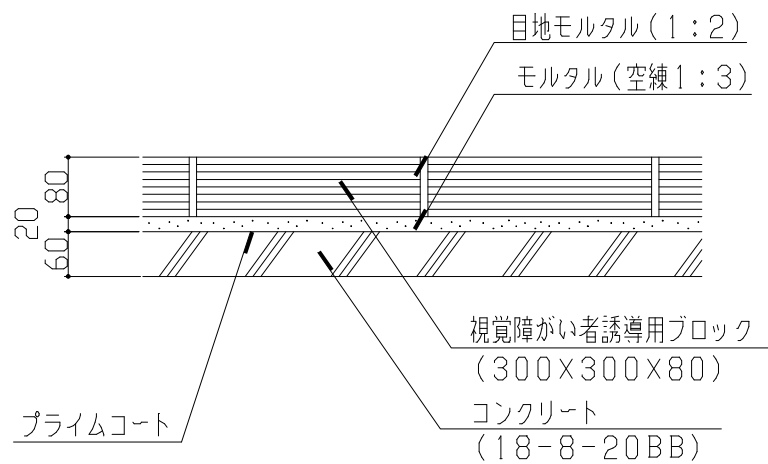
神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記	号	ページ
	<ul style="list-style-type: none"> タイプ1は歩行者通行用、タイプ2は管理車両通行用とする。 モルタルは、高炉セメントを使用すること。 形状については、JIS T 9251(視覚障がい者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列)に示された仕様に従うこと。 設置の際には、周囲の路面との輝度比2.0以上を確保すること。 		視覚障がい者誘導用ブロック工-1, 2		CB422530			52-3
					備考			
					24年10月追加			

(アスファルト舗装、コンクリート舗装の場合)

視覚障がい者誘導用ブロック工-1 1:10



視覚障がい者誘導用ブロック工-2 1:10



(1.0m²当り)

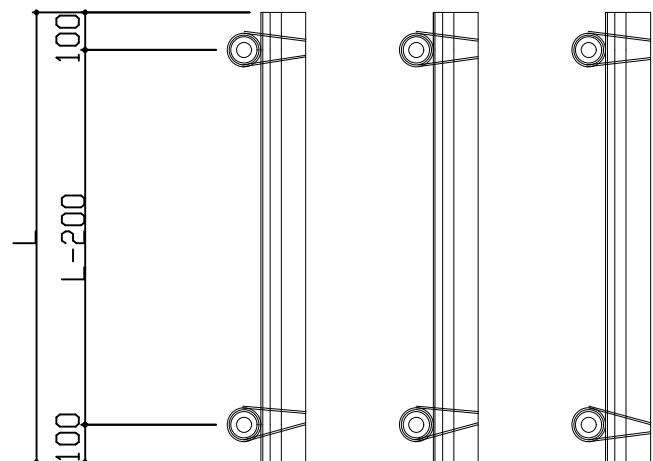
名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			タイプ-1	タイプ-2	
モルタル	空練1:3	m ³	0.02	0.02	
コンクリート	18-8-20BB	〃	0.06	0.06	
視覚障がい者誘導用ブロック	300×300×60 t60	m ²	1.0		
	300×300×80 t80	〃		1.0	
プライムコート		m ²	1.0	1.0	
掘削		m ³	-	-	
残土処分		〃	-	-	

令和5年10月改定

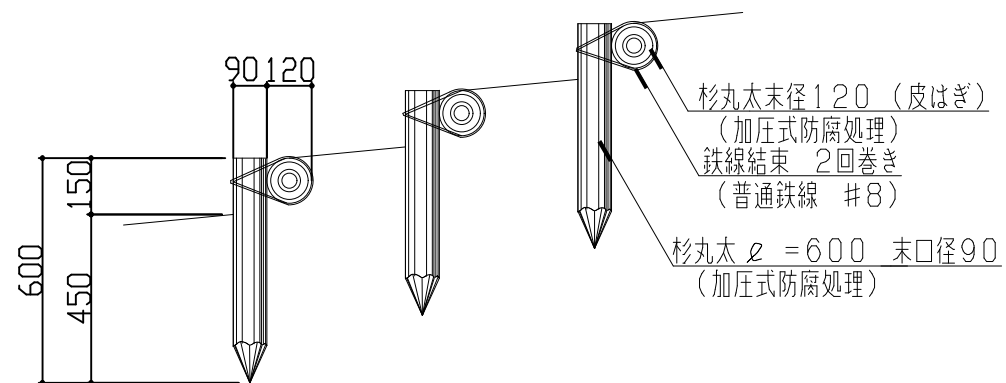
神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
			CB422530		52-4
			備考		
視覚障がい者誘導用ブロック工-1, 2			24年10月追加		

- タイプ1は歩行者通行用、タイプ2は管理車両通行用とする。
- モルタルは、高炉セメントを使用すること。
- 形状については、JIS T 9251(視覚障がい者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列)に示された仕様に従うこと。
- 設置の際には、周囲の路面との輝度比2.0以上を確保すること。

平面図 1:20



側面図 1:20

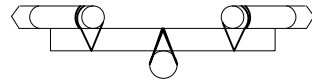


(1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量				適用
			(A)	(B)	(C)	(D)	
杉丸太	末口径120 L=1.0m	m	1.0				加圧式防腐処理 JIS A 9002
〃	〃 L=1.2m	〃		1.2			
〃	〃 L=1.5m	〃			1.5		
〃	〃 L=1.8m	〃				1.8	
〃	末口径90 =0.6m	〃	1.2	1.2	1.2	1.2	
鉄線	#8	kg	0.426	0.426	0.426	0.426	

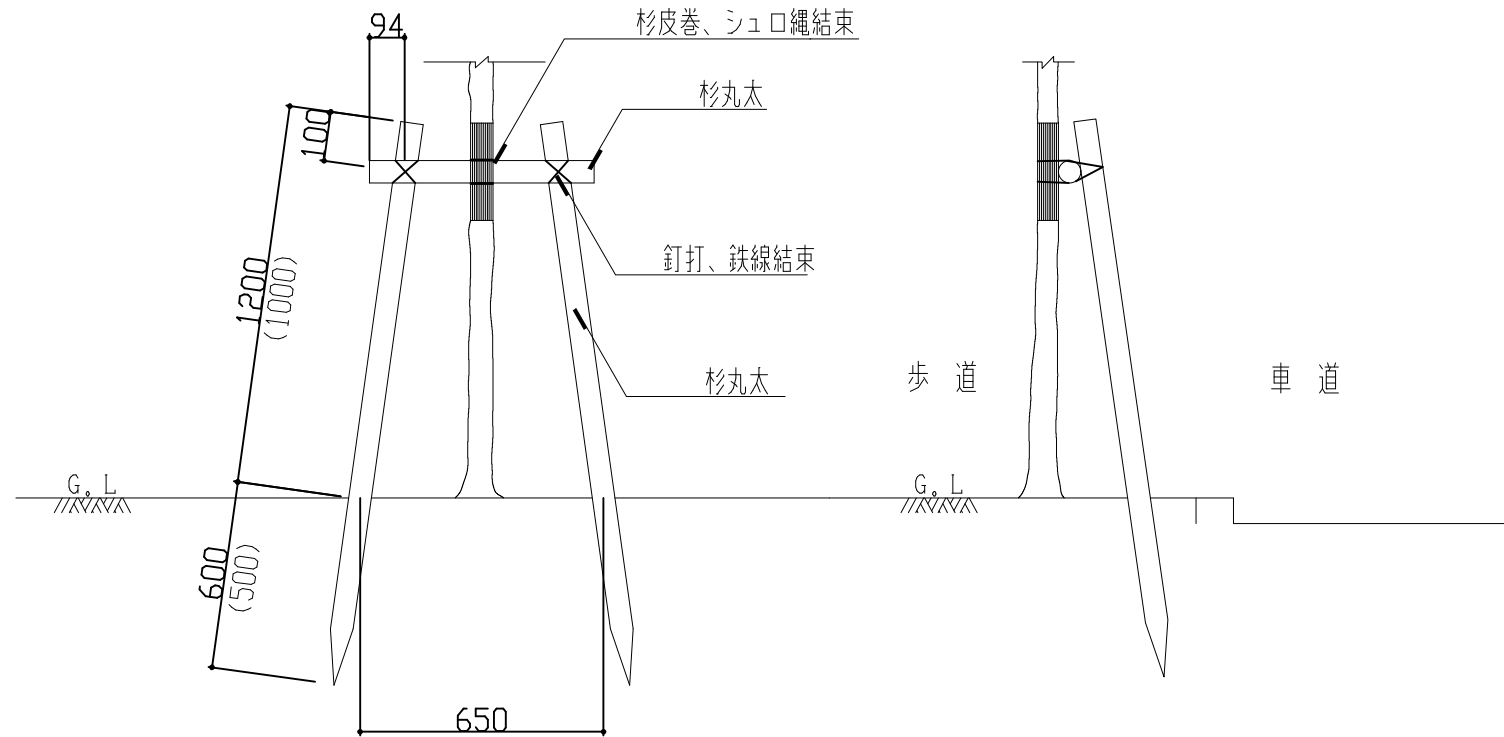
令和5年10月改定

平面図 1:20



正面図 1:20

側面図 1:20



・ () 内寸法は2T-15

(1.0組当り)

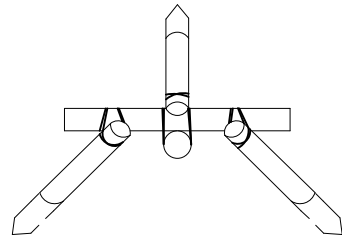
名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			2T-15	2T-18	
杉丸太	末口径4.5~7.5cm $\phi=1.5m$	本	2.0		加圧式防腐処理 JIS A 9002
〃	〃 $\phi=1.8m$	〃		2.0	
〃	〃 $\phi=0.6m$	〃	1.0	1.0	
結束材料		式	1.0	1.0	

令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
			植 栽 工	備 考	2T-15, 18
		2脚鳥居型支柱	14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正 24年10月修正		

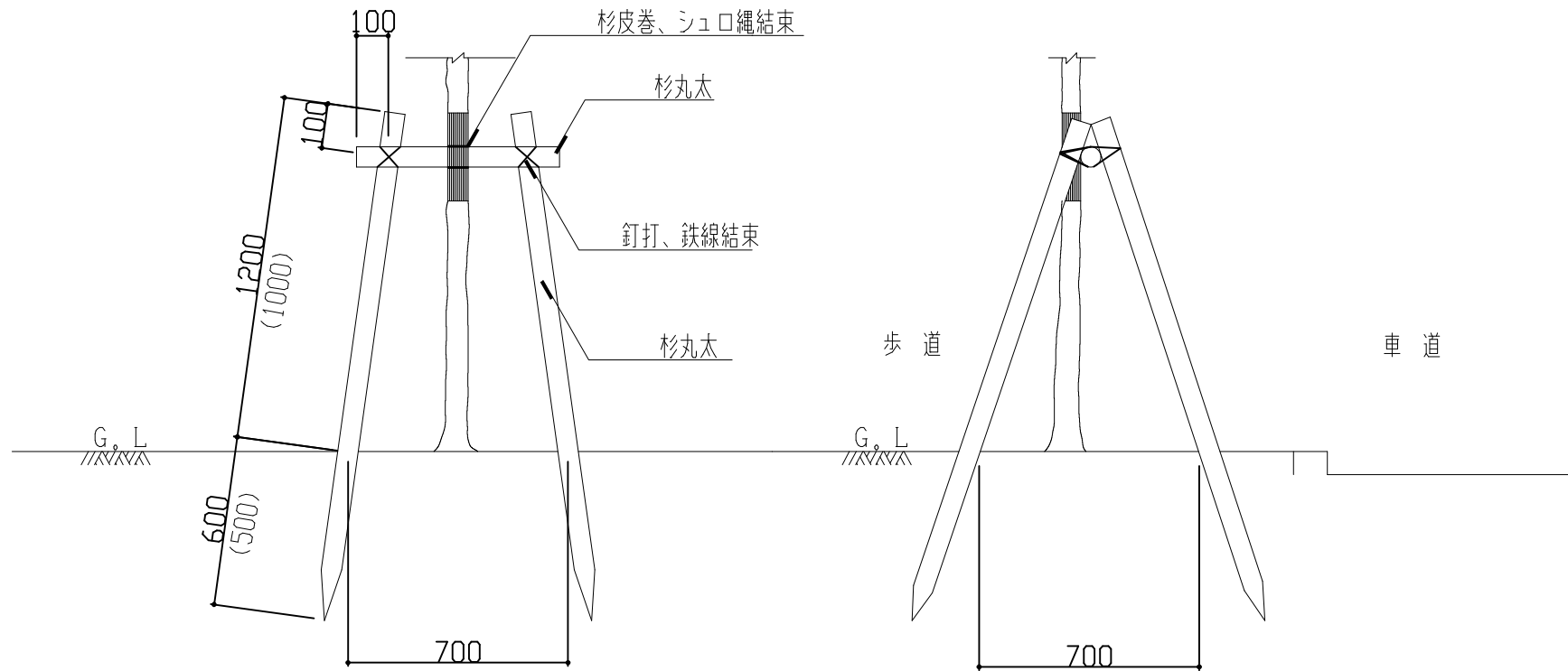
・結束材料とは垂鉛引鉄線(＃18)、洋釘(10cm)、シュロ縄(6mm)、杉皮(杉皮テープでも可)等を示す。
 ・結束は綾掛(裏二文字型)とし、樹木結束は綾掛、割掛とも3回、支柱結束は綾掛3回、割掛2回とする。
 ・支柱は末口を上にして使用すること。また、木材の加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理JIS A 9002」に適合するものとする。
 ・丸太の見え掛り切り口は、面取り仕上とする。・垂鉛引鉄線、シュロ縄とも2本寄せにして使用すること。
 ・杉丸太は同等の品質を持つヒノキ丸太で代用できるものとする。

平面図 1:20



正面図 1:20

側面図 1:20



・()内は3T-15

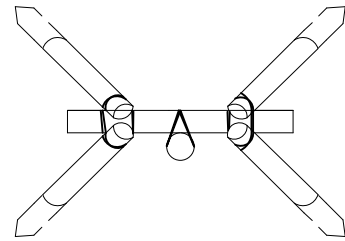
(1.0組当り)

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			3T-15	3T-18	
杉丸太	末口径4.5~7.5cm \varnothing =1.5m	本	3.0		加圧式防腐処理 JIS A 9002
〃	〃 \varnothing =1.8m	〃		3.0	
〃	〃 \varnothing =0.6m	〃	1.0	1.0	
結束材料		式	1.0	1.0	

令和5年10月改定

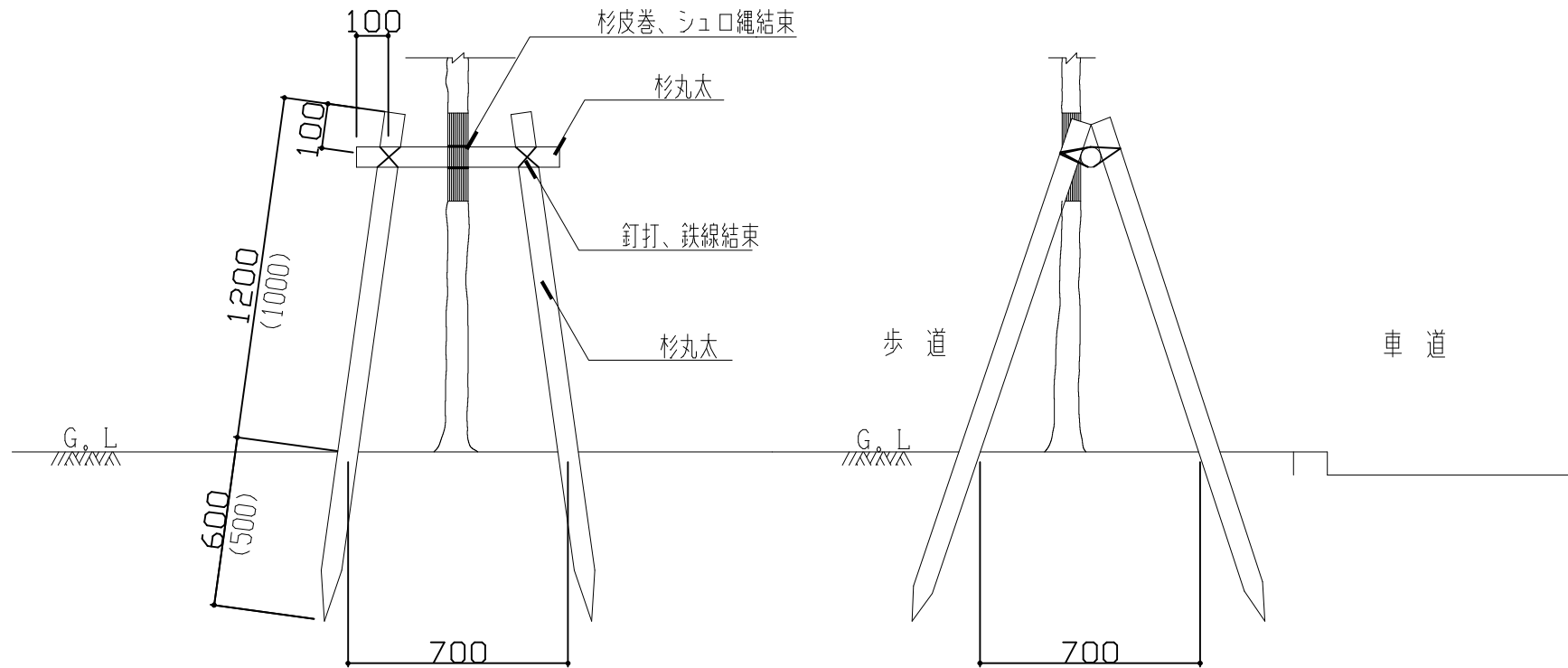
神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
			植 栽 工		
	<ul style="list-style-type: none"> 結束材料とは垂鉛引鉄線(＃18)、洋釘(10cm)、シュロ縄(6mm)、杉皮(杉皮テープでも可)等を示す。 結束は綾掛(裏二文字型)とし、樹木結束は綾掛、割掛とも3回、支柱結束は綾掛3回、割掛2回とする。 支柱は末口を上にして使用すること。また、木材の加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理JIS A 9002」に適合するものとする。 丸太の見え掛り切り口は、面取り仕上とする。 丸太は同等の品質を持つヒノキ丸太で代用できるものとする。 	3脚鳥居型支柱	備考	3T-15, 18	55
			14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正 24年10月修正		

平面図 1:20



正面図 1:20

側面図 1:20



・()内は4T-15

(1.0組当り)

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			4T-15	4T-18	
杉丸太	末口径4.5~7.5cm \varnothing =1.5m	本	4.0		加圧式防腐処理 JIS A 9002
〃	〃 \varnothing =1.8m	〃		4.0	
〃	〃 \varnothing =0.6m	〃	1.0	1.0	
結束材料		式	1.0	1.0	

令和5年10月改定

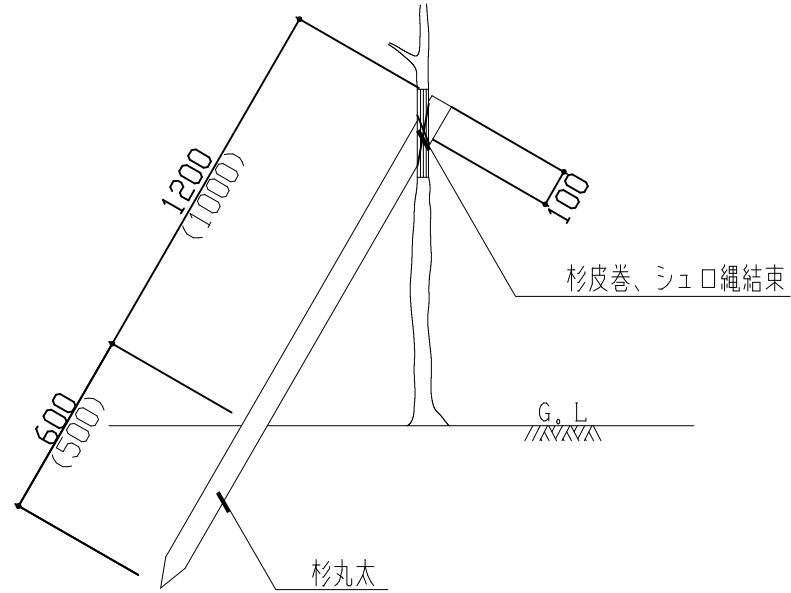
神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
			植 栽 工 4脚鳥居型支柱	備 考 14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正 24年10月修正	4T-15, 18

・結束材料とは垂鉛引鉄線(＃18)、洋釘(10cm)、シュロ縄(6mm)、杉皮(杉皮テープでも可)等を示す。
 ・結束は綾掛(裏二文字型)とし、樹木結束は綾掛、割掛とも3回、支柱結束は綾掛3回、割掛2回とする。
 ・支柱は末口を上にして使用すること。また、木材の加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理JIS A 9002」に適合するものとする。
 ・丸太の見え掛り切り口は、面取り仕上とする。・垂鉛引鉄線、シュロ縄とも2本寄せにして使用すること。
 ・杉丸太は同等の品質を持つヒノキ丸太で代用できるものとする。

(1.0組当り)

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			1S-15	1S-18	
杉丸太	末口径4.5~7.5cm $\phi=1.8$ m	本		1.0	加圧式防腐処理 JIS A 9002
〃	〃 $\phi=1.5$ m	〃	1.0		
結束材料		式	1.0	1.0	

正面図 1:20



・()内は1S-15

令和5年10月改定

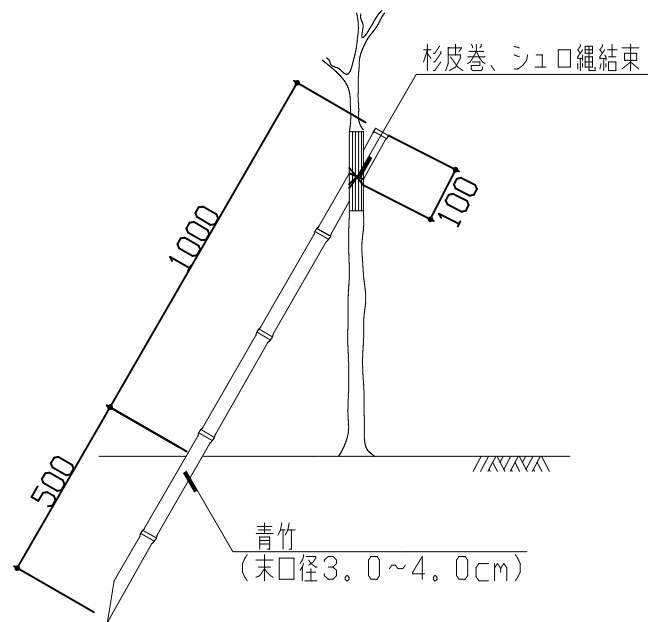
神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
			植 栽 工	備 考	1S-15, 18
	1本支柱		14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正 24年10月修正		

- ・結束材料とはシュロ縄(3mm)、杉皮(杉皮テープでも可)等を示す。
- ・結束材料は綾掛(裏二文字型)とし、綾掛、割掛とも1回とする。
- ・支柱は末口を上にして使用すること。また、木材の加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理JIS A 9002」に適合するものとする。
- ・丸太の見え掛り切り口は、面取り仕上とする。 亜鉛引鉄線、シュロ縄とも2本寄せにして使用すること。
- ・杉丸太は同等の品質を持つヒノキ丸太で代用できるものとする。

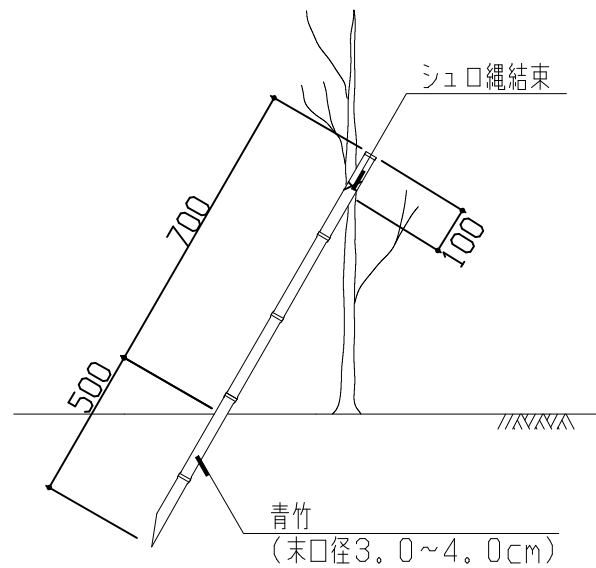
(1.0組当り)

名称	形状寸法	単位	数量			摘要
			1B-05	1B-12	1B-15	
青竹	末口径3.0~4.0cm $Q=0.5m$	本	1.0			
〃	〃 $Q=1.2m$	〃		1.0		
〃	〃 $Q=1.5m$	〃			1.0	
結束材料		式	1.0	1.0	1.0	

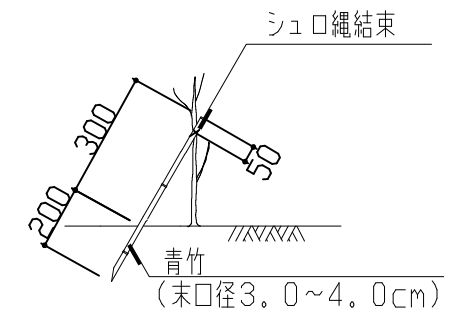
正面図 1:20 (1B-15)



正面図 1:20 (1B-12)



正面図 1:20 (1B-05)



令和5年10月改定

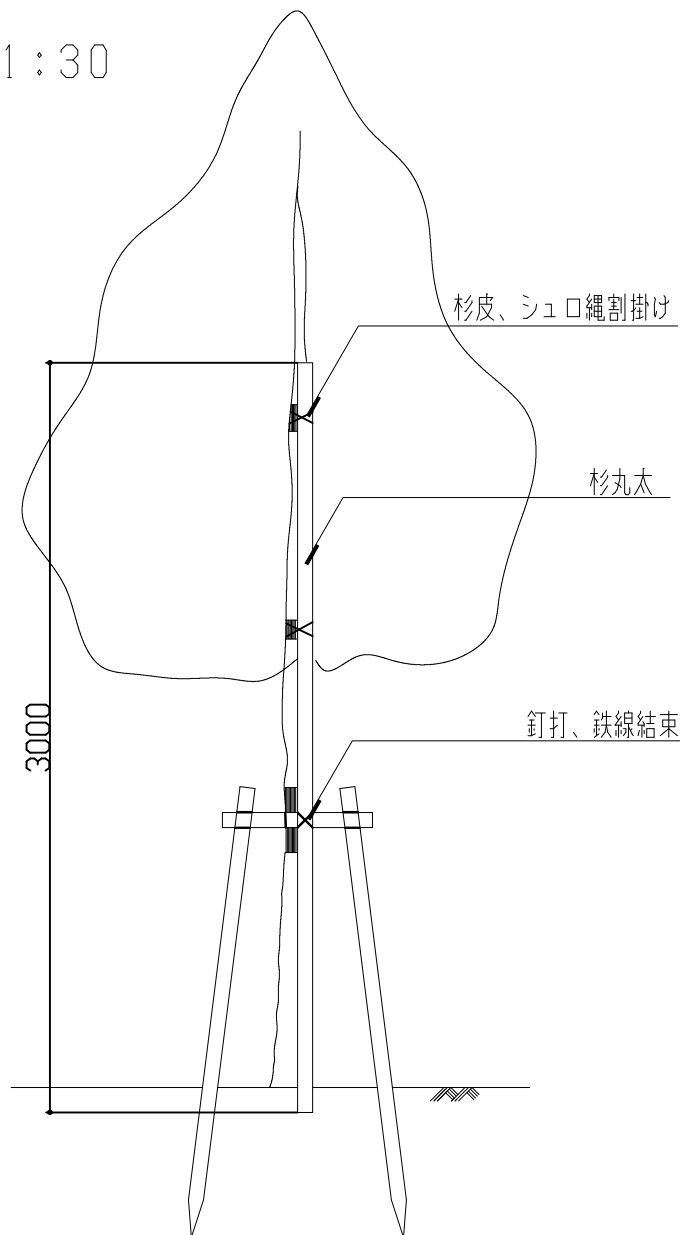
神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
			植 栽 工 1本支柱(青竹)	備 考 5年7月追加 24年10月修正 18年3月修正	1B-05, 12 15

- 1B-15の結束材料とは、シユロ縄(3mm)、杉皮(杉皮テープでも可)を示す。
- 1B-05、12の結束材料とは、杉皮等を示す。
- 樹木結束は綾掛(裏二文字型)とし、綾掛、割掛とも1回とする。
- 支柱は末口を上にして使用すること。又見え掛り切り口は面取り仕上げとする。
- 青竹は節止めとする。
- シユロ縄は2本寄せにして使用すること。

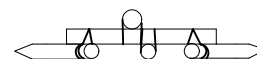
(1.0組当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
杉丸太	末口径4.5~6.0cm 長=3.0m	本	1.0	加圧式防腐処理 JIS A 9002
結束材料		式	1.0	

正面図 1:30



平面図 1:30

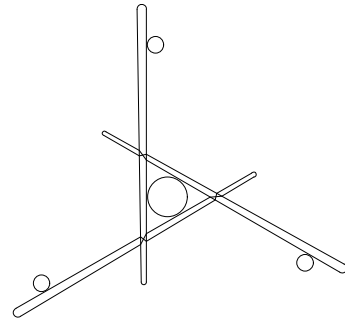


令和5年10月改定

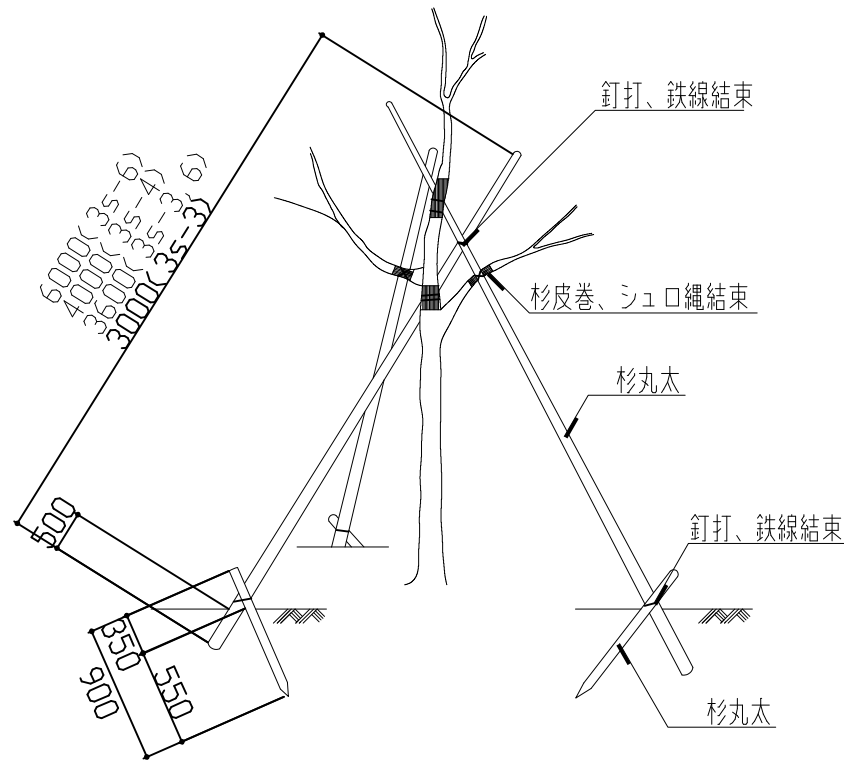
神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
		植 栽 工 添 柱	備 考 14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正 24年10月修正		58

- 結束材料とは垂鉛引鉄線(＃18)、洋釘(10cm)、シュロ縄(6mm)、杉皮等(杉皮テープでも可)を示す。
- 結束は綾掛とし、樹木結束は綾掛、割掛とも3回、支柱結束は綾掛3回、割掛2回とする。
- 支柱は末口を上にして使用すること。また、木材の加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理JIS A 9002」に適合するものとする。
- 添柱への結束箇所は、監督員指示とする。
- 垂鉛引鉄線、シュロ縄とも2本寄せにして使用すること。
- 杉丸太は同等の品質を持つヒノキ丸太で代用できるものとする。

平面図



正面図



(1.0組当り)

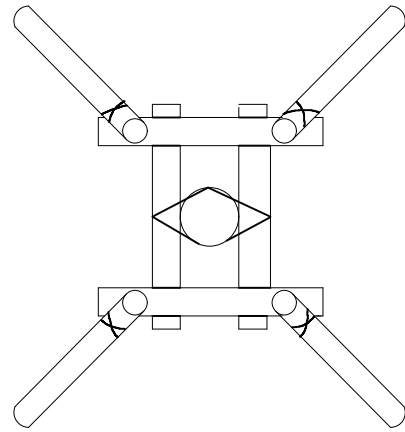
名称	形状寸法	単位	数量				摘要
			3S-3	3S-3.6	3S-4	3S-6	
杉丸太	末口径4.5~6.0cm $\varnothing=3.0$ m	本	3.0				加圧式防腐処理 JIS A 9002
〃	〃 $\varnothing=3.6$ m	〃		3.0			
〃	〃 $\varnothing=4.0$ m	〃			3.0		
〃	〃 $\varnothing=6.0$ m	〃				3.0	
〃	〃 $\varnothing=0.9$ m	〃	3.0	3.0	3.0	3.0	
結束材料		式	1.0	1.0	1.0	1.0	

令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
			植 栽 工 3本支柱	備 考 14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正 24年10月修正	3S-3, 3.6 4, 6

- ・結束材料とは亜鉛引鉄線(＃18)、洋釘(10cm)、シュロ縄(6mm)、杉皮等(杉皮テープも可)を示す。
- ・結束は、綾掛(裏二文字型)とし、樹木結束は綾掛、割り掛共に3回、支柱結束は綾掛3回、割り掛2回とする。
- ・支柱は末口を上にして使用すること。また、木材の加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理JIS A 9002」に適合するものとする。
- ・丸太の見え掛り切り口は、面取り仕上とする。・原則として支柱1本ごとに幹と結束すること。
- ・亜鉛引鉄線、シュロ縄とも2本寄せにして使用すること。・杉丸太は同等の品質を持つヒノキ丸太で代用できるものとする。

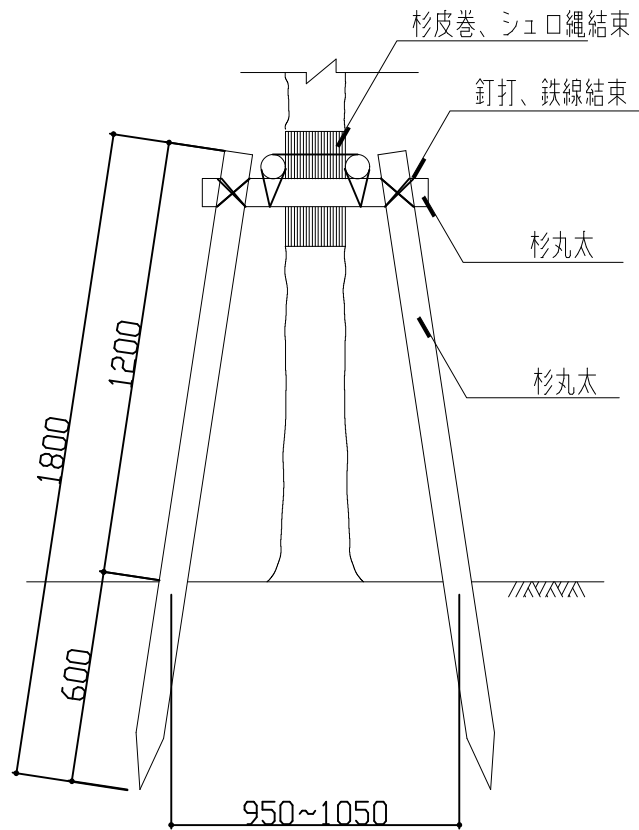
平面図 1:20



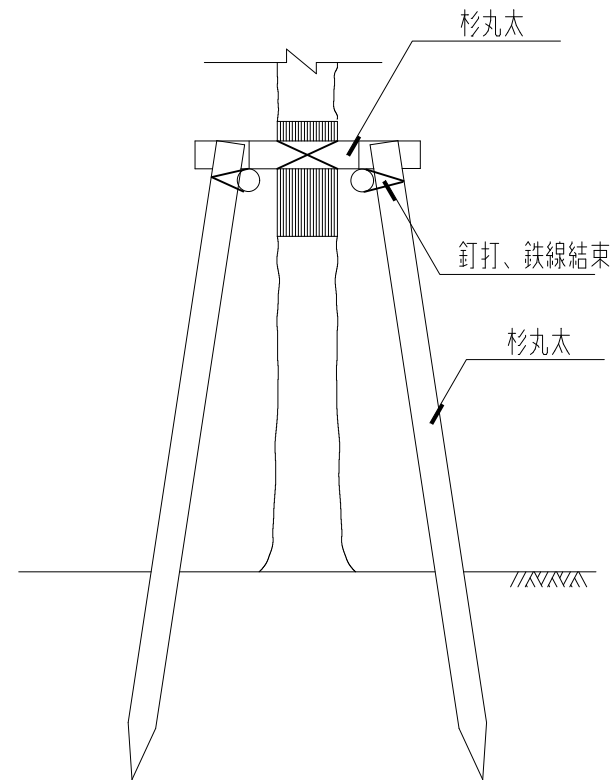
(1.0組当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
杉丸太	末口径4.5~7.5cm ℓ =1.8m	本	4.0	加圧式防腐処理
〃	〃 ℓ =0.6m	〃	4.0	JIS A 9002
結束材料		式	1.0	

正面図 1:20



側面図 1:20



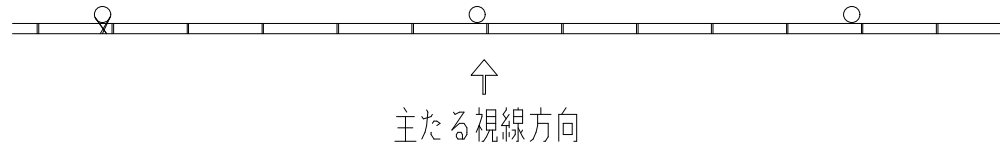
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
		植 栽 工 4脚合掌型支柱	備 考 14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正 24年10月修正	4G-18	60

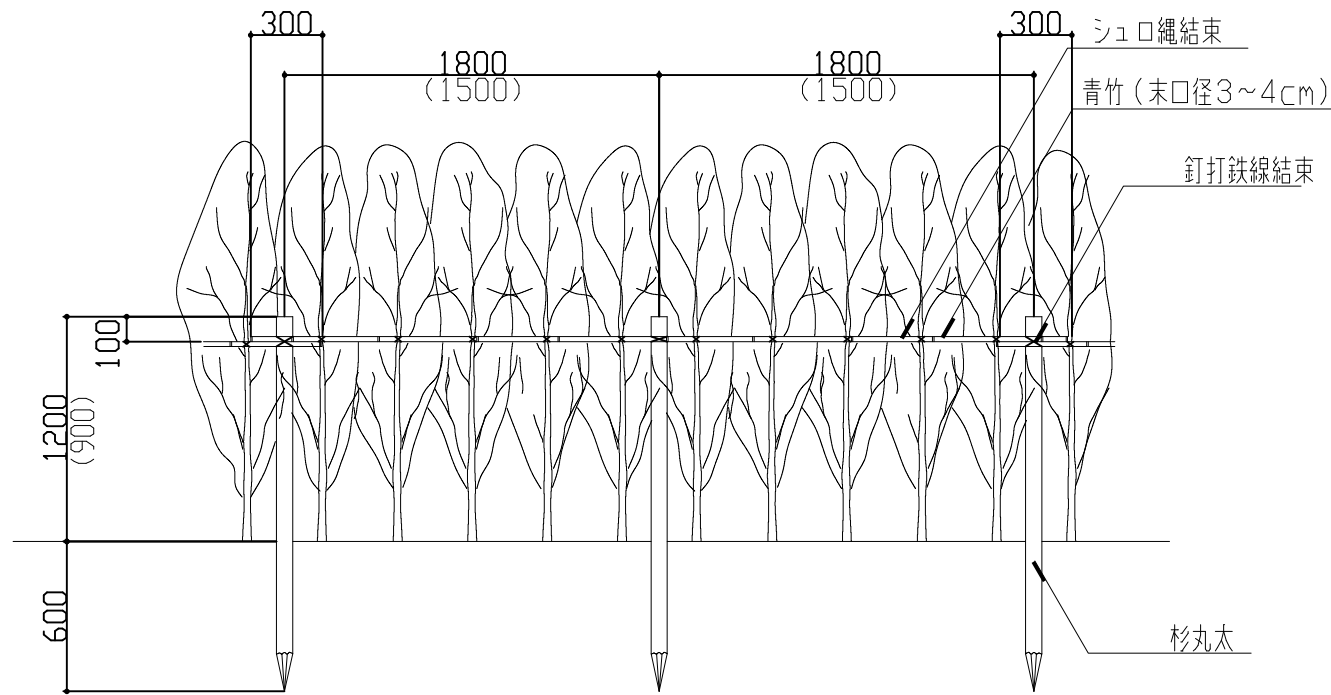
- ・結束材料とは、垂鉛引鉄線(＃18)、洋釘(10cm)、シュロ縄(6mm)、杉皮等(杉皮テープでも可)を示す。
- ・結束は綾掛とし、樹木結束は綾掛、割掛とも3回、支柱結束は綾掛3回、割掛2回とする。
- ・支柱は末口を上にして使用すること。また、木材の加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理JIS A 9002」に適合するものとする。
- ・丸太の見え掛り切り口は、面取り仕上とする。垂鉛引鉄線、シュロ縄とも2本寄せにして使用すること。
- ・杉丸太は同等の品質を持つヒノキ丸太で代用できるものとする。

(1スパン当り)

平面図 1:30



正面図 1:30



名称	形状寸法	単位	数量				摘要
			①	②	③	④	
杉丸太	末口径4.5~7.5cm φ=1.5m	本	1.0	1.0			加圧式防腐処理 JIS A 9002
”	φ=1.8m	”			1.0	1.0	
青竹	末口径3.0~4.0cm	m	1.5	1.8	1.5	1.8	
結束材料		式	1.0	1.0	1.0	1.0	

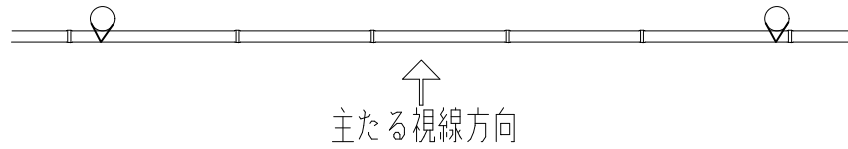
	①	②	③	④
高さ	0.9m	0.9m	1.2m	1.2m
支柱間隔	1.5m	1.8m	1.5m	1.8m

令和5年10月改定

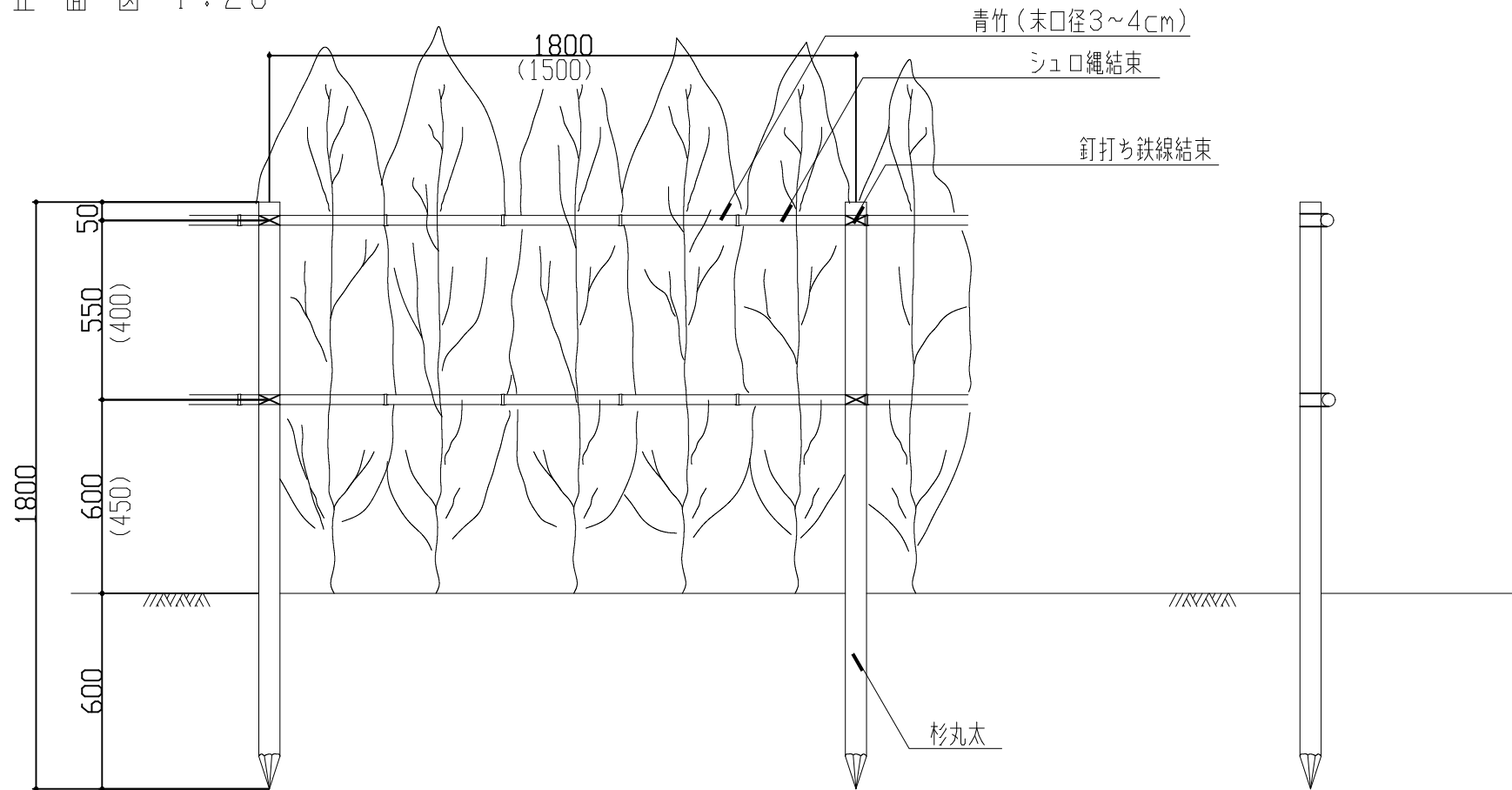
神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
			植 栽 工 生 垣 工 (A)	備 考 14年 9月修正 18年3月修正 15年10月修正	

・結束材料とは、亜鉛引鉄線(＃18)、洋釘(6~10cm)、シュロ縄(3mm)等を示す。
 ・結束は綾掛(裏二文字型)とし、樹木結束は綾掛、割り掛とも1回、支柱結束は綾掛3回、割り掛2回とする。
 ・支柱は末口を上にして使用すること。また、木材の加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理JIS A 9002」に適合するものとする。
 ・丸太の見え掛り切り口は、面取仕上とする。青竹は両端節止めとする。
 ・亜鉛引鉄線、シュロ縄とも2本寄せにして使用すること。杉丸太は同等の品質を持つヒノキ丸太で代用できるものとする。

平面図 1:20



正面図 1:20



(1スパン当り)

名称	形状寸法	単位	数量				摘要
			①	②	③	④	
杉丸太	末口径4.5~7.5cm φ=1.5m	本	1.0	1.0			加圧式防腐処理 JIS A 9002
〃	〃 φ=1.8m	〃			1.0	1.0	
青竹	末口径3.0~4.0cm	m	3.0	3.6	3.0	3.6	
結束材料		式	1.0	1.0	1.0	1.0	

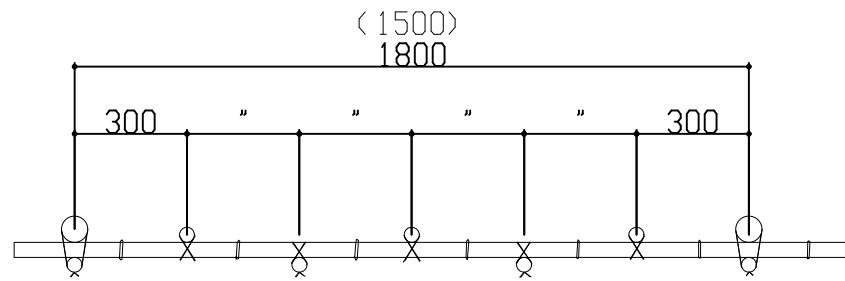
生垣高	①	②	③	④
高さ	0.9m	0.9m	1.2m	1.2m
支柱間隔	1.5m	1.8m	1.5m	1.8m

令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
			植 栽 工	備 考	
	生垣工 (B)	14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正			

・結束材料とは、亜鉛引鉄線(＃18)、洋釘(6~10cm)、シュロ縄(3mm)等を示す。
 ・結束は綾掛(裏二文字型)とし、樹木結束は綾掛、割り掛とも1回、支柱結束は綾掛3回、割り掛2回とする。
 ・支柱は末口を上にして使用すること。また、木材の加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理JIS A 9002」に適合するものとする。
 ・丸太の見え掛り切り口は、面取仕上とする。青竹は両端節止めとする。
 ・亜鉛引鉄線、シュロ縄とも2本寄せにして使用すること。杉丸太は同等の品質を持つヒノキ丸太で代用できるものとする。

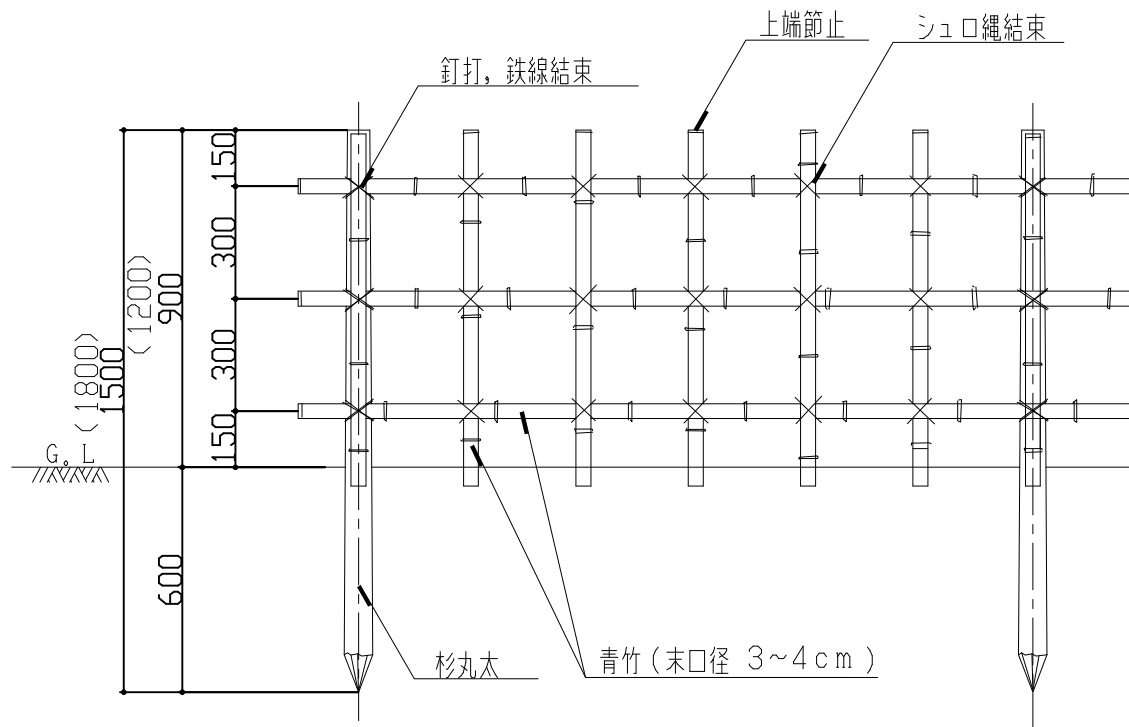
平面図 1:20



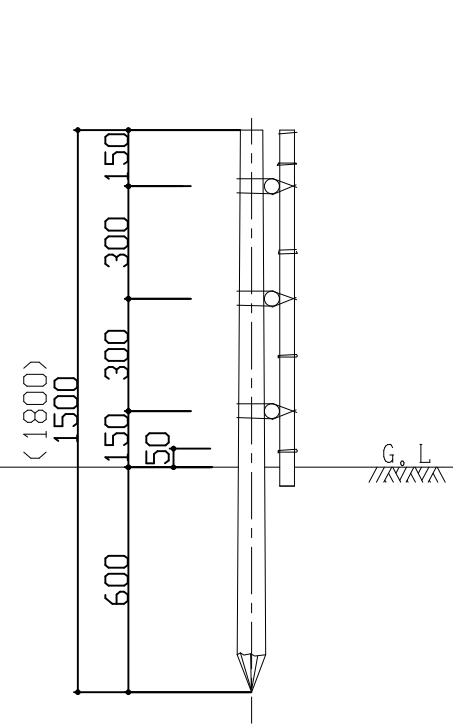
(1スパン当り)

名称	形状寸法	単位	数量				摘要
			①	②	③	④	
杉丸太	末口径4.5~7.5cm ℓ=1.5m	本	1.0	1.0			加圧式防腐処理 JIS A 9002
”	” ℓ=1.8m	”			1.0	1.0	
青竹	末口径3.0~4.0cm	m	9.0	10.8	12.0	14.4	
結束材料		式	1.0	1.0	1.0	1.0	

正面図 1:20



側面図 1:20

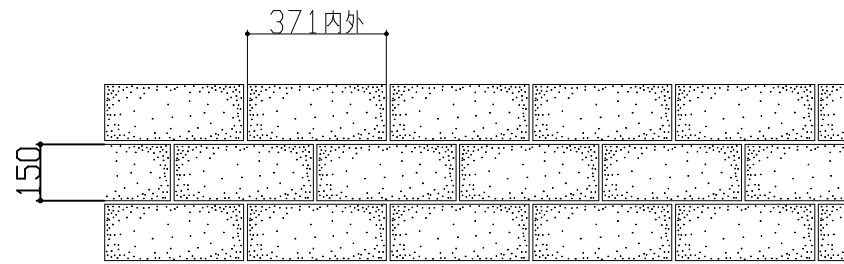


生垣工	①	②	③	④
高さ	0.9m	0.9m	1.2m	1.2m
支柱間隔	1.5m	1.8m	1.5m	1.8m
胴縁本数	3本	3本	4本	4本
中間の立子本数	4本	5本	4本	5本

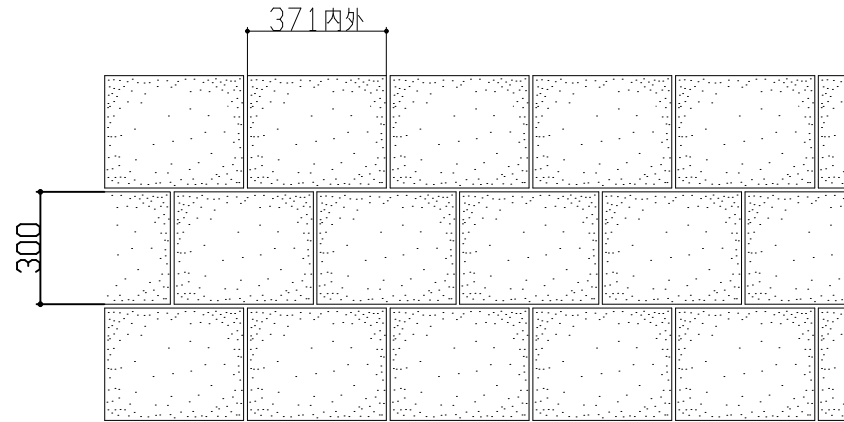
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
			植 栽 工	備 考	
	結束材料とは、亜鉛引鉄線(＃18)、洋釘(6~10cm)、シュロ縄(3mm)等を示す。 結束は縋掛け(裏二文字型)とし、樹木結束は縋掛け、割掛けとも1回、支柱結束は縋掛け3回、割掛け2回とする。 支柱は末口を上にして使用すること。また、木材の加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理 JIS A 9002」に適合するものとする。 丸太の見え掛り切り口は、面取り仕上げとする。青竹は両端節止とする。 亜鉛引鉄線、シュロ縄とも2本寄せにして使用すること。杉丸太は同等の品質を持つヒノキ丸太で代用できるものとする。	生垣工 (C)	14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正 21年10月修正		

高麗芝 平面図 1:20



野芝 平面図 1:20



(100.0m² 当り)

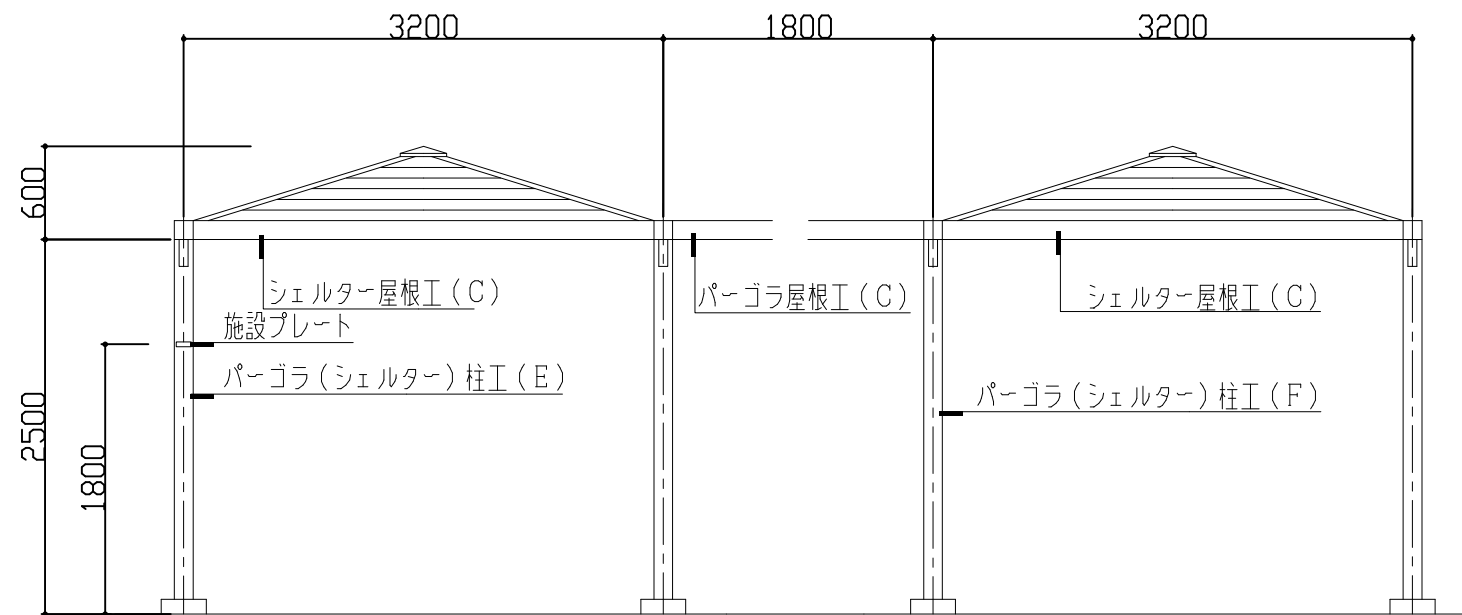
名称	形状寸法	単位	大判(野芝)			小版(高麗芝)		
			50%張	80%張	100%張	50%張	80%張	100%張
芝		m ²	50.0	80.0	100.0	50.0	80.0	100.0
山砂		m ³	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7

令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
			植 栽 工	WB610050	
張 芝 工	備 考 13年9月修正 24年10月修正 14年9月修正				

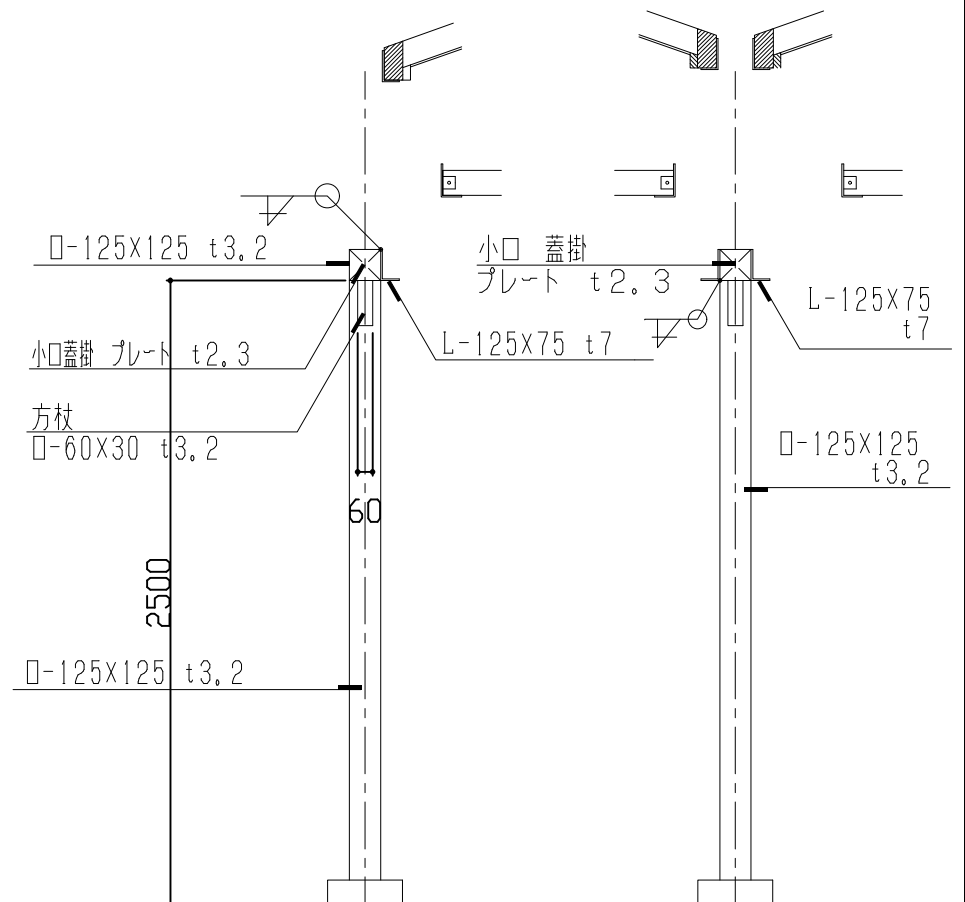
- 芝串の使用は必要に応じて設計書で指示する。
- 80%張の場合、目地幅は高麗芝で25mm、野芝で40mm程度を標準とする。
- 50%張の場合は、市松張を標準とする。

組み合わせ正面図 1:50

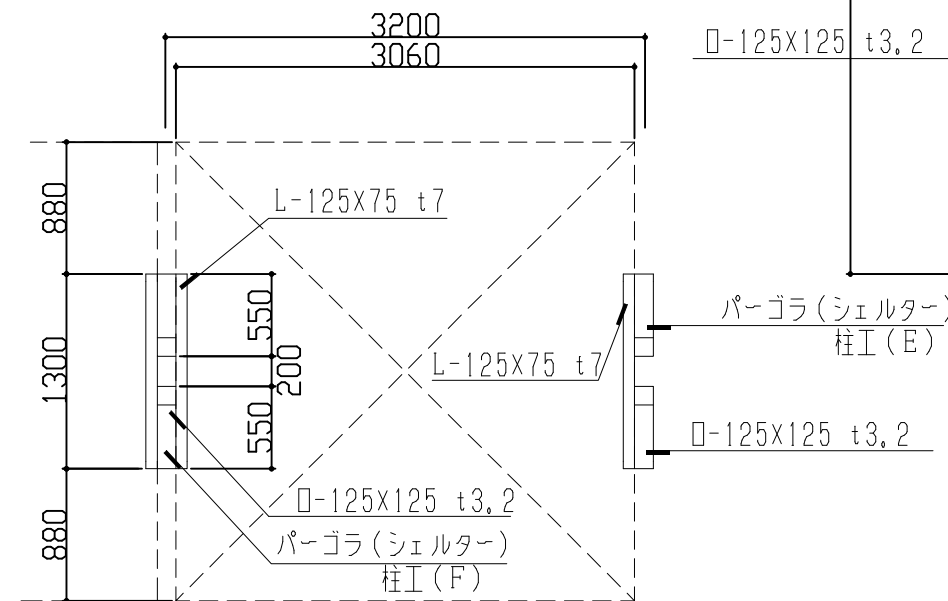
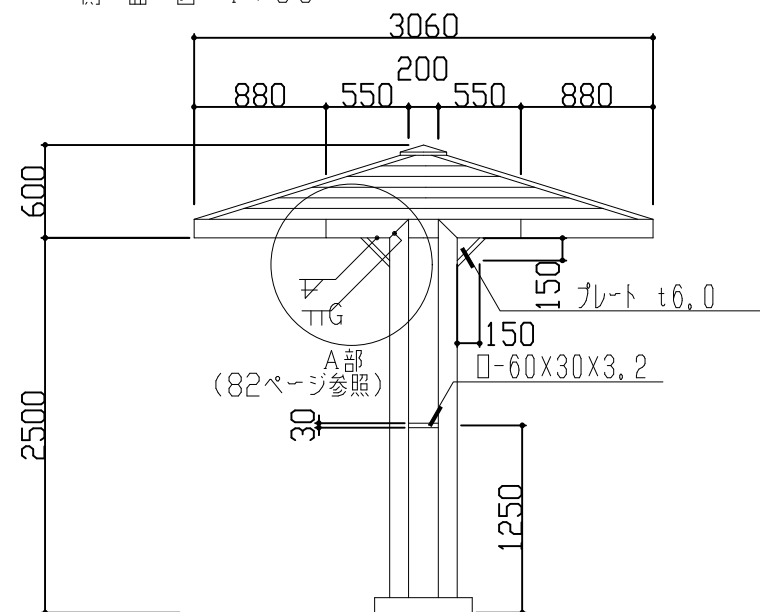


パーゴラ(シェルター)柱工 (E)
1:30

パーゴラ(シェルター)柱工 (F)
1:30



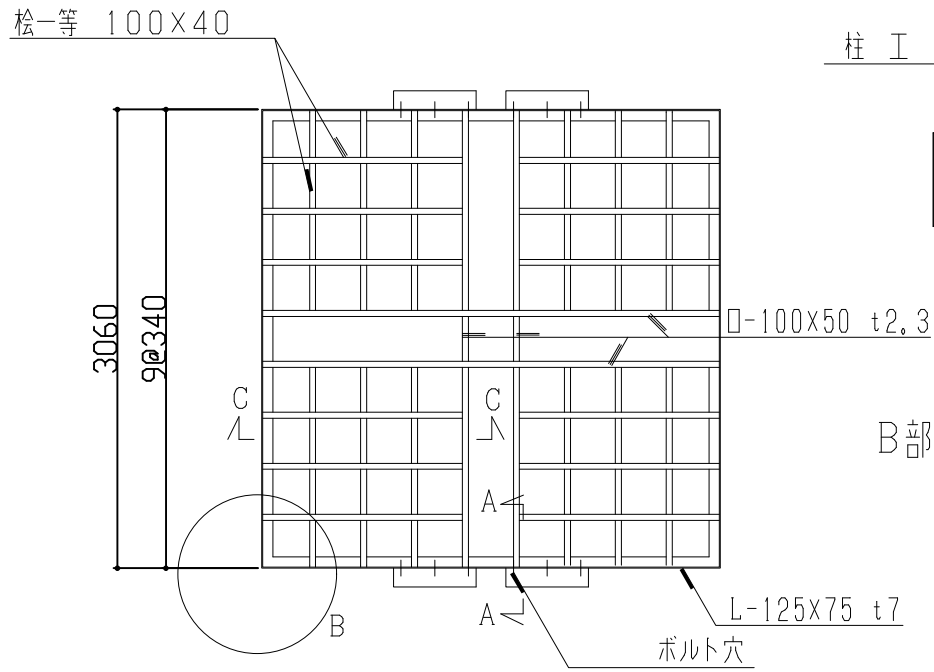
側面図 1:50



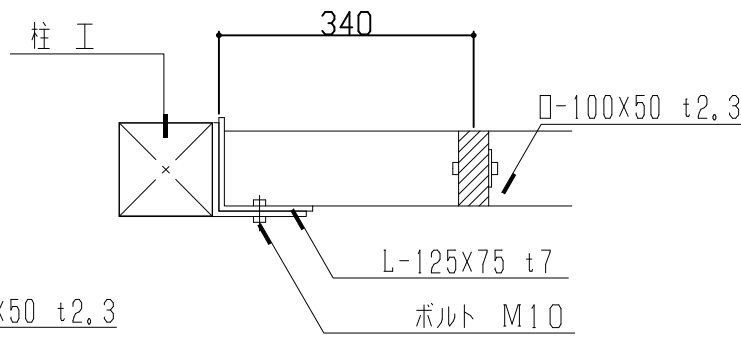
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記	号	ペ	ジ
	<ul style="list-style-type: none"> 鋼材接合部は溶接止めとし、見え掛り部分はケレン仕上げとする。 施設プレートを取付けること。ただし複数基ある場合は1基以上で可とする。 			パーゴラ(シェルター)柱工 (E) (F)		S5220, S5225			
			パーゴラ屋根工 (C)		備考				
			シェルター屋根工 (C)		62年7月修正 18年3月修正				

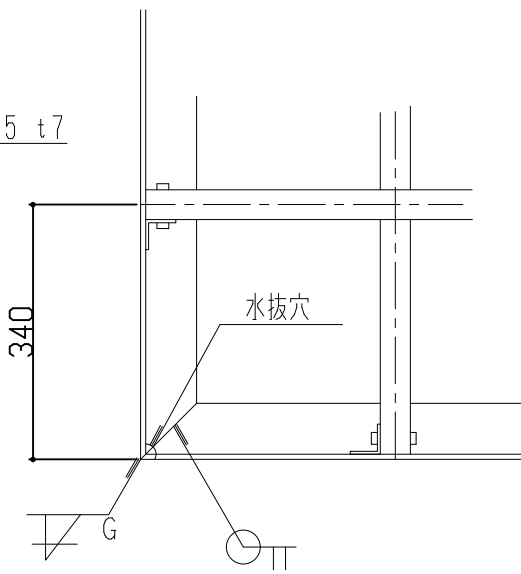
平面図 1:50



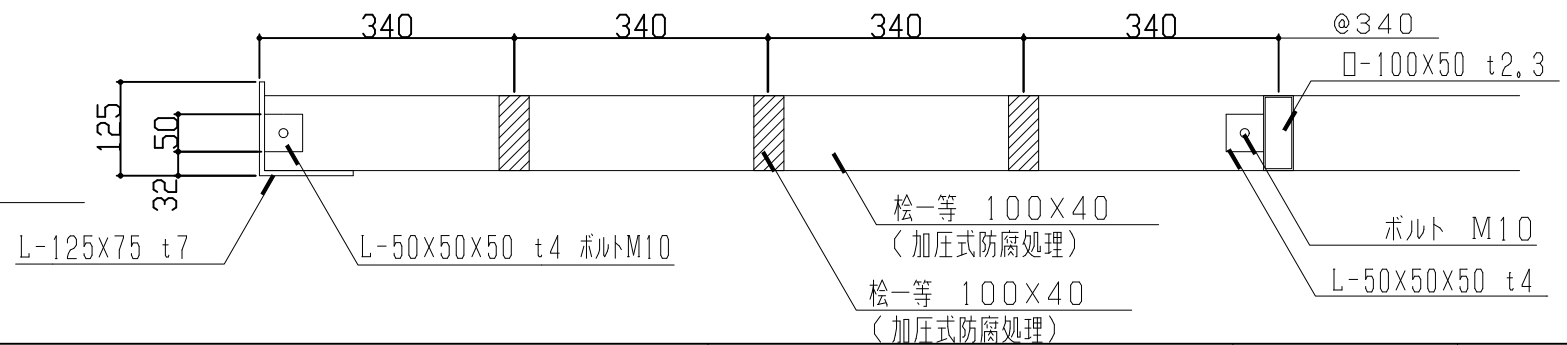
A-A部詳細図 1:10



B部詳細図 1:10



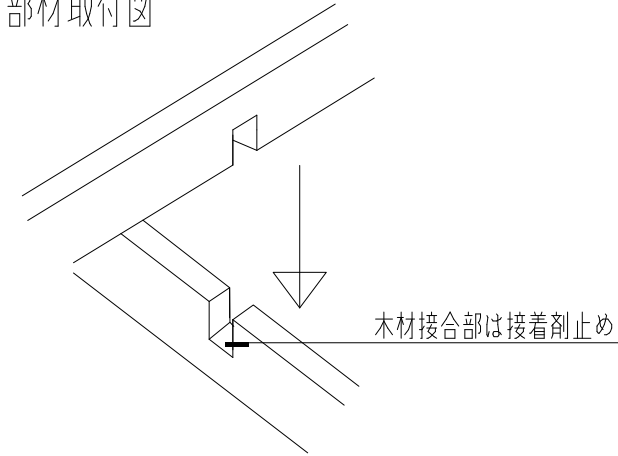
C-C断面図 1:10



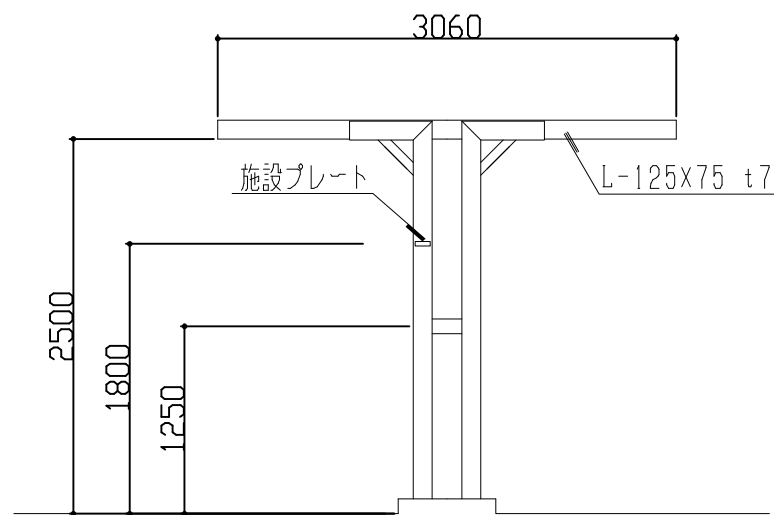
(1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要	
本体	不等辺山形鋼	125×75 t7	kg	130.968	
	角パイプ	100×50 t2.3	〃	62.913	
	桁止め金具	L-50×50×50 t4	〃	7.344	
	松一等	100×40×1,330	m ²	3.192	加圧式防腐処理 JIS A 9002
	雑材料		式	1.0	
	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止め1回 2液性ウレタン塗装2回	m ²	8.928	
木部塗装	O.S.2回	〃	8.937		

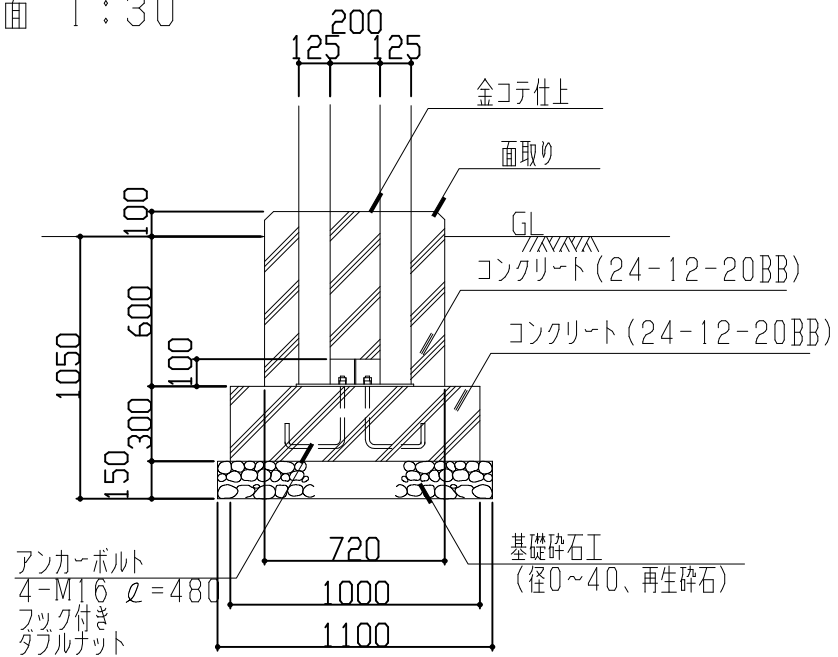
部材取付図



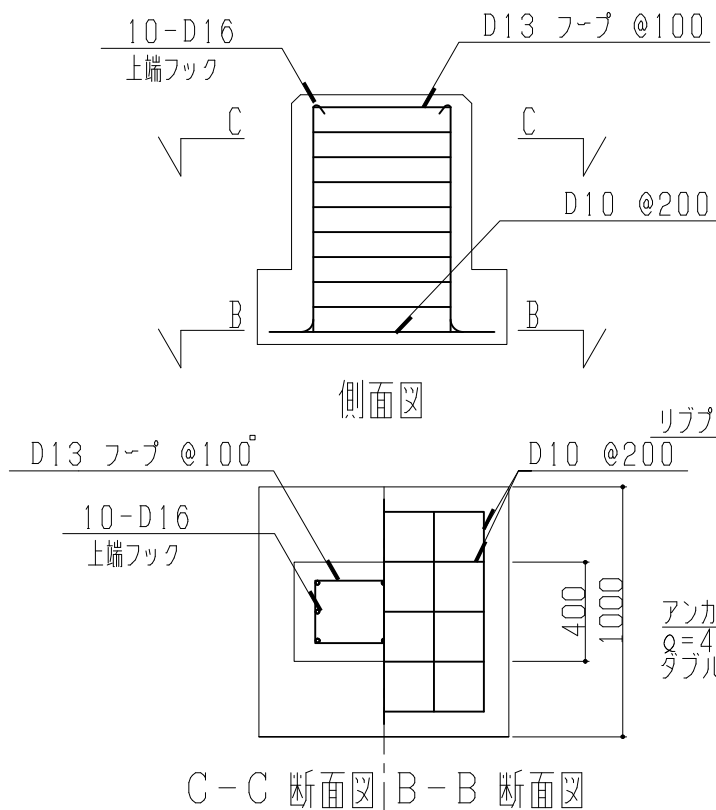
立面図 1:50



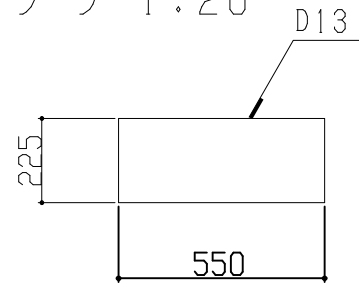
側面 1:30



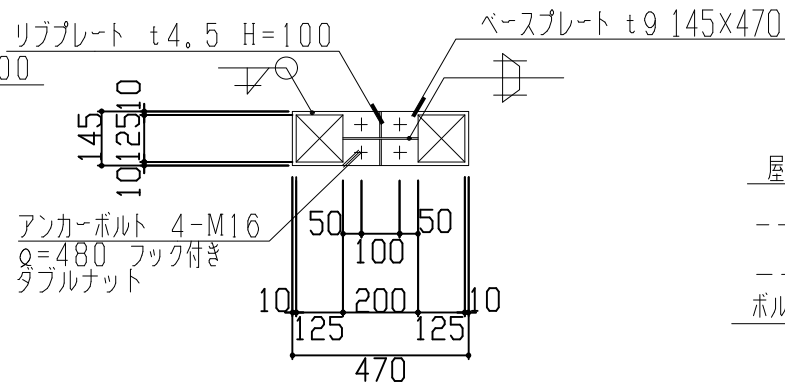
配筋図 1:30



フープ 1:20



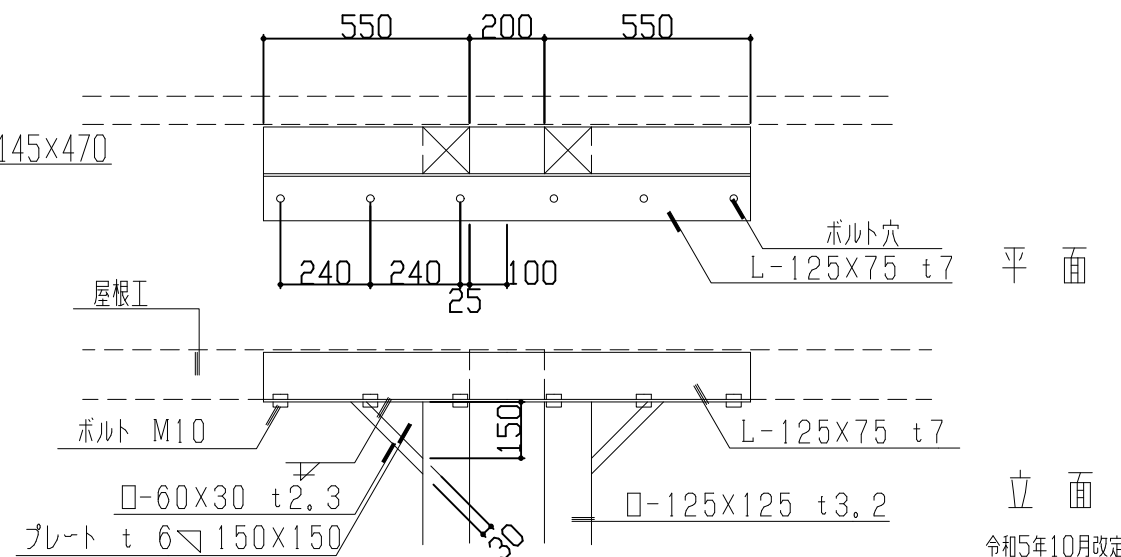
ベースプレート 1:20



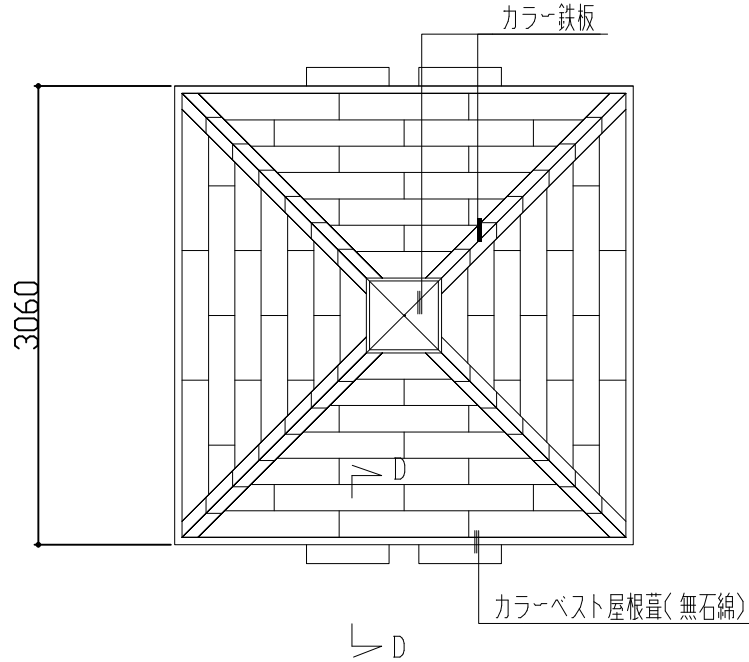
(1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			(E)	(F)	
基礎砕石工	径0~40 t150	m ²	1.2	1.2	再生砕石
コンクリート	24-12-20BB	m ³	0.5	0.5	
型枠損料		m ²	2.7	2.7	
鉄筋工	D10	kg	4	4	
〃	D13	〃	13	13	
〃	D16	〃	16	16	
本体	アンカーボルト	M16 φ=480	本	4.0	4.0
	プレート	t9	kg	4.810	4.810
	〃	t6	〃	1.060	1.060
	〃	t4.5	〃	1.060	1.060
	〃	t2.3	〃	0.282	0.282
	不等辺山形鋼	L-125x75x7	〃	13.910	27.820
	角パイプ	125x125x3.2	〃	87.600	87.600
鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止め1回	m ²	4.220	4.577	
	2液性ウレタン塗装2回	〃	3.383	3.740	
床堀		m ³	-	-	
埋戻		〃	-	-	
残土処分		〃	-	-	

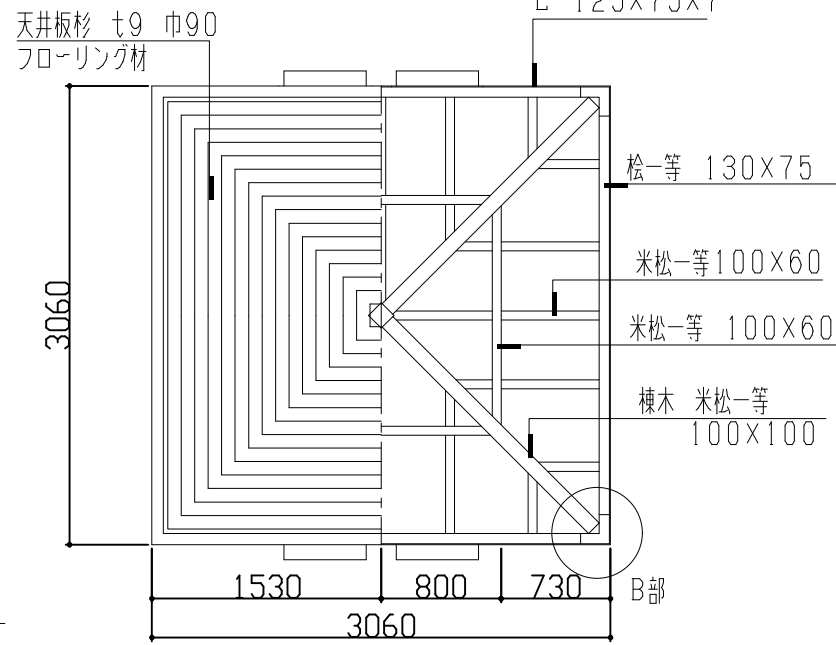
A部詳細図 1:20



屋根伏図 1:50



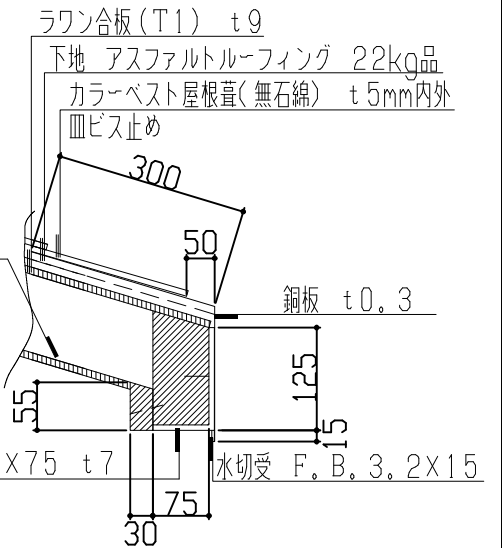
天井伏図 1:50



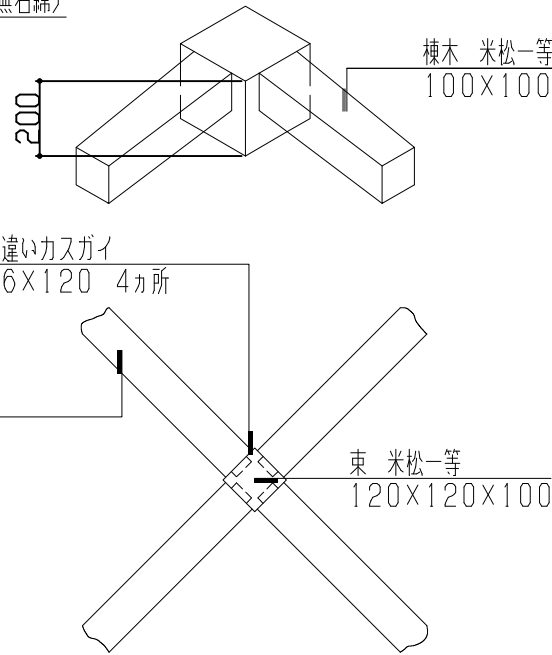
(1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要	
本体	不等辺山形鋼	125×75×7	kg	130.968	加圧式防腐処理 JIS A 9002
	プレート	t 3.2	〃	11.645	
鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂塗膜止め1回	m ²	5.823	〃	
	2液性ウレタン塗装2回	〃	2.815		
木材	松一等	m ³	0.139	〃	
	杉一等	〃	0.073		
	米松一等	〃	0.171		
カラーベスト屋根葺	t 5mm内外(無石棉)	m ²	8.761	〃	
木材塗装	O. S. 2回	〃	8.122	〃	

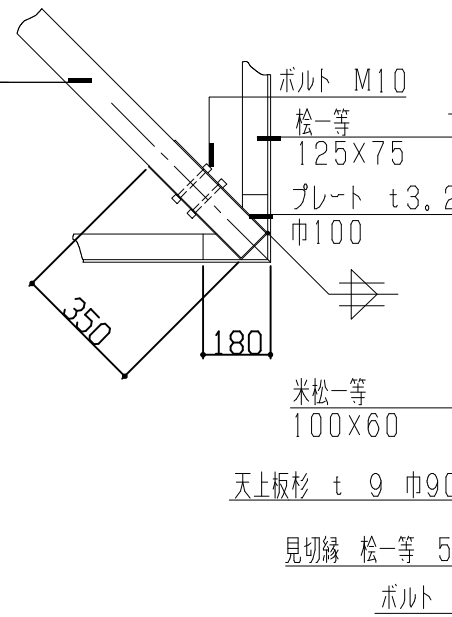
C部詳細図 1:10



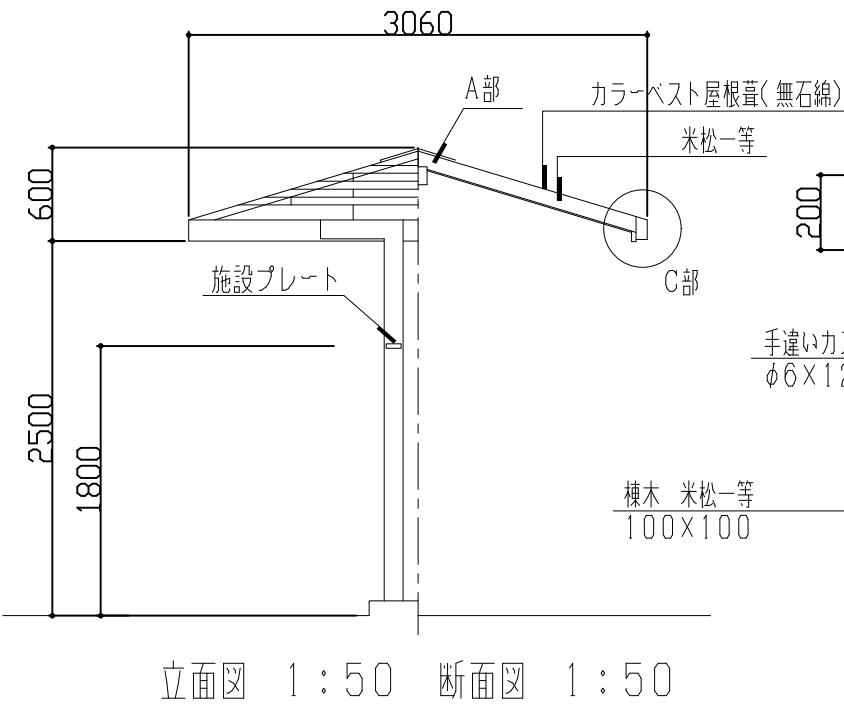
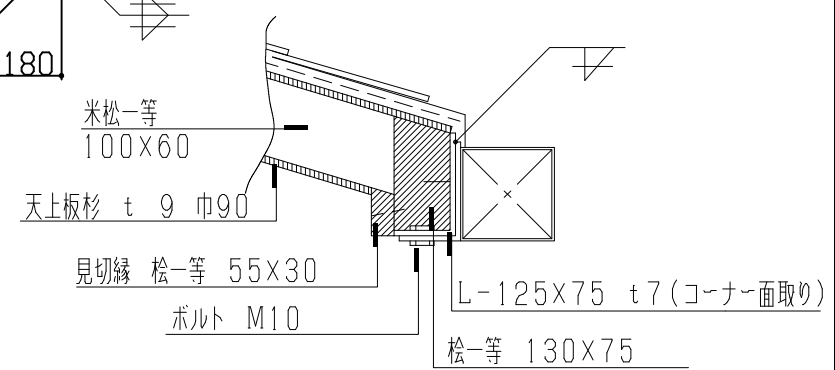
A部詳細図 1:20



B部詳細図 1:20



D-D断面詳細図 1:10



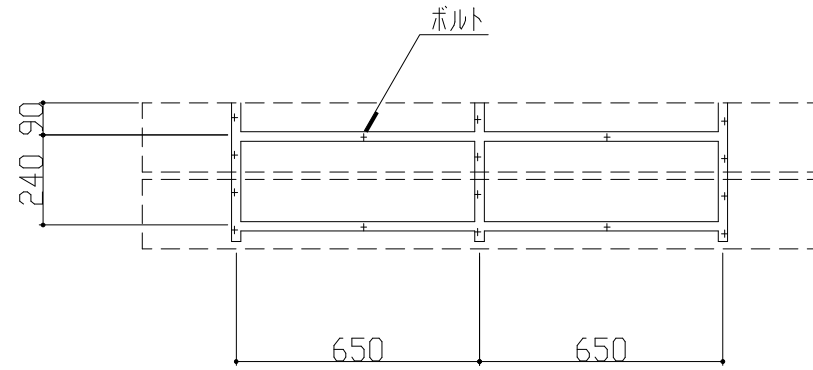
立面図 1:50 断面図 1:50

令和5年10月改定

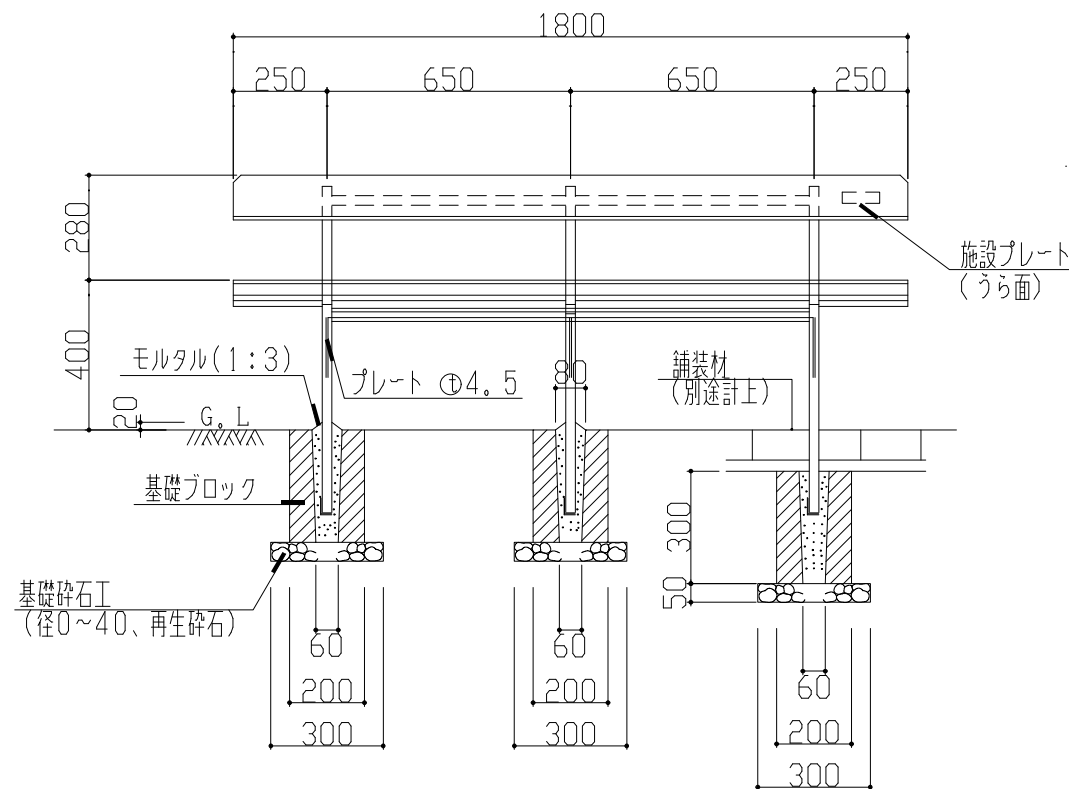
神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
神戸市公園施設標準図集	<ul style="list-style-type: none"> ・木材寸法はカンナ仕上寸法とする。 ・鋼材接合部は溶接止めの上、見え掛り部分はケレン仕上とする。 ・加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理JIS A 9002」に適合するものとする。 ・施設プレートを取付けること。ただし複数基ある場合は1基以上で可とする。 	シェルター屋根工(C)	S5220		83
			備考		
			14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正		

(1.0基当り)

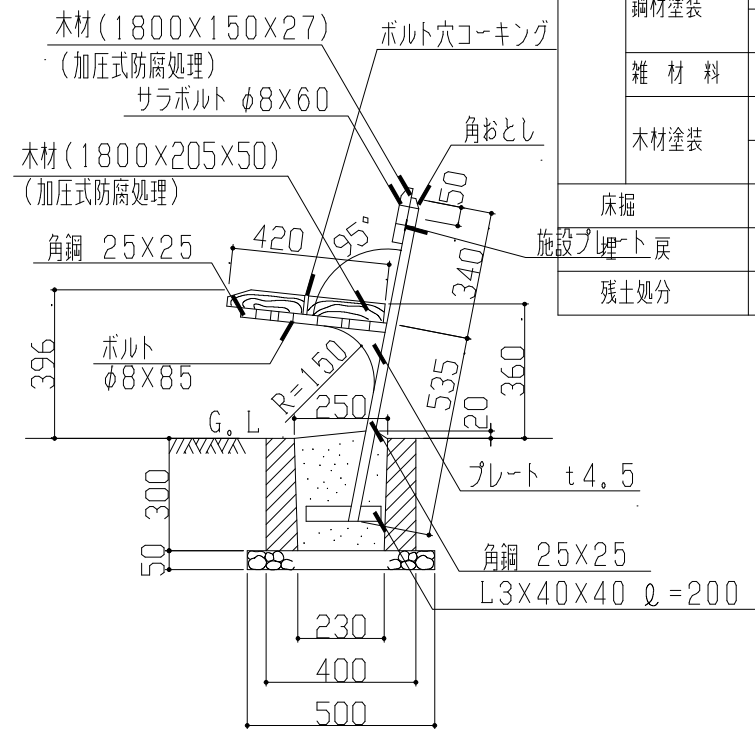
平面図 1:20



正面図 1:20



側面図 1:20



名称	形状寸法	単位	数量	摘要		
基礎砕石工	径0~40 厚50	m ²	0.4	再生砕石		
基礎ブロック	400×200×300	個	3.0	モルタル含む		
本体	米松一等	1800×150×27	枚	1.0	加圧式防腐処理 JIS A9002	
	松 一 等					
	兵庫県産杉					
	米松一等	1800×205×50	"	2.0	"	
	松 一 等					
	兵庫県産杉					
	兵庫県産松	角 鋼	25×25	kg	9.478	
		プレート	t4.5	"	1.916	
		等辺山形鋼	L-3×40×40	"	1.098	
		鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂塗1回	m ²	0.885	
		2液性ウレタン塗装2回	"	0.598		
	雑 材 料	サラボルト、ボルト	式	1.0		
	木材塗装	S.O.P. 3回	m ²	2.522	設計書指示	
		O.S. 2回	"	2.522		
	床掘		m ³	-		
	施設プレート戻		"	-		
	残土処分		"	-		

舗装材使用の場合

令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集

仕 様

- ・木材寸法はカンナ仕上げ寸法とする。
- ・鋼材接合部は、溶接の上、見え掛り部分はケレン仕上げとする。
- ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。
- ・加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理 JIS A 9002」に適合するものとする。
- ・施設プレートを取付けること。ただし複数基ある場合は1基以上で可とする。

名 称

ベンチ工 (A) - 1

コード番号

S5245

記 号

備考

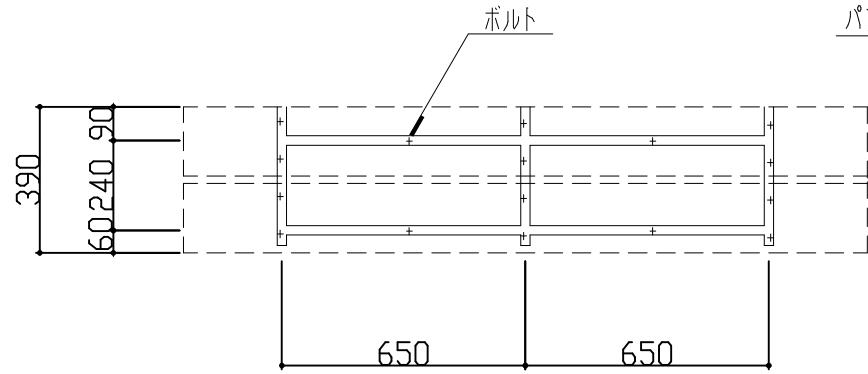
14年9月修正 25年10月修正
15年10月修正 28年10月修正
18年3月修正 05年4月修正

ペー ジ

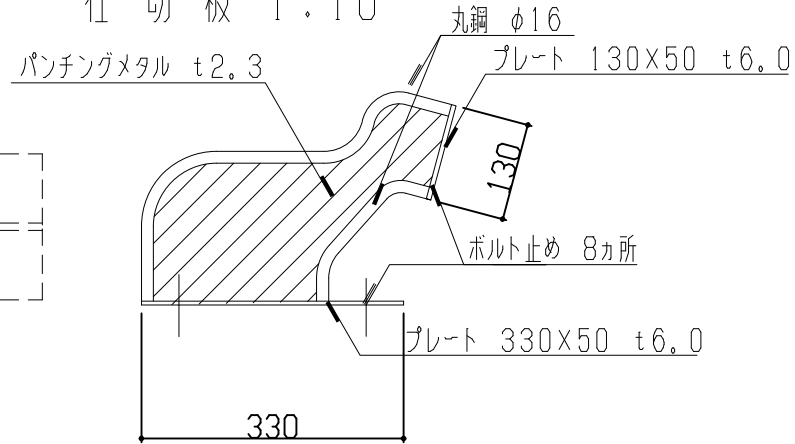
84-1

(1.0基当り)

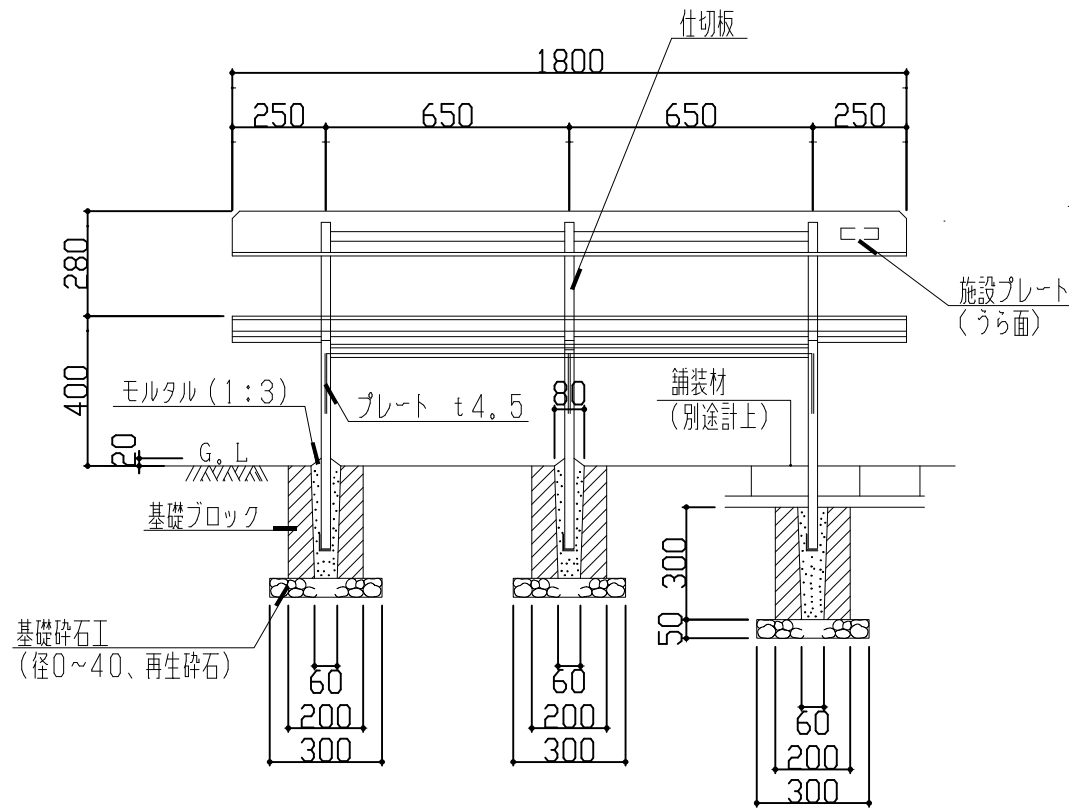
平面図 1:20



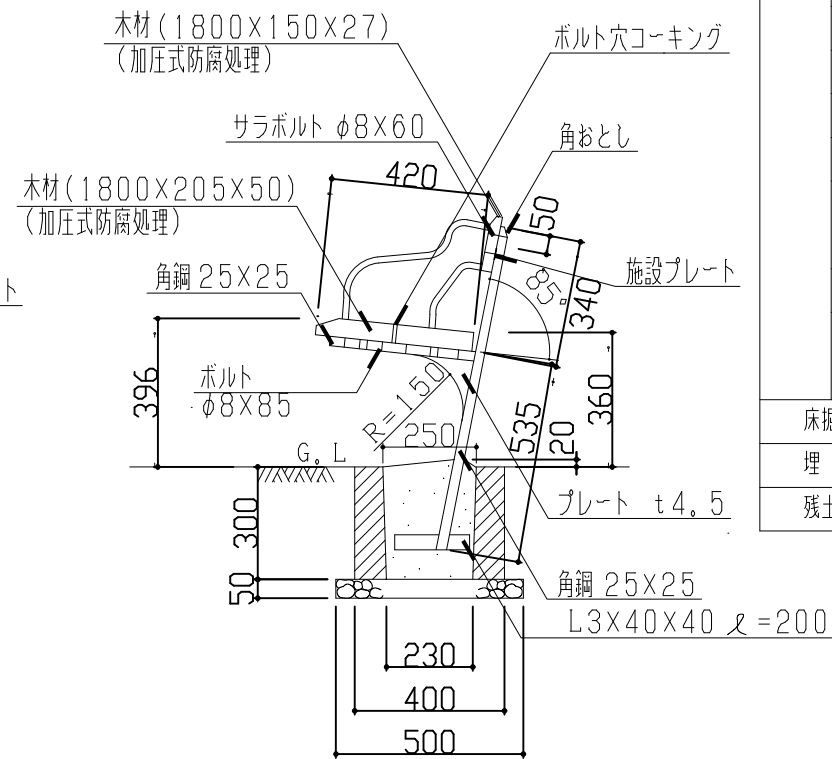
仕切板 1:10



正面図 1:20



側面図 1:20



舗装材使用の場合

名称	形状寸法	単位	数量	摘要		
基礎砕石工	径0~40 t50	m ²	0.4	再生砕石		
基礎ブロック	400X200X300	個	3.0	モルタル含む		
本体	米松一等	1800X150X27	枚	1.0	加圧式防腐処理 JIS A9002	
	松 一 等					
	兵庫県産杉					
	米松一等	1800X205X50	"	2.0	"	
	松 一 等					
	兵庫県産杉					
	兵庫県産松					
	角 鋼	25X25	kg	9.305		
	プレート	t4.5	"	1.916		
	"	t6.0	"	1.130		
	等辺山形鋼	L-3X40X40	"	1.098		
	丸 鋼	φ16	kg	1.358		
	パンチングメタル	t 2.3	m ²	0.057		
ボルト		本	8.0			
鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂塗料1回	m ²	0.963			
	2液性ウレタン塗装2回	"	0.676			
雑材料	サラボルト、ボルト	式	1.0			
木材塗装	S.O.P. 3回	m ²	2.505	設計書指示		
	O.S. 2回	"	2.505			
床掘		m ³	-			
埋戻		"	-			
残土処分		"	-			

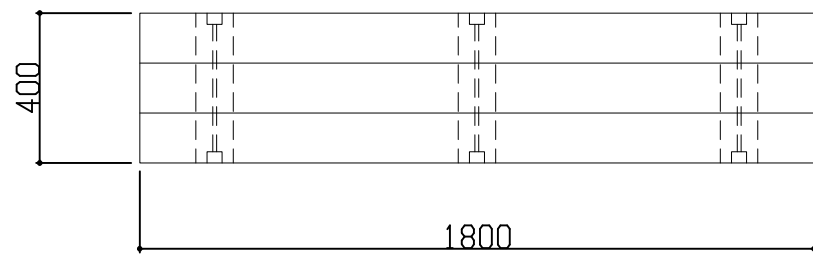
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
			S5245		84-2
			備 考		
14年9月修正 25年10月修正 15年10月修正 28年10月修正 18年3月修正 05年4月修正					

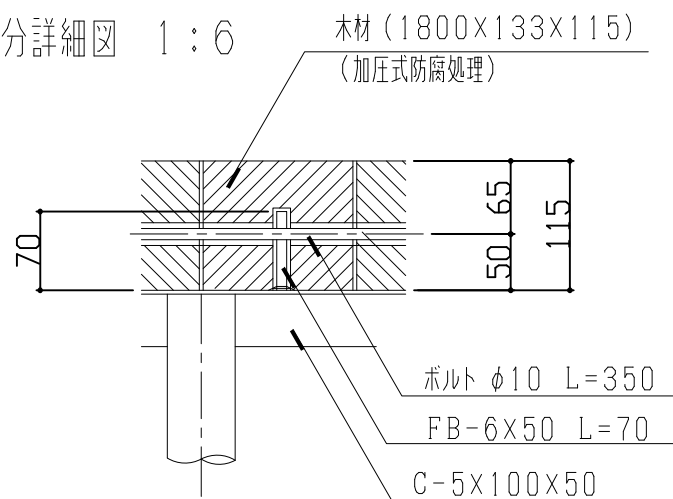
- 木材寸法はカンナ仕上げ寸法とする。
- 鋼材接合部は溶接の上、見え掛り部分はケレン仕上とする。
- モルタルは、高圧セメントを使用すること。
- 加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理 JIS A 9002」に適合するものとする。
- 施設プレートを取付けること。ただし複数基ある場合は1基以上で可とする。

ベンチ I (A) - 2

平面図 1:20



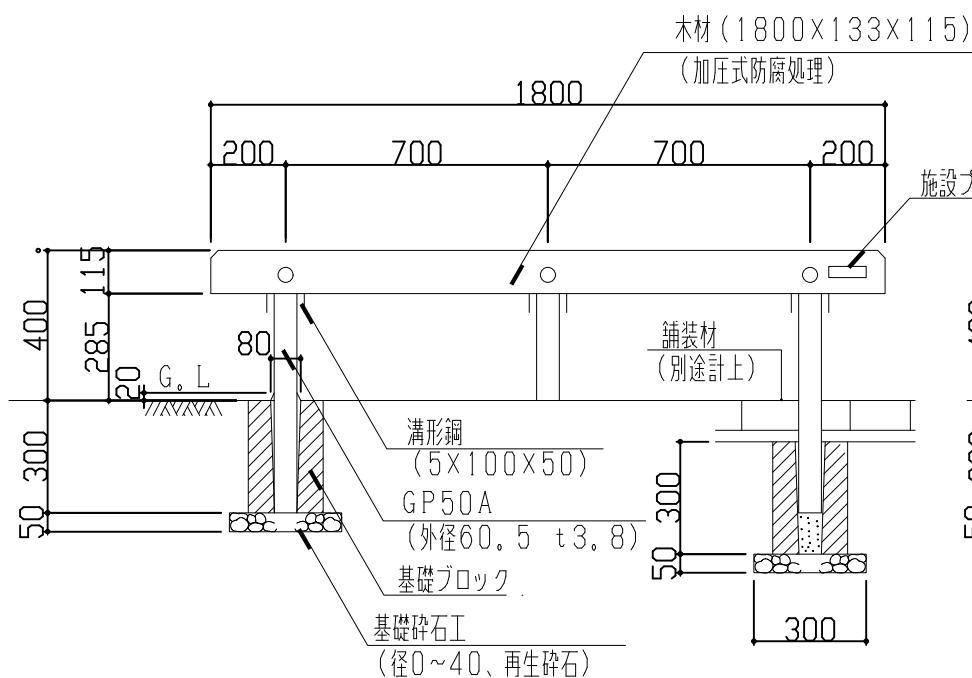
A部分詳細図 1:6



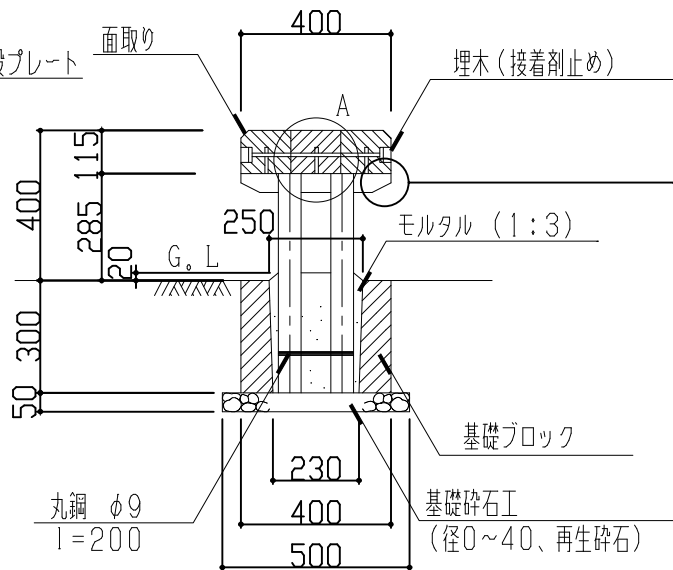
(1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要	
基礎砕石工	t50	m ²	0.45	再生砕石	
基礎ブロック	400×200×300	個	3.0	モルタル含む	
本体	米松一等	1800×133×115	枚	3.0	加压式防腐処理 JIS A9002
	松一等				
	兵庫県産杉				
	兵庫県産松				
	GP50A	外径60.5 t3.8	kg	18.638	
	溝型鋼	5×100×50	〃	11.232	
	丸鋼	φ9	〃	0.299	
	FB-6×50	L=70	〃	0.743	
	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂塗1回	m ²	1.146	
		2液性ウレタン塗装2回	〃	0.684	
ボルト	φ10 L=350	本	3.0		
雑材料	埋木 パテ	式	1.0		
木材塗装	S.O.P. 3回	m ²	1.946	設計書指示	
	O.S. 2回	〃	1.946		
床掘		m ³	-		
埋戻		〃	-		
残土処分		〃	-		

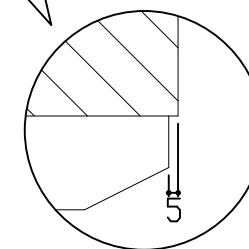
立面図 1:20



断面図 1:20



拡大図

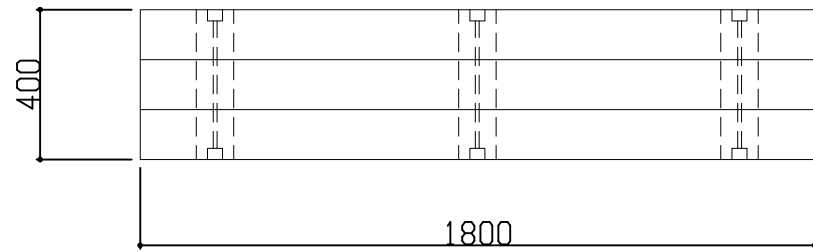


舗装材使用の場合

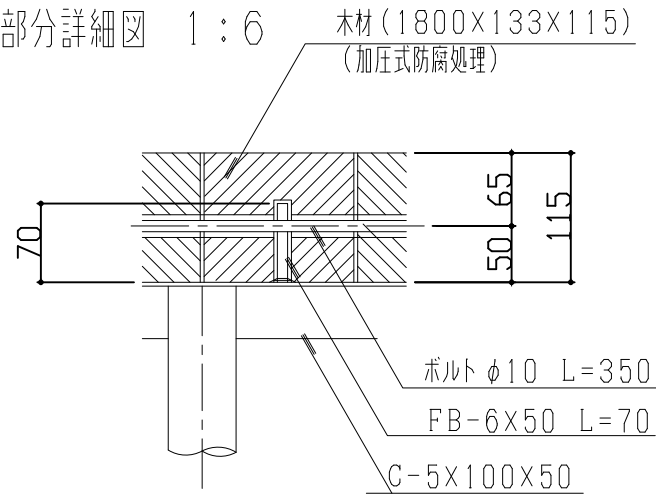
令和5年10月改定

仕	様	名	称	コード番号	記号	ページ
<ul style="list-style-type: none"> 木材寸法はカンナ仕上寸法とする。 鋼材接合部は溶接の上、見え隠り部分はクレン仕上とする。 芯持ち材の場合は、必ず背割りを入れること。 モルタルは、高炉セメントを使用すること。 加压防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加压防腐処理」JIS A 9002」に適合するものとする。 施設プレートを取付けること。ただし複数ある場合は1基以上で可とする。 				S5245		85
				備考		
				14年9月修正 28年10月修正 15年10月修正 05年4月修正 18年3月修正		

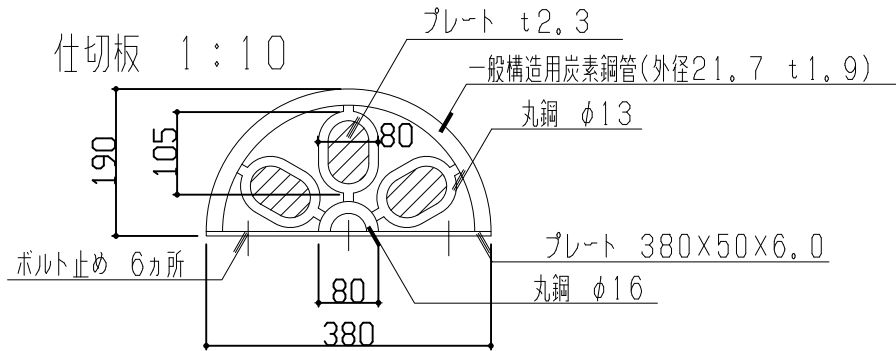
平面図 1:20



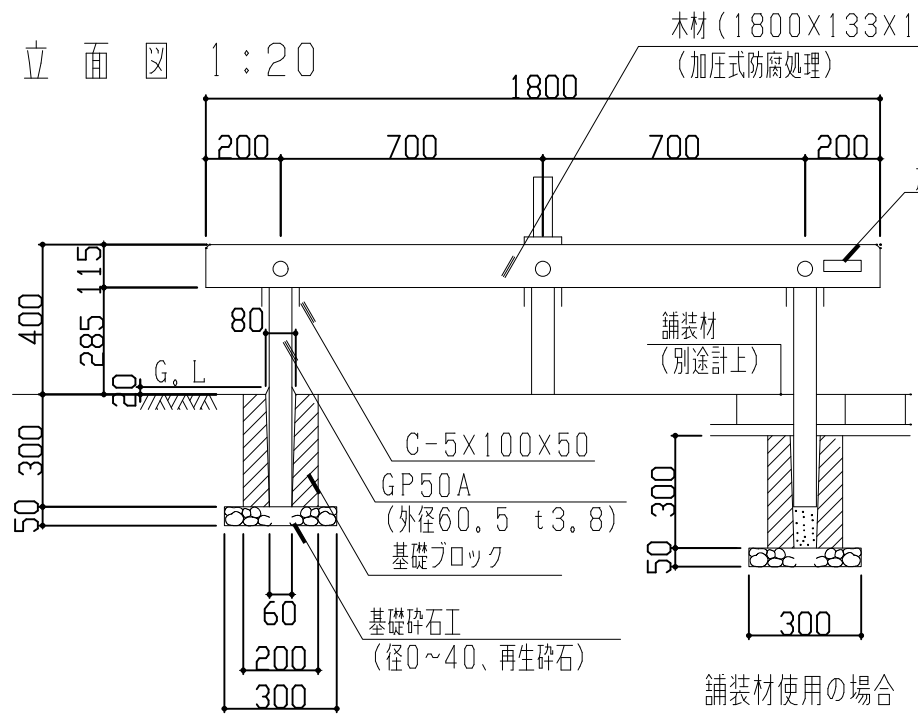
A部分詳細図 1:6



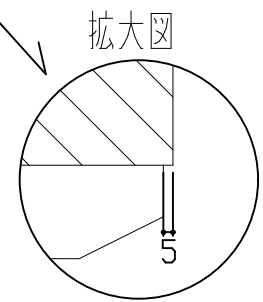
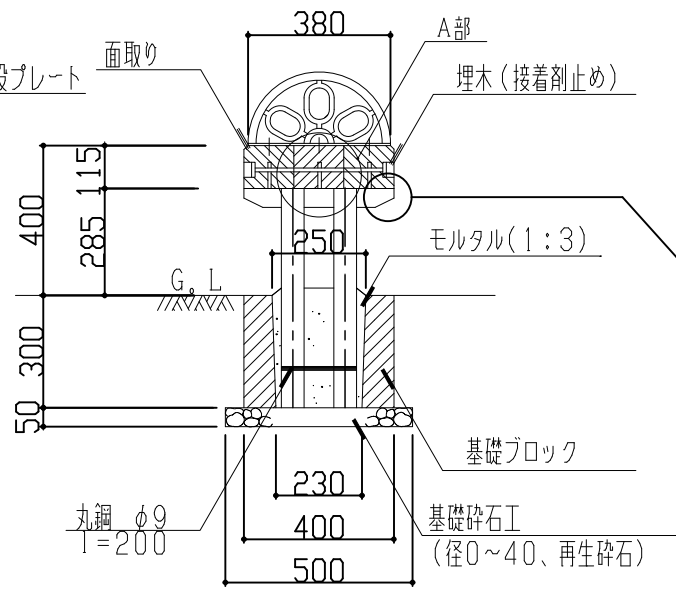
仕切板 1:10



立面図 1:20



断面図 1:20



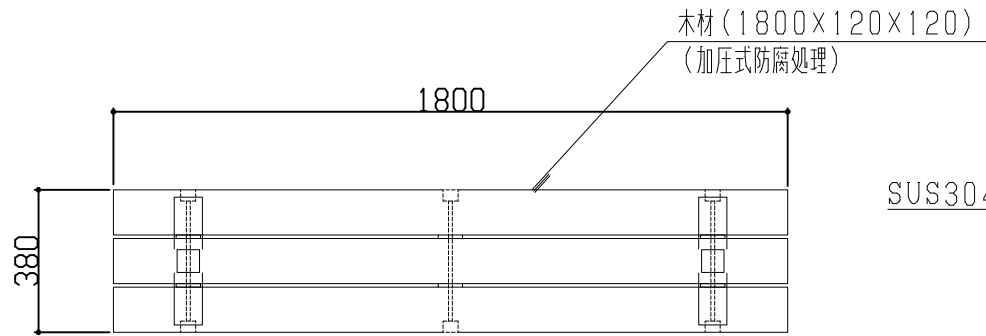
(1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工	t 50	m ²	0.45	再生砕石
基礎ブロック	400x200x300	個	3.0	モルタル含む
米松一等	1800x133x115	枚	3.0	加圧式防腐処理 JIS A9002
松一等				
兵庫県産杉				
兵庫県産松				
GP15A	外径21.7 t1.9	kg	0.583	
GP50A	外径60.5 t3.8	"	17.682	
溝型鋼	5x100x50	"	11.232	
丸鋼	φ9	"	0.449	
"	φ13	"	0.809	
"	φ16	"	0.980	
FB-6x50	L=70	"	1.486	
プレート	t2.3	"	0.197	
"	t6.0	"	2.828	
鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m ²	1.287	
	2液性ウレタン塗装2回		0.807	
ボルト	φ10 L=350	本	3.0	
"	仕切り板用	"	6.0	
雑材料	埋木 パテ	式	1.0	
木材塗装	S.O.P. 3回	m ²	1.927	設計書指示
	O.S. 2回			
床掘		m ³	-	
埋戻		"	-	
残土処分		"	-	

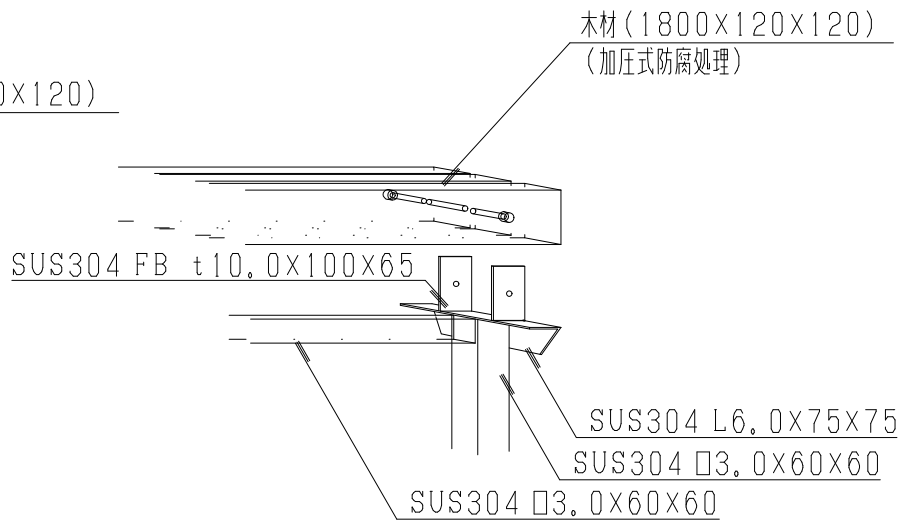
令和5年10月改定

・木材寸法はカンナ仕上寸法とする。 ・鋼材接合部は溶接の上、見え掛り部分はケレン仕上とする。
 ・芯持ち材の場合は、必ず背割りを入れること。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。
 ・加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理JIS A 9002」に適合するものとする。
 ・施設プレートを取付けること。ただし複数基ある場合は1基以上で可とする。

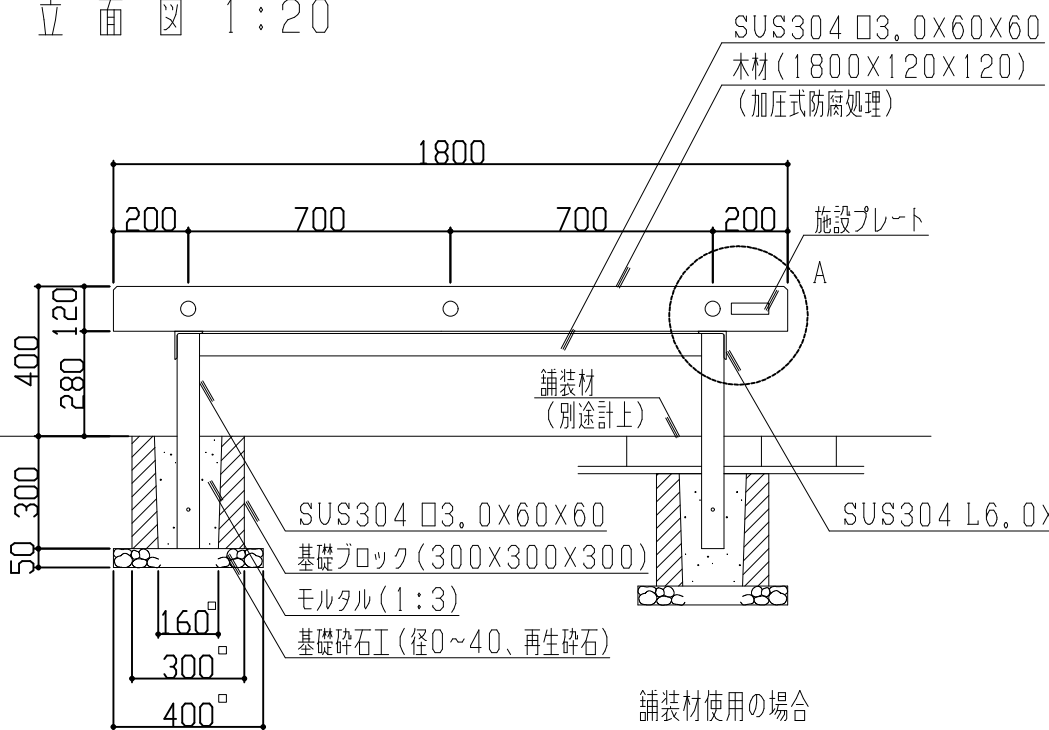
平面図 1:20



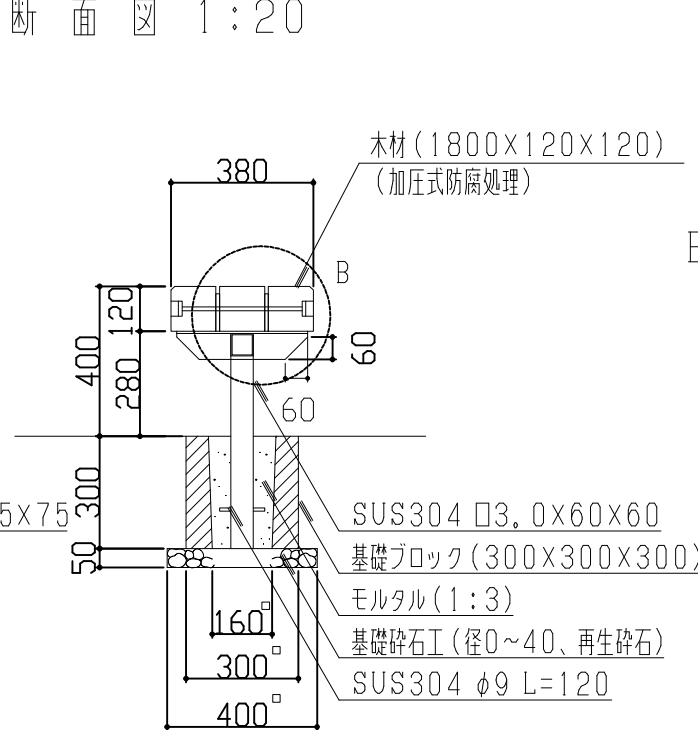
A部拡大図



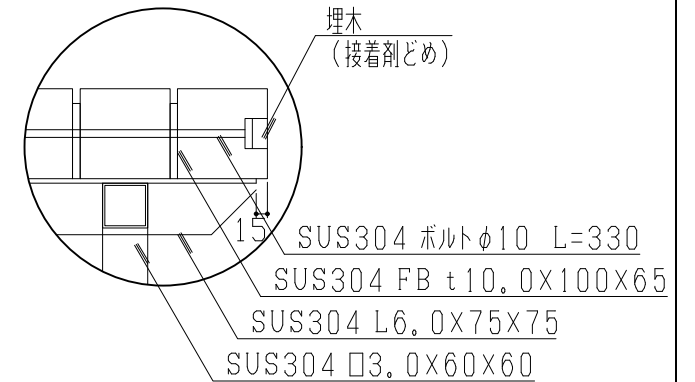
立面図 1:20



断面図 1:20



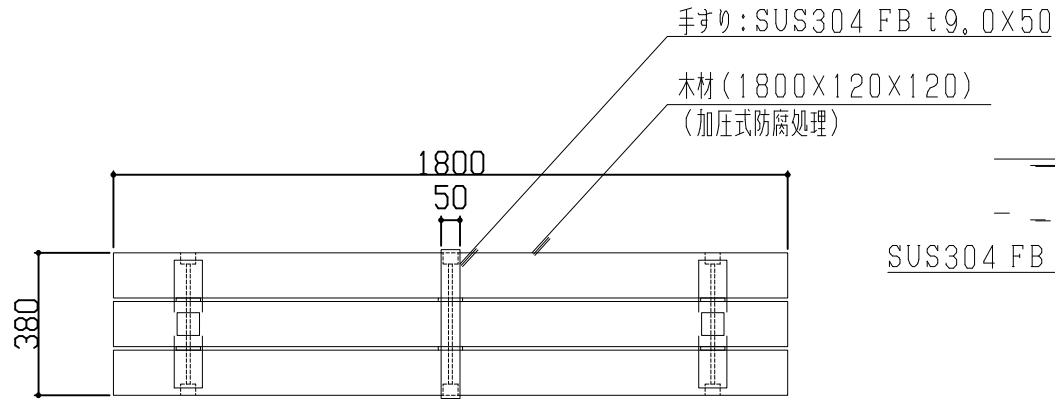
B部拡大図 1:10



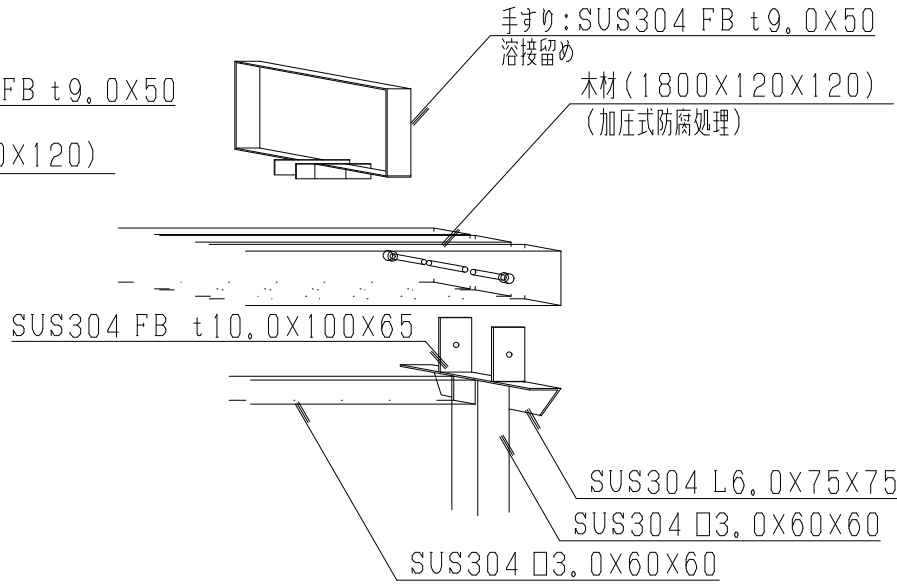
(1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要	
基礎砕石工	t50	m ²	0.32	再生砕石	
基礎ブロック	300x300x300	個	2.0	モルタル含む	
本体	米松一等	1800x120x120	枚	3.0	加圧式防腐処理 JIS A9002
	松一等				
	兵庫県産杉				
	兵庫県産松				
	等辺山形鋼	L6.0x75x75	kg	0.686	
	角鋼	square 3.0x60x60	〃	14.295	
	FB-10x65	L=100	〃	2.062	
	丸鋼	phi 9	〃	0.242	
	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂塗1回 2液性ウレタン塗装2回	m ²	1.287 0.807	
	ボルト	phi 10 L=330	本	2.0	
〃	仕切り板用	〃	4.0		
雑材料	埋木 パテ	式	1.0		
木材塗装	O.S. 2回	m ²	1.927	設計書指示	
床掘		m ³	-		
埋戻		〃	-		
残土処分		〃	-		

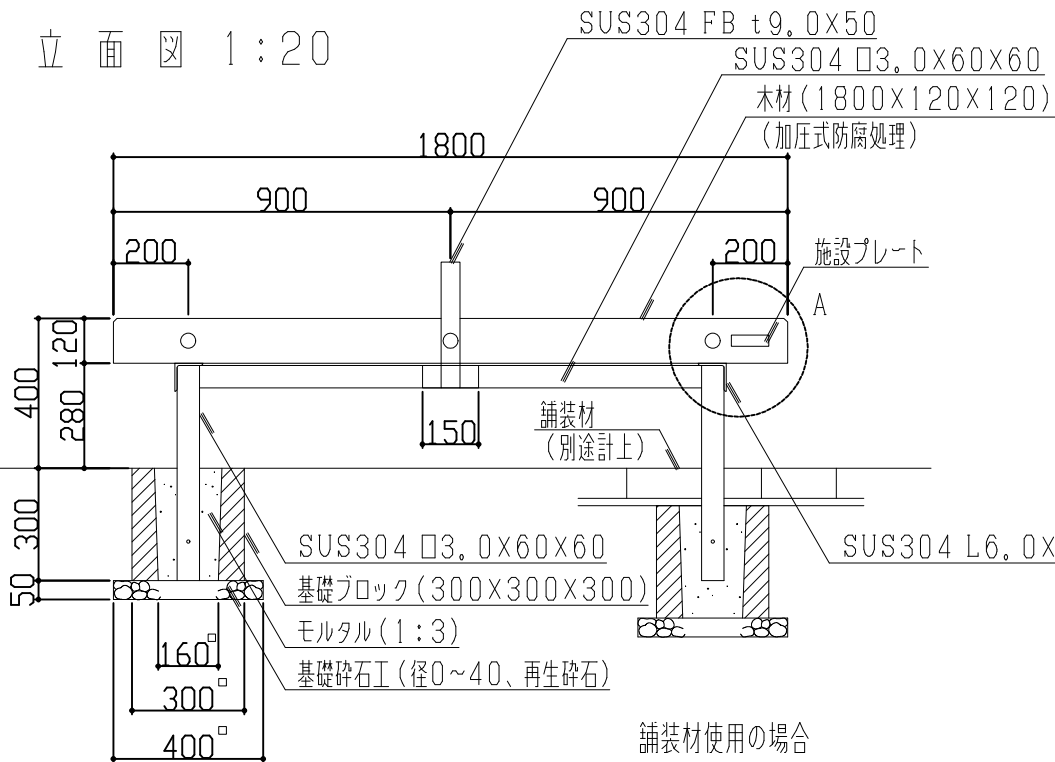
平面図 1:20



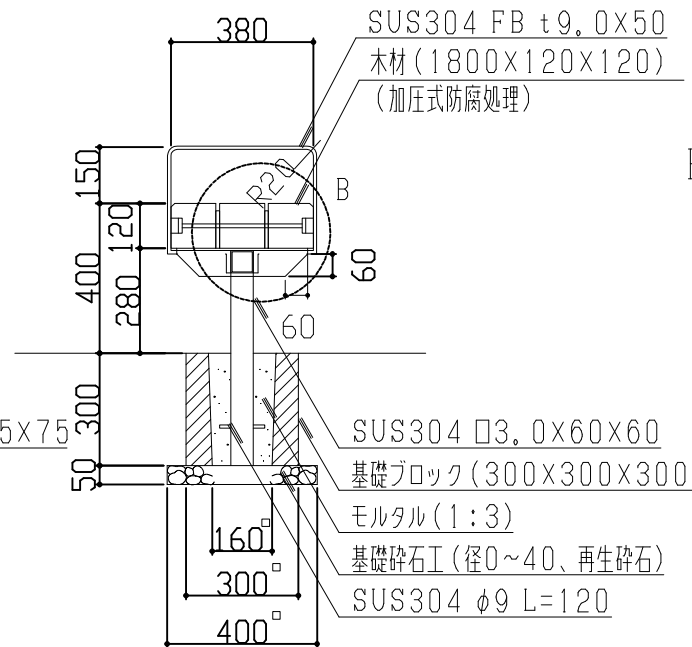
A部拡大図



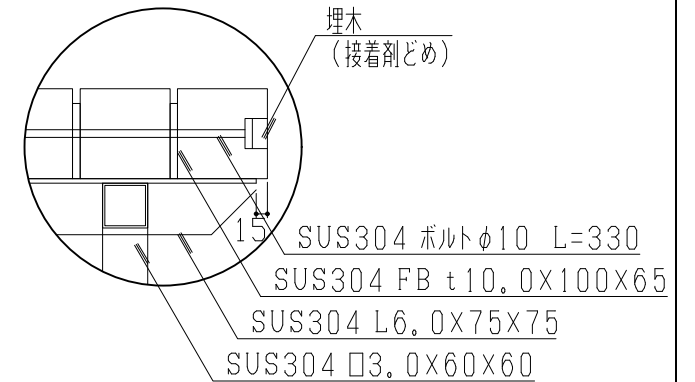
立面図 1:20



断面図 1:20



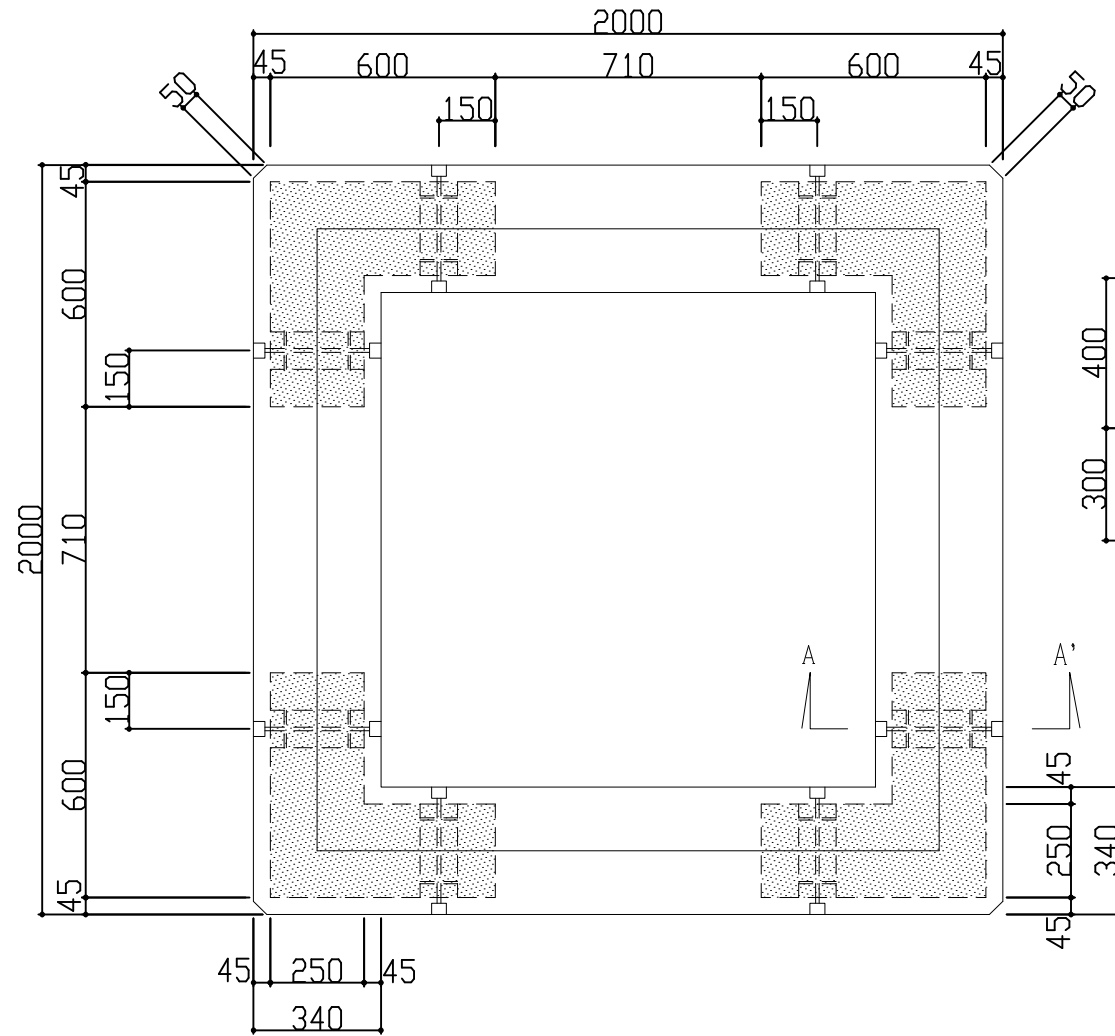
B部拡大図 1:10



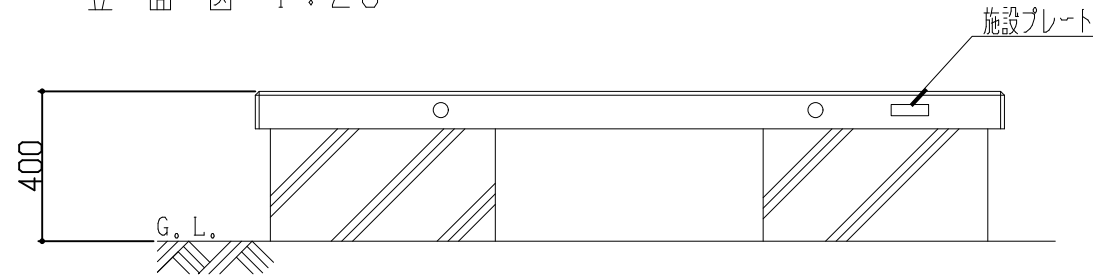
(1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要	
基礎砕石工	t50	m ²	0.32	再生砕石	
基礎ブロック	300X300X300	個	2.0	モルタル含む	
本体	米松一等	1800X120X120	枚	3.0	加圧式防腐処理 JIS A9002
	松一等				
	兵庫県産杉				
	兵庫県産松				
	等辺山形鋼	L6.0X75X75	kg	0.686	
	角鋼	□3.0X60X60	〃	14.295	
	FB-9X50		〃	7.433	
	FB-10X65	L=100	〃	2.062	
	丸鋼	φ9	〃	0.242	
	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m ²	1.287	
		2液性ウレタン塗装2回		0.807	
	ボルト	φ10 L=330	本	2.0	
	〃	仕切り板用	〃	4.0	
雑材料	埋木 パテ	式	1.0		
木材塗装	O.S. 2回	m ²	1.927	設計書指示	
床掘		m ³	-		
埋戻		〃	-		
残土処分		〃	-		

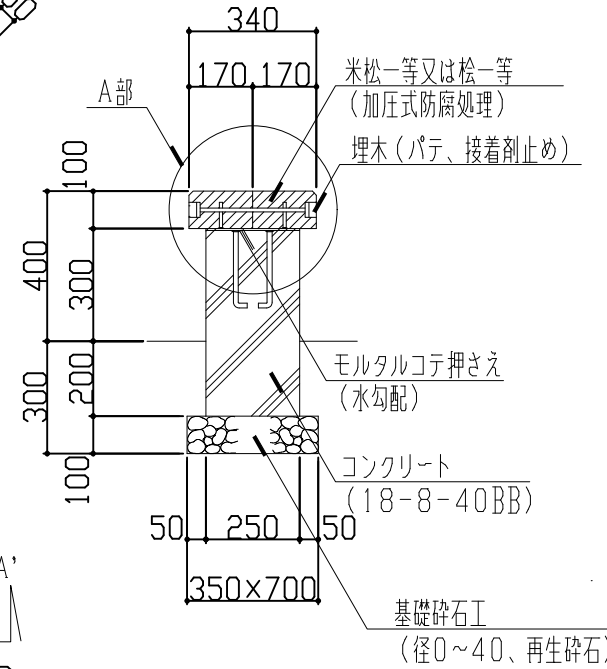
平面図 1:20



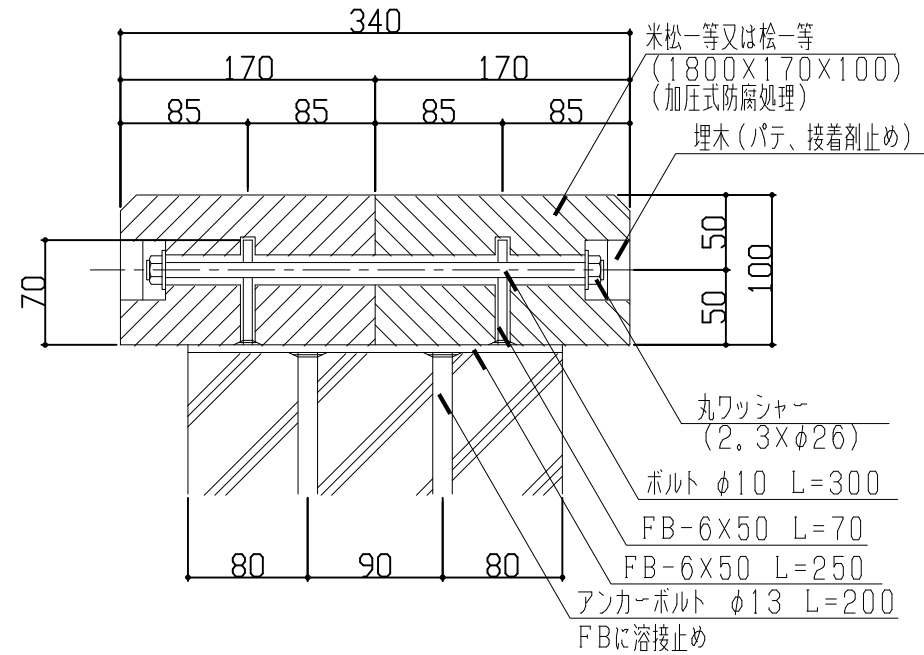
立面図 1:20



A-A' 断面図 1:20



A部詳細図 1:5



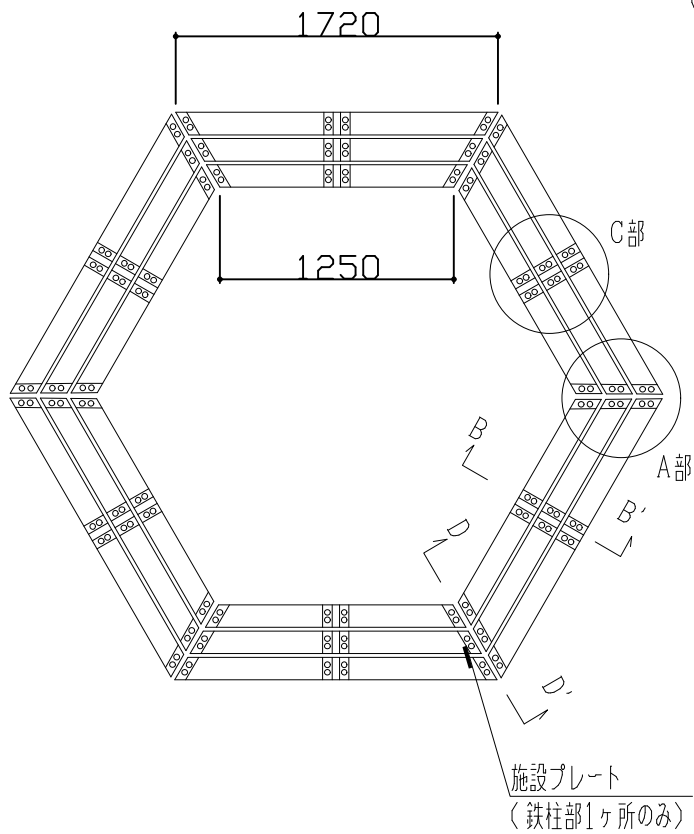
(1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要	
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	1.4	再生碎石	
コンクリート	18-8-40BB	〃	0.475		
型枠損料		m ²	4.800		
本体	米松一等	100×170	m	13.200	加圧式防腐処理 JIS A9002
	松一等				
	アンカーボルト	φ13 L=200	本	16.0	
	雑材料		式	1.0	
鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂塗1回	m ²	0.312		
木材塗装	S.O.P. 3回	〃	5.605	設計書指示	
	O.S. 2回	〃	5.605		
床掘		m ³	-		
埋戻		〃	-		
残土処分		〃	-		

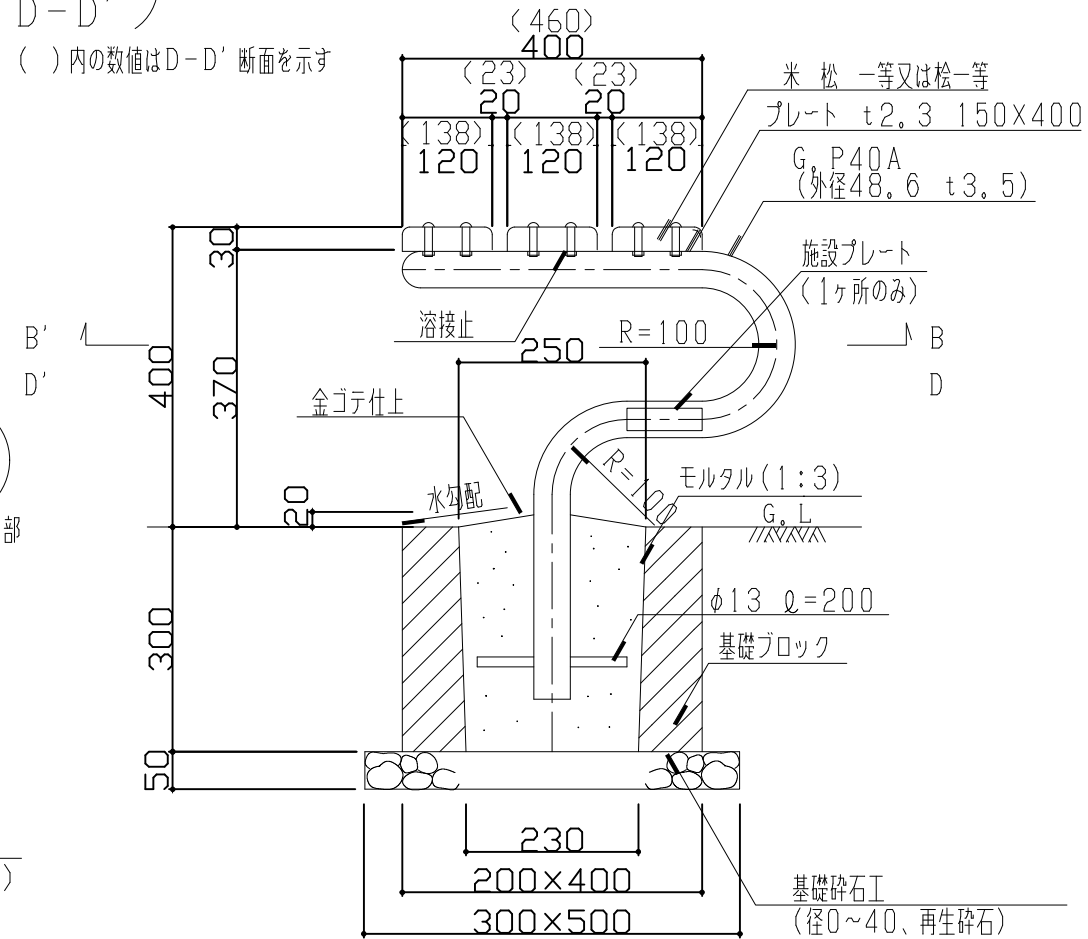
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
	<ul style="list-style-type: none"> • 木材寸法はカンナ仕上寸法とする。 • 加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理JIS A 9002」に適合するものとする。 • 施設プレートを取付けること。ただし複数基ある場合は1基以上で可とする。 	ベンチI(D)	S5245		87
			備 考		
			14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正 28年10月修正		

平面図 1:40



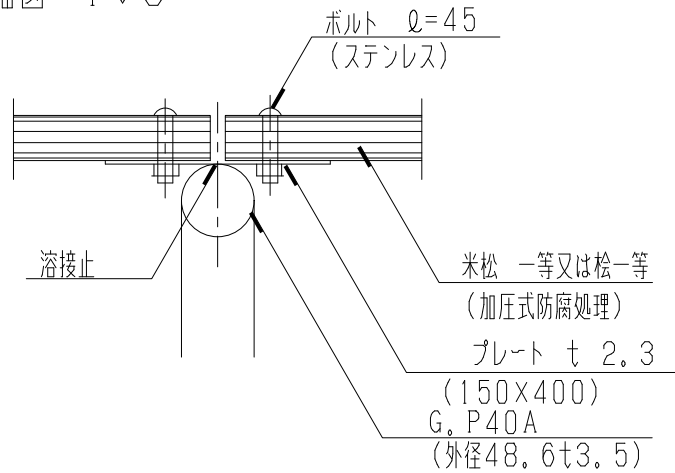
B-B' 断面図 1:10
D-D' 断面図 1:10
()内の数値はD-D'断面を示す



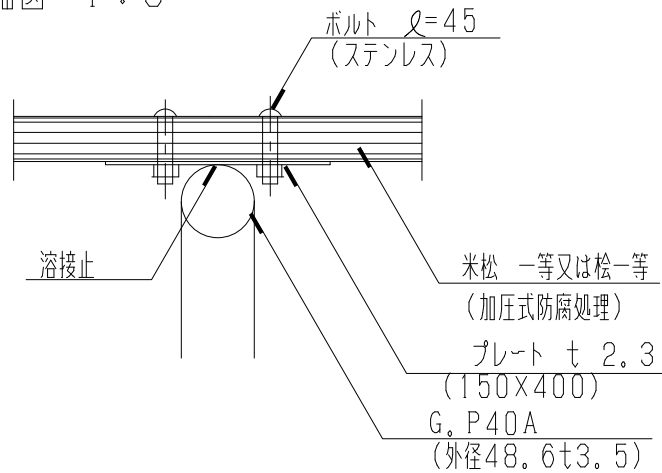
(1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要	
基礎砕石工	径0~40 t50	m ²	1.8	再生砕石	
基礎ブロック	400x200x300	個	12.0	モルタル含む	
本体	米松一等	m	26.730	加圧式防腐処理 JIS A9002	
	松一等				
	GP40A	外径48.6t3.2	kg	56.774	
	プレート	t2.3	〃	13.007	
	丸鋼	φ13	〃	2.388	
	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回 2液性ウレタン塗装2回	m ²	3.740	
ボルト	L=45 ステンレス	本	144.0		
木材塗装	S.O.P.3回 O.S.2回	m ²	7.299	設計書指示	
床掘		m ³	-		
埋戻		〃	-		
残土処分		〃	-		

A部詳細図 1:5



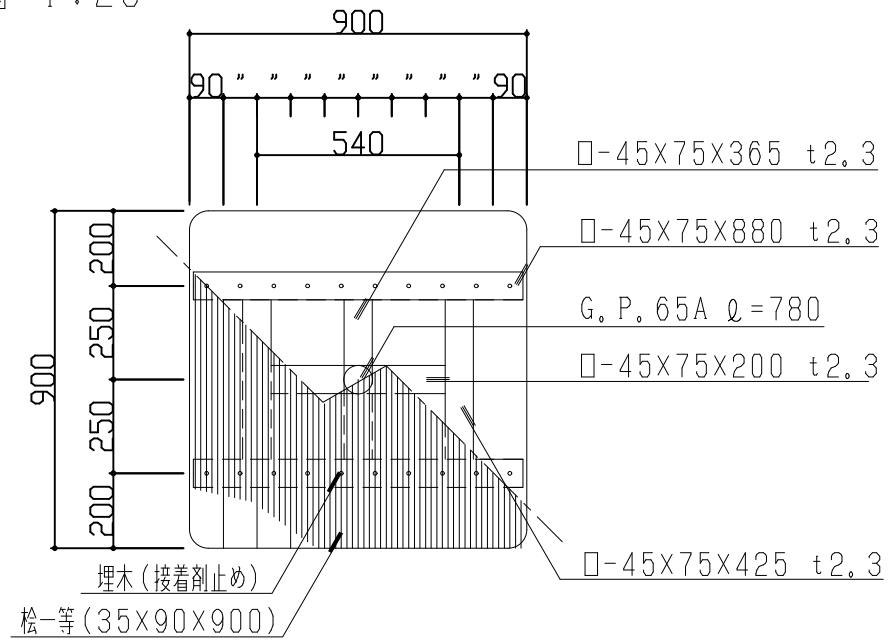
C部詳細図 1:5



令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
神戸市公園施設標準図集	<ul style="list-style-type: none"> 木材寸法はカンナ仕上寸法とする。 鋼材接合部は溶接の上、見え掛り部分はケレン仕上とする。 モルタルは、高炉セメントを使用すること。 加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理JIS A 9002」に適合するものとする。 施設プレートを取付けること。ただし複数基ある場合は1基以上で可とする。 	ベンチ I (E)	S5245		88
			備考		
			14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正 28年10月修正		

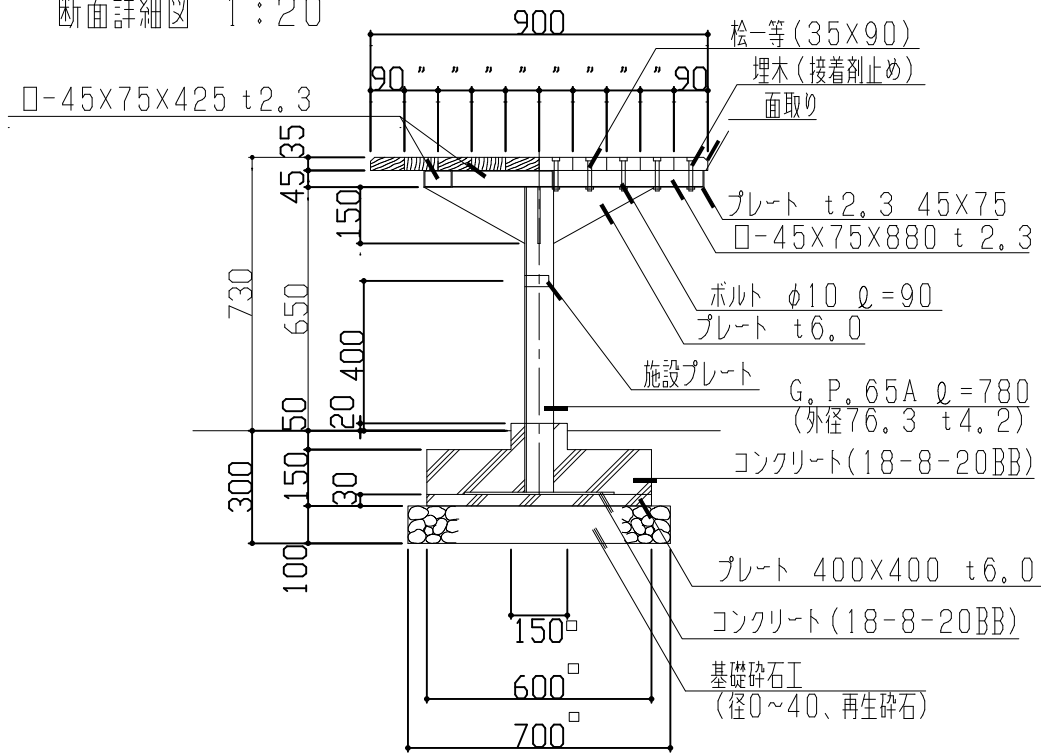
平面図 1:20



(1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要	
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.4	再生砕石	
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.05		
本体	松一等	35×90	m	9.0	加圧式防腐処理 JIS A9002
	GP 65A	外径76.3 t4.2	kg	5.8	
	ボルト	φ10 Q=90	本	20.0	
	角パイプ	45×75 t2.3	kg	15.1	
	プレート	t6.0	〃	11.8	
	鋼材塗装	2液性エポキシ樹脂 第1回 2液性ウレタン塗装2回	〃	1.5 1.0	
木材塗装	O.S. 2回	m ²	2.3		
型枠損料		m ²	0.402		
床堀		m ³	-		
埋戻		〃	-		
残土処分		〃	-		

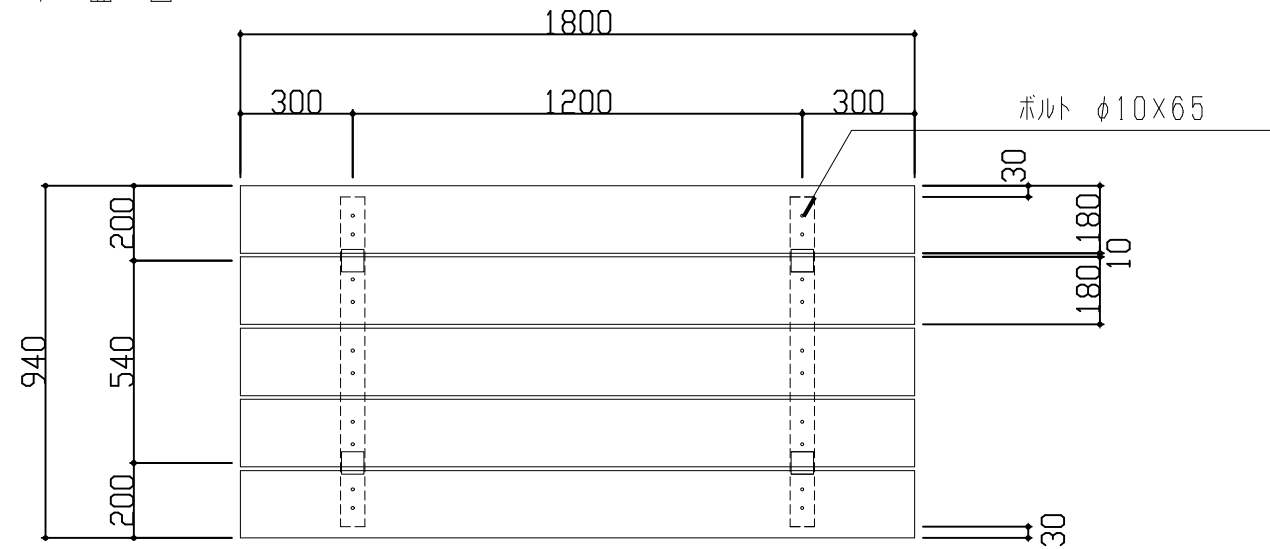
断面詳細図 1:20



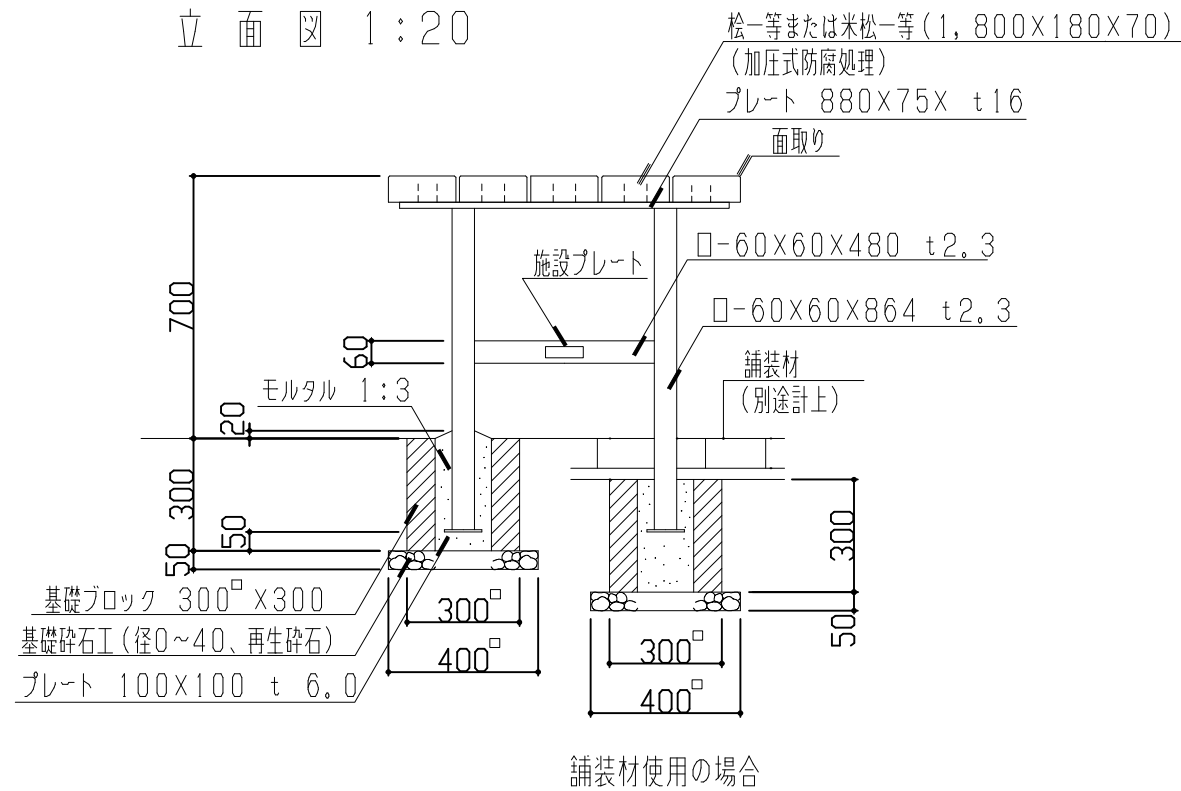
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
神戸市公園施設標準図集	<ul style="list-style-type: none"> • 木材寸法は、カンナ仕上げ寸法とする。 • 鋼材接合部は溶接の上、見え掛り部分はケレン仕上げとする。 • 加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理 JIS A 9002」に適合するものとする。 • 施設プレートを取付けること。ただし複数基ある場合は1基以上で可とする。 	野外卓工(B)	S5250		92
			備考		
			14年9月修正 15年10月修正 18年3月修正		

平面図 1:20



立面図 1:20



舗装材使用の場合

(1.0基当り)

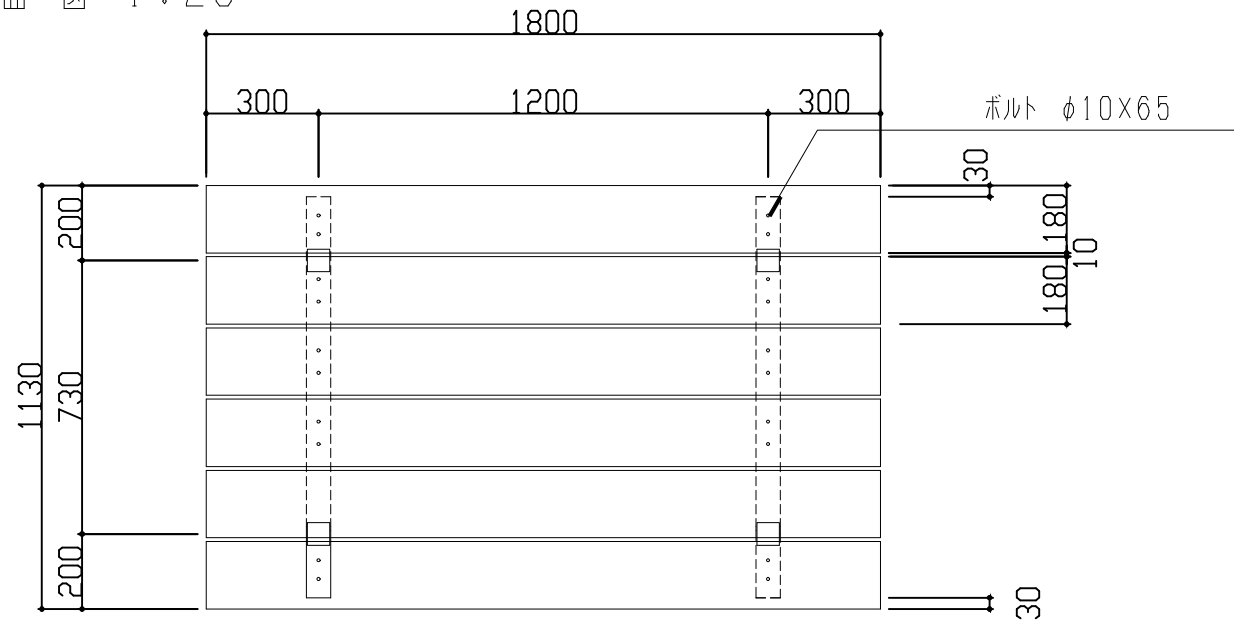
名称	形状寸法	単位	数量	摘要	
基礎砕石工	径0~40 t50	m ²	0.6	再生砕石	
基礎ブロック	300 x 300 [□]	個	4.0	モルタル含む	
本体	松一等	1800x180x70	枚	5.0	加圧式防腐処理 JIS A9002
	米松一等				
	角パイプ	60x60 t2.3	kg	17.701	
	プレート	t16	〃	16.579	
	〃	t6.0	〃	1.884	
鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m ²	1.449		
	2液性ウレタン塗装2回	〃	1.007		
木材塗装	S.O.P. 3回	〃	4.6	設計書指示	
	O.S. 2回	〃	4.6		
床掘		m ³	-		
埋戻		〃	-		
残土処分		〃	-		

令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	<ul style="list-style-type: none"> 木材寸法はカンナ仕上げ寸法とする。鋼材接合部は溶接の上、見え掛り部分はケレン仕上げとする。 モルタルは、高炉セメントを使用すること。 加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理JIS A 9002」に適合するものとする。 施設プレートを取付けること。ただし複数基ある場合は1基以上で可とする。 	野 外 卓 工 (C)	S5250		93-1
			備考		

14年9月修正 18年3月修正
15年10月修正 28年10月修正

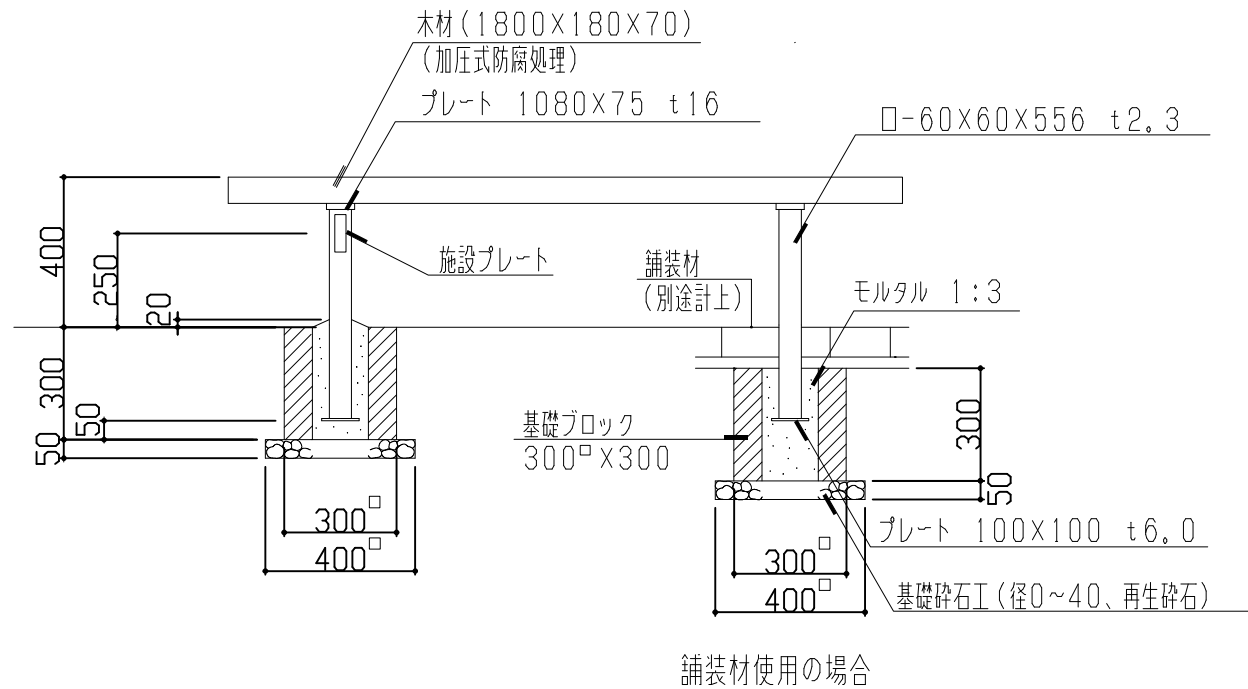
平面図 1:20



(1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要	
基礎砕石工	径0~40 厚50	m ²	0.6	再生砕石	
基礎ブロック	300 [□] ×300	個	4.0	モルタル含む	
本体	桧一等	1800×180×70	枚	6.0	加圧式防腐処理 JIS A9002
	米松一等				
	兵庫県産杉				
	兵庫県産松				
角パイプ	60×60 t2.3	kg	9.029		
プレート	t16	〃	20.347		
	t6.0	〃	1.886		
鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m ²	0.982		
	2液性ウレタン塗装2回	〃	0.663		
木材塗装	S.O.P.3回	〃	5.5	設計書指示	
	O.S.2回	〃	5.5		
床掘		m ³	-		
埋戻		〃	-		
残土処分		〃	-		

立面図 1:20



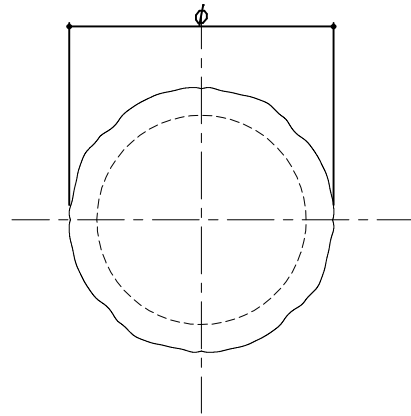
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
			S5250		
			備 考		
14年9月修正 15年10月修正 18年3月修正	28年10月修正 05年4月修正			93-2	

• 木材寸法はカンナ仕上げ寸法とする。 • 鋼材接合部は溶接の上、見え掛り部分はケレン仕上げとする。
• モルタルは、高炉セメントを使用すること。
• 加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理JIS A 9002」に適合するものとする。
• 施設プレートを取付けること。ただし複数基ある場合は1基以上で可とする。

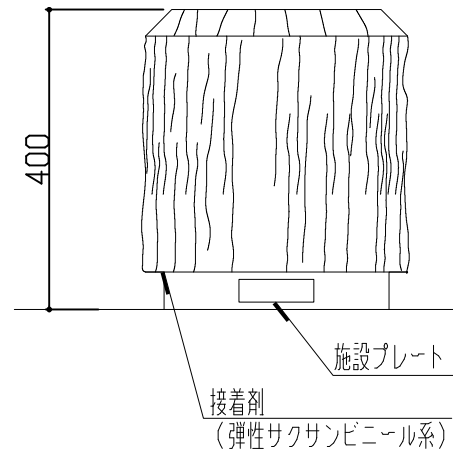
縁 台 工

(1.0基当り)

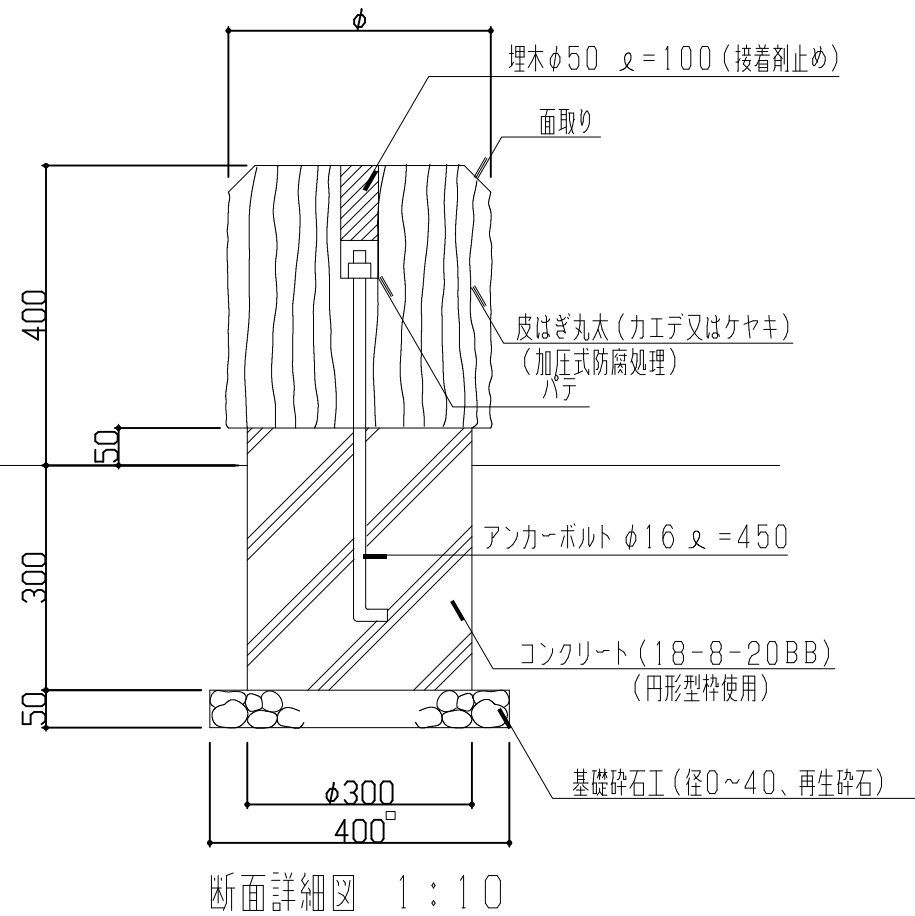


平面図 1:10

名称	形状寸法	単位	数量		摘要	
			(A) φ350	(B) φ450		
基礎砕石工	径0~40 t50	m ²	0.1	0.1	再生砕石	
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.02	0.02		
円形型枠	φ300ポイド	m	0.3	0.3		
本体	皮はぎ丸太	カエデ又はケヤキ	基	1.0	1.0	加圧式防腐処理 JIS A9002
	アンカーボルト	φ16 L=450	本	1.0	1.0	
	雑材料		式	1.0	1.0	
木材塗装	O.S. 2回	m ²	0.5	0.7	設計書指示	
床堀		m ³	-	-		
埋戻		〃	-	-		
残土処分		〃	-	-		



正面図 1:10



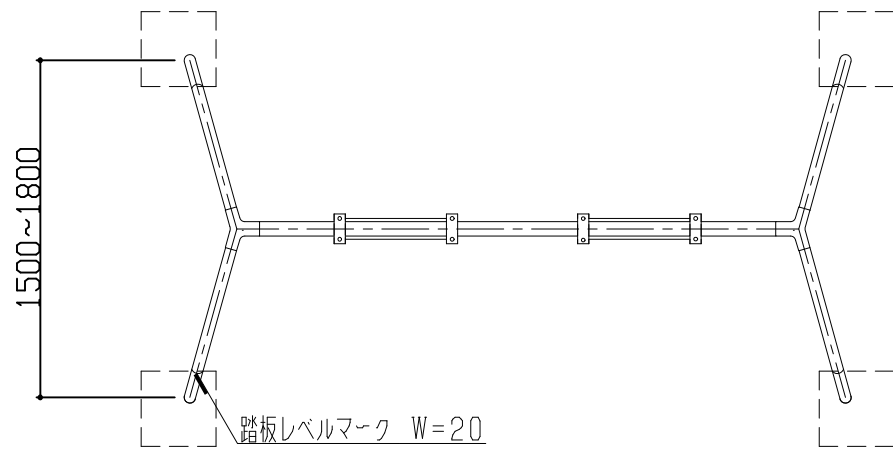
断面詳細図 1:10

令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
			S5255		
<ul style="list-style-type: none"> ・ボルト締めは堅固に行ない、埋木を完全に行うこと。 ・加圧式防腐処理は、木材防腐剤を「JIS K 1570」に適合するものとし、その処理方法は、「加圧式防腐処理 JIS A 9002」に適合するものとする。 ・施設プレートを取付けること。ただし複数基ある場合は1基以上で可とする。 			備 考		94
			14年9月修正 18年3月修正 15年10月修正		

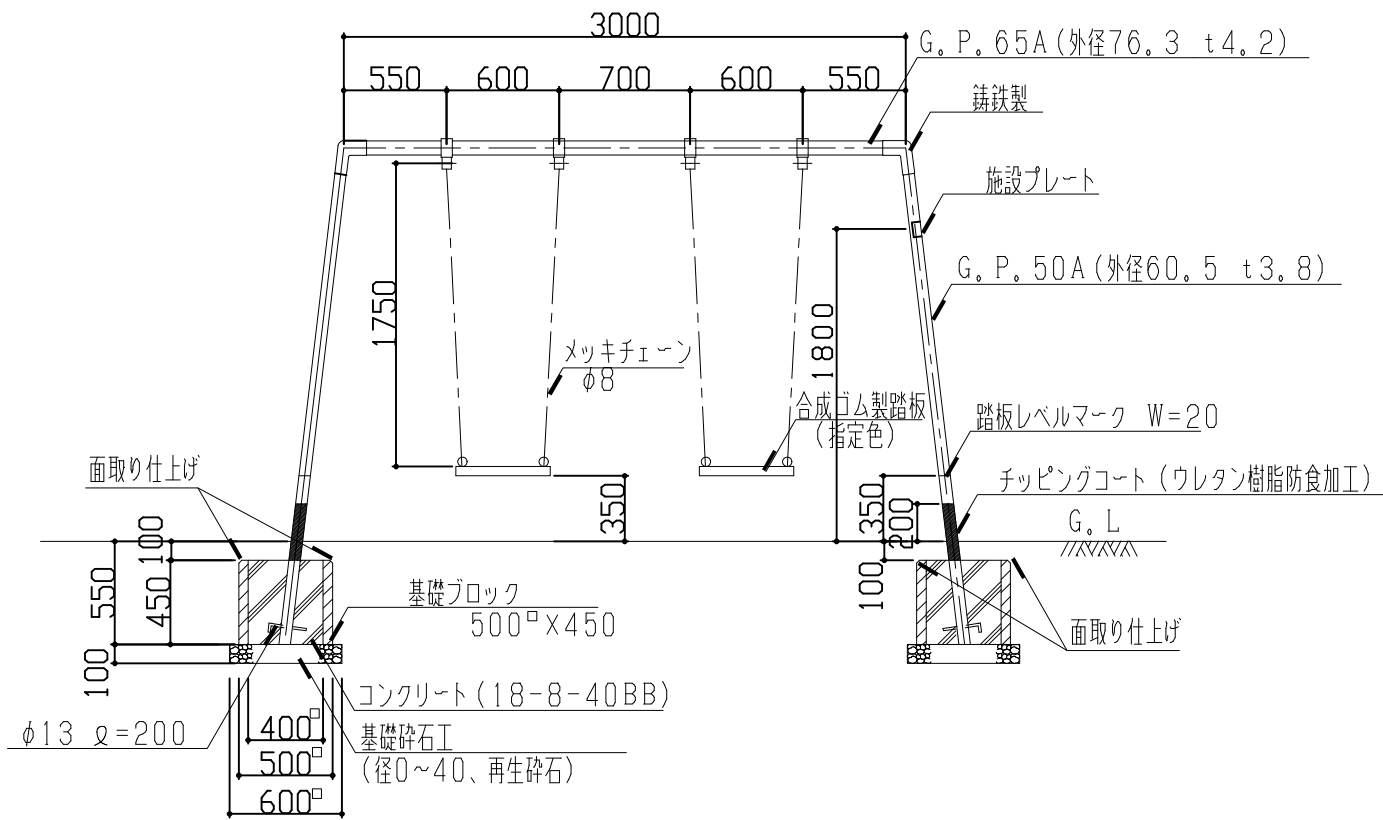
(1.0基当り)

平面図 1:40

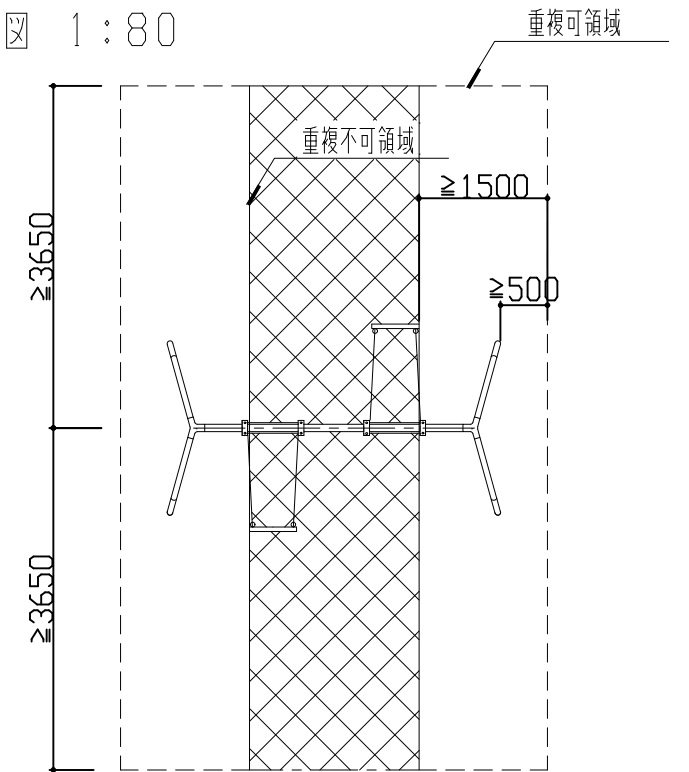


名称	形状寸法	単位	数量	摘要	
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	1.44	再生砕石	
基礎ブロック	500 [□] ×450	個	4.00		
コンクリート	18-8-40BB	m ³	0.28	中詰め用	
本体	φ13	kg	0.83		
	GP65A	外径76.3 t4.2	〃	22.41	
	GP50A	外径60.5 t3.8	〃	59.59	
	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m ²	3.01	
		2液性ウレタン塗装2回	〃	2.64	
		チップングコート	〃	0.22	
	φ8メッキチェーン	m	7.00		
	踏板		枚	2.00	
カップリング		基	4.00		
床堀		m ³	0.93		
埋戻		〃	0.34		
残土処分		〃	0.59		

立面図 1:40



安全領域図 1:80

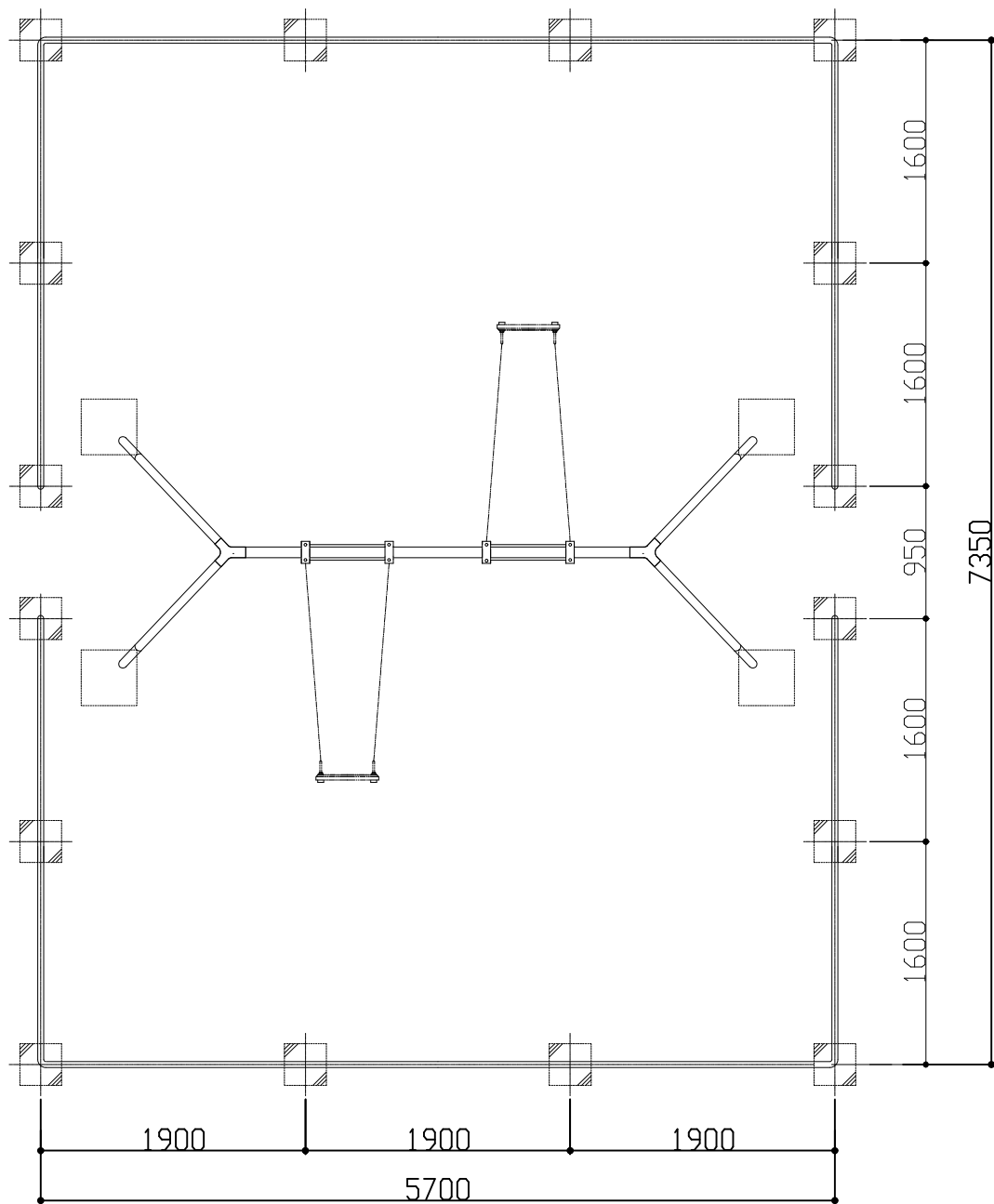


令和5年10月改定

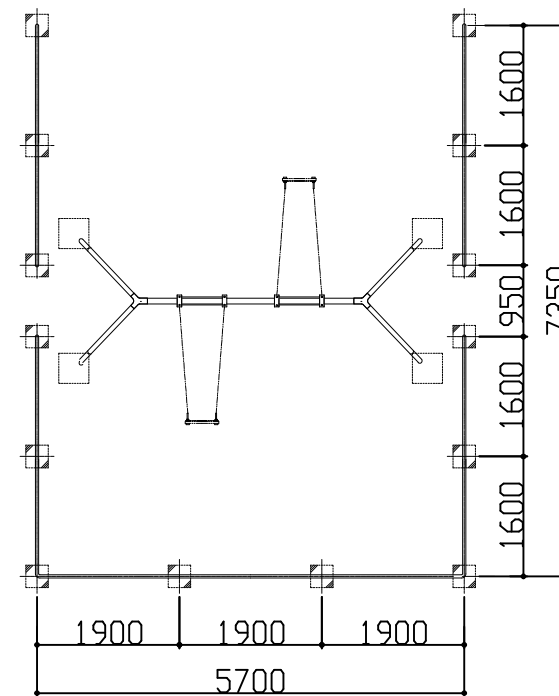
神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
			二連ブランコ工	備 考	
			14年9月修正 15年10月修正 18年3月修正	21年10月修正 02年10月修正	

- ・鋼材接合部は熔接止めの上、見え掛り部分はケレン仕上とする。
- ・レベルマークは、2液性ウレタン樹脂塗装（指定色）2回塗りとする（2カ所）。
- ・施設プレートを必ず1箇所以上取り付けること。

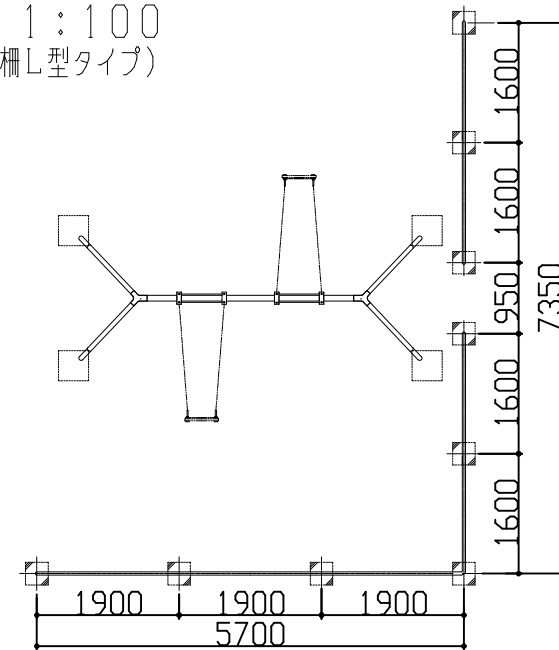
平面図 1:50
(安全柵両側タイプ)



平面図 1:100
(安全柵片側タイプ)



平面図 1:100
(安全柵L型タイプ)

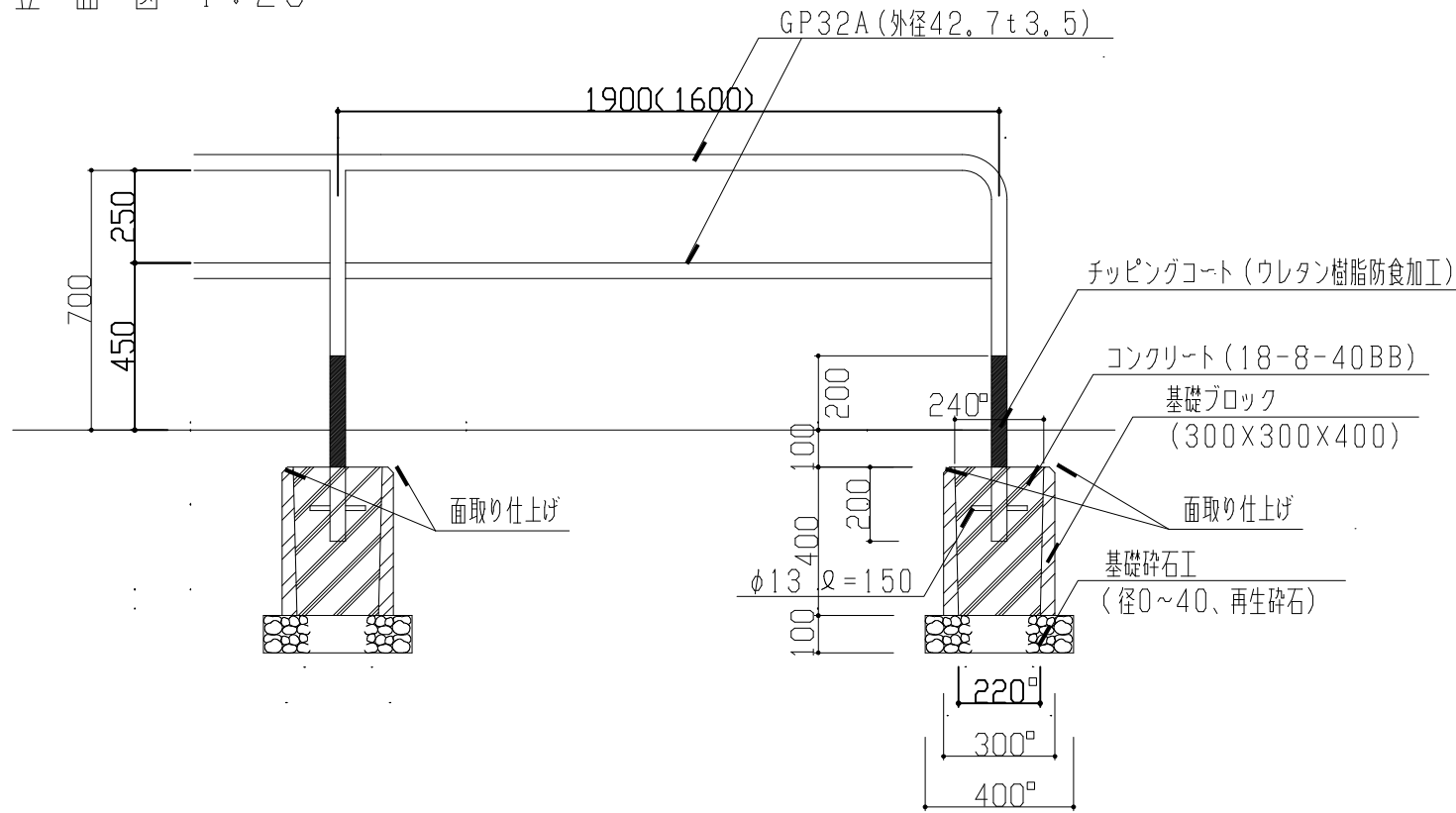


令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
			備 考		
		二連ブランコ工(安全柵)	14年9月修正 21年10月修正 15年10月修正 24年10月修正		99

(1.0基当り)

立面図 1:20



名称	形状寸法	単位	数量			摘要	
			両側	片側	L型		
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	2.56	2.24	1.44	再生砕石	
基礎ブロック	300 [□] ×400	個	16.00	14.00	9.00		
コンクリート	18-8-40BB	m ³	0.33	0.29	0.19	中詰め用	
本体	φ13	kg	2.49	2.18	1.40		
	GP32A	外径42.7 t 3.2	〃	217.67	172.38	112.21	
	鋼材加工組立		式	1.0	1.0	1.0	
	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m ²	8.64	6.84	4.45	
		2液性ウレタン塗装2回	〃	8.21	6.46	4.21	設計書指示
	チップングコート	〃	0.64	0.56	0.36		
床掘		m ³	1.53	1.34	0.86		
埋戻		〃	0.70	0.62	0.40		
残土処分		〃	0.83	0.72	0.46		

令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記	号	ペー	ジ
	・鋼材接合部は溶接の上、見え掛り部分はケレン仕上げとする。								
	二連ブランコ工(安全柵)				備考				100
					13年9月修正 21年10月修正 14年9月修正 R2年10月修正				

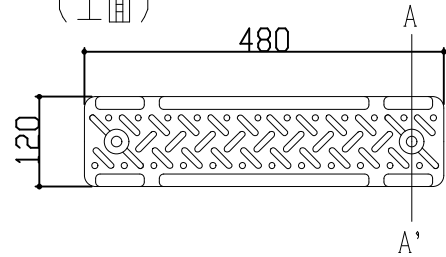
踏板詳細図（参考図）

カップリング詳細図

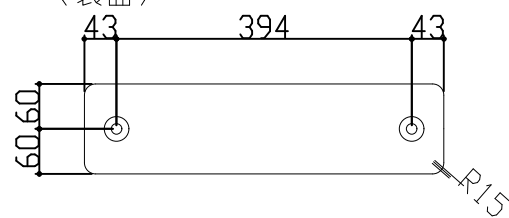
平面図 1:10

吊金具詳細図 1:2

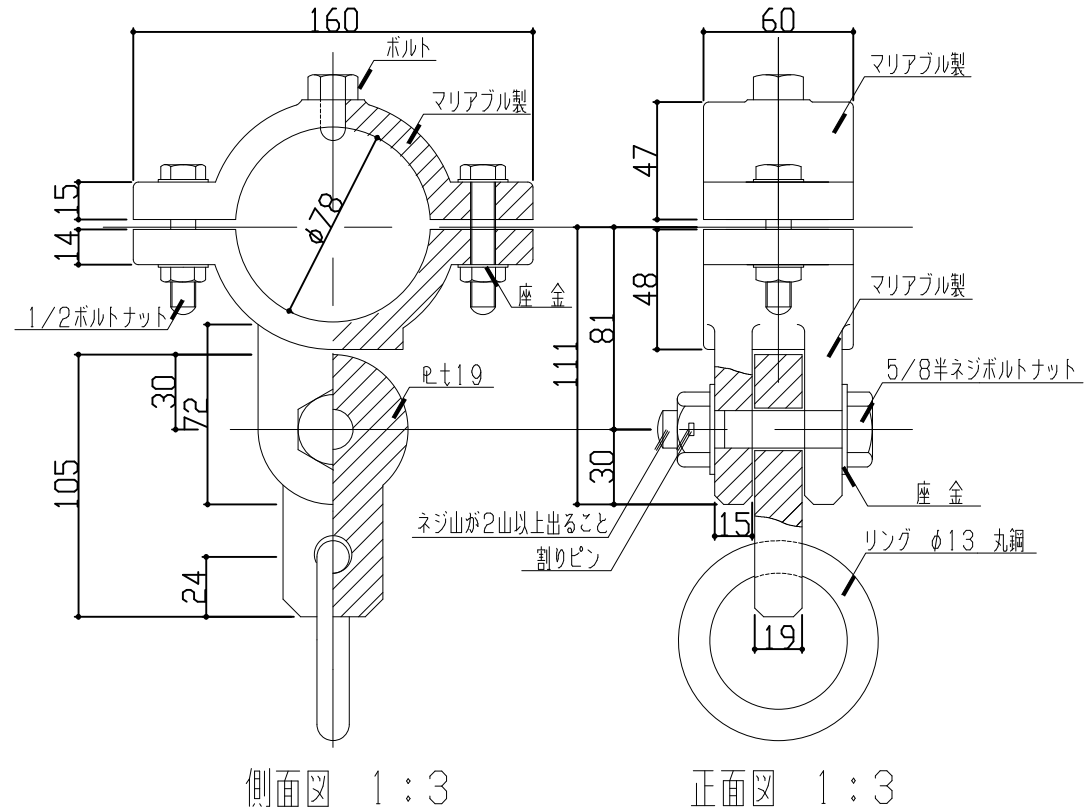
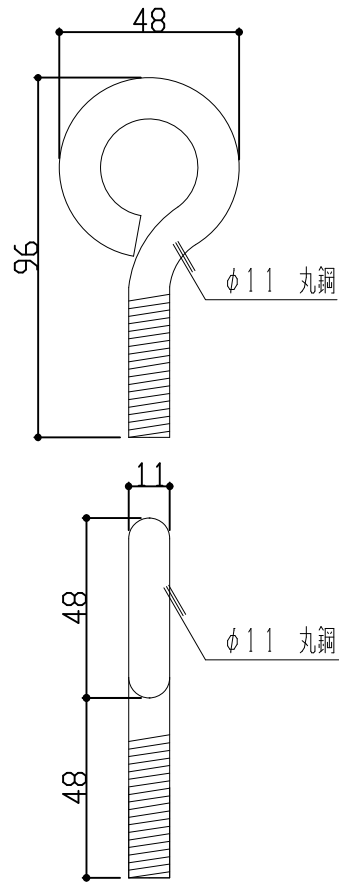
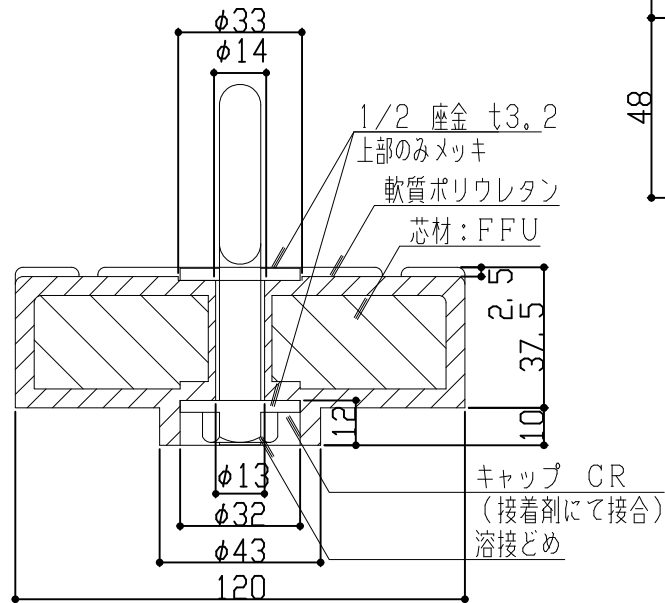
(上面)



(裏面)



A-A' 断面図 1:2



側面図 1:3

正面図 1:3

仕様

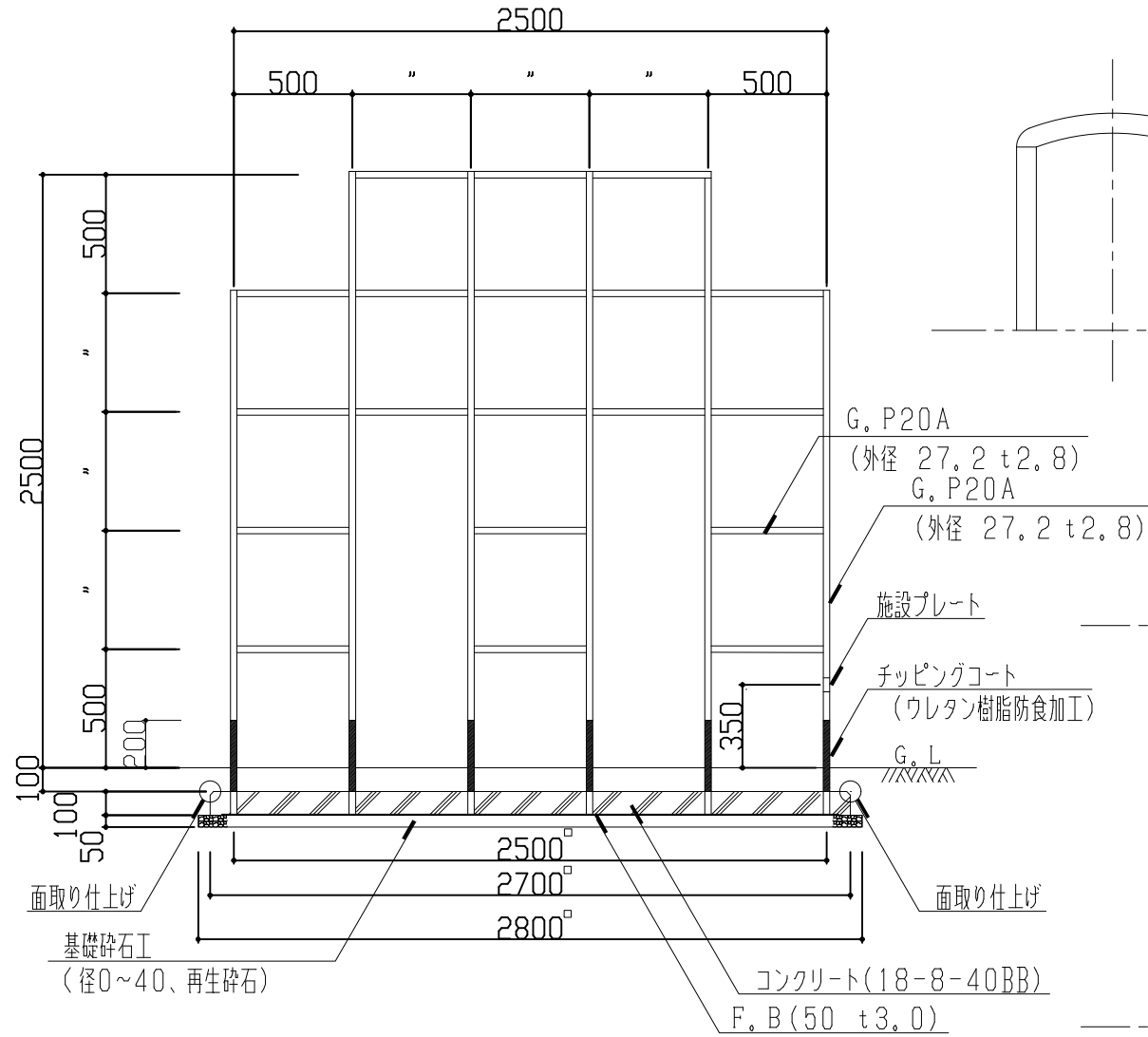
- (踏板)・J-PFA-SP-S:2014の基準を満たす製品とする。
- ・着座部は1人乗りとし、安全性を十分考慮した材質や形状・構造とする。
- ・着座部は表面を柔らかい材質で覆うか、着座部そのものが柔らかい材質で構成されていること。
- ・着座部底面は、硬い突起物(ボルト・ナットの一部など)が露出しない構造とする。
- ・座板着座部の有効幅は、吊り部材の内寸法とし、児童用は350~500mmで、奥行きは有効幅の中で1番狭い部分で120mm以上とする。
- ・スイングクリアランスは児童用で350~450mmを許容範囲とする。
- ・吊り部材は着座した状態で鉛直方向に対して2°以上の角度をもって吊り上げる。上記の角度が得られない場合は吊り部材の回転軸固定位置を調整すること。
- ・座板の耐荷重は、集中荷重2010N以上とする。

- (カップリング)・鋼材は、2液性変性エポキシ樹脂錆止め1回、2液性ウレタン塗装2回塗りとする。
- ・鋼材接合部は溶接止めの上、見え掛り部分はケレン仕上げとする。

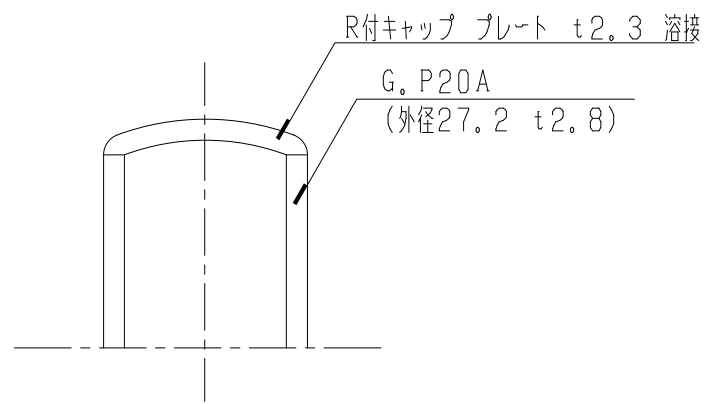
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 ※仕様については図中に記載のとおり	様 名	称 二連ブランコ工(踏板、カップリング)	コード番号	記号	ページ
				備考 14年9月修正 24年10月修正 16年9月修正 25年10月修正 21年10月修正 27年10月修正		101

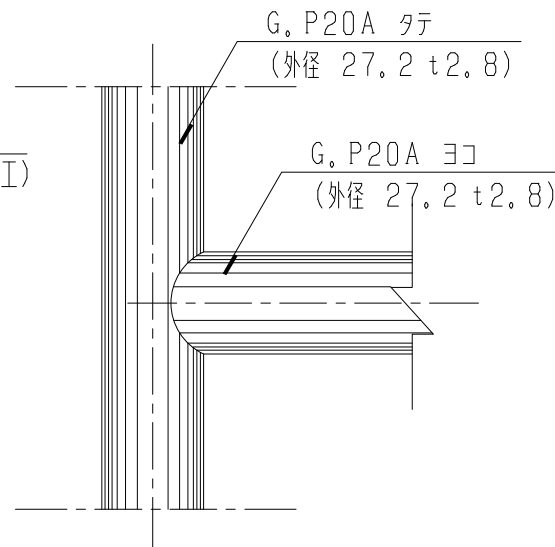
立面図 1:30



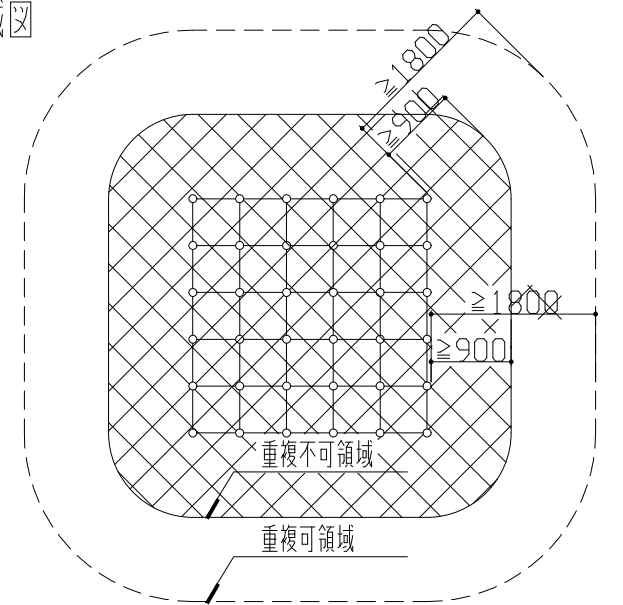
キャップ詳細図 1:1



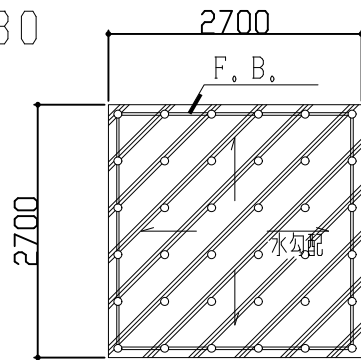
接合部詳細図 1:2



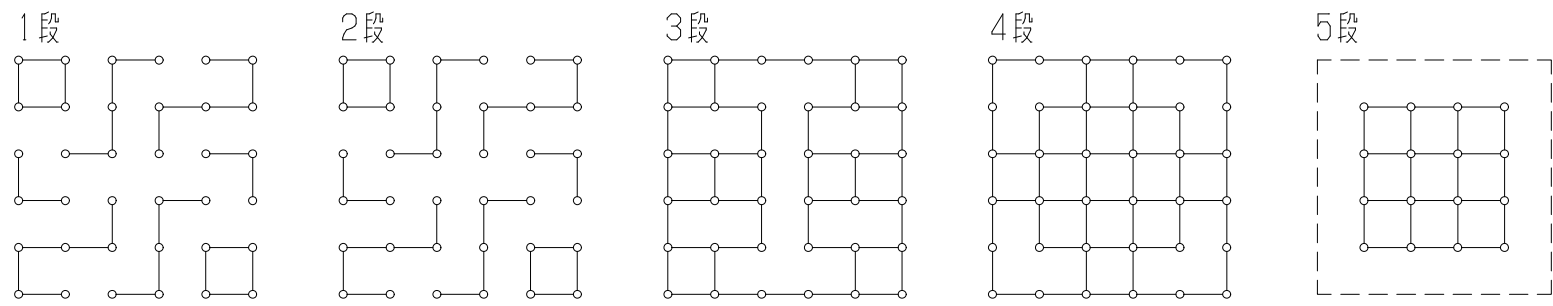
安全領域図 1:80



基礎平面図 1:80



各段平面図 1:80



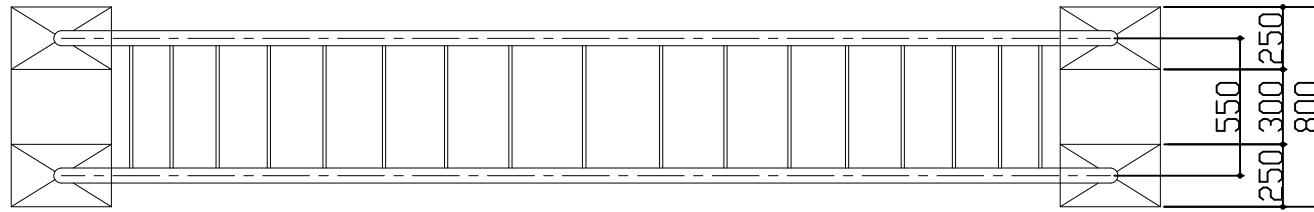
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記号	ページ	
<ul style="list-style-type: none"> 鋼材接合部は溶接止めの上、見え掛かり部分はクレン仕上げとする。 全ての脚部に地際半球状盛上げ仕上げをする。 施設プレートを必ず1箇所以上取り付けること。 	ジャングルジム工			備考	14年 9月修正 18年3月修正 15年10月修正 21年10月修正		102	

(1.0基当り)					
名称	形状寸法	単位	数量	摘要	
基礎砕石工	径0~40 t50	m ²	7.84	再生砕石	
コンクリート	18-8-40BB	m ³	0.72		
型枠損料		m ²	1.08		
本体	GP20A	外径27.2 t2.8	kg	296.01	
	F.B.	50 t 3	kg	11.68	
	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m ²	16.04	
		2液性ウレタン塗装2回	"	14.75	
	チッピングコート	"	0.92		
床掘		m ³	1.96		
埋戻		"	0.84		
残土処分		"	1.12		

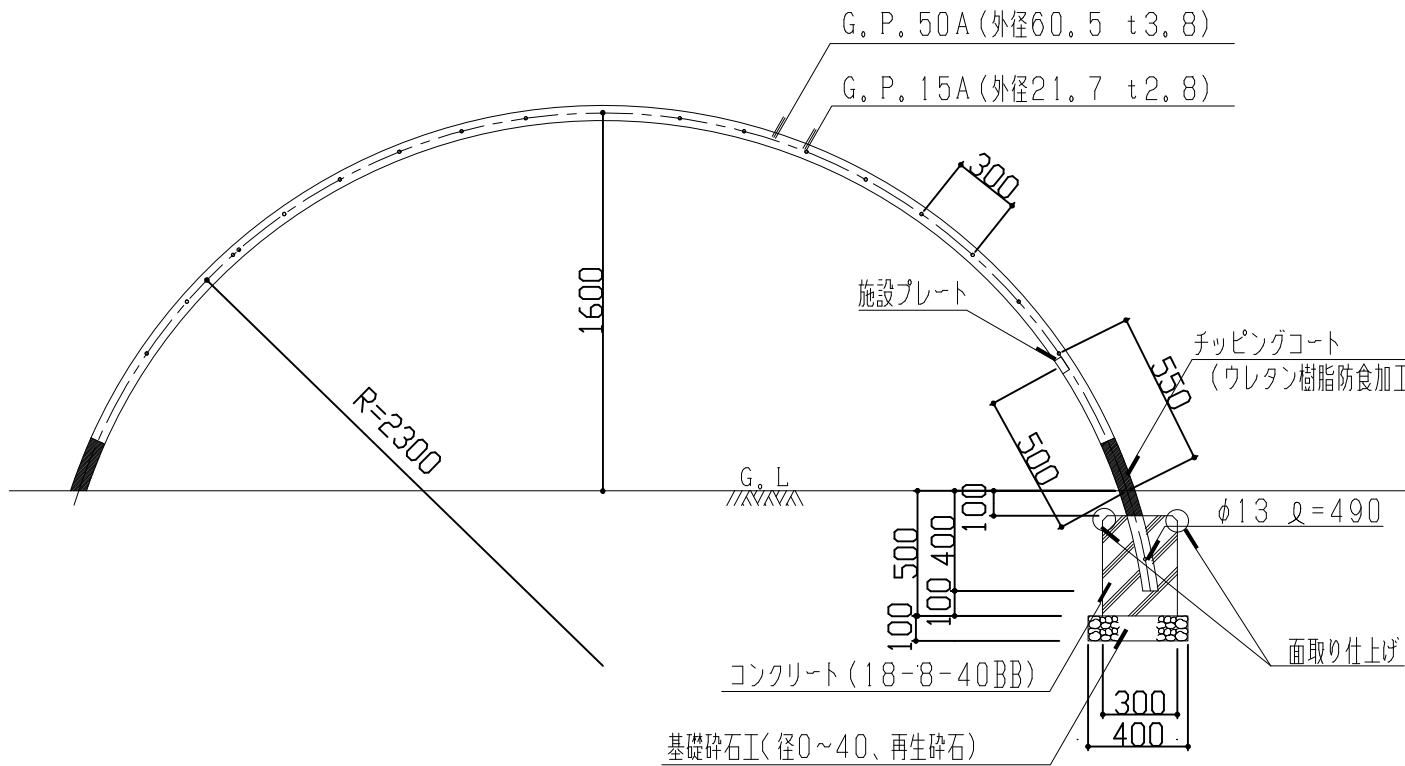
(1.0基当り)

平面図 1:30

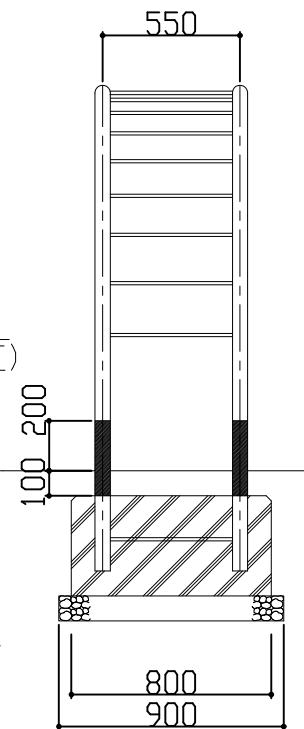


名称	形状寸法	単位	数量	摘要	
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.72	再生砕石	
コンクリート	18-8-40BB	m ³	0.19		
型枠損料		m ²	1.76		
本体	φ13	kg	1.01		
	GP50A	外径60.5 t3.8	70.09		
	GP15A	外径21.7 t2.8	10.90		
	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m ²	3.07	
		2液性ウレタン塗装2回	〃	2.83	
チッピングコート		〃	0.22		
床堀		m ³	0.43		
埋戻		〃	0.17		
残土処分		〃	0.26		

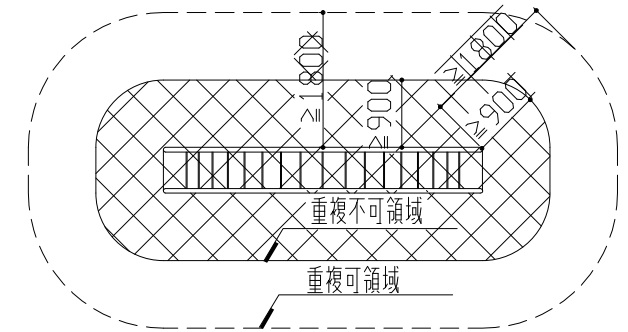
側面図 1:30



立面図 1:30



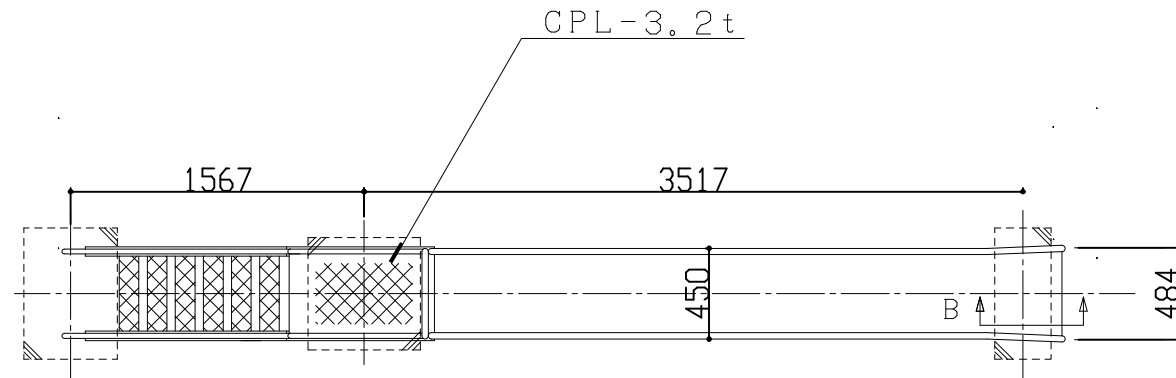
安全領域図 1:100



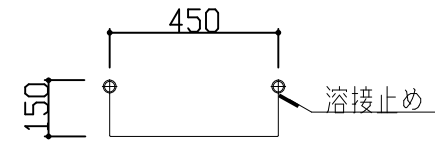
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ	
						103
			備 考			
	<ul style="list-style-type: none"> 鋼材接合部は溶接の上、見え掛り部分はケレン仕上とする。 施設プレートを必ず1箇所以上取り付けること。 	ラダー-I	14年 9月修正 18年3月修正 15年10月修正 21年10月修正			

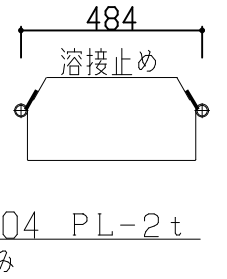
平面図 1/40



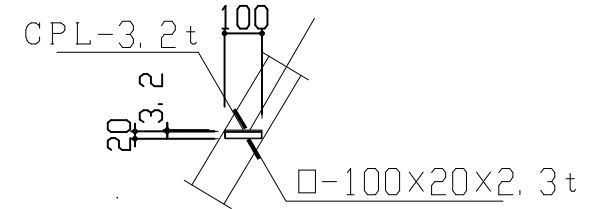
A-A断面図 1/20



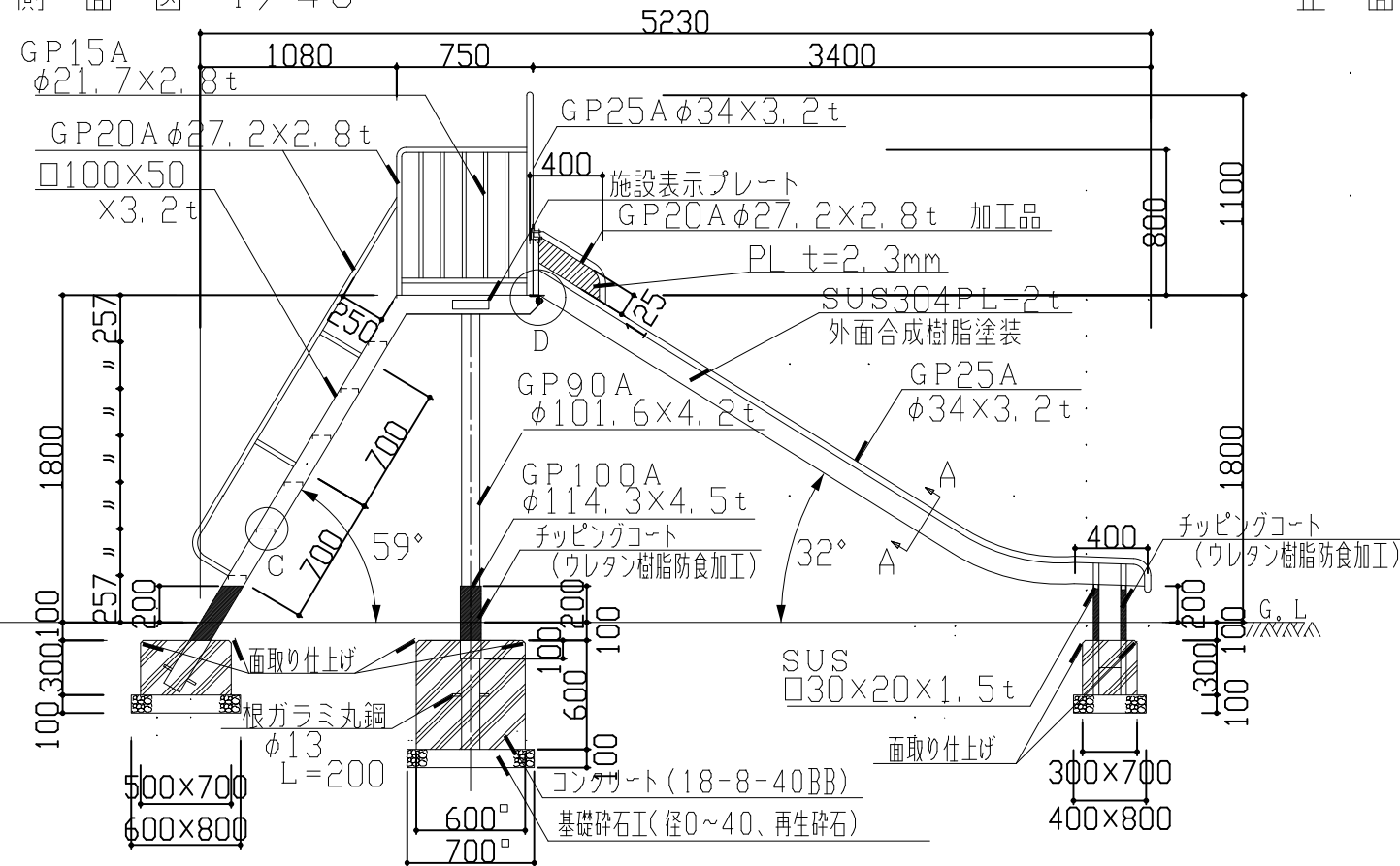
B-B断面図 1/20



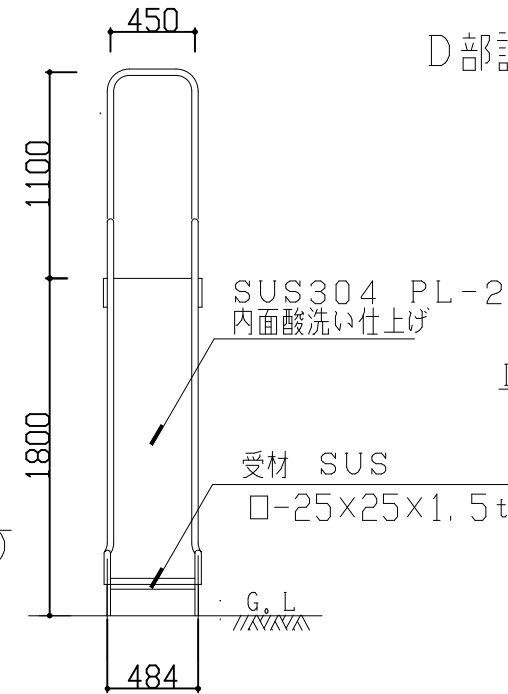
C部詳細図 1/20



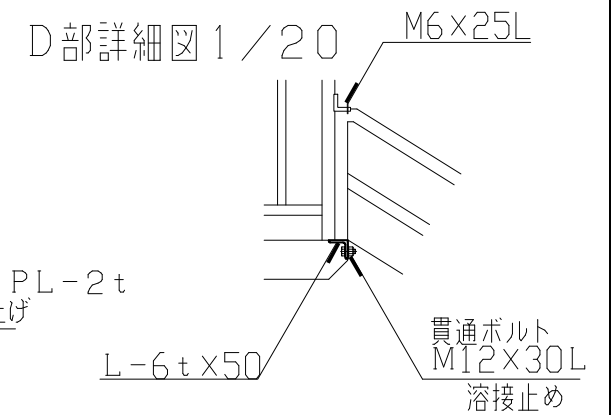
側面図 1/40



正面図 1/40



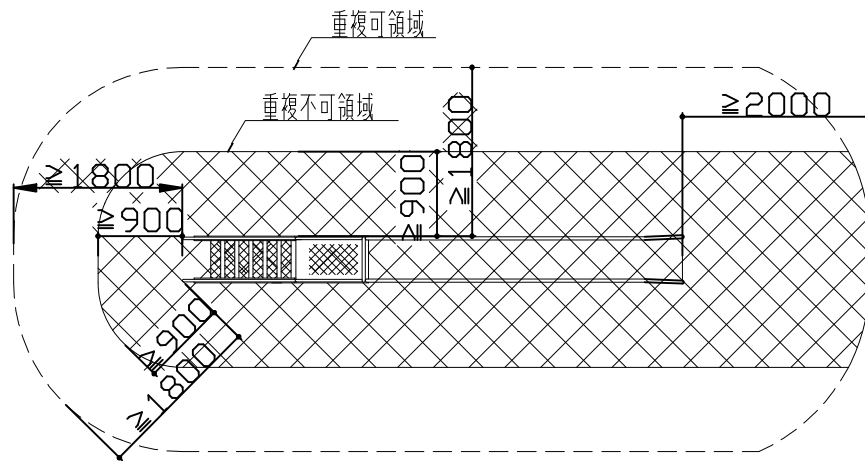
D部詳細図 1/20



令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	<ul style="list-style-type: none"> 銅材接合部は溶接の上、見え掛り部分はケレン仕上とする。 施設プレートを必ず1箇所以上取り付けること。 	スベリ台工	備考		105-1
			14年 9月修正 15年 10月修正 18年 3月修正	21年 10月修正 24年 10月修正 02年 10月修正	

安全領域図 1/80



(1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数	量	摘要
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	1.29		再生砕石
コンクリート	18-8-40BB	m ³	0.38		
型枠損料		m ²	2.76		
本 体	丸鋼	φ13	kg	0.41	
	GP90A	外径101.6 t4.2	〃	24.24	
	GP100A	外径114.3 t4.5	〃	4.88	
	□100×50		〃	46.26	
	□100×20		〃	12.18	
	GP32A	外径42.7 t3.5	〃	6.08	
	GP25A	外径34.0 t3.2	〃	26.85	
	GP20A	外径27.2 t2.8	〃	15.12	
	GP15A	外径21.7 t2.8	〃	9.17	
	L-50×6		〃	3.98	
	編鋼板	t4.5	m ²	0.66	
	ステンレス	PL-2.0	kg	39.57	SUS304
	ステンレス	□30×20	〃	4.50	〃
	ステンレス	□25×25	〃	1.30	〃
鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂塗1回	m ²	7.65	ステンレス部を除く	
	2液性ウレタン塗装2回	〃	7.27	〃	
	チッピングコート	〃	0.40		
床掘		m ³	0.79		
埋戻		〃	0.28		
残土処分		〃	0.51		

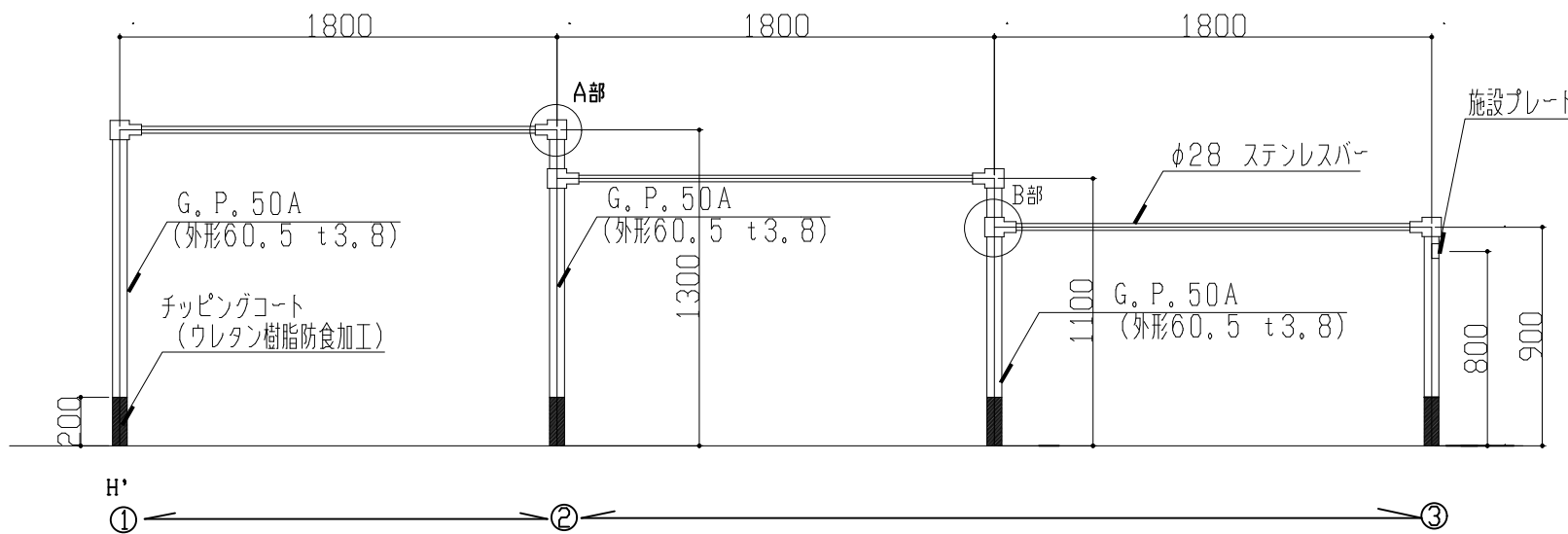
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ

スベリ台工 (数量表)

備 考
 14年 9月修正 29年10月修正
 15年10月修正
 21年10月修正

正面図 1:30

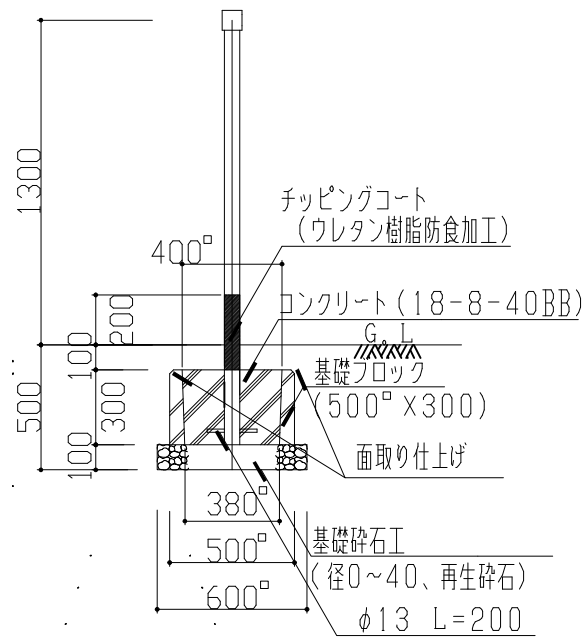


(1.0基当り)

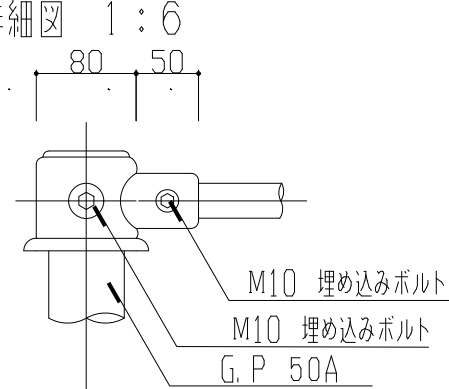
名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			三連	二連	
基礎ブロック	500 [□] ×300	個	4.0	3.0	
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	1.44	1.08	再生砕石
コンクリート	18-8-40BB	m ³	0.18	0.13	中詰め用
本体	GP50A	外径60.5 t3.8	kg	32.92	22.83
	接手		個	6.0	4.0
	ステンレスバー	φ28	m	5.16	3.44
	鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m ²	1.17	0.81
		2液性ウレタン塗装2回	〃	0.95	0.64
		チップングコート	〃	0.22	0.17
床堀		m ³	0.72	0.54	
埋戻		〃	0.28	0.21	
残土処分		〃	0.44	0.33	

注) 三連鉄棒 ①-③
二連鉄棒 ②-③

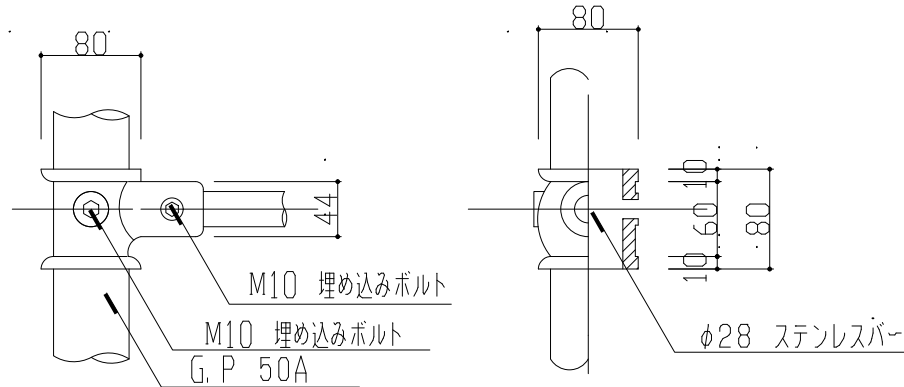
断面図 1:30



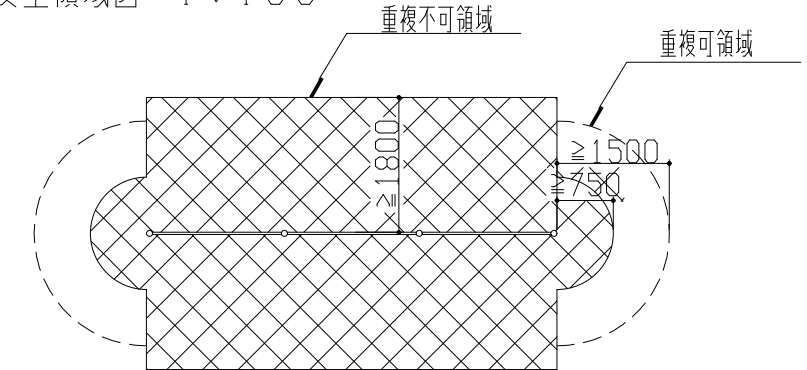
A部詳細図 1:6



B部詳細図 1:6



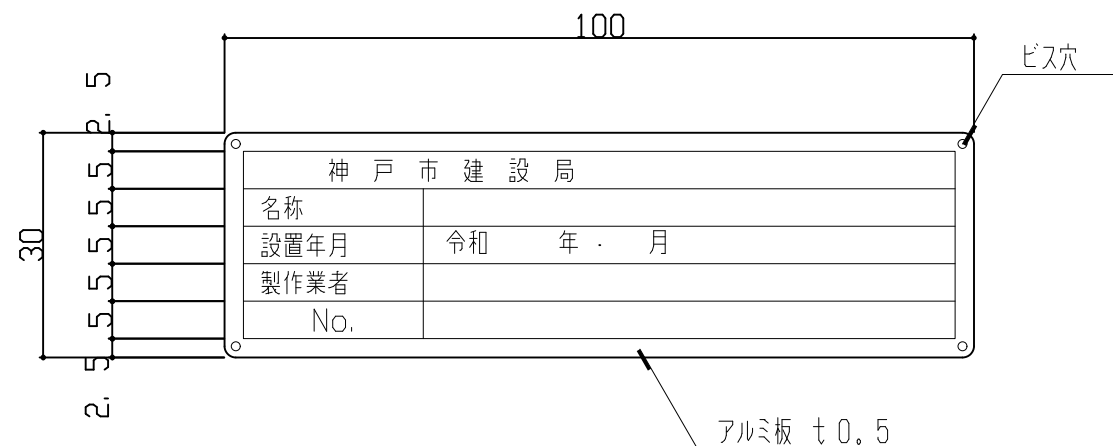
安全領域図 1:100



令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
			三連、二連鉄棒工	備 考 14年9月修正 21年10月修正 15年10月修正 02年10月修正 18年3月修正	

- 接手は、鋳鉄製とする。
- 据り棒(φ28 ステンレスバー) 端部には、回転防止として深さ10mmのボルト受穴を設けるものとする。
- 施設プレートを必ず1箇所以上取り付けること。

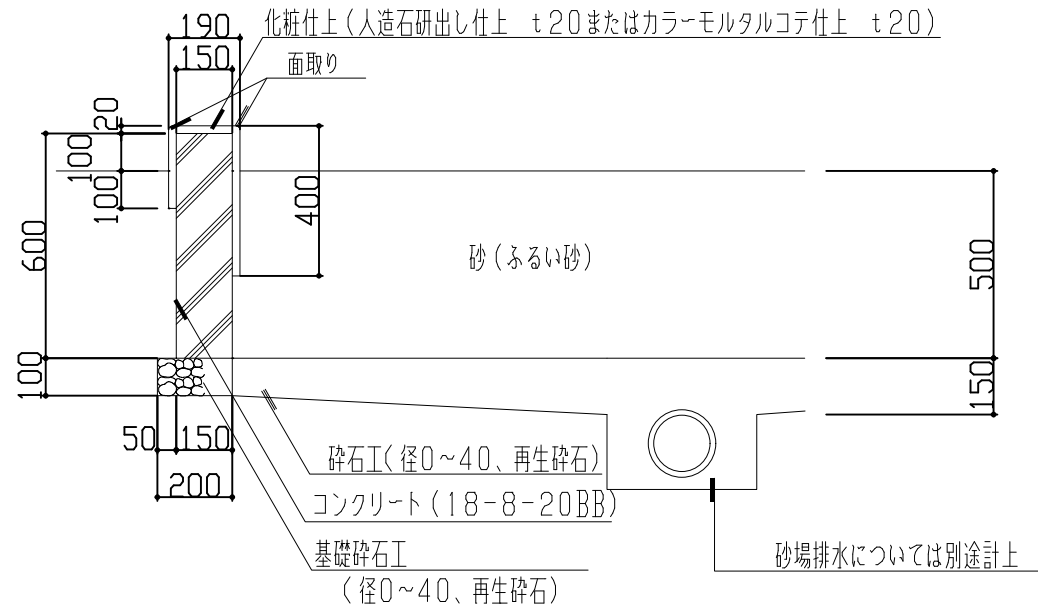


平面図 1:1

令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
神戸市公園施設標準図集	<ul style="list-style-type: none"> 遊器具および休養施設全てに、必ず1ヵ所以上取付けること。 取付位置については図面又は係員指示とする。 接着剤で貼り付けの上、ビス止めすること。(係員指示) 字体は丸ゴシック体とする。 	施設プレート工			107
			備考 13年9月修正		

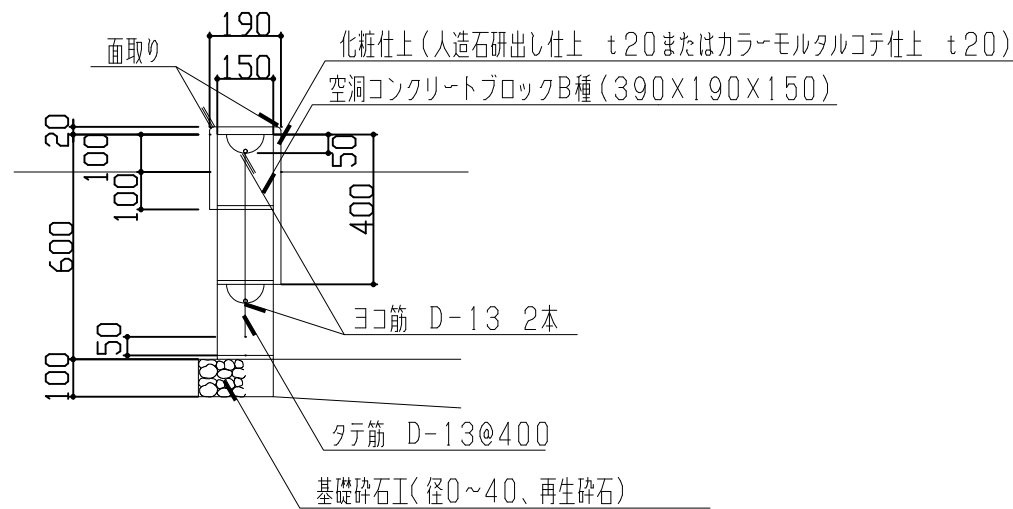
断面図 (A-1) 1:20



砂場縁取工 (1.0m当り)

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			(A-1)	(A-2)	
基礎碎石工	径0~40 t100	m ²	0.2	0.2	再生碎石
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.090	—	
型枠損料		m ²	1.200	—	
空洞ブロック	390×190×150	〃	—	0.600	
鉄筋工	D-13	kg	—	3.234	
化粧仕上	人造石研出し仕上 t20	m ²	0.7	0.7	設計書指示
	カラーモルタルコテ仕上 t20	〃	0.7	0.7	
床堀		m ³	—	—	
埋戻		〃	—	—	
残土処分		〃	—	—	

断面図 (A-2) 1:20



砂場工 (1.0m²当り)

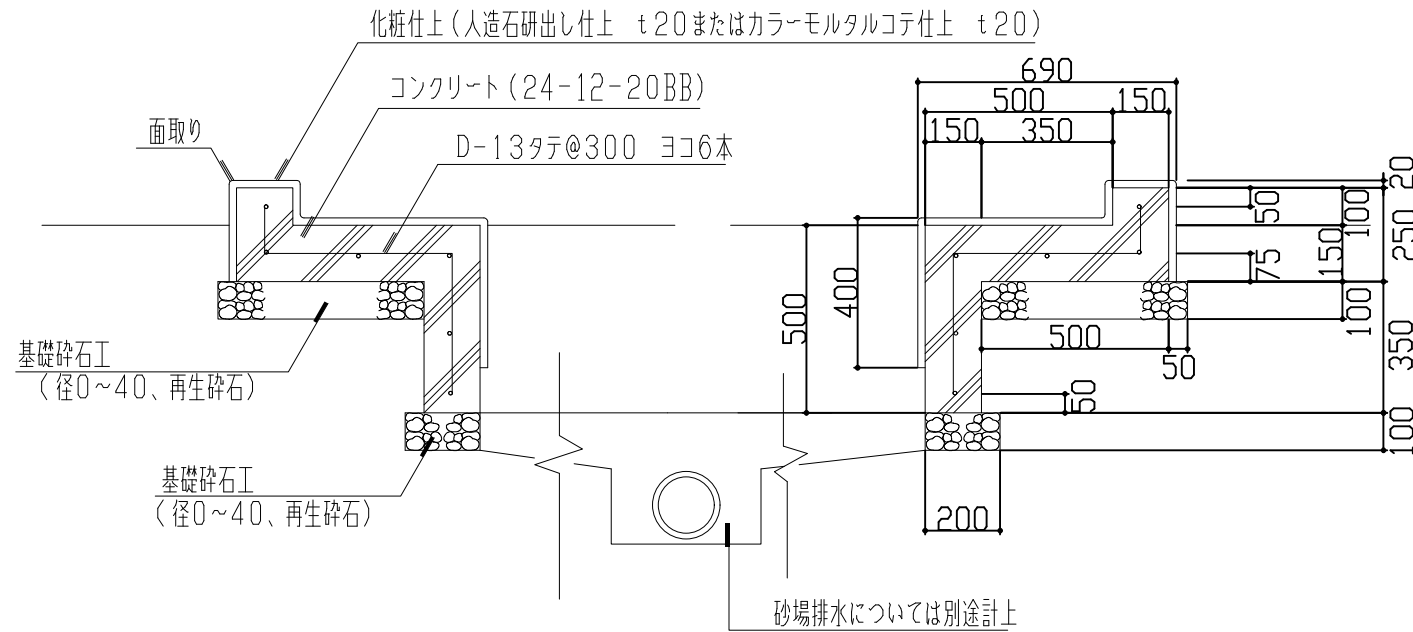
名称	形状寸法	単位	数量	摘要
碎石工	径0~40mm	m ³	0.1	転圧なし
砂	除塩ふるい	〃	0.5	
床堀		〃	—	
残土処分		〃	—	

令和5年10月改定

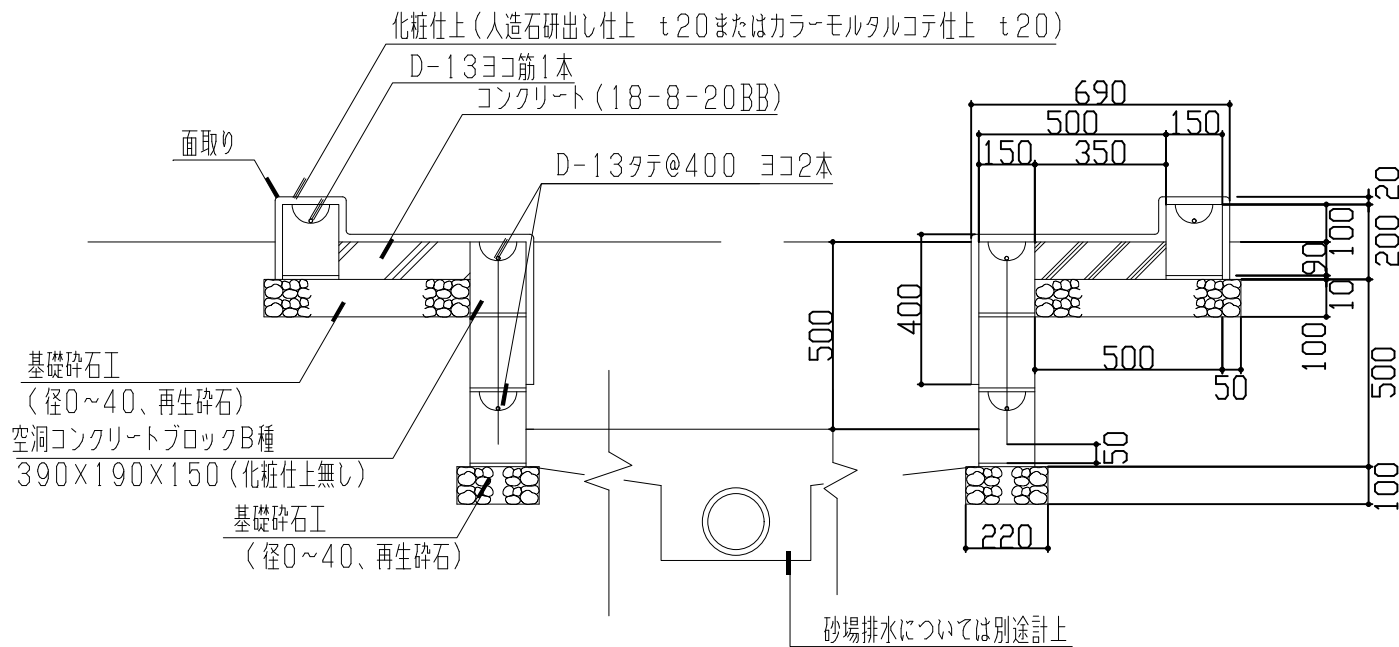
神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
			S5285		
			備 考		
			13年9月修正 21年10月修正 14年9月修正 30年10月修正		

- ・砂場内の暗渠排水については別途計上とする。
- ・空洞ブロック間の空隙は、モルタル1:3で充填すること。
- ・ヨコ筋の入る位置のブロックは、横筋用ブロックを使用すること。
- ・A-1使用の場合には、15~20mごとに1カ所伸縮目地を入れること。
- ・鉄筋規格はSD345を標準とする。

断面図(C-1) 1:20



断面図(C-2) 1:20



砂場縁取工(C)

(1.0m当り)

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			(C-1)	(C-2)	
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.7	0.7	再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m ³	—	0.03	
〃	24-12-20BB	〃	0.1	—	
型枠損料		m ²	1.2	—	
鉄筋工	D-13	kg	9.287	4.229	
空洞コンクリートブロック	B種 390×190×150	m ²	—	0.800	JIS A5406
化粧仕上	人造石研出し	〃	1.4	1.3	設計書指示
	カラーモルタル	〃	1.4	1.3	
床堀		m ³	—	—	
埋戻		〃	—	—	
残土処分		〃	—	—	

砂場工

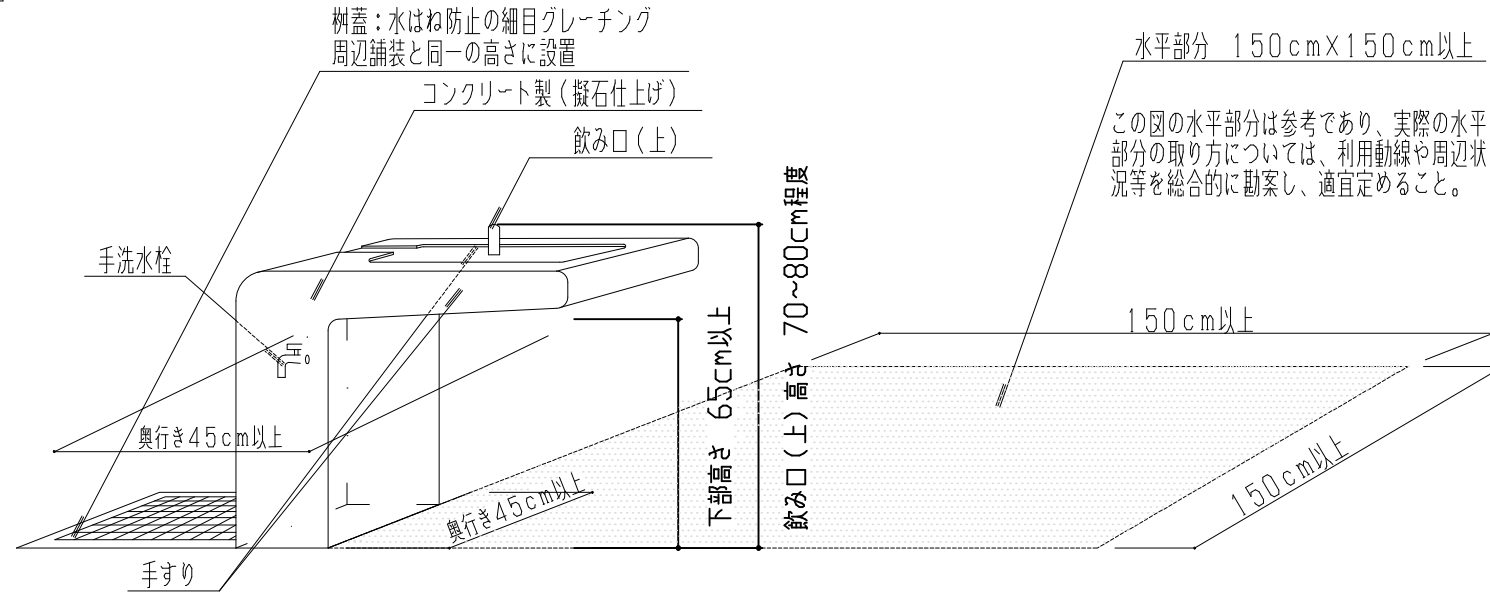
(1.0m²当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
砕石工	径0~40mm	m ³	0.125	転圧なし
砂	除塩ふるい	〃	0.500	
床堀		〃	—	
残土処分		〃	—	

令和5年10月改定

- 仕 様
- ・化粧仕上は設計書指示とする。
 - ・空洞コンクリートブロック間の空隙は、モルタル(1:3)で充填すること。
 - ・ヨコ筋の入る位置のブロックは、横筋用ブロックを使用すること。
 - ・タイプ-1を使用する場合は、15~20mごとに1カ所、伸縮目地を入れること。
 - ・鉄筋規格はSD345を標準とする。

仕様図



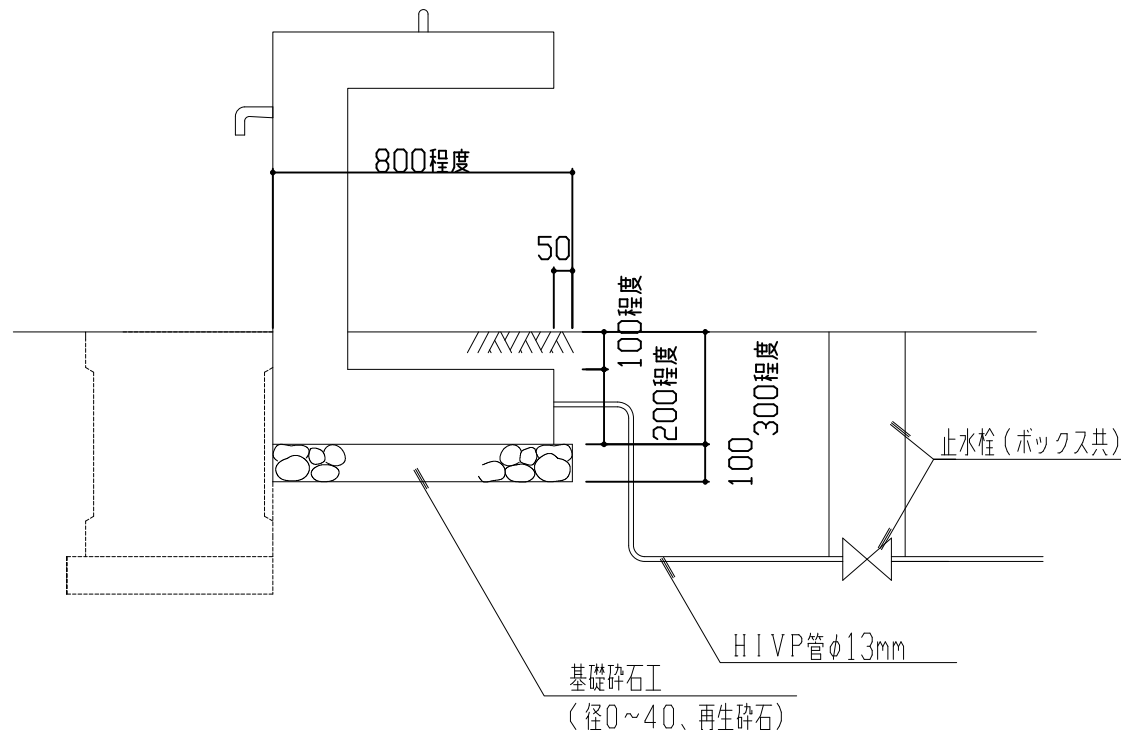
(1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
水飲み台本体		基	1.0	
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.36	再生砕石
給水工		カ所	1.0	
床掘		m ³	-	
埋戻		〃	-	
残土処分		〃	-	

(1.0カ所当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
水栓		個	2.0	
止水栓	HIVPφ13	〃	1.0	ボックス共
給水管	HIVPφ13	m	1.4	
継手雑材料		式	1.0	
保温筒		m	1.0	設計書指示

本体のみ施工の場合
断面詳細図 1:20



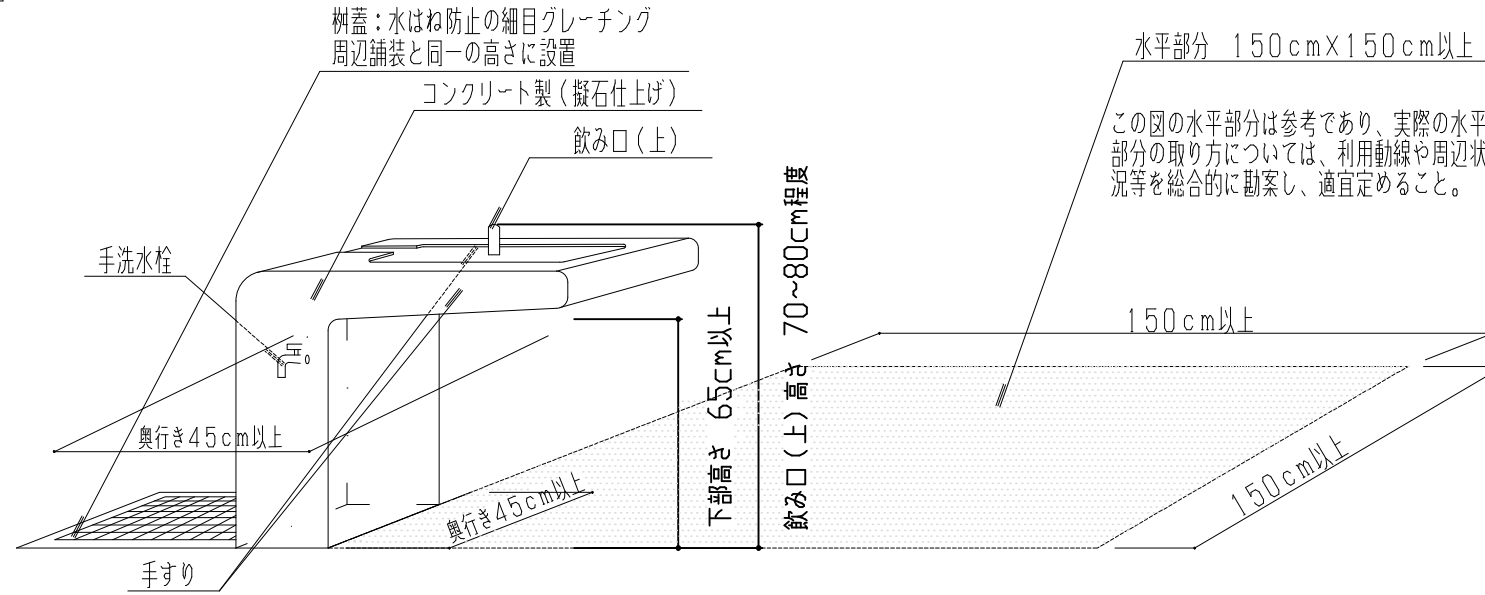
仕様

- ・水飲み場周辺の床面は濡れても滑りにくい舗装とする。
- ・水栓は、レバー式、押しボタン式等の使いやすいものとする。
- ・プッシュ式は凍結の恐れがある場所では使用しない。
- ・使用方向に150cm以上、幅150cm以上の水平部分を設けること。
- ・設置時に飲み口(上)の水量調節を行うこと。
- ・飲み口(上)の受け皿形状については、水はねに留意すること。
- ・寒冷地域では、水飲み台本体の配管には保温筒を使用すること。
- ・水飲み受け皿部の耐荷重は5.0kN/m²以上とする。
- ・水飲み受け皿部に、ステンレスまたはアルミ製の手すりを設けること。
- ・コンクリート部で角が出る箇所には面取りを施すこと。

令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記	号	ページ	
	※仕様については図中に記載のとおり				水飲み台工(樹なし)	S5290			111-1
					備考				
				14年9月修正 15年10月修正 21年10月修正	24年10月修正 25年10月修正				

仕様図

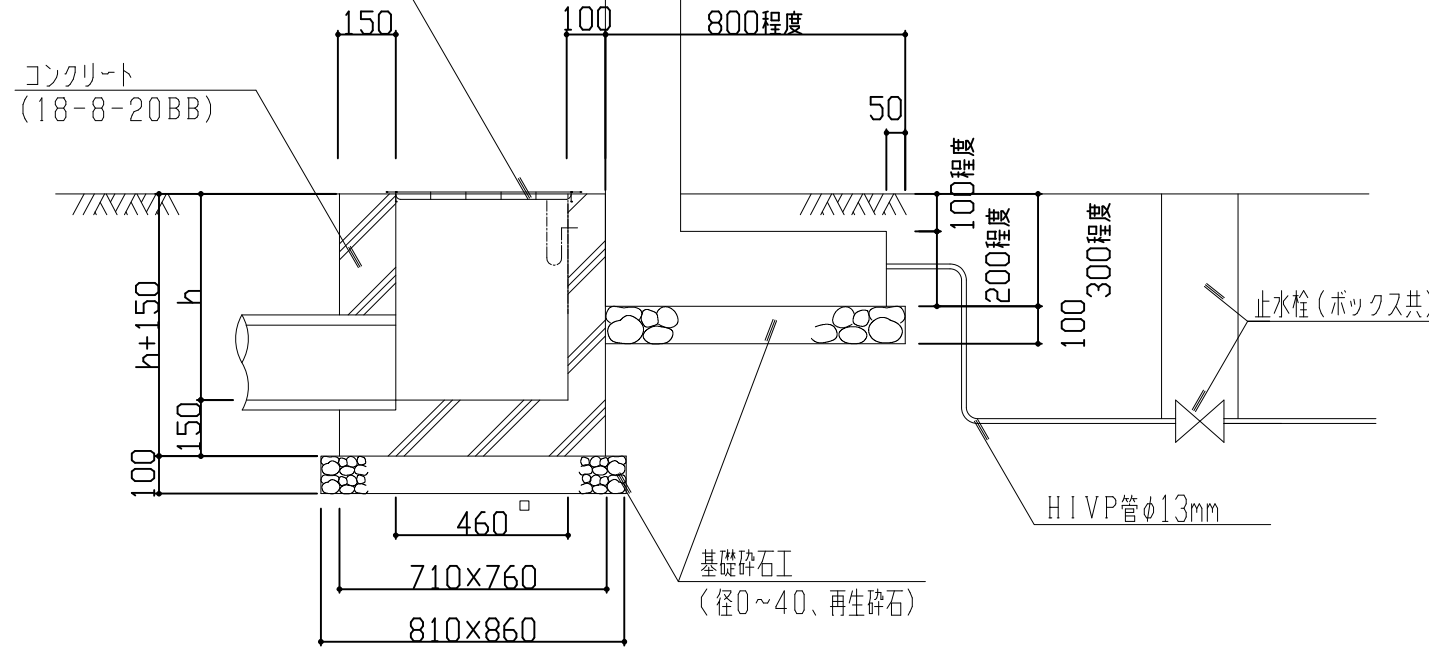


(1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
水飲み台本体		基	1.0	
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	1.05	再生砕石
型枠損料		m ²	4.780h+0.441	
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.328h+0.080	
細目グレーチング	460×460用 t25 鎖付き	枚	1.0	
給水工		カ所	1.0	
床掘		m ³	-	
埋戻		〃	-	
残土処分		〃	-	

本体・樹（現打）同時施工の場合
断面詳細図 1:20

細目グレーチング蓋 表面処理：溶融亜鉛メッキ
(460×460用 t25 鎖付き)



給水工 (1.0カ所当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
水栓		個	2.0	
止水栓	HIVPφ13	〃	1.0	ボックス共
給水管	HIVPφ13	m	1.4	
継手雑材料		式	1.0	
保温筒		m	1.0	設計書指示

仕様

(本体)

- ・水飲み場周辺の床面は濡れても滑りにくい舗装とする。
- ・水栓は、レバー式、押しボタン式等の使いやすいものとする。
- ・プッシュ式は凍結の恐れがある場所では使用しない。
- ・使用方向に150cm以上、幅150cm以上の水平部分を設けること。
- ・設置時に飲み口(上)の水量調節を行うこと。
- ・飲み口(上)の受け皿形状については、水はねに留意すること。
- ・寒冷地域では、水飲み台本体の配管には保温筒を使用すること。
- ・水飲み受け皿部の耐荷重は5.0kN/m²以上とする。
- ・水飲み受け皿部に、ステンレスまたはアルミ製の手すりを設けること。
- ・コンクリート部で角が出る箇所には面取りを施すこと。

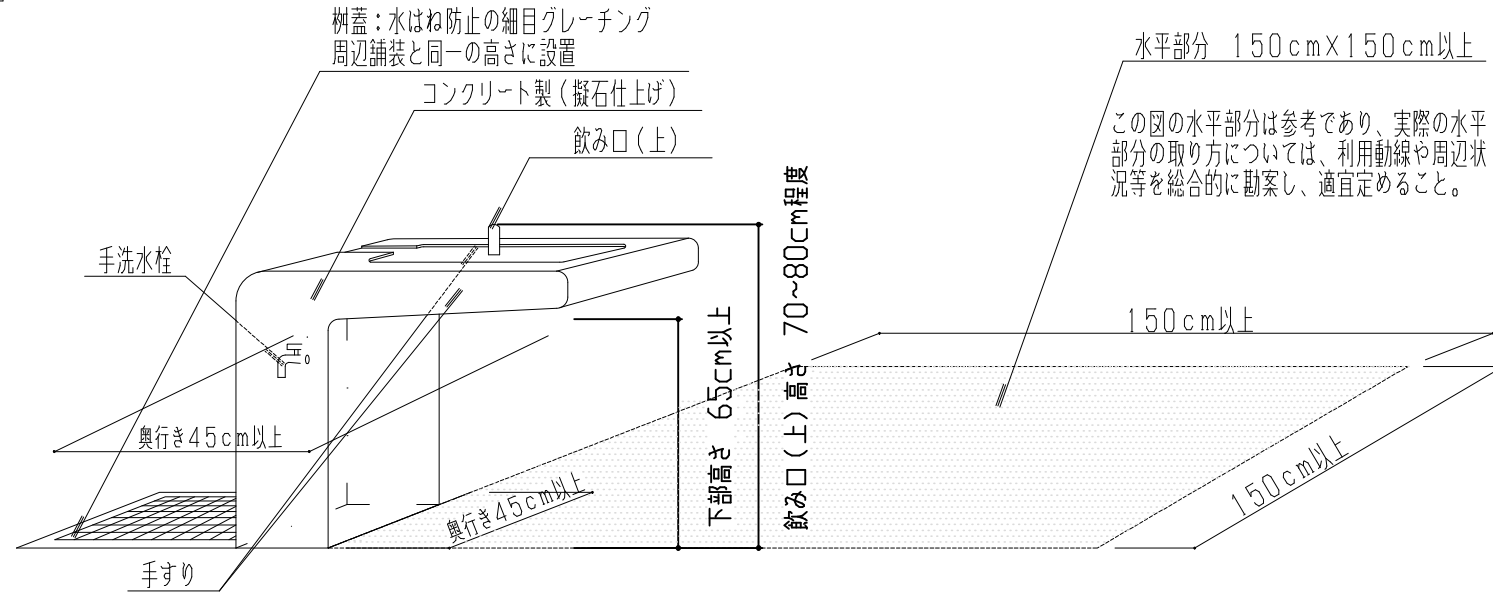
(樹)

- ・グレーチング蓋は、周辺舗装と同一の高さに設置すること。
- ・水はねを防止し、車椅子の車輪がはまり込まないよう細目グレーチングとすること。
- ・表面はノンスリップタイプとし、荷重は歩行者用とする。
- ・樹の排水の受け口部分は切り込みを入れる等、排水に支障のない構造とすること。

令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様 名 称 ※仕様については図中に記載のとおり	水飲み台工(現場打樹)	コード番号	記号	ページ
			S5290		111-2
			備考		
			14年 9月修正 15年 10月修正 21年 10月修正	24年 10月修正 25年 10月修正 27年 10月修正	

仕様図



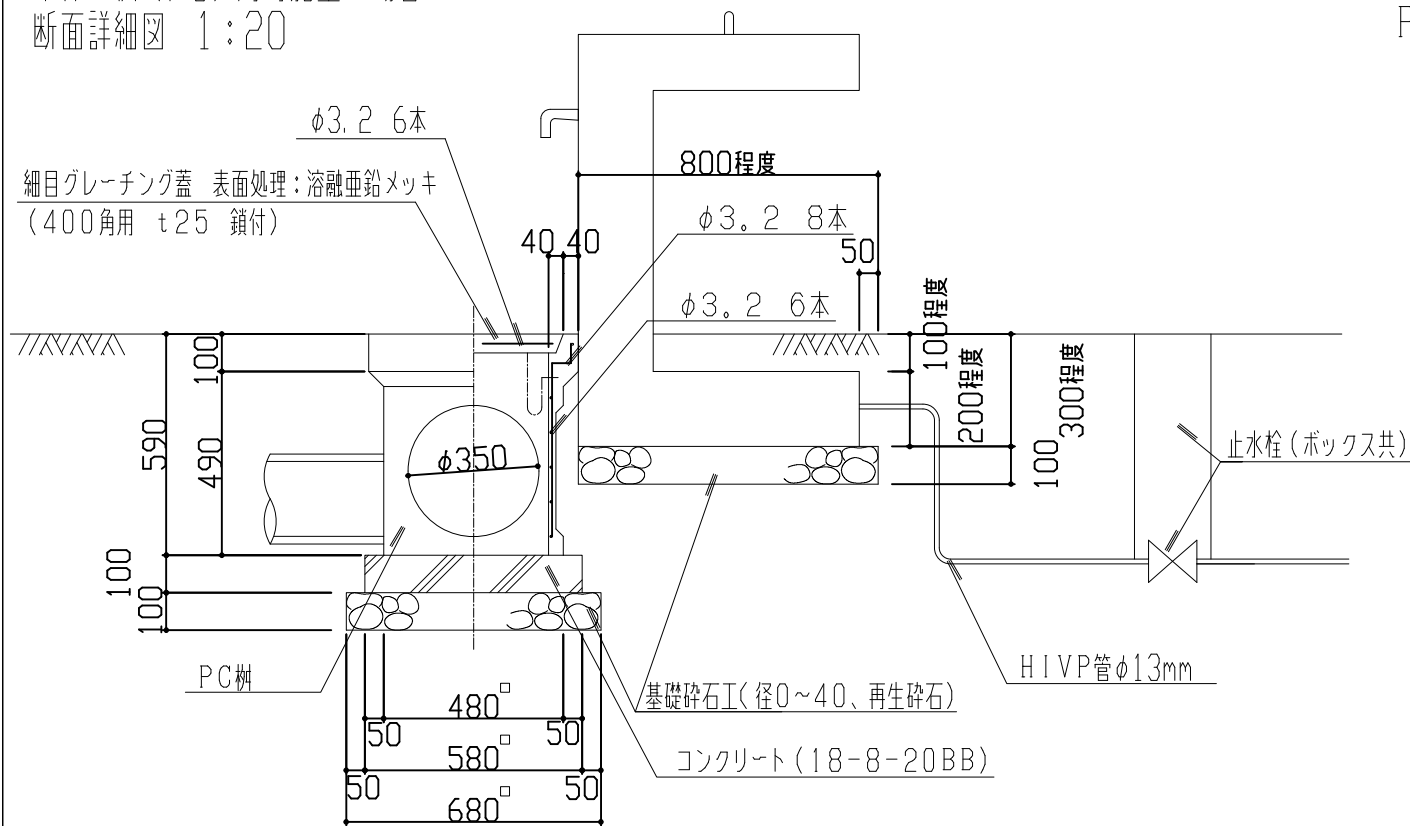
(1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
水飲み台本体		基	1.0	
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.82	再生砕石
型枠損料		m ²	0.2	
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.03	
PC樹	400 [□] x590	基	1.0	材工共
細目グレーチング	400 [□] 角用 t25 鎖付	枚	1.0	
給水工		カ所	1.0	
床掘		m ³	-	
埋戻		〃	-	
残土処分		〃	-	

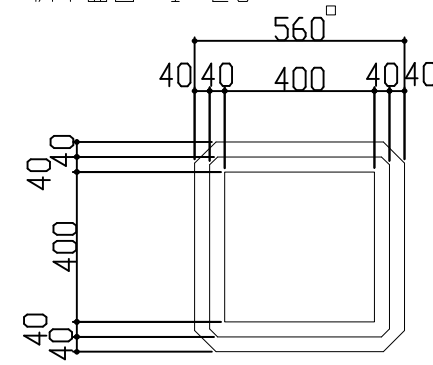
給水工 (1.0カ所当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
水栓		個	2.0	
止水栓	H1VPφ13	〃	1.0	ボックス共
給水管	H1VPφ13	m	1.4	
継手雑材料		式	1.0	
保温筒		m	1.0	設計書指示

本体・樹(PC)同時施工の場合
断面詳細図 1:20



PC樹平面図 1:20



仕様

(本体)

- 水飲み場周辺の床面は濡れても滑りにくい舗装とする。
- 水栓は、レバー式、押しボタン式等の使いやすいものとする。
- プッシュ式は凍結の恐れがある場所では使用しない。
- 使用方向に150cm以上、幅150cm以上の水平部分を設けること。
- 設置時に飲み口(上)の水量調節を行うこと。
- 飲み口(上)の受け皿形状については、水はねに留意すること。
- 寒冷地域では、水飲み台本体の配管には保温筒を使用すること。
- 水飲み受け皿部の耐荷重は5、0KN/m²以上とする。
- 水飲み受け皿部に、ステンレスまたはアルミ製の手すりを設けること。
- コンクリート部で角が出る箇所には面取りを施すこと。

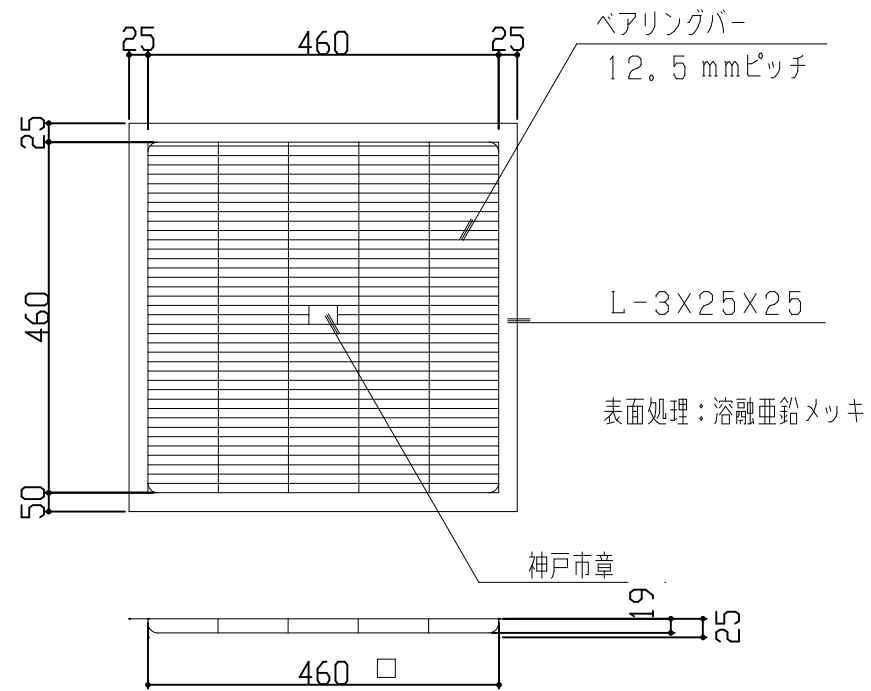
(樹)

- グレーチング蓋は、周辺舗装と同一の高さに設置すること。
- 水はねを防止し、車椅子の車輪がはまり込まないよう細目グレーチングとすること。
- 表面はノンスリップタイプとし、荷重は歩行者用とする。
- 樹の排水の受け口部分は切り込みを入れる等、排水に支障のない構造とすること。

令和5年10月改定

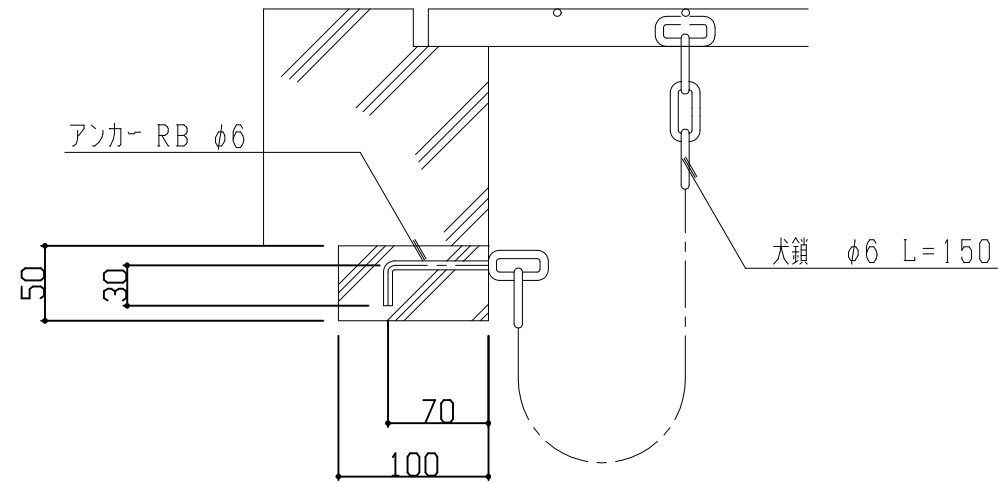
神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
	※仕様については図中に記載のとおり	水飲み台工(PC樹)	S5290		111-3
			備考		
			14年 9月修正 24年10月修正 15年10月修正 25年10月修正 21年10月修正 27年10月修正		

細目グレーチング蓋詳細図 1:10

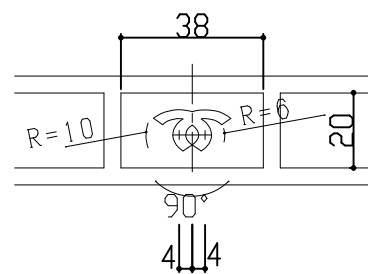


クサリ詳細図 1:5

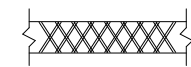
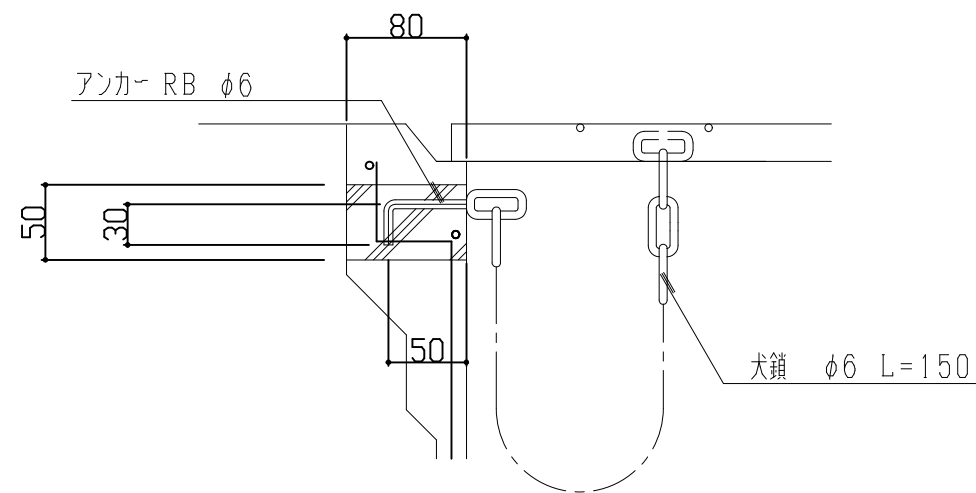
現場打樹



市章プレート 1:2



PC樹



ベアリングバー上面
(ノンスリップ)

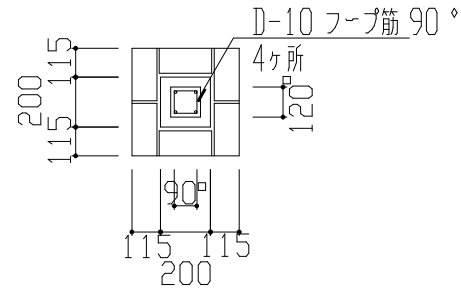
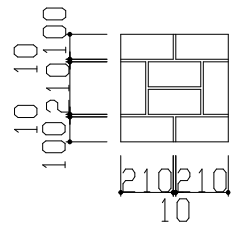
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
			S5290		
			備 考		
			13年9月修正 25年10月修正 24年10月修正 27年10月修正		

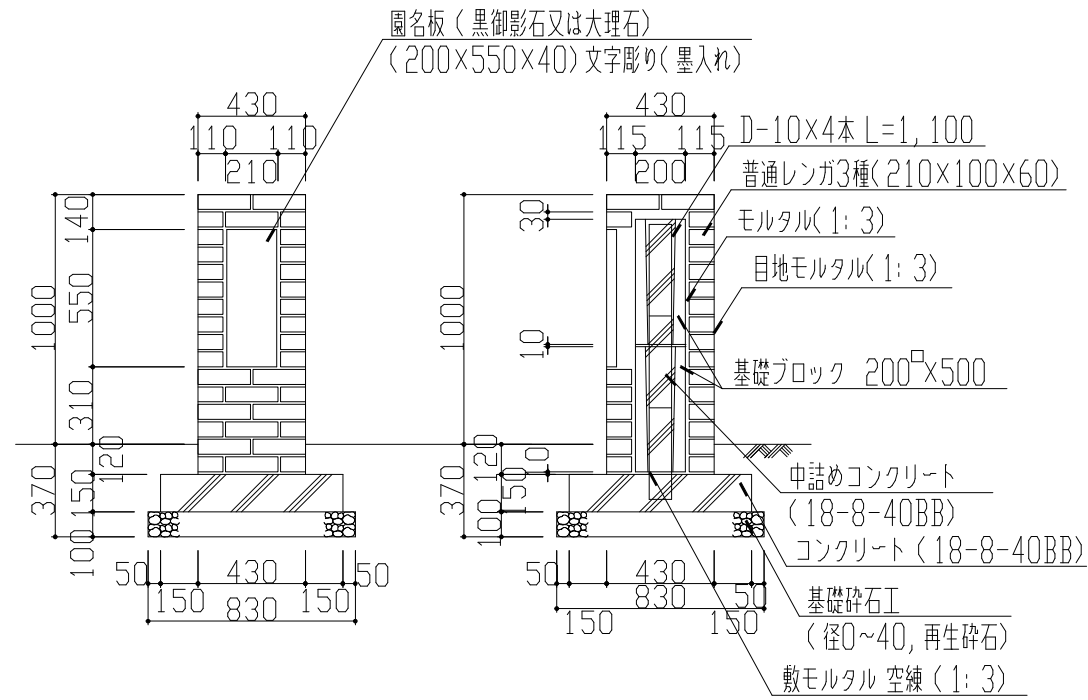
・水はねを防止し、車椅子の車輪がはまり込まないよう細目グレーチングとすること。
・表面はノンスリップタイプとし、荷重は歩行者用とする。

水飲み台工 グレーチング蓋

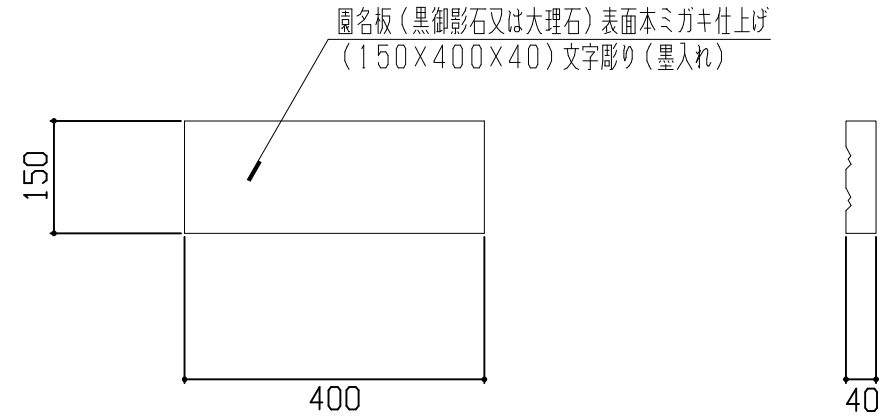
園名柱工
平面図 1:30



正面図 1:30



園名板工 (園名柱なしで使用する場合)
正面図 1:20 側面図 1:20



園名板工 (1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
			(A)	
園名板	150×400×40	枚	1.0	設計書指示

※6文字程度の場合の例
※タテでの使用も可

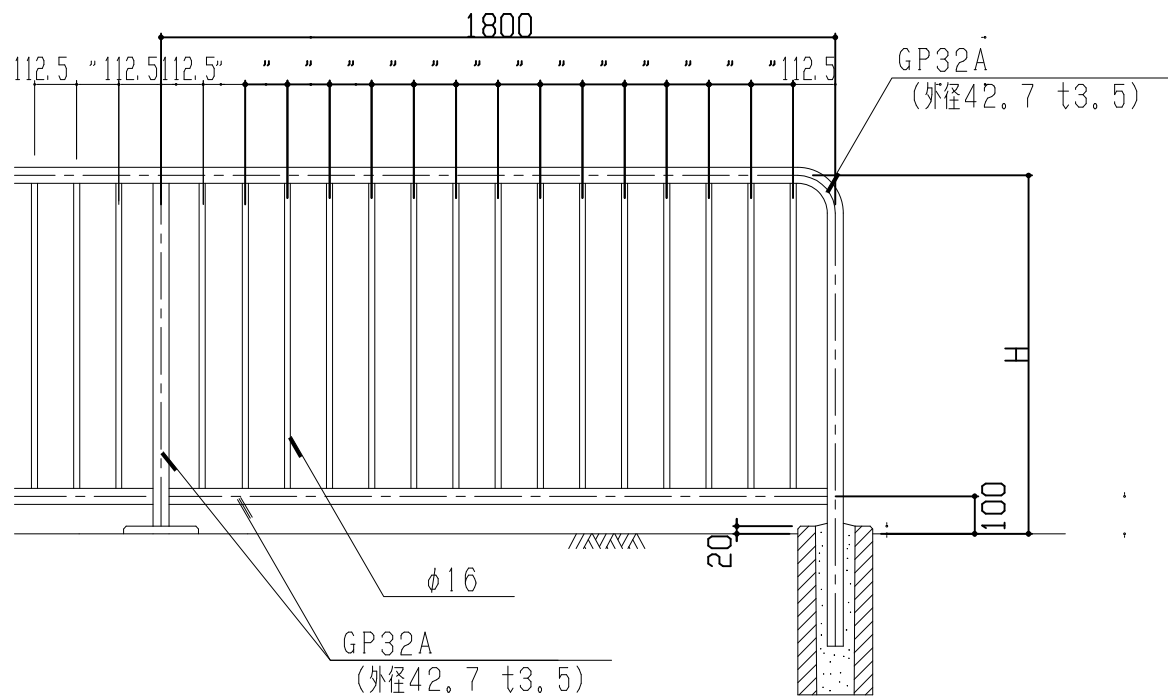
園名柱工 (1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
基礎ブロック	200 [□] ×500	個	2.0	
基礎砕石工	径0~40	m ³	0.068	しめ固め共
コンクリート	18-8-40BB	〃	0.063	中詰め コンクリート共
型枠損料		m ²	0.498	
鉄筋工	D10	kg	3.270	材工共
モルタル	1:3	m ³	0.019	
モルタル	1:3 空練	〃	0.001	
普通レンガ	3種 210×100×60	個	90.0	材工共
園名板	200×550×40	枚	1.0	設計書指示
床堀		m ³	—	
埋戻		〃	—	
残土処分		〃	—	

令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記号	ページ
	・園名板の字体等は係員指示とする。						
	園名柱工・園名板工				備考		114
					18年3月修正 05年10月修正		

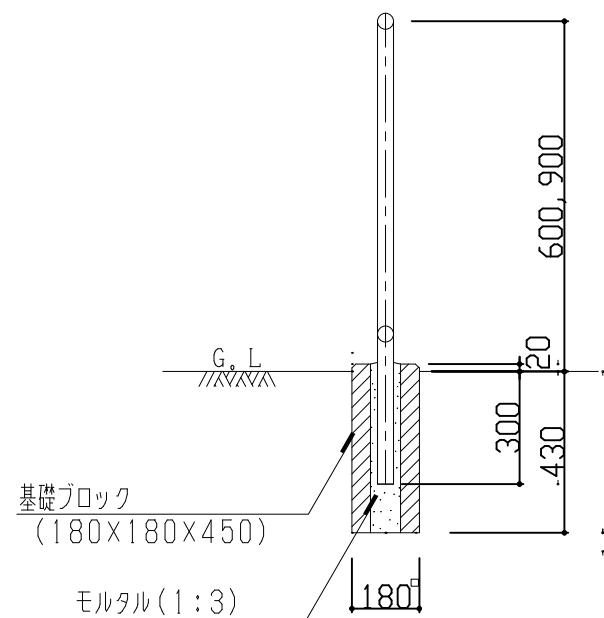
立面図 1:20



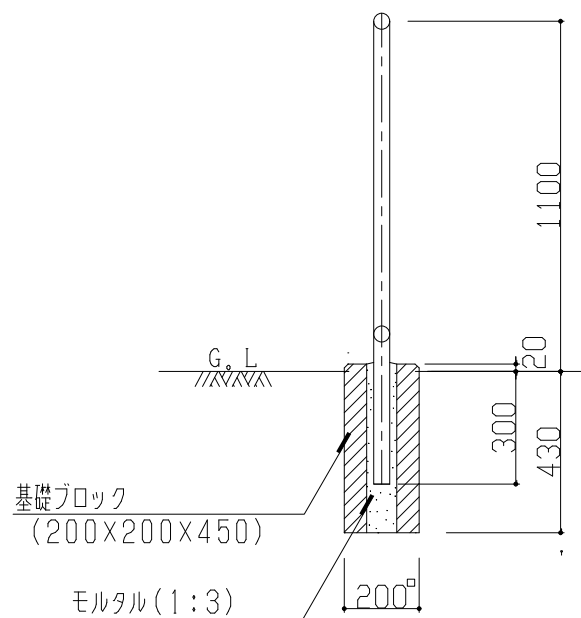
(1スパン(1.8m)当り)

名称	形状寸法	単位	数量			摘要	
			H=600	H=900	H=1,100		
本体	GP32A	外径42.7 t3.5	kg	15.065	16.079	16.755	
	丸鋼	φ16	〃	10.838	17.948	22.688	
	鋼材加工組立		式	1.0	1.0	1.0	
	塗装	2液性変性エポキシ樹脂塗料1回		m ²	0.942	1.208	1.386
2液性ウレタン塗料2回			〃	0.899	1.165	1.343	指定色
基礎ブロック	180×180×450	基	1.0	1.0		Eの含む	
基礎ブロック	200×200×450	〃			1.0	Eの含む	
床掘		m ³	—	—	—		
埋戻		〃	—	—	—		
残土処分		〃	—	—	—		

断面図 (H=600、900) 1:20



断面図 (H=1100) 1:20



令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
			S5300		116
			備 考		
			15年10月修正 18年 3月修正 21年10月修正 24年10月修正	25年10月修正 26年10月修正 27年10月修正	

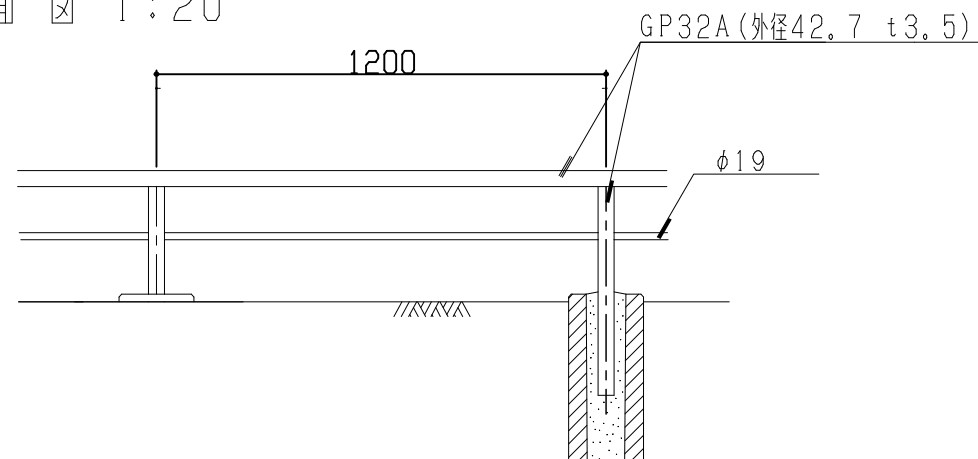
- 鋼材接合部は溶接の上、見え掛り部分はケレン仕上げとする。
- 地形勾配に応じて加工する。
- モルタルは、高炉セメントを使用すること。
- 集団による荷重が想定される場合には、転落防止柵として使用しないこと。

鉄柵工 (A)

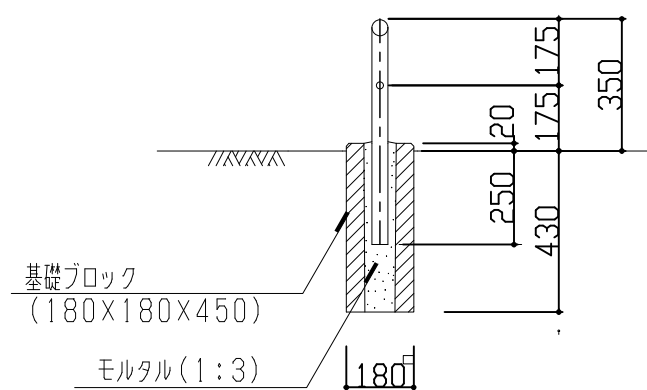
(1スパン(1,2m)当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要	
本 体	GP32A	外径42.7 t3.5	kg	4.640	
	丸鋼	φ19	〃	2.603	
	鋼材加工組立		式	1.0	
	塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回	m ²	0.304	
2液性ウレタン塗装2回		〃	0.267	指定色	
基礎ブロック	180×180×450	個	1.0	モルタルを含む	
床堀		m ³	—		
埋戻		〃	—		
残土処分		〃	—		

立面図 1:20



断面図 1:20



令和5年10月改定

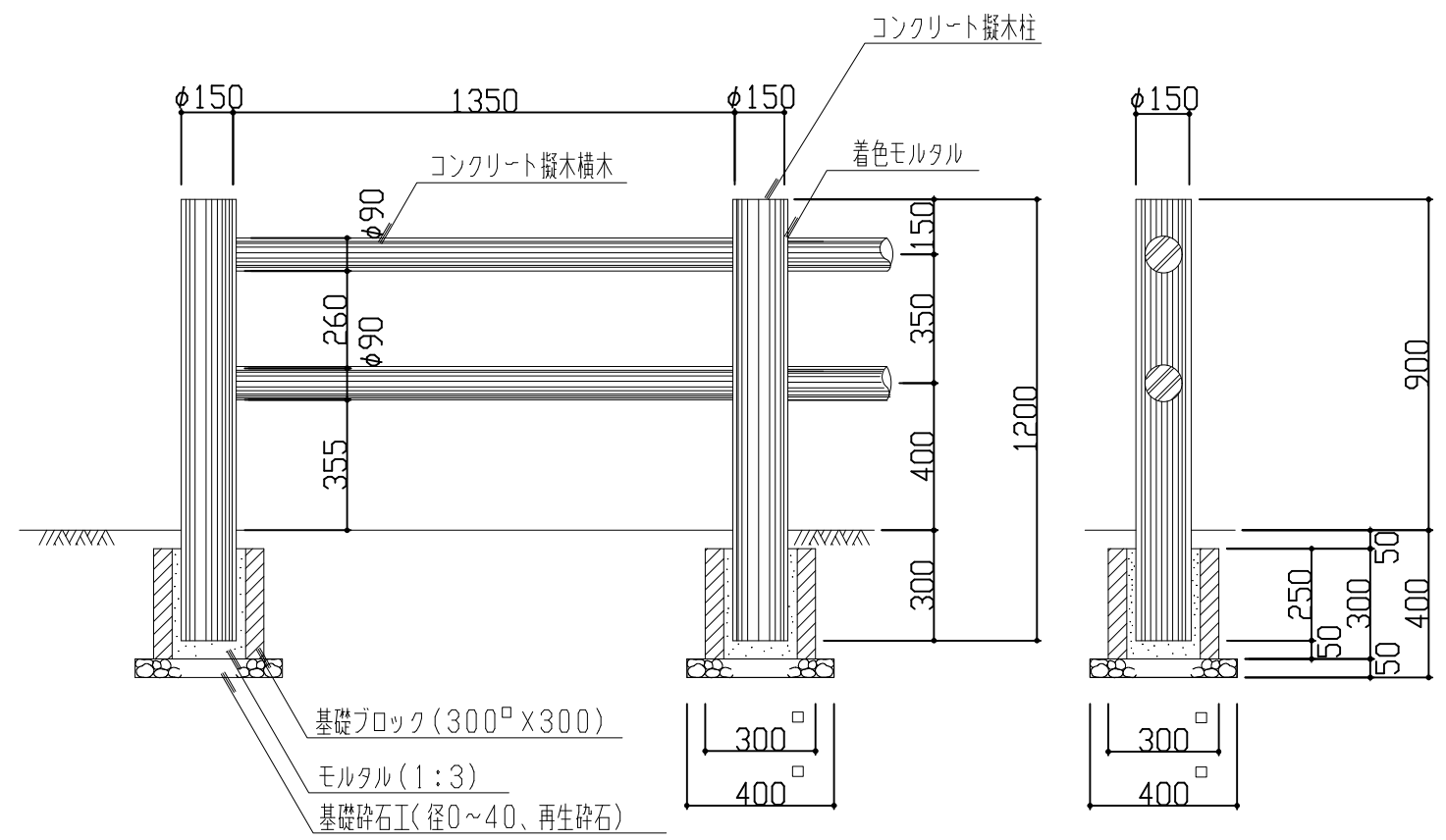
神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
			S5300		
<ul style="list-style-type: none"> 鋼材接合部は溶接の上、見え掛り部分はケレン仕上げとする。 地形勾配に応じて加工する。 モルタルは、高炉セメントを使用すること。 		鉄柵工(B)	備 考		
			<small>13年9月修正 14年9月修正 18年3月修正</small>	<small>24年10月修正 27年10月修正</small>	

(1スパン(1.5m) 当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
擬木柵	H=900	m	1.5	焼杉仕上
基礎ブロック	300 [□] ×300	基	1.0	
基礎砕石工	径0~40 t50	m ²	0.1	再生砕石
床堀		m ³	—	
埋戻		〃	—	
残土処分		〃	—	

正面図 1:20

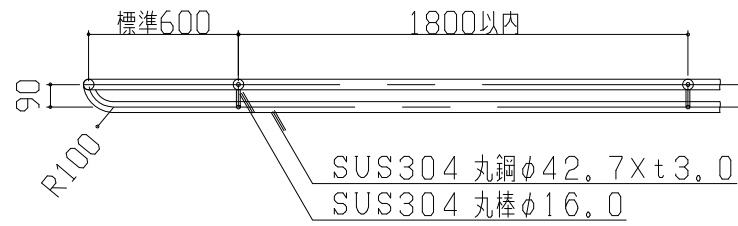
断面図 1:20



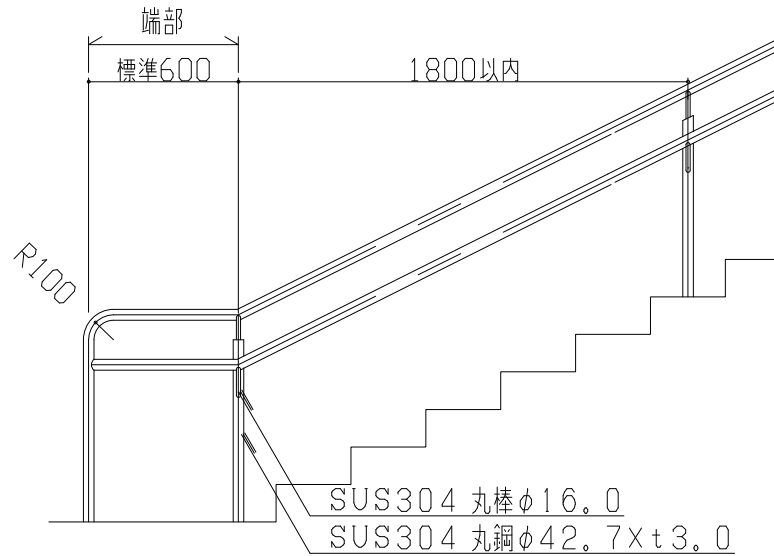
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
			備 考		120-2
			13年9月修正 18年3月修正		

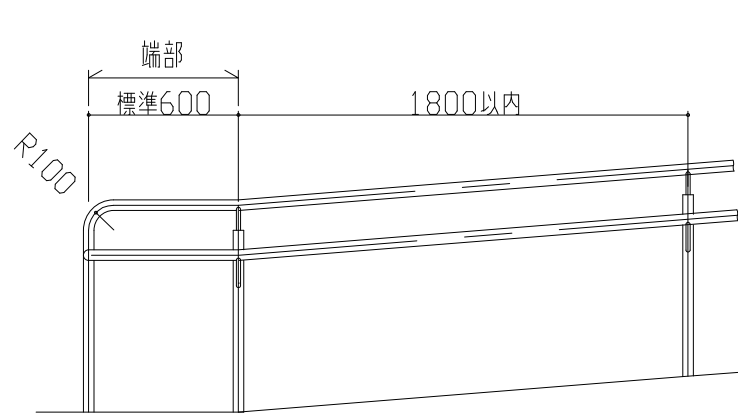
平面図 1:30



階段用立面図 1:30

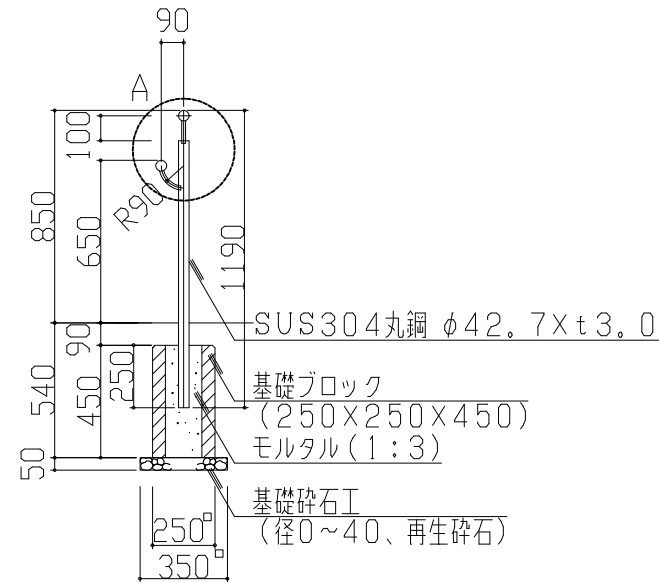


傾斜路・通路用立面図 1:30



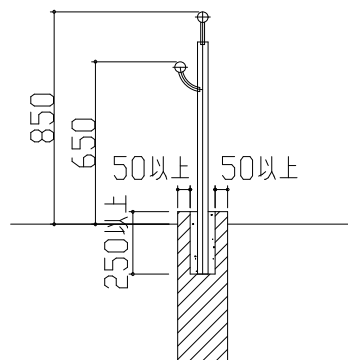
(独立基礎)

断面図 1:30

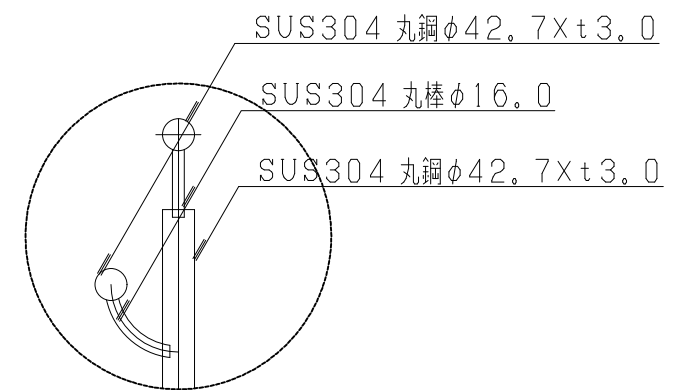


(削孔・円形型枠(ボイド))

断面図 1:30



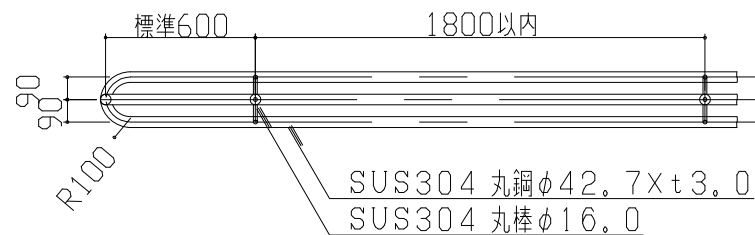
A部詳細図 1:10



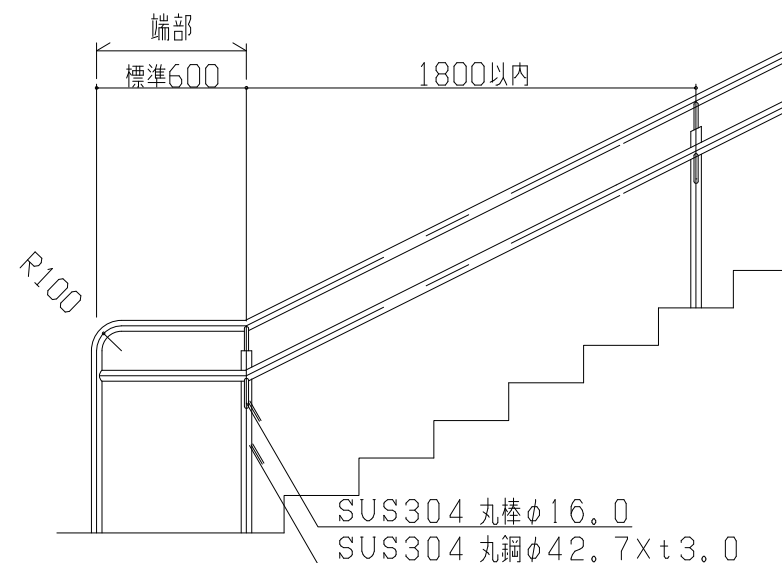
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 <ul style="list-style-type: none"> ・手すりの高さは上段で85cm程度、下段で65cm程度とする。 ・鋼材はステンレス(SUS304)とし、接合部は全周溶接とする。 ・ステンレスの仕上げはヘアライン仕上げとする。 ・手すりの端部は水平区間を標準60cm程度設け、端部が突出しない構造とする。 ・傾斜路・通路は勾配8%までとする。 ・モルタルは高炉セメントを使用すること。 	様 <ul style="list-style-type: none"> ・点字シールを設置すること。 ・円形型枠(ボイド)により施工する場合は、基礎コンクリートが打設できる程度(50以上)の余裕寸法を確認すること。 	名 称 手すり工(A)	コード番号	記 号	ページ 120-3
				S5306		
				備考 24年10月追加		

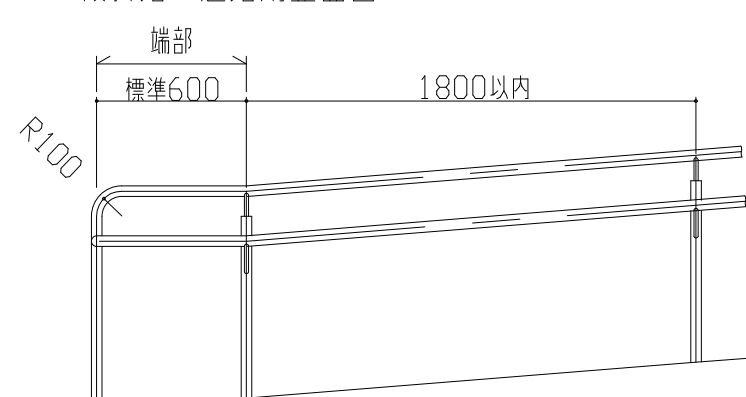
平面図 1:30



階段用立面図 1:30

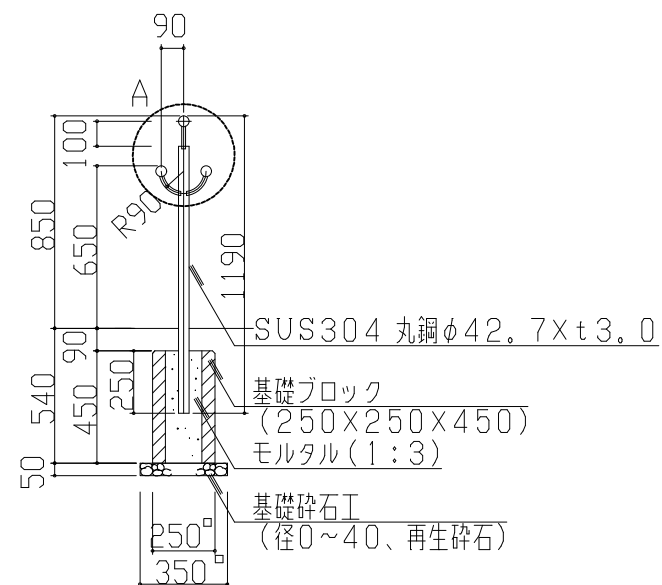


傾斜路・通路用立面図 1:30



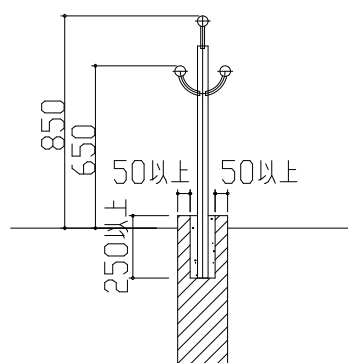
(独立基礎)

断面図 1:30

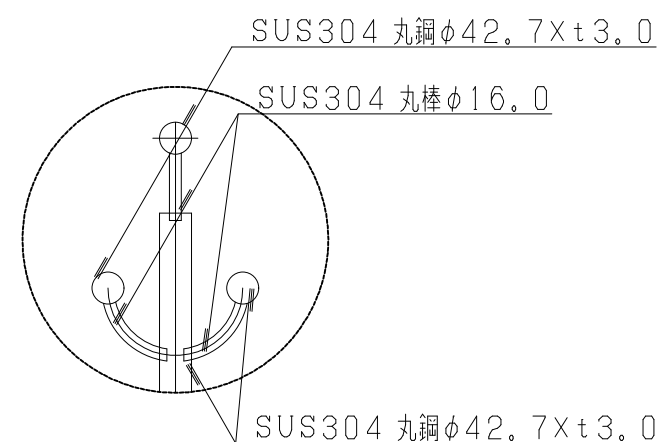


(削孔・円形型枠 (ボイド))

断面図 1:30



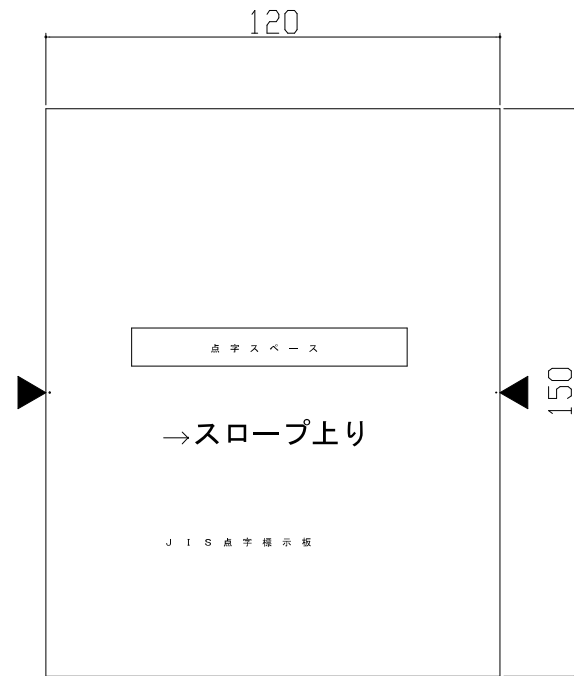
A部詳細図 1:10



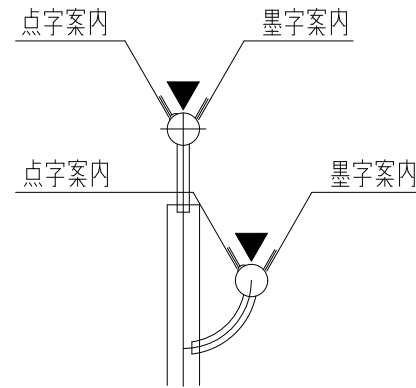
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 <ul style="list-style-type: none"> 手すりの高さは上段で85cm程度、下段で65cm程度とする。 鋼材はステンレス (SUS304) とし、接合部は全周溶接とする。 ステンレスの仕上げはヘアライン仕上げとする。 手すりの端部は水平区間を標準60cm程度設け、端部が突出しない構造とする。 傾斜路・通路は勾配8%までとする。 モルタルは高炉セメントを使用すること。 	様 <ul style="list-style-type: none"> 点字シールを設置すること。 円形型枠 (ボイド) により施工する場合は、基礎コンクリートが打設できる程度 (50以上) の余裕寸法を確認すること。 	名称		コード番号	記号	ページ
			手すりⅠ (B)		S5306		120-4
					備考		
				24年10月追加			

点字シール 1:2

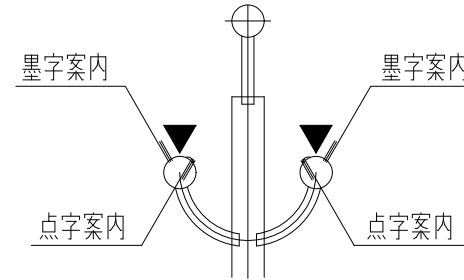


手すり工(A)の場合

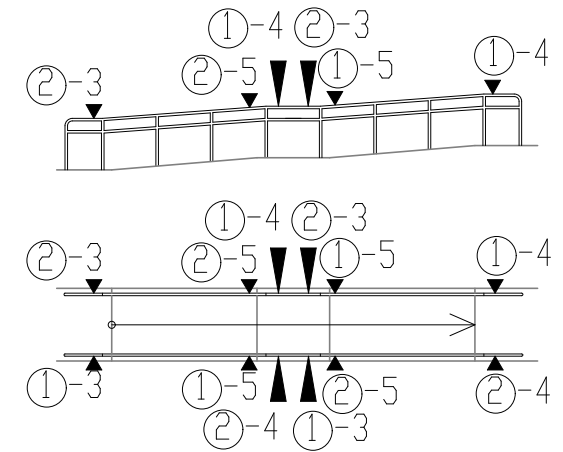


手すり工(B)の場合

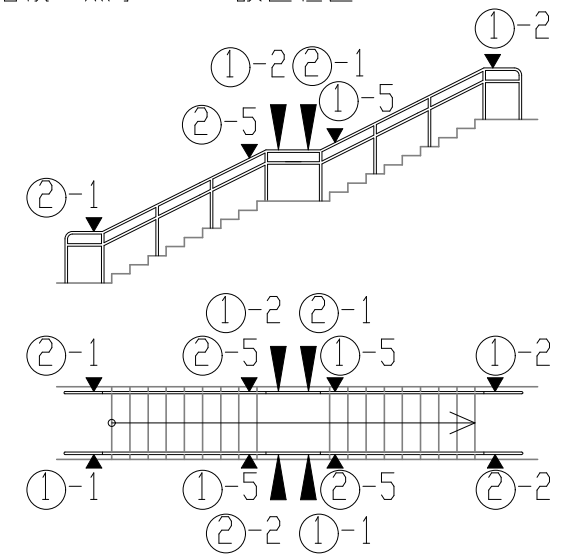
(※両側から触る可能性のある部分には点字シールは設置しない。)



手すり工(A)の場合
傾斜路・通路 点字シール設置位置



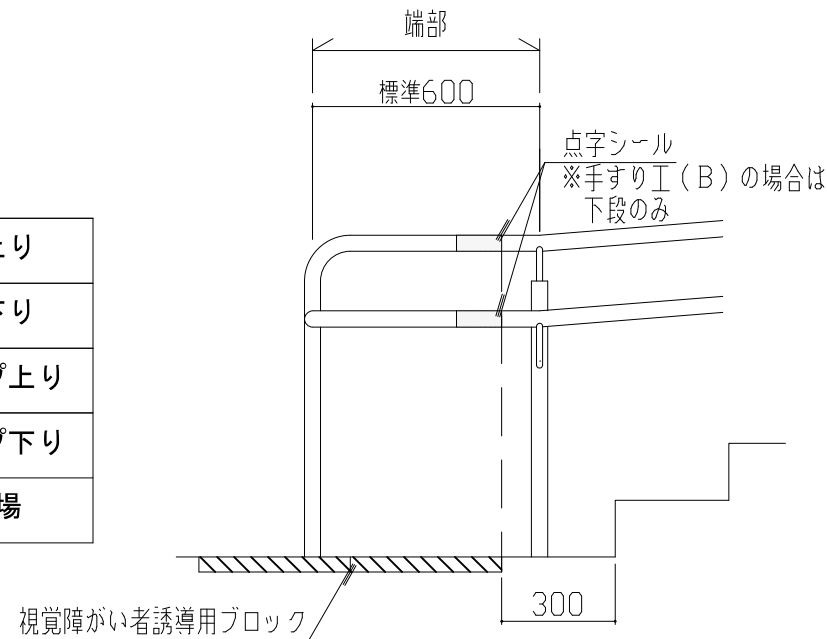
手すり工(A)の場合
階段 点字シール設置位置



※手すり工(B)の場合は上記に準ずる。

※ ▼部を手すり頂点に合わせて施工すること

点字シール設置位置

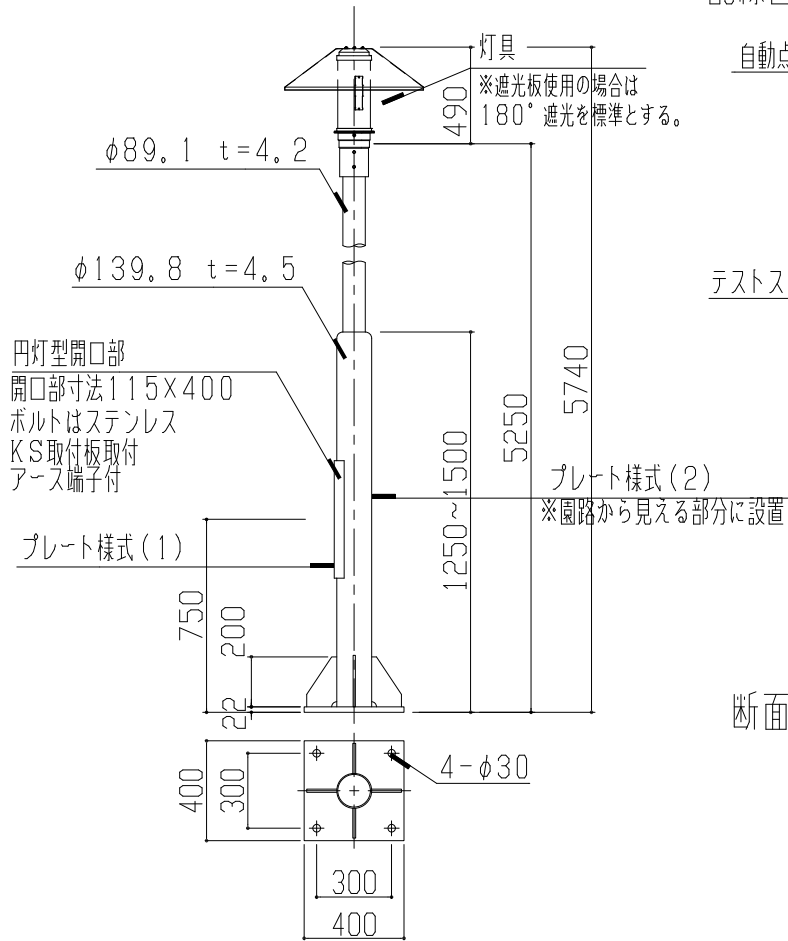


文字表記一覧

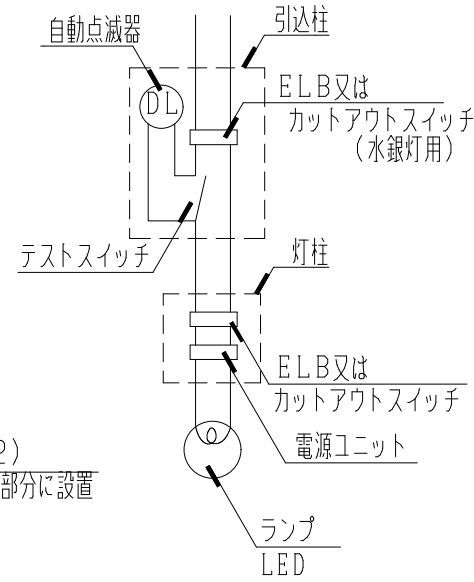
①-1	←階段上り	②-1	→階段上り
①-2	←階段下り	②-2	→階段下り
①-3	←スロープ上り	②-3	→スロープ上り
①-4	←スロープ下り	②-4	→スロープ下り
①-5	←踊り場	②-5	→踊り場

令和5年10月改定

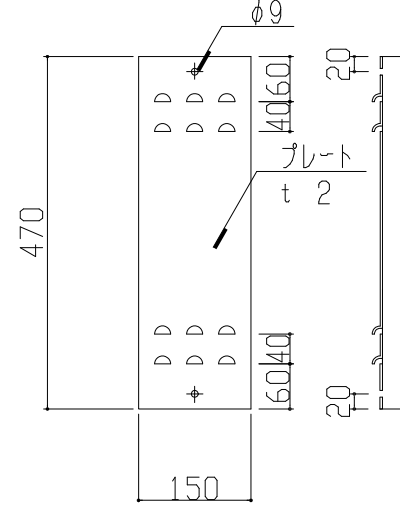
灯柱立面図 1:30



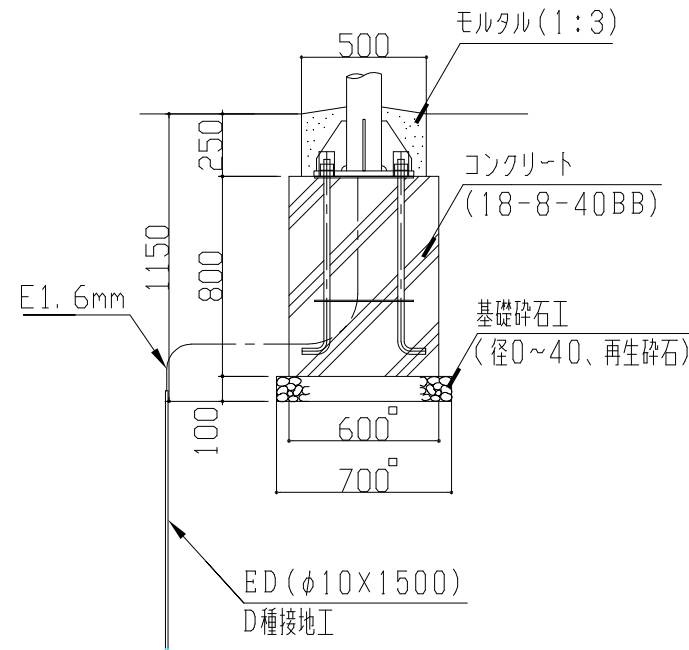
配線図



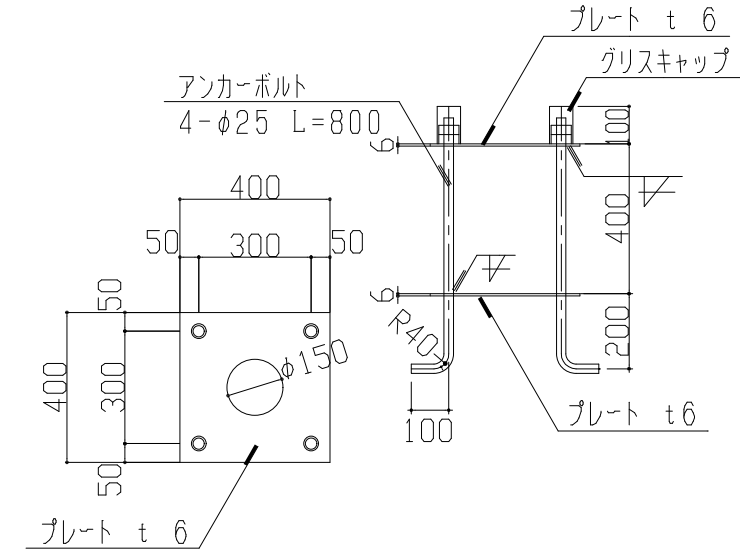
灯柱開口部蓋詳細図 1:10



断面図 1:30



アンカーベース詳細図 1:20



1.0基当り

名称	形状寸法	単位	基礎タイプ-1	摘要
灯柱		基	1.0	
鋼材塗装	2液性変性エポキシ樹脂錆止1回 2液性ウレタン塗装2回	〃	1.577	設計書指示
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.4	再生砕石
コンクリート	18-8-40BB	m ³	0.2	
モルタル	1:3	〃	0.05	
型枠損料		m ²	2.1	
D種接地工	打込式	ヶ所	1.0	銅覆鋼棒 φ10x1500
アンカーベース		基	1.0	
床堀		m ³	-	
埋戻		〃	-	
残土処分		〃	-	

令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
			S5310		121-1
			備考		
15年10月修正 18年3月修正 24年10月修正	25年10月修正 30年10月修正 05年10月修正				

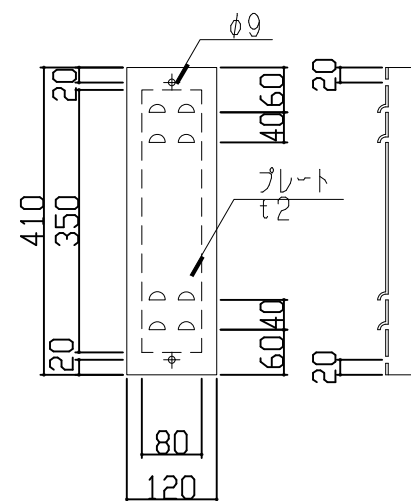
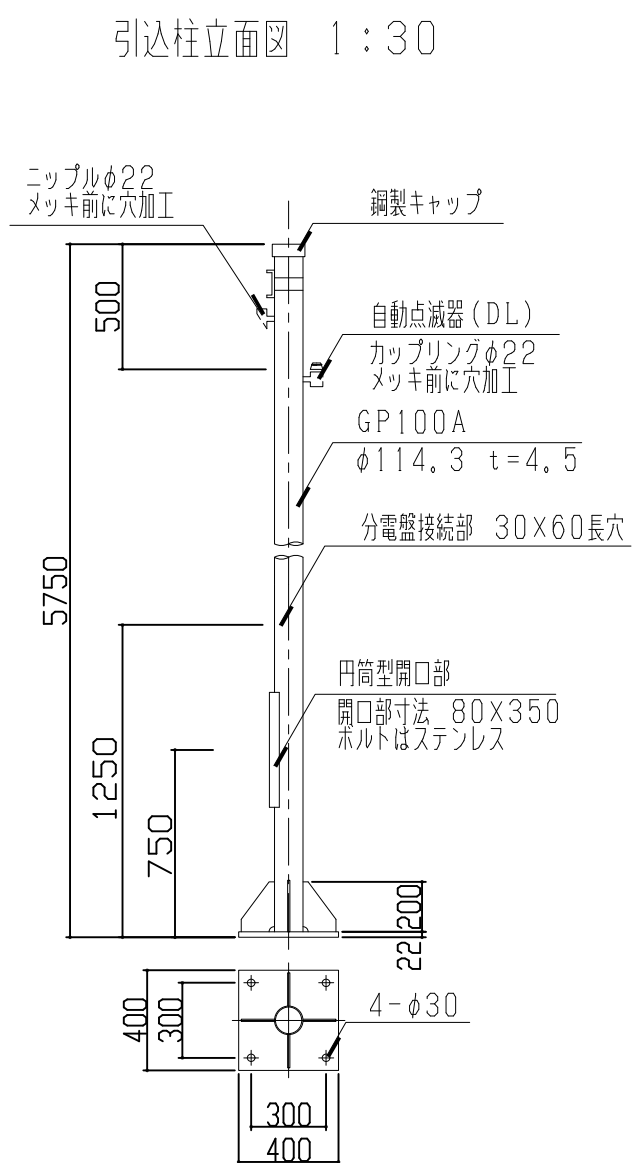
・鋼材は、熔融亜鉛メッキ (HDZT63)、2液性変性エポキシ樹脂錆止1回の上、2液性ウレタン塗装2回塗とする。
 ・LEDランプは、水銀灯200W相当の規格とする。
 ・電線、電線管の立ち上がり部を含む。
 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 ・プレート様式(1)(2)を取り付けること。
 ・設計風速は、風速40m/sとする。

照明工LED(灯柱)

1.0基当り

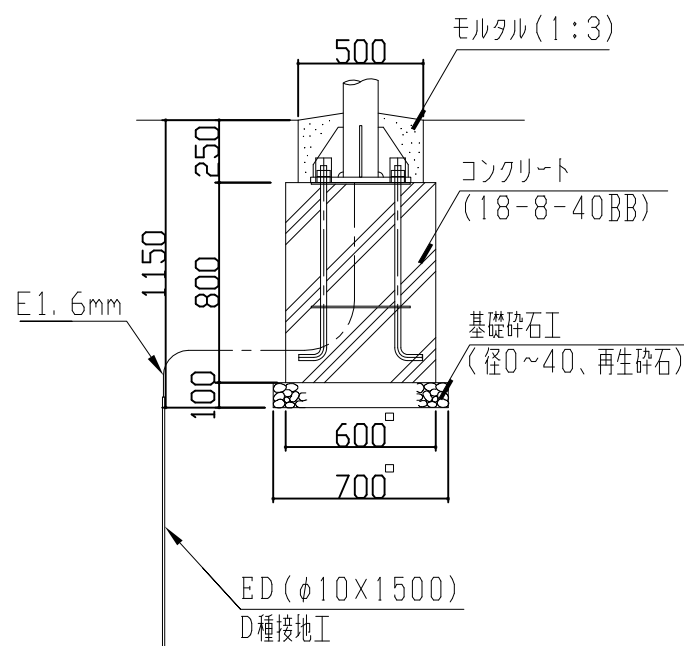
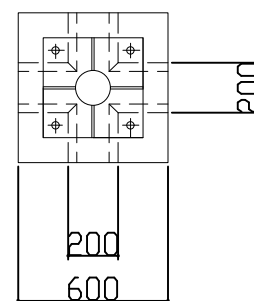
名称	形状寸法	単位	基礎タイプ-1	摘要
引込柱		基	1.0	
鋼材塗装	2液性ウレタン塗装2回	〃	1.973	設計書指示
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.4	再生砕石
コンクリート	18-8-40BB	m ³	0.2	
モルタル	1:3	〃	0.05	
型枠損料		m ²	2.1	
D種接地工	打込式	ヶ所	1.0	銅覆銅棒 φ10×1500
アンカーベース		基	1.0	
床堀		m ³	—	
埋戻		〃	—	
残土処分		〃	—	

引込柱立面図 1:30



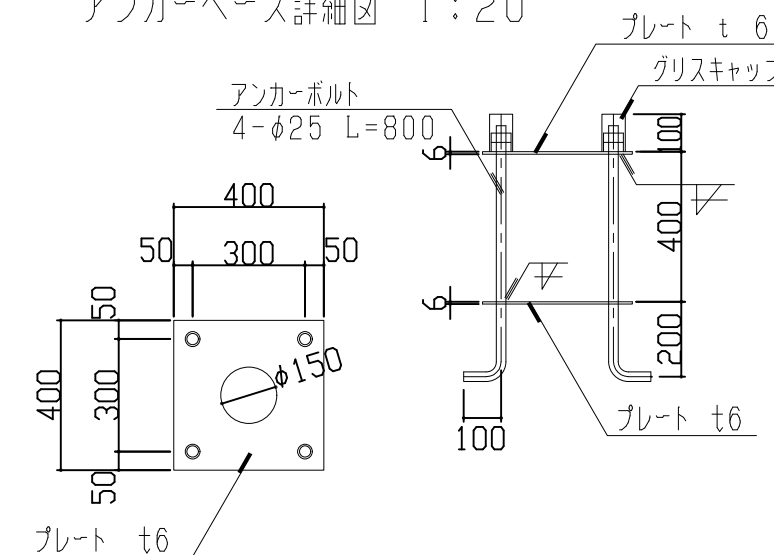
引込柱開口部蓋詳細図 1:10

基礎タイプ-2
基礎平面図 1:30



基礎タイプ-1断面図 1:30

アンカーベース詳細図 1:20



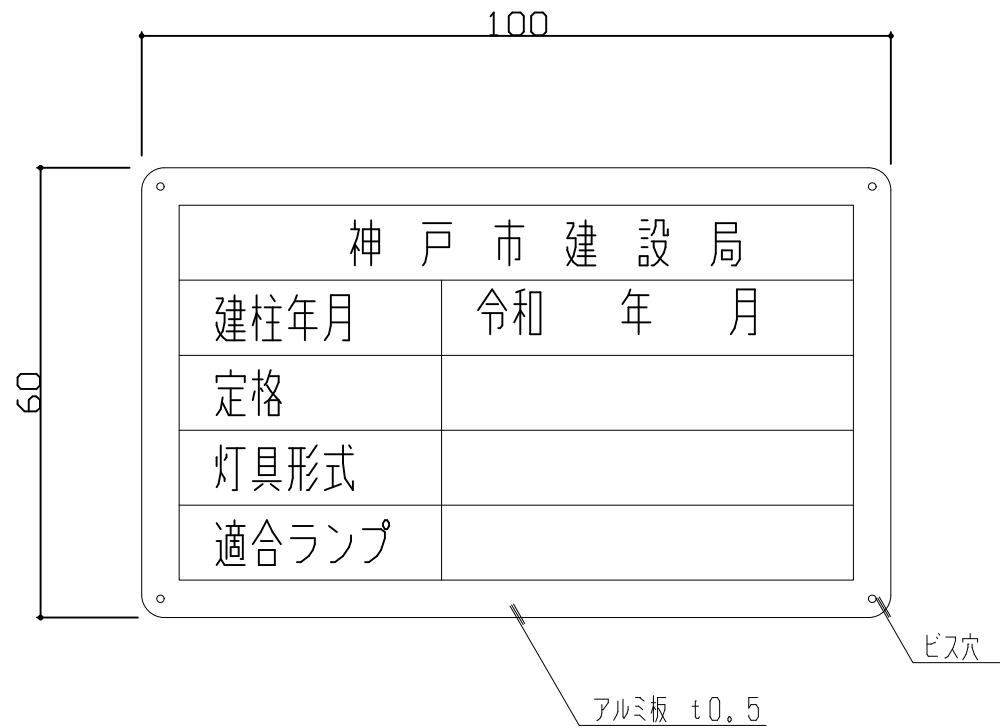
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
			S5310		121-3
			備考		
14年 9月修正 24年10月修正 15年10月修正 05年10月修正					

鋼材は、熔融亜鉛メッキ (HDZT63)、2液性変性エポキシ樹脂塗装1回の上、2液性ウレタン塗装2回塗とする。
電線、電線管の立ち上がり部を含む。
モルタルは、高炉セメントを使用すること。
引込条件は、設計風速40m/s DV2.0mm-2R 引込距離3m以内、分電盤なしとする。

照明工 (引込柱)

プレート様式(1) 1:1
(建柱工事)



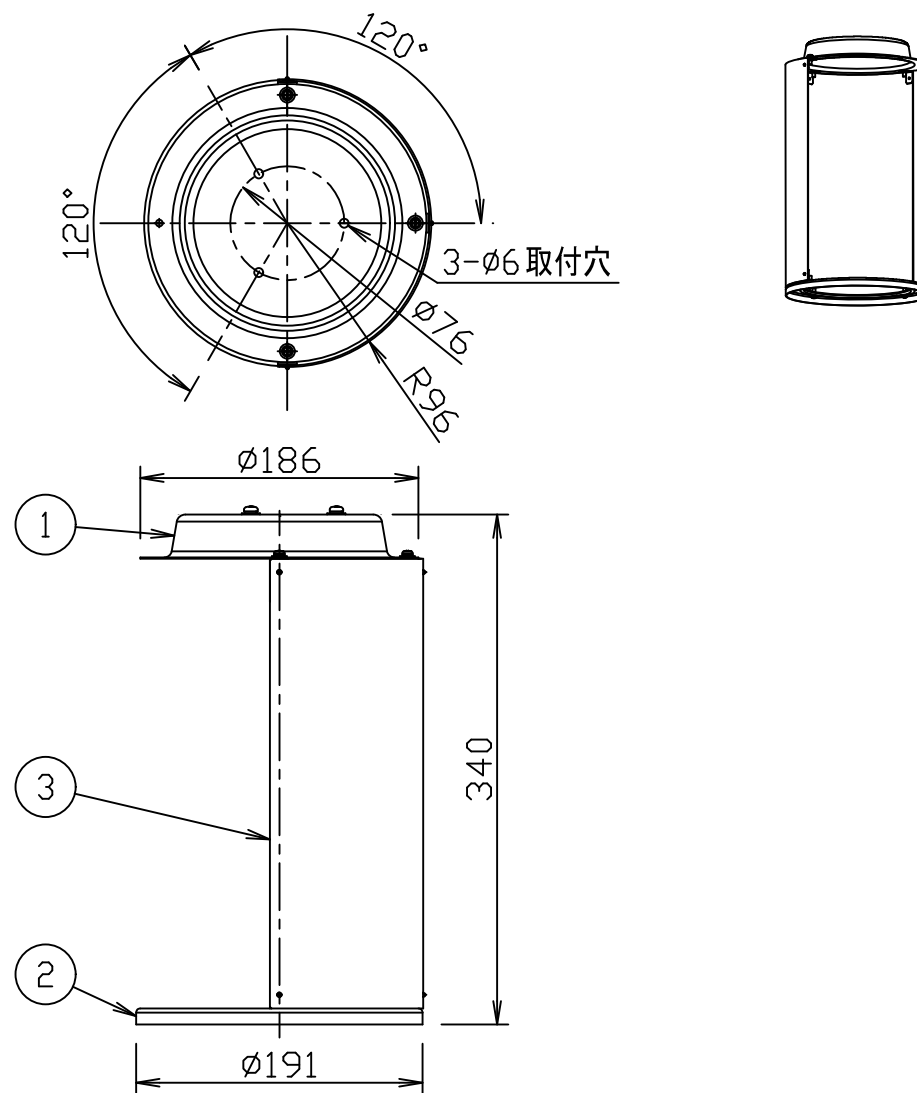
プレート様式(2) 1:1 ※園路から見える部分に設置
(故障時の連絡)



令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
			備 考		122-1
<ul style="list-style-type: none"> • NO、TEL及び()内は、係員の指示により記入する。 • プレートは接着剤止めの上、シンチュウビス止めとする。 • 取付箇所については、本市係員の指示によるものとする。 • 字体は、丸ゴシックとする。 			13年9月修正 05年4月修正 05年10月修正		
施設プレート(照明用)					

平面図 1:4



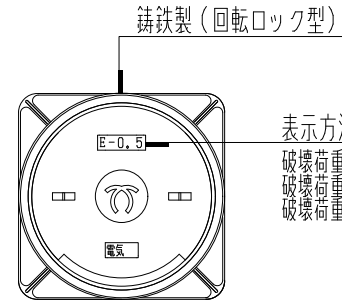
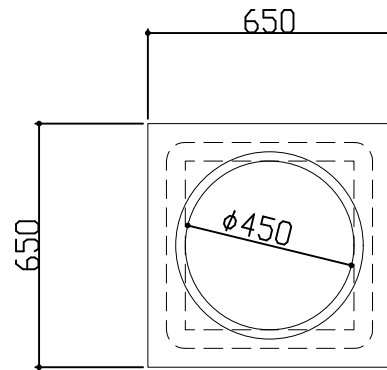
- 1: 上部取付板
- 2: 下部取付板
- 3: 遮光板

仕上色	黒色(半艶)
-----	--------

令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記号	ページ
	<ul style="list-style-type: none"> • 遮光板は180°を標準とする。 • 材質はステンレス、t=0.8mmとする。 • 塗装色は合成樹脂焼付塗装、仕上色は黒色(半艶)とする。 • 照明工LEDタイプに使用する。 		照明工遮光板		S5310		122-2
					備考		
					3年7月追加 29年10月修正 14年9月追加 04年04月修正		

平面図 1:20



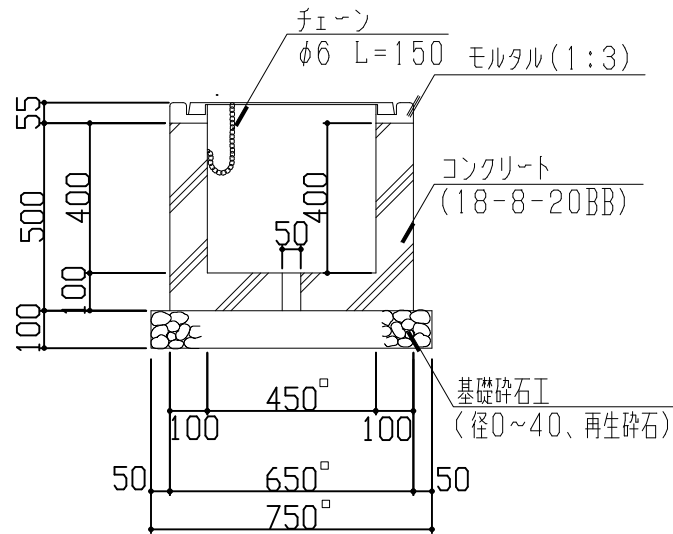
表示方法

破壊荷重	2T以上の場合	E-0.5
破壊荷重	6T以上の場合	E-1.5
破壊荷重	20T以上の場合	E-5.0

(1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.5	再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.1	
型枠損料		m ²	2.2	
モルタル	1:3	m ³	0.001	
铸铁製蓋	内径450 チェーン付 φ6	枚	1.0	
床堀		m	—	
埋戻		〃	—	
残土処分		〃	—	

断面図 1:20



铸铁製蓋

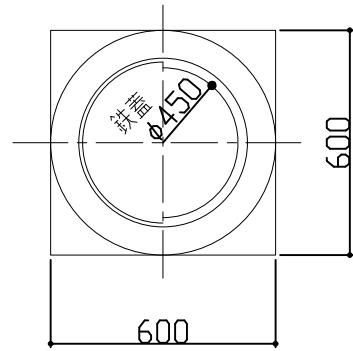
名称	形状寸法
歩行者用 (E-0.5)	内径 450、チェーン付 φ6
軽荷重用 (E-1.5)	内径 450、チェーン付 φ6
中荷重用 (E-5.0)	内径 450、チェーン付 φ6

令和5年10月改定

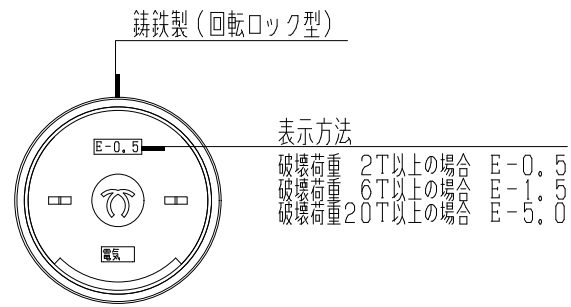
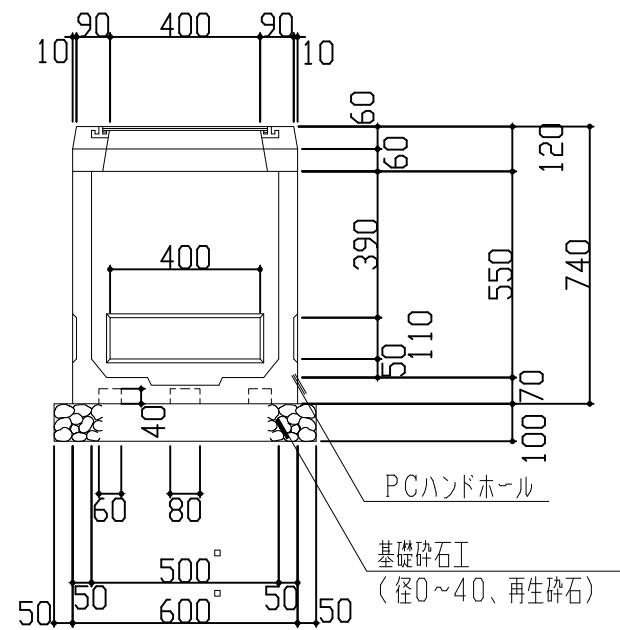
神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記	号	ペー	ジ
	・モルタルは、高炉セメントを使用すること。			ハンドホール工		S5325			123-1
						備考			
					13年9月修正 14年9月修正				

(1.0基当り)

平面図 1:20



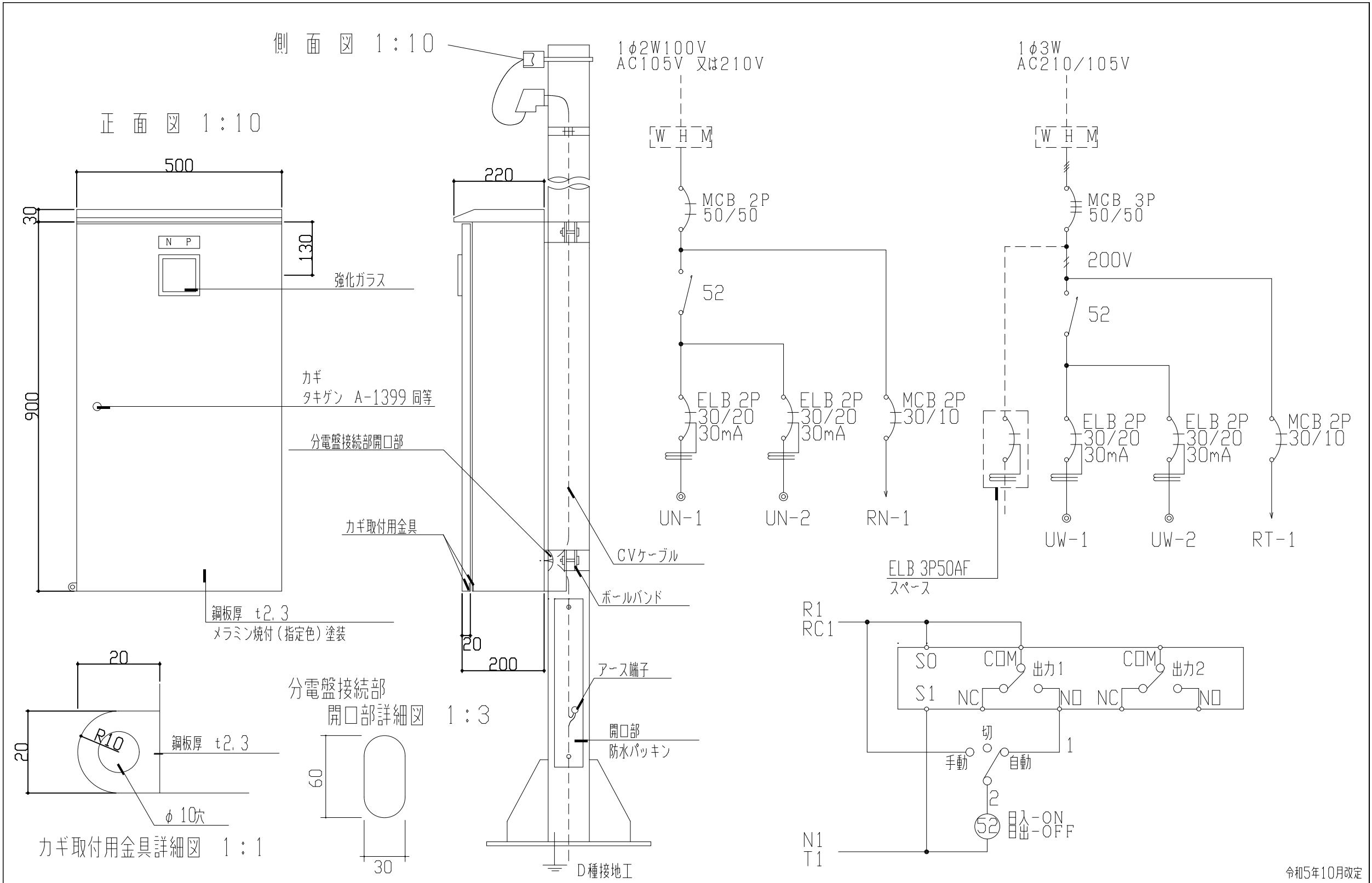
断面図 1:20



名称	形状寸法	単位	数量	摘要
基礎砕石工	径0~40 t100	m ²	0.4	再生砕石
PCハンドホール本体	歩行者用蓋 (E-0.5)	基	1.0	蓋共
	軽荷重用蓋 (E-1.5)			
	中荷重用蓋 (E-5.0)			
床堀		m ³	—	
埋戻		〃	—	
残土処分		〃	—	

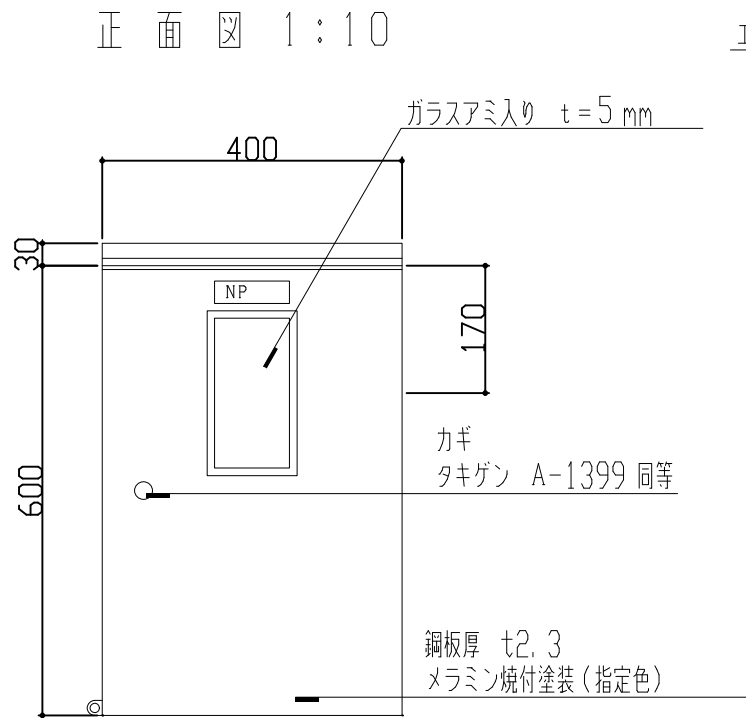
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記	号	ページ
	<p>・水抜きの有無は、係員指示とする。</p>				ハンドホール工	CB222840		123-2
						備考		
					13年9月修正			

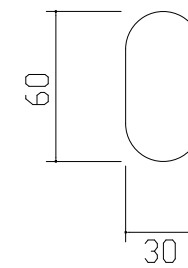
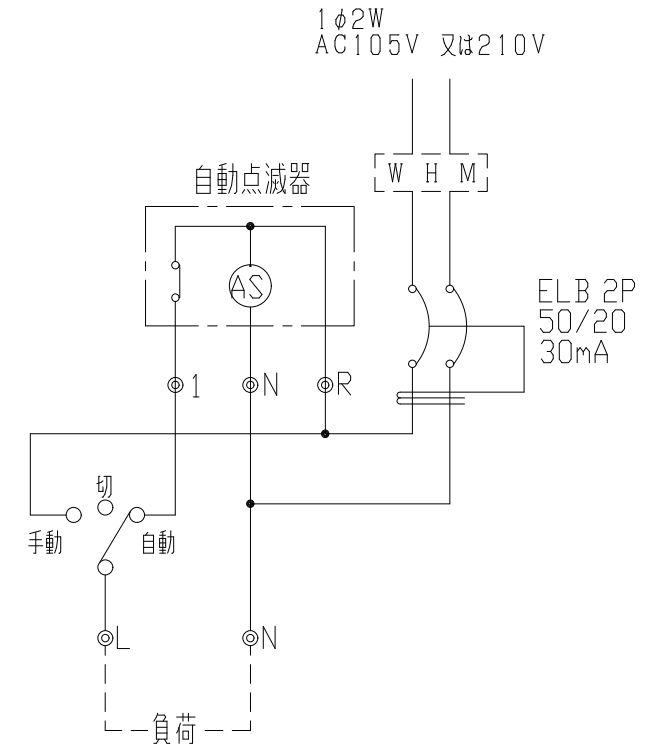
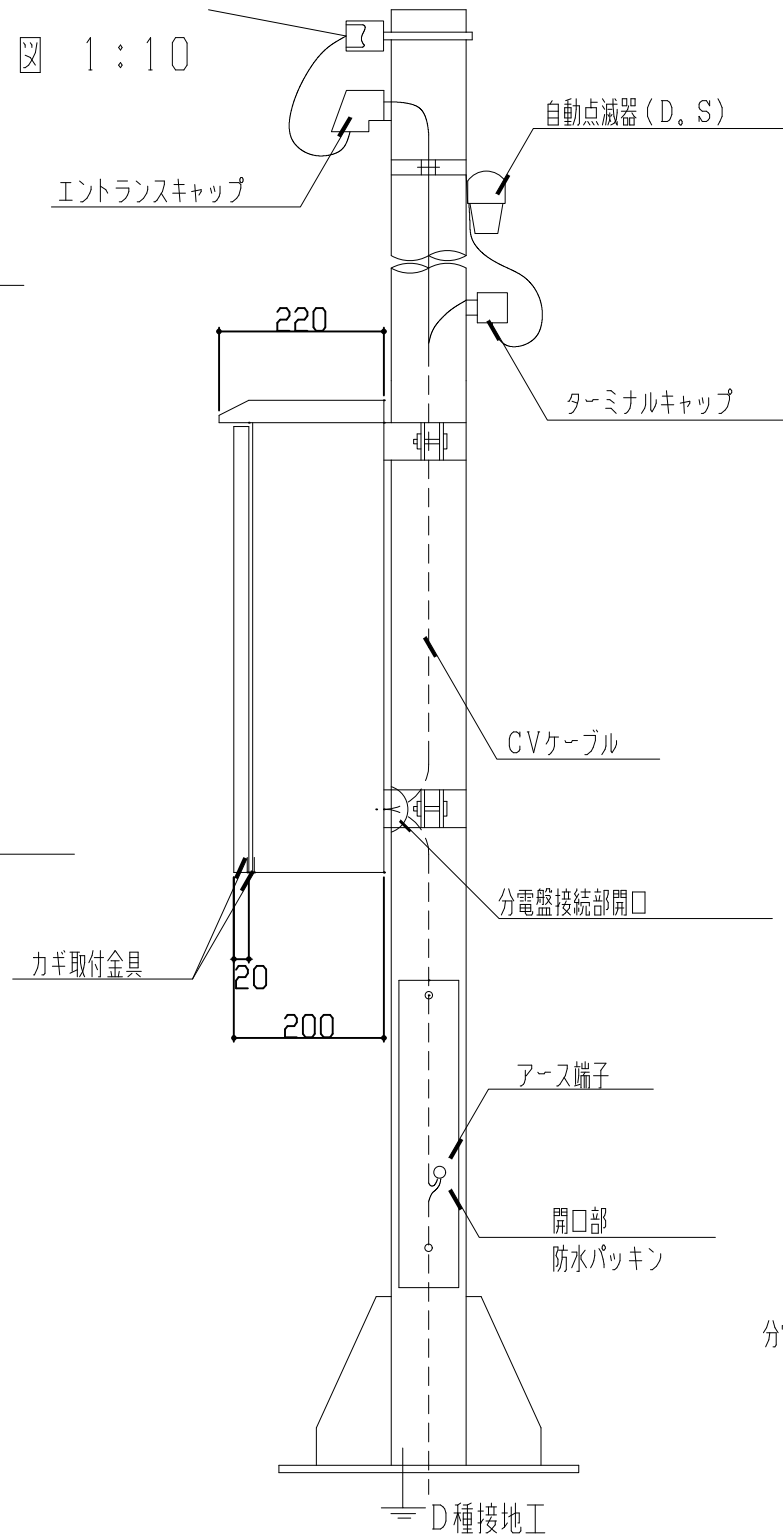


令和5年10月改定

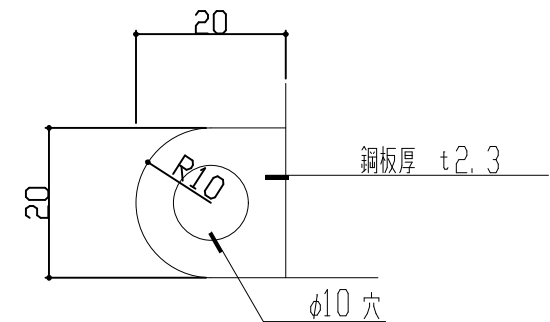
神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記号	ページ
					備考		124-1
	<ul style="list-style-type: none"> ・WHMスペース（関電内線規定による）を確保すること。 ・扉は内蝶番とし、ピンはステンレスとする。 ・分電盤A 引き込み100V、分電盤B 引き込み100/200V。 ・分電盤には、配線図を備えつけること。 ・引込柱の規格は、分電盤のタイプや引込距離を考慮し構造計算に基づき決定すること 		分電盤 A・B		6年 7月修正 21年 10月修正 24年 10月修正		124-1



側面図 1:10



分電盤接続部
開口部詳細図 1:3



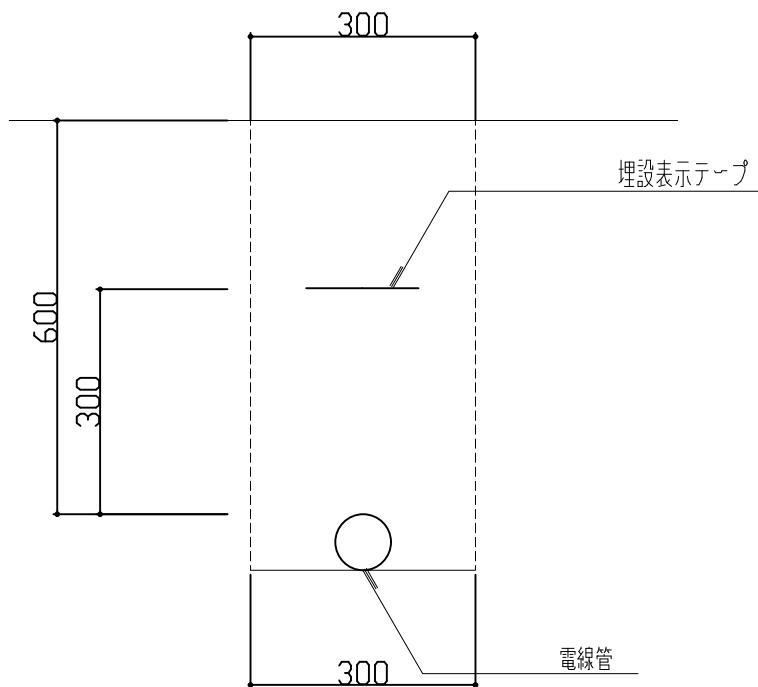
カギ取付用金具詳細図 1:1

記号	仕様	数量	備考
	100V		
WHM	スペース	1	
	1φ 2W		
ELB 1	2P100V 20/50A	1	30mA
COS		1	自動・手動切換
TB-1	3P 30A	1	端子盤
TB-2	3P 20A	1	端子盤
DS	100V20A 点滅器	1	外部取付

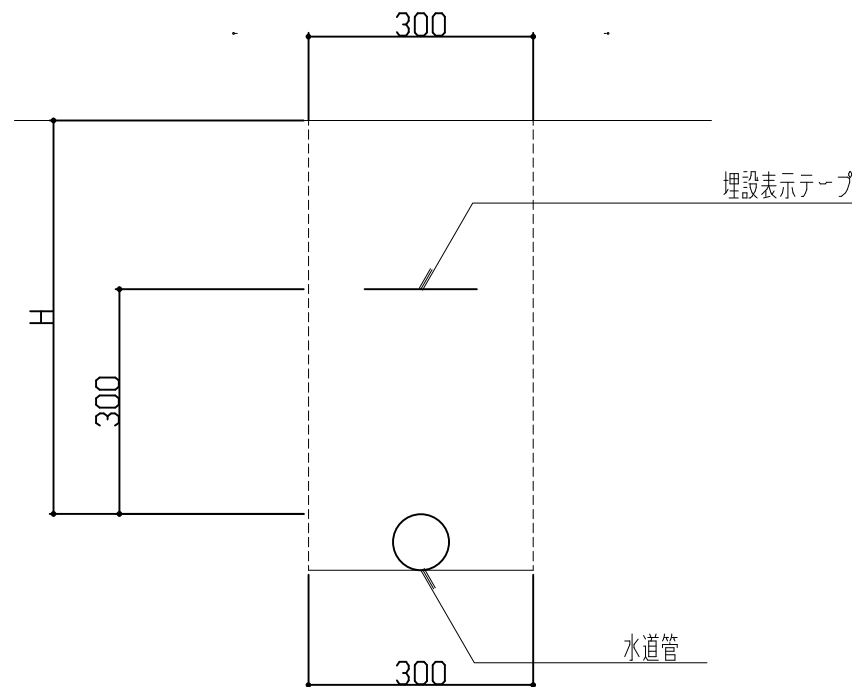
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
			分電盤 C	備考	
	<ul style="list-style-type: none"> WHMスペース (開電内線規定による) を確保すること。 DSは盤外の引込柱に取り付けること。 扉は内蝶番式とし、ピンはステンレスとする。 分電盤C 引き込み100V。 引込柱の規格は、引込距離に応じて構造計算を行い決定すること。 		<ul style="list-style-type: none"> 分電盤には、配線図を備えつけること。 中に図面入れポケットを付けること。 		
			6年 7月修正 21年 10月修正 24年 10月修正	29年 10月修正 05年 10月修正	

電線管布設詳細図 1:10



水道管布設詳細図 1:10



150 注意、神戸市建設局 低圧ケーブルあり

表示テープ(黄色に赤文字)
(テープの折り返しあり)

電線管布設 (1.0m当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
埋設表示テープ		m	1.0	
電線管		〃	1.0	
床掘		m ³	—	
埋戻		〃	—	

150 水道管注意 神戸市建設局

表示テープ(青色に白文字)
(テープの折り返しあり)

水道管布設 (1.0m当り)

名称	形状寸法	単位	市道(車道)		公道(歩道)		公園内		摘要
			口径25mm以下	口径50mm以下	口径25mm以下	口径50mm以下	一般	寒冷地適用	
埋設表示テープ		m	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
水道管		〃	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
床掘		m ³	—	—	—	—	—	—	
埋戻		〃	—	—	—	—	—	—	

寸法表

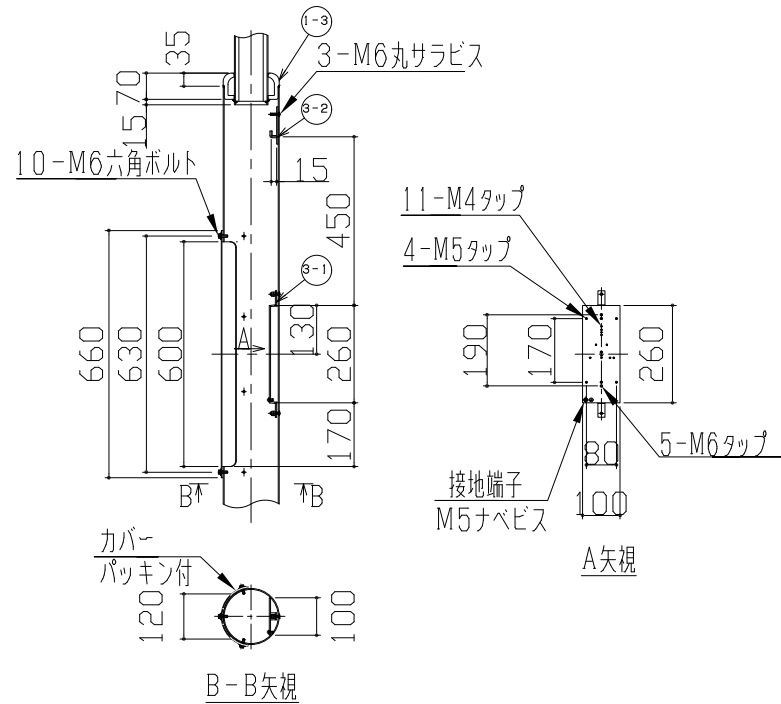
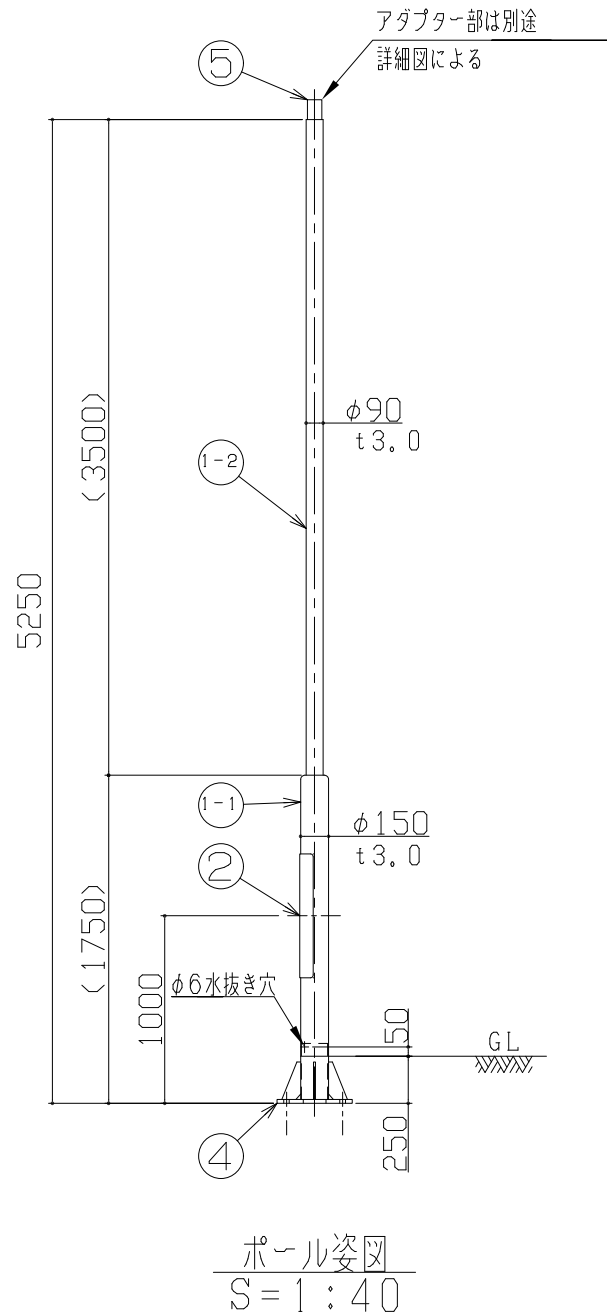
	市道(車道)		公道(歩道)		公園内	
	口径25mm以下	口径50mm以下	口径25mm以下	口径50mm以下	一般	寒冷地適用
H	950	1000	650	700	600	700

令和5年10月改定

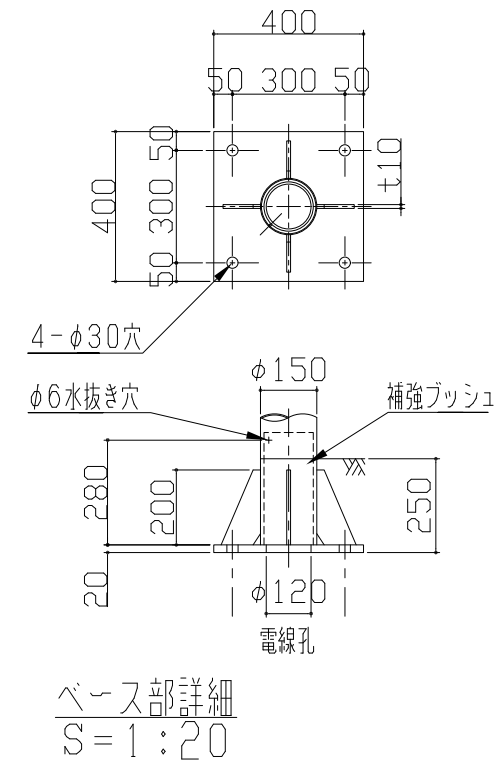
神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記	号	ページ
				電線管布設工・水道管布設工	WE110310, WE122200 WE110500, WB610400			125
					備考 13年9月修正 18年3月修正 14年9月修正 21年10月修正			

参考図

- 設計条件
- ・瞬間最大風速40m/s
 - ・適合器具(別途)
受圧面積:0.2m²以下
風力係数:0.7
 - ・架空配線は考慮していない。



品番	品名	材質
1-1	根元ポール	A6061TE-T6(8)
1-2	先端ポール	A6063TE-T6
1-3	段ブッシュ	AC
2	カバー(平パッキン付)	A5052P
3-1	スイッチ取付金具	SS400 Znメッキ
3-2	安定器取付金具	SS400 Znメッキ
4	板ベース・リブ	A5052P/A5052P
5	アダプター	A6063TE



令和5年10月改定

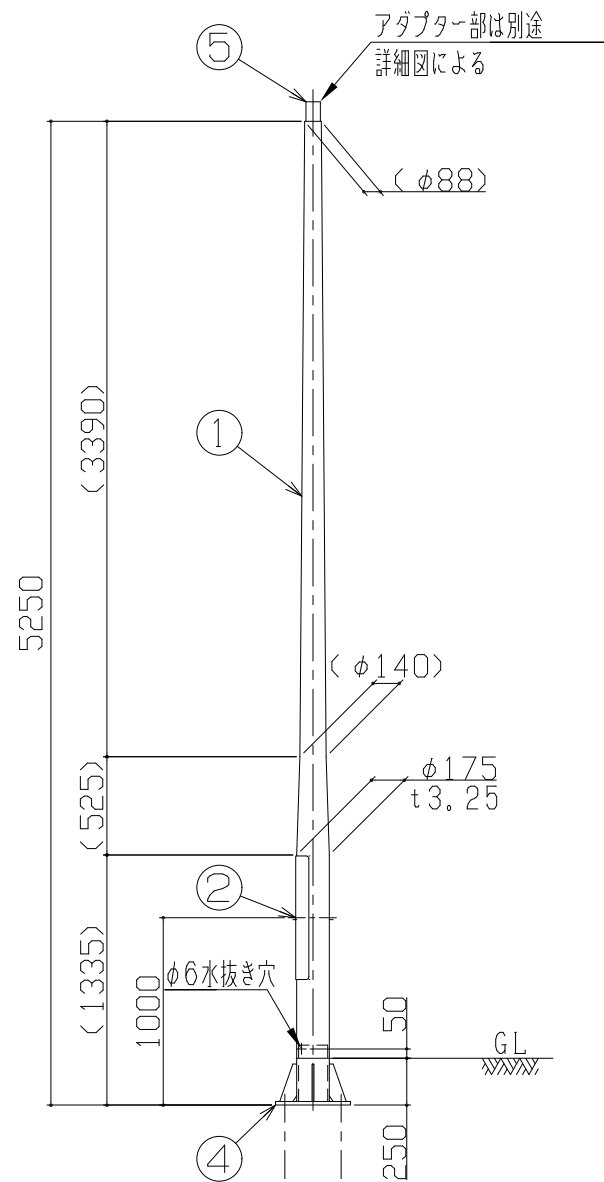
神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
			備考 R3年10月追加		126-1

- ・主要材料はアルミニウム合金製とする。
- ・表面処理はポリウレタン樹脂塗装を施すこと。
- ・色調については監督員の承諾を得ること。
- ・材質指示のないボルト類はSUS304とする。

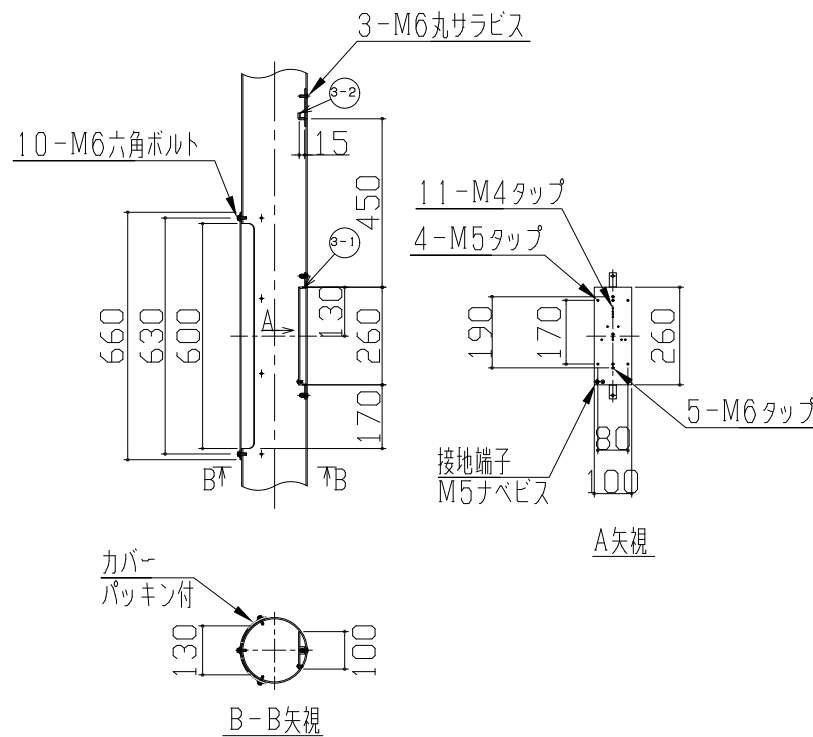
参考図
照明工LEDアルミポール灯柱(段付)

参考図

- 設計条件
- ・瞬間最大風速40m/s
 - ・適合器具(別途)
受圧面積:0.2m²以下
風力係数:0.7
 - ・架空配線は考慮していない。

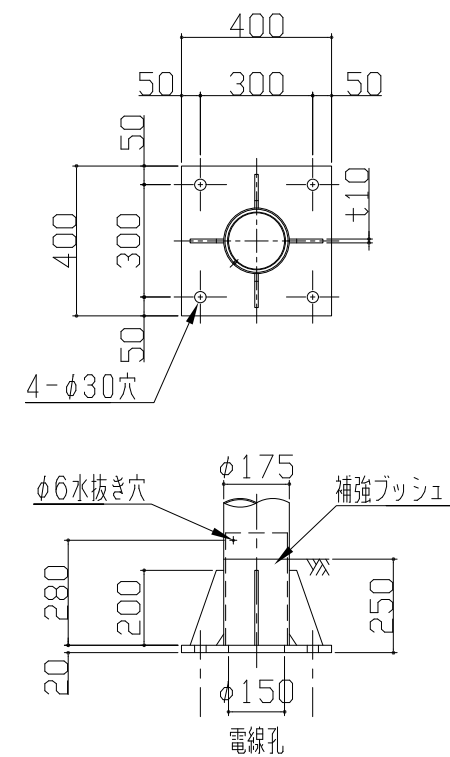


ポール姿図
S=1:40



開口部詳細
S=1:20

品番	品名	材質
1	ポール	A6061TE-T6
2	カバー(平パッキン付)	A5052P
3-1	スイッチ取付金具	SS400 Znメッキ
3-2	安定器取付金具	SS400 Znメッキ
4	板ベース・リブ	A5052P/A5052P
5	アダプター	A6063TE



ベース部詳細
S=1:20

令和5年10月改定

仕様

- ・主要材料はアルミニウム合金製とする。
- ・表面処理はポリウレタン樹脂塗装を施すこと。
- ・色調については監督員の承諾を得ること。
- ・材質指示のないボルト類はSUS304とする。

名称

参考図
照明LEDアルミポール灯柱(テーパー)

コード番号

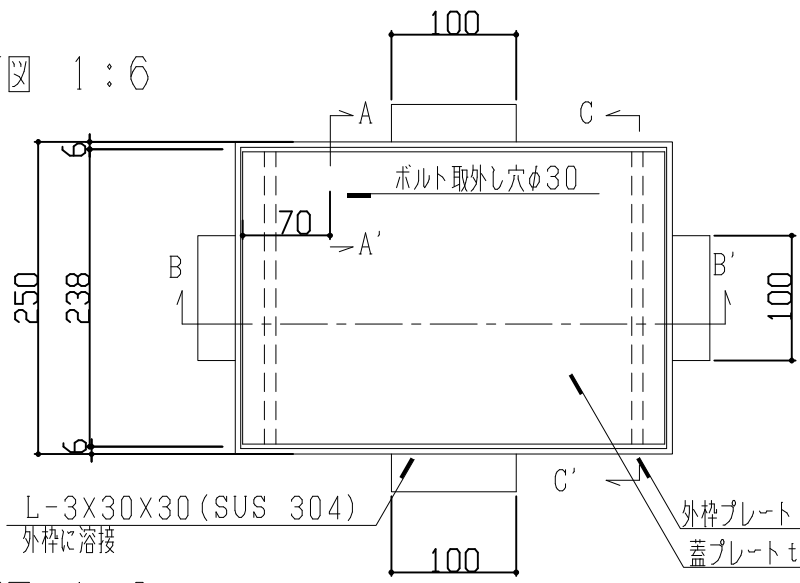
備考
R3年10月追加

記号

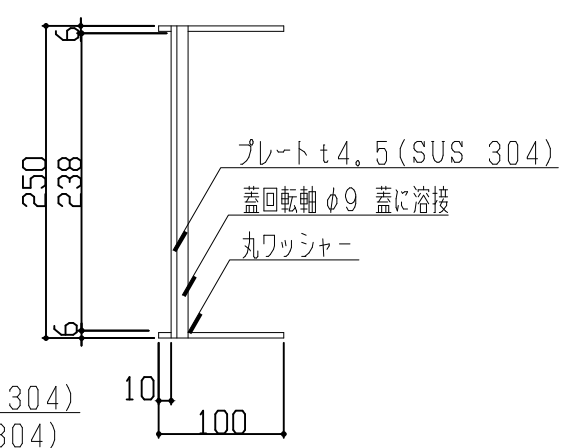
ページ
126-2

(1.0基当り)

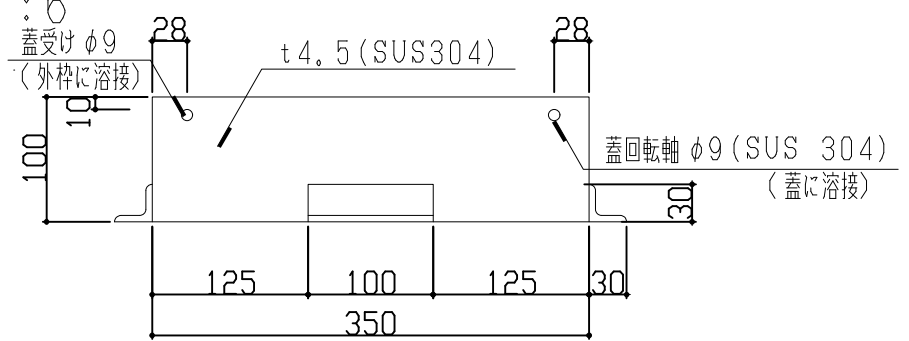
平面図 1:6



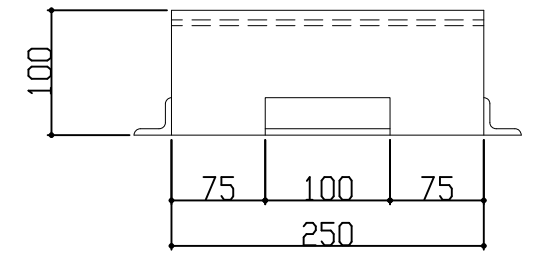
C-C' 断面図 1:6



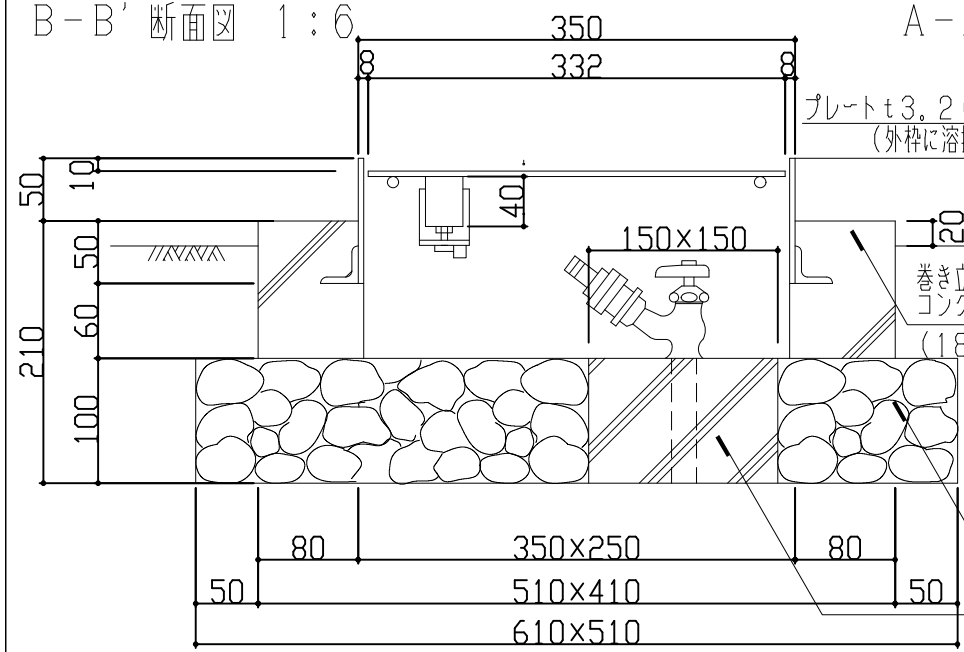
側面図 1:6



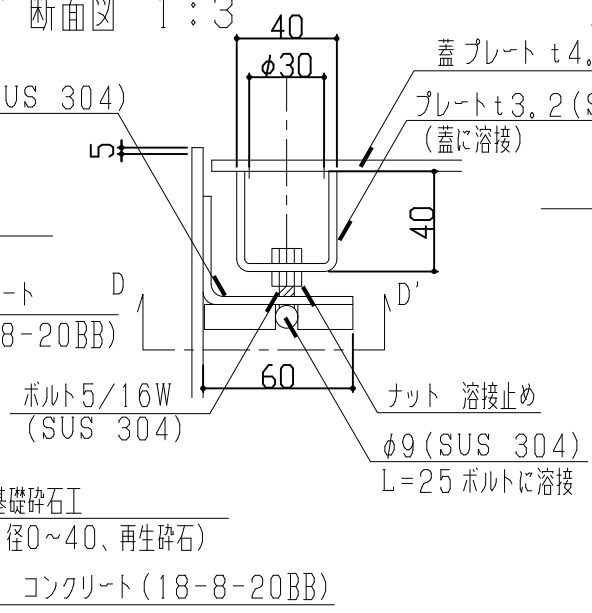
立面図 1:6



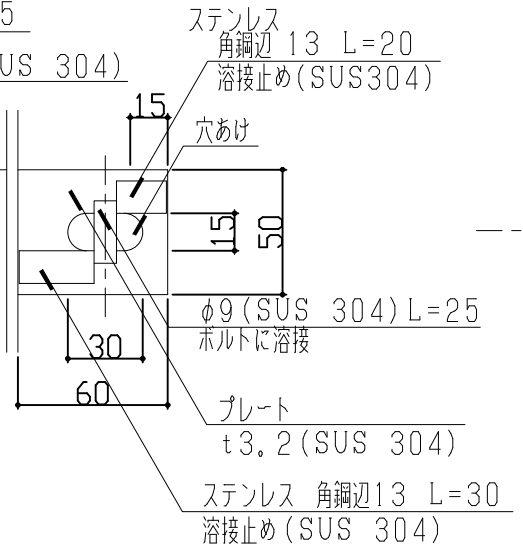
B-B' 断面図 1:6



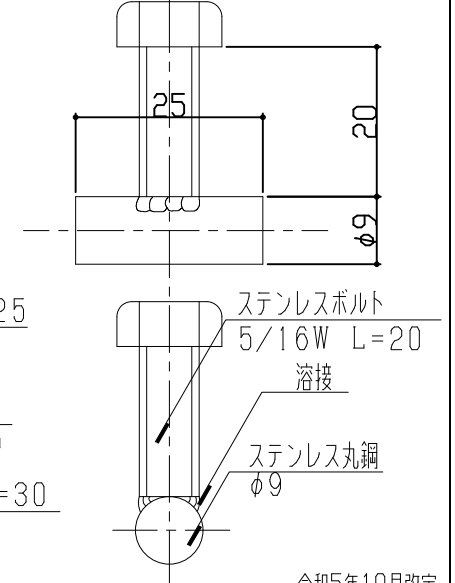
A-A' 断面図 1:3



D-D' 断面図 1:3



ボルト詳細図 1:1



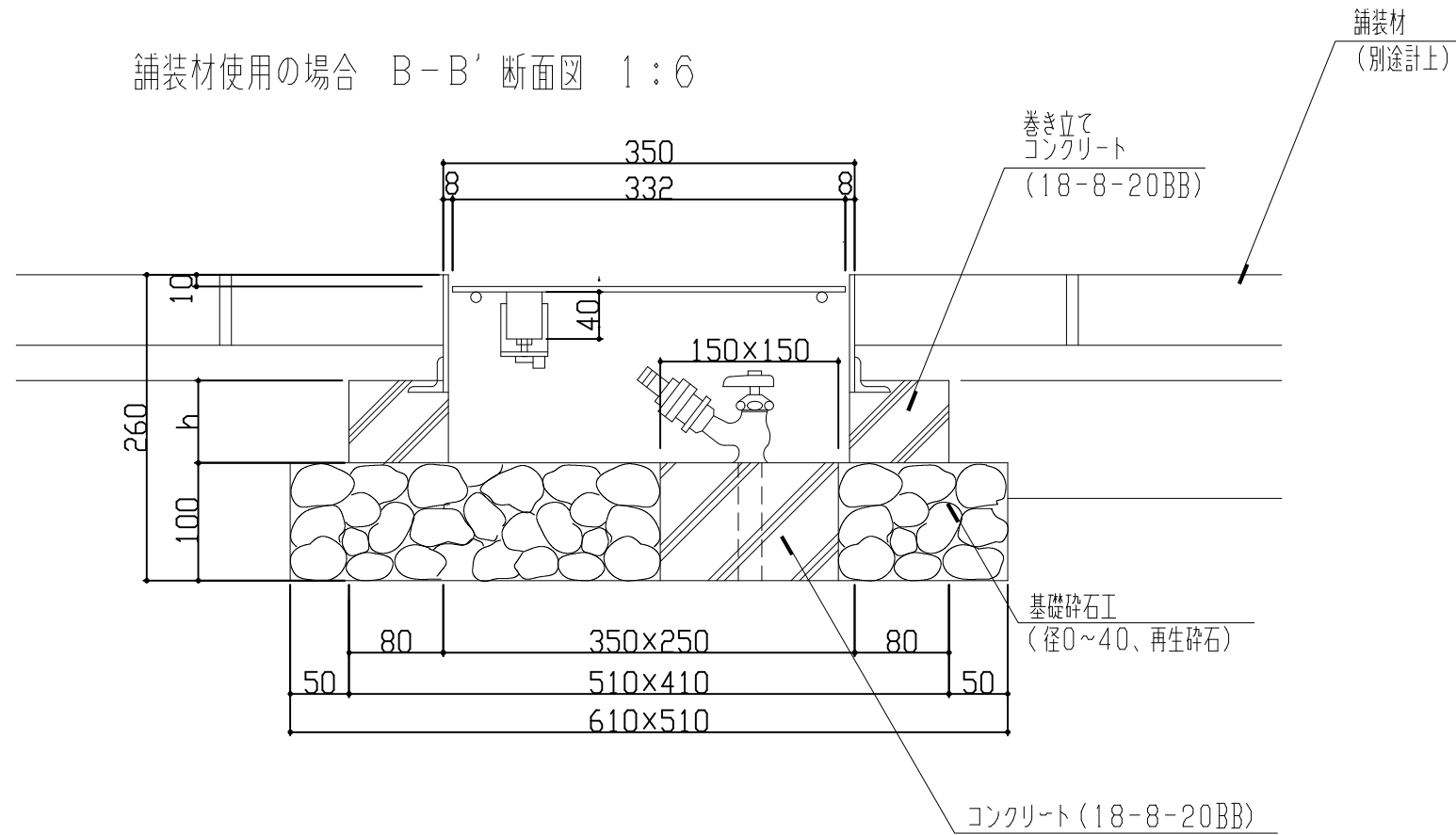
令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ペー ジ
			WB610410		127-1
			備 考		
			14年9月修正 21年10月修正 18年3月修正 04年10月修正		

- ・ボルトW5/16ボックススパナは係員に渡すこと。
- ・散水栓はタイプ-1は自動接手式φ13mm、タイプ-2は自動接手式φ20mmの45°傾斜とする。
- ・散水栓ボックスには、巻き立てコンクリートをふくむ。
- ・カギの開く位置であわさるように、ボルトの頭とプレート t3.2に朱線の取り込みを入れること。

散水栓工
(ステンレス製)

舗装材使用の場合 B-B' 断面図 1:6

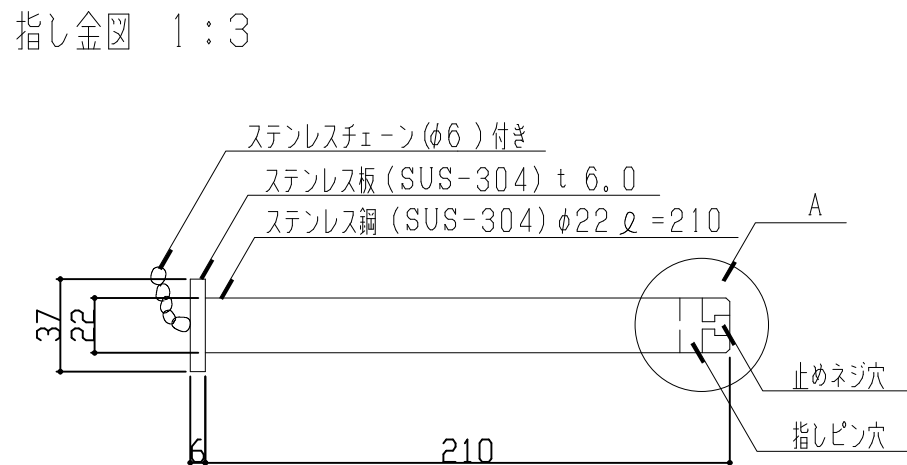
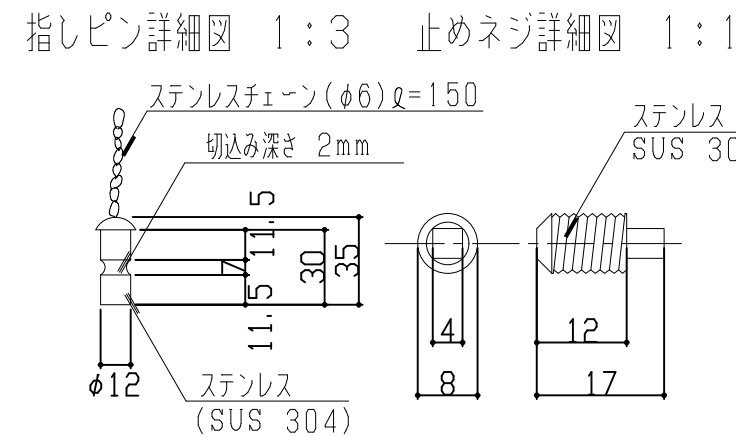
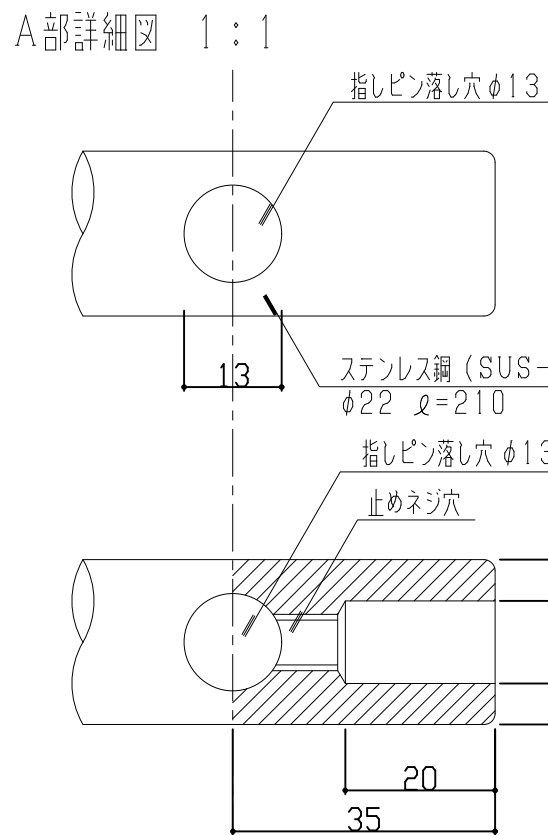
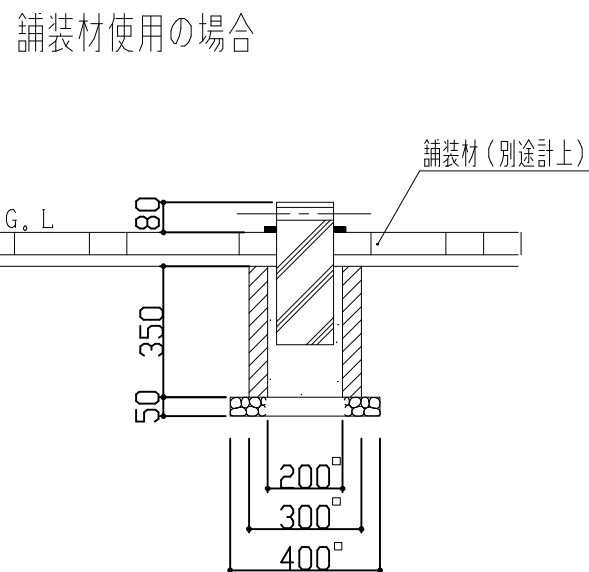
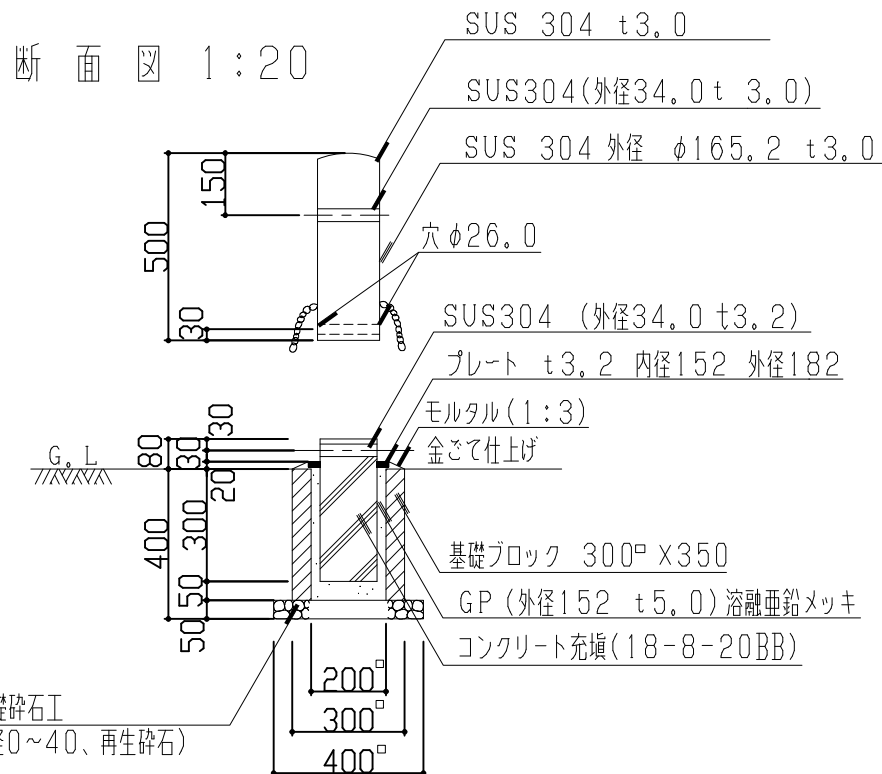


令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記	号	ページ
	・舗装面に使用する場合は、車両通行のない個所へ設置すること。			散	水	WB610410		
			工	(ステンレス製)	備考			
					13年9月修正 18年3月修正			
					14年9月修正 21年10月修正			

(1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
本体		基	1.0	充填コンクリート含む
基礎砕石工	径0~40 t50	m ²	0.1	再生砕石
基礎ブロック	300 [□] ×350	個	1.0	モルタルを含む
床掘		m ³	—	
埋戻		〃	—	
残土処分		〃	—	

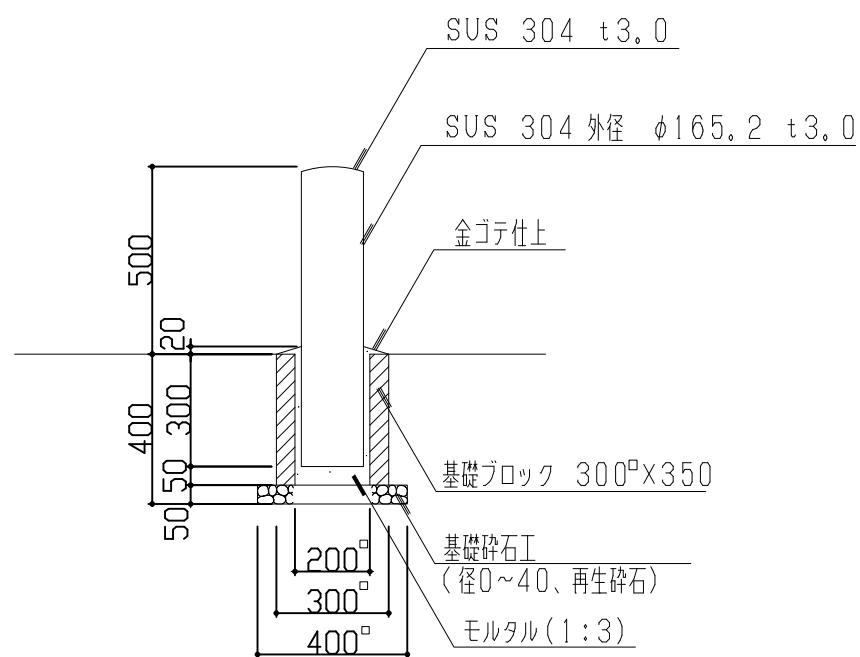


令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記	号	ページ
	<ul style="list-style-type: none"> ・(A)-2はステンレス製とし、H、L仕上げとする。 ・鋼材接合部は溶接止めの上、見え掛り部分はケレン仕上げとする。 ・指し金は、人の流れと平行な方向に設置すること。 ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。 			車止工(A)-2	S5330			128-1
					備考			
					13年 9月修正 14年 9月修正 29年10月修正			
					18年3月修正 21年10月修正			

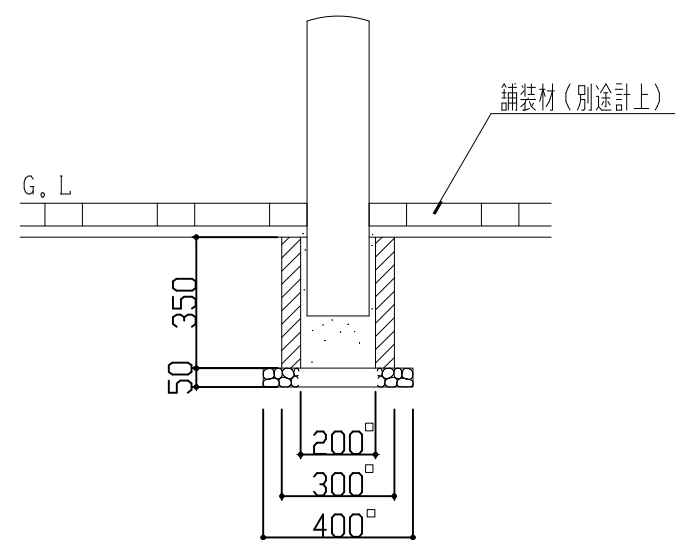
(1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
本体		基	1.0	
基礎砕石工	径0~40 t50	m ²	0.1	再生砕石
基礎ブロック	300 [□] ×350	個	1.0	モルタルを含む
床掘		m ³	—	
埋戻		〃	—	
残土処分		〃	—	



断面図 1:20

舗装材使用の場合

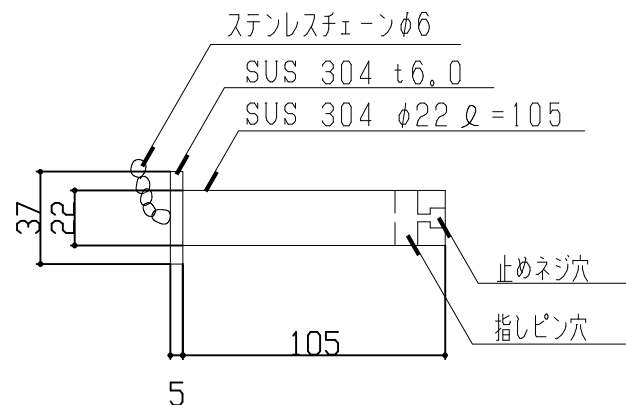


令和5年10月改定

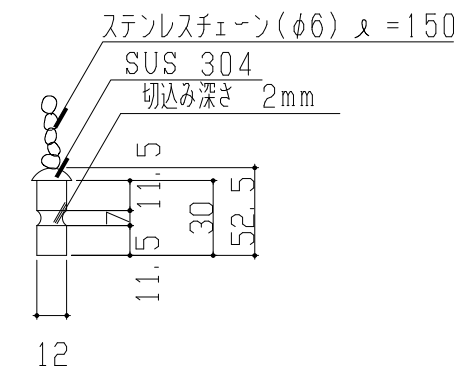
神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ
			S5330		128-2
			備 考		
		車止工(B)-2 (固定式)	13年9月修正 14年9月修正		

- (B)-2はステンレス製とし、H.L仕上げとする。
- 鋼材接合部は溶接止めの上、見え掛かり部分はケレン仕上げとする。
- モルタルは、高炉セメントを使用すること。

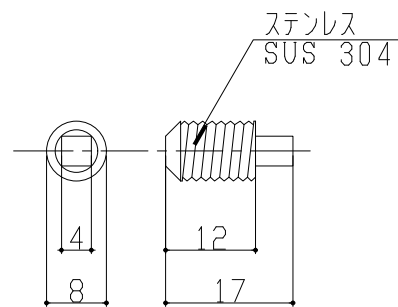
指し金部 1:3



指しピン 1:3



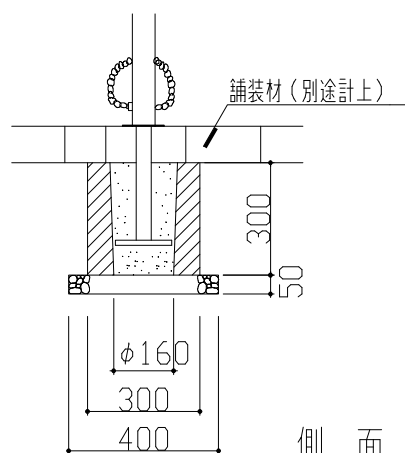
止めネジ詳細図 1:1



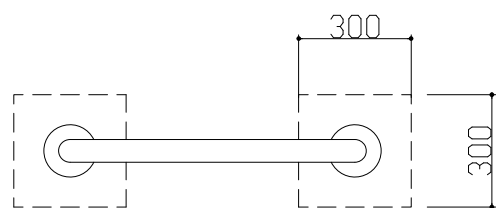
(1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
本体		基	1.0	
基礎砕石工	径0~40 t50	m ²	0.3	再生砕石
基礎ブロック	300 [□] ×300	個	2.0	モルタルを含む
床掘		m ³	—	
埋戻		〃	—	
残土処分		〃	—	

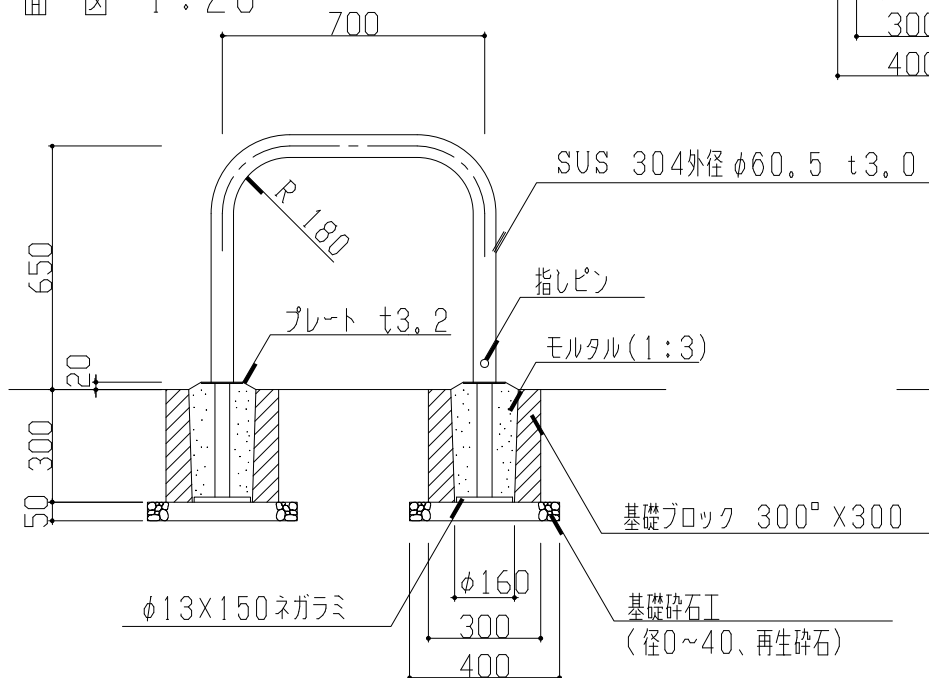
舗装材を使用した場合



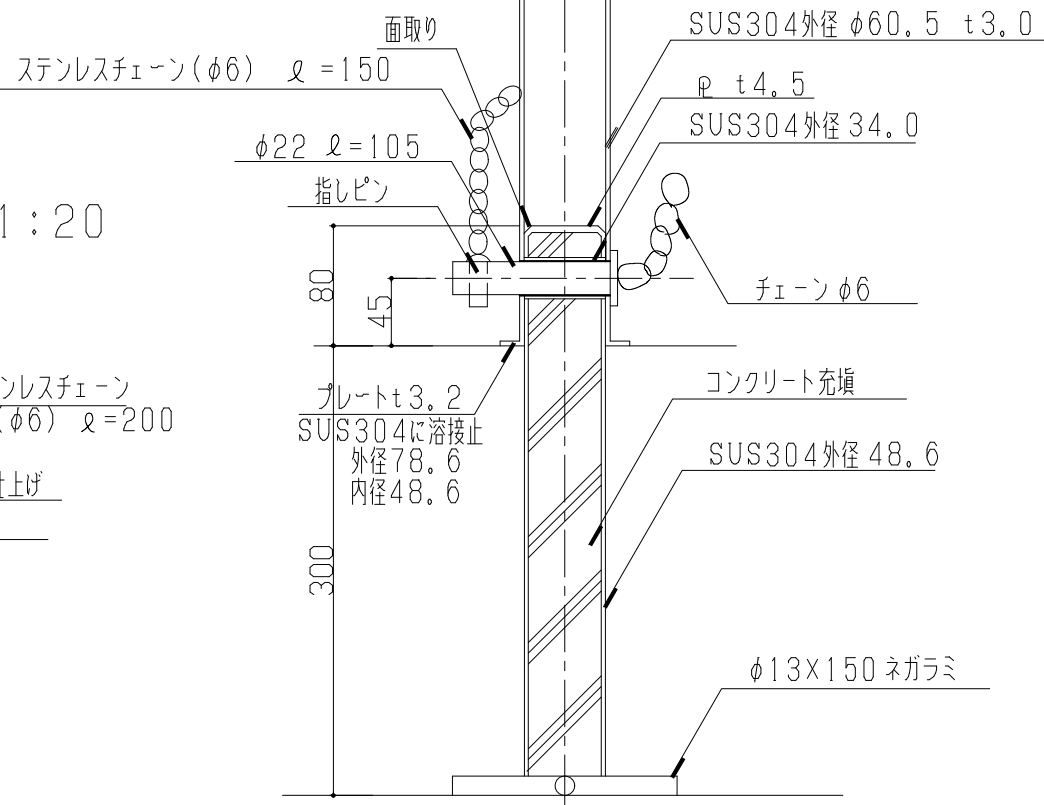
平面図 1:20



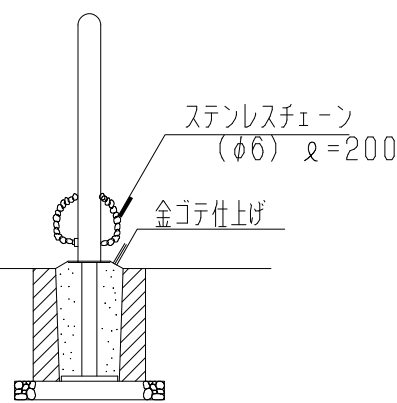
断面図 1:20



引抜部部分詳細図 1:5



側面図 1:20

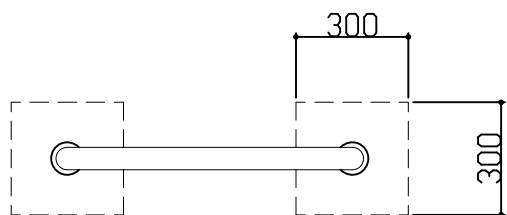


令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記	号	ページ
			車止工(E)-2	(可動式)	S5330			128-3
					備考			
					13年9月修正 14年9月修正			

- ・(E)-2はステンレス製とし、H、L仕上げとする。
- ・鋼材接合部は溶接止めの上、見え掛り部分はケレン仕上げとする。
- ・モルタルは、高炉セメントを使用すること。

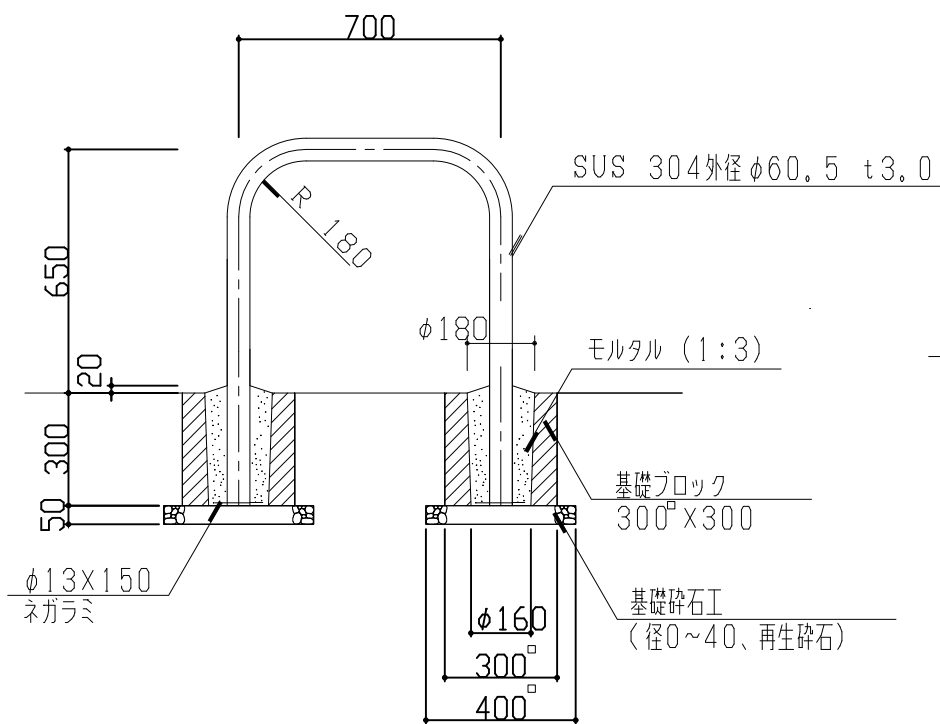
平面図 1:20



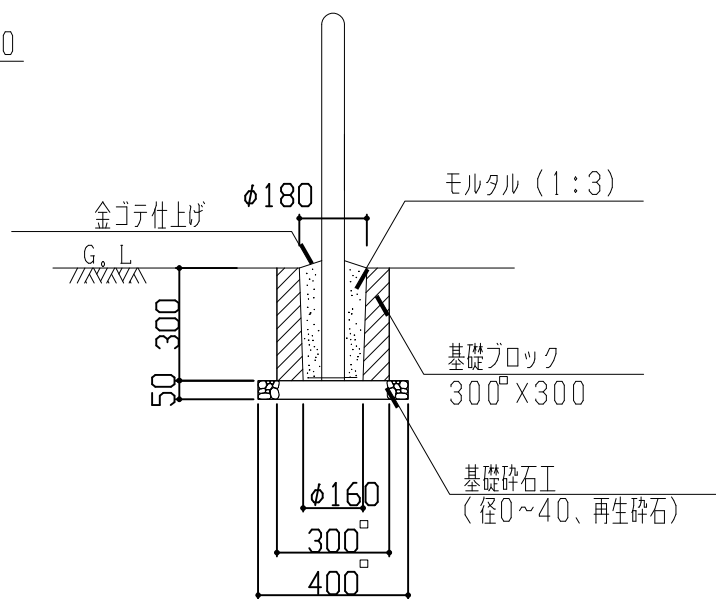
(1.0基当り)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
本体		基	1.0	
基礎砕石工	径0~40 t50	m ²	0.3	再生砕石
基礎ブロック	300 [□] ×300	個	2.0	モルタルを含む
床掘		m ³	—	
埋戻		〃	—	
残土処分		〃	—	

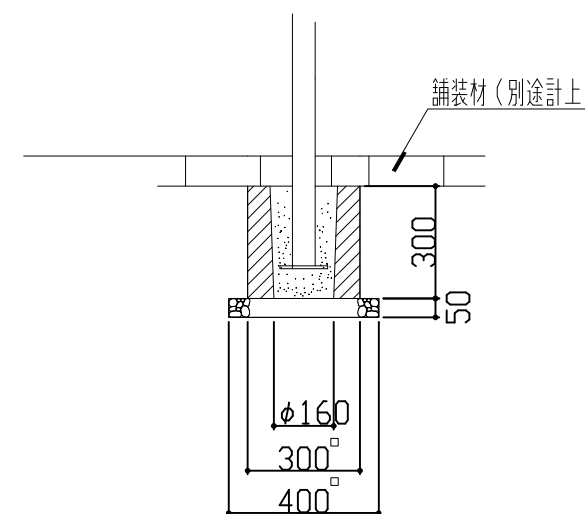
断面図 1:20



側面図 1:20



舗装材を使用した場合

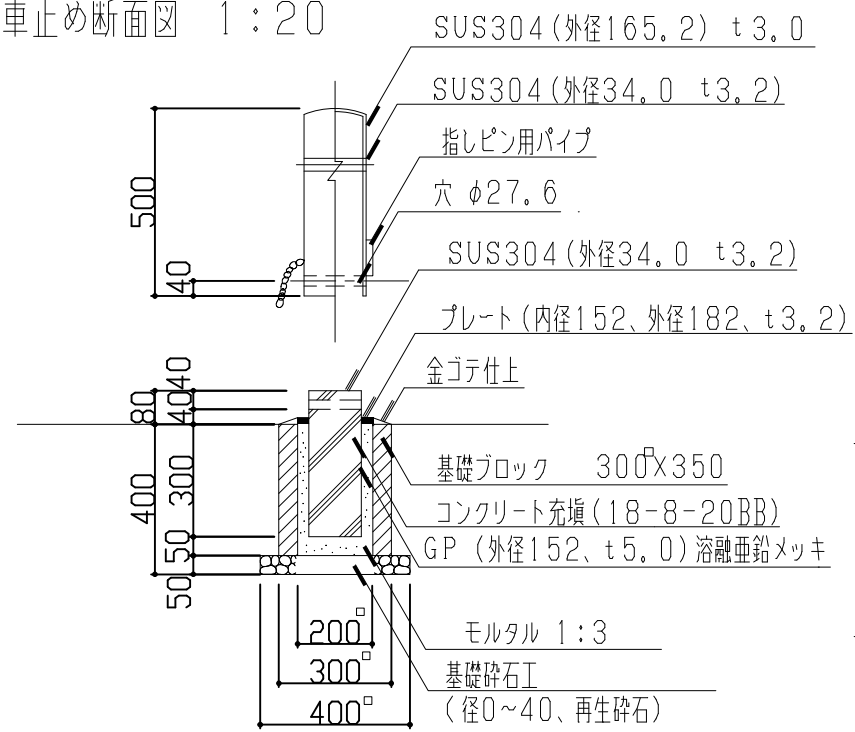


令和5年10月改定

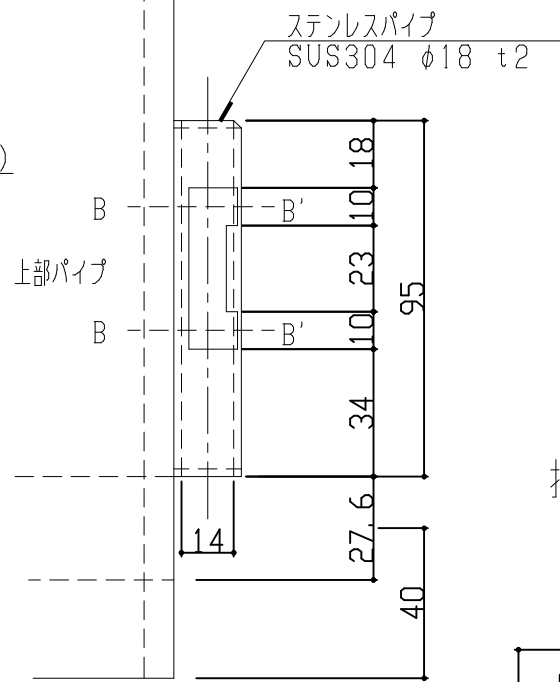
神戸市公園施設標準図集	仕様	名称	コード番号	記号	ページ
			S5330		128-4
		車止工(F)-2 (固定式)	備考		
			13年9月修正 14年9月修正		

・(F)-2はステンレス製とし、H.L仕上げとする。
・モルタルは、高炉セメントを使用すること。

車止め断面図 1:20



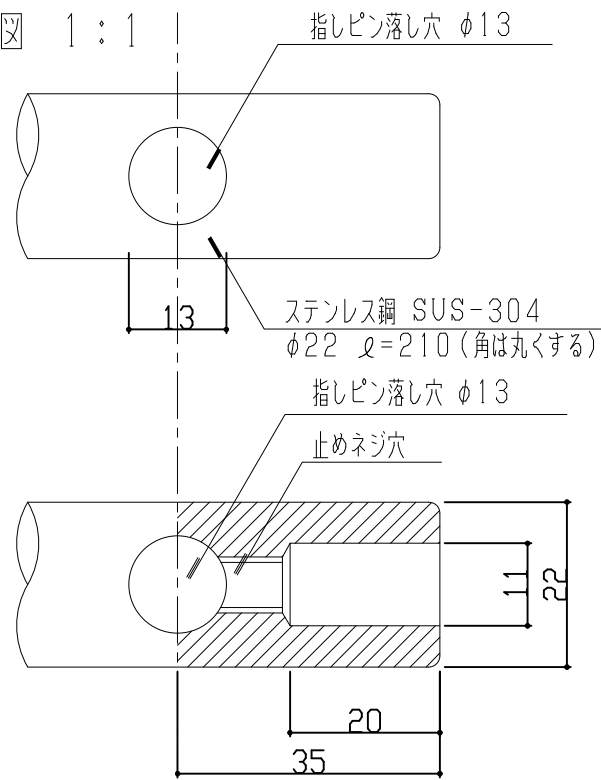
指しピンパイプ詳細図 1:2



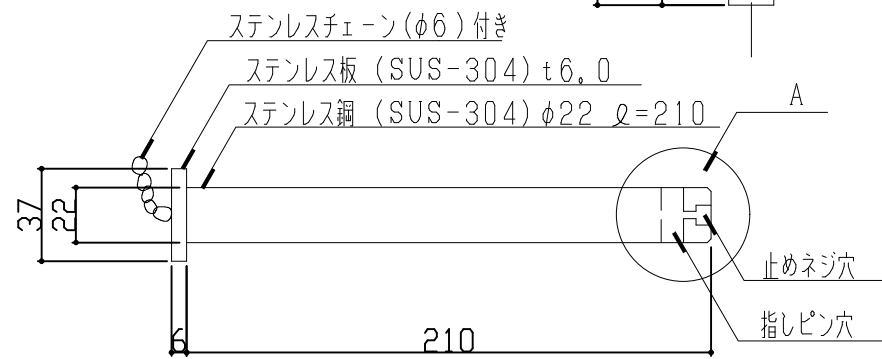
(1.0基当たり)

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
本体		基	1.0	充填コンクリート含む
基礎砕石工	径0~40 t50	m ²	0.1	再生砕石
基礎ブロック	300 [□] x 350	個	1.0	モルタルを含む
床掘		〃	—	
埋戻		〃	—	
残土処分		〃	—	

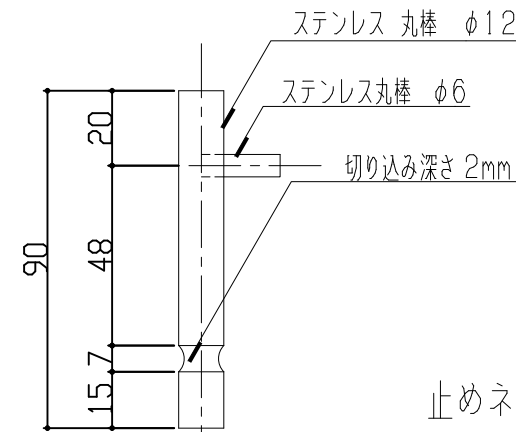
A部詳細図 1:1



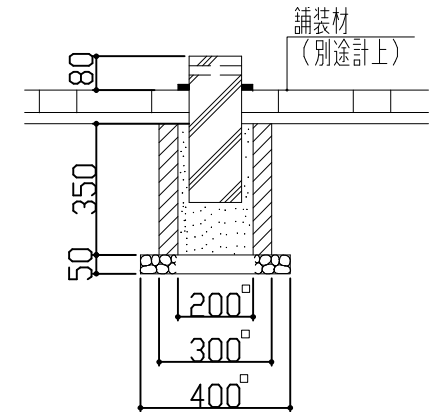
指し金図 1:3



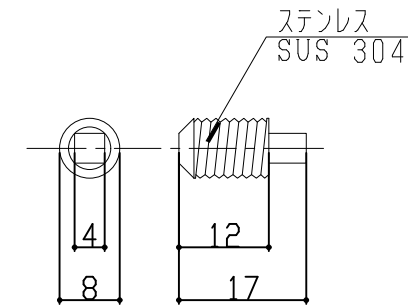
指しピン詳細図 1:2



舗装材使用の場合



止めネジ詳細図 1:1

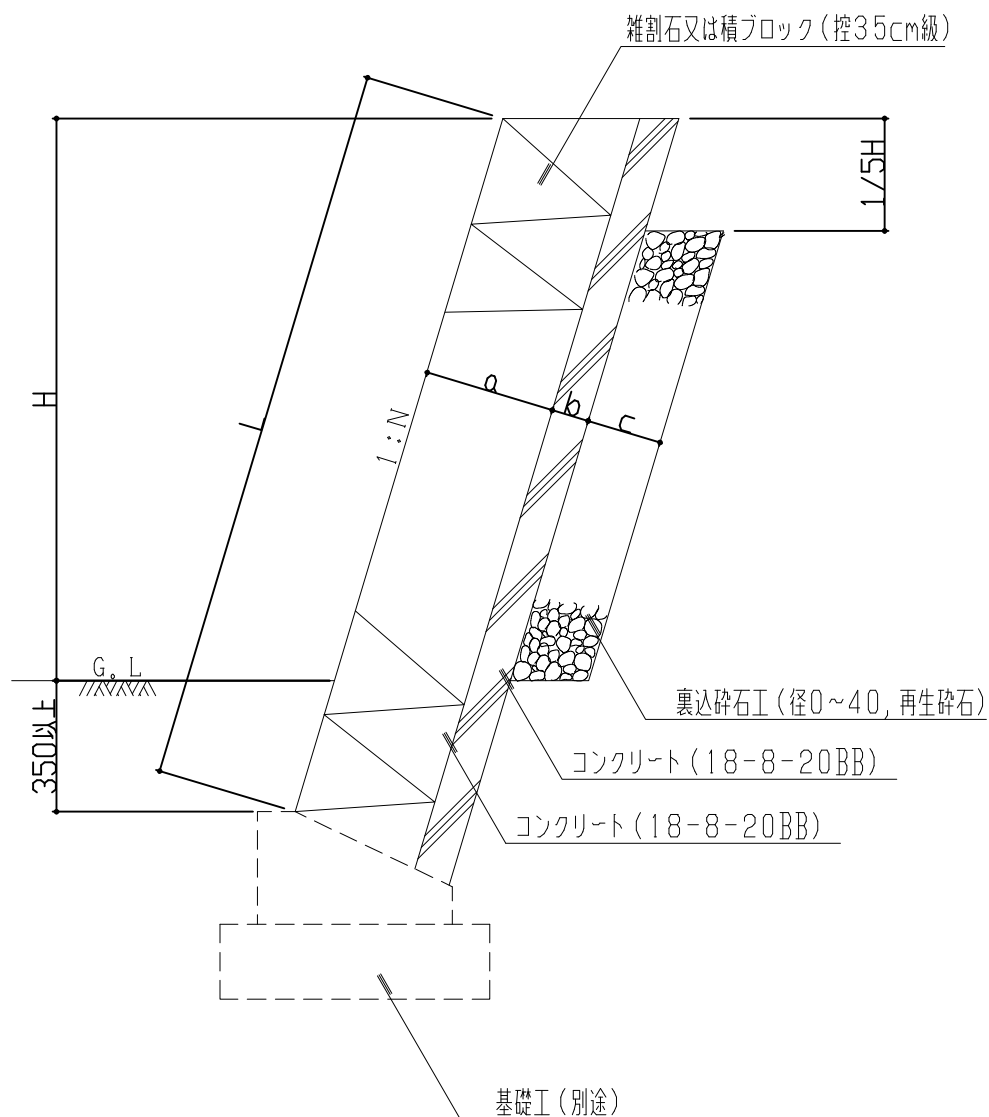


令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕	様	名	称	コード番号	記号	ページ
	<ul style="list-style-type: none"> G-2はステンレス製とし、H.L仕上げとする。 鋼材接合部は、溶接止めの上、見え掛り部分はケレン仕上げとする。 指し金は、人の流れと平行な方向に設置すること。 モルタルは、高炉セメントを使用すること。 		車止工 (G) - 2	(可動式)	S5330		128-5
					備考		
					13年9月修正 29年10月修正 14年9月修正		

(1.0m²当り)

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			石積工	ブロック積工	
雑割石	控35cm級	m ²	1.0		御影石、宝殿石
積ブロック	〃	〃		1.0	
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.280	0.280	H=2.0m以上(抜型枠を含む)
	18-8-20BB	〃	0.180	0.180	(抜型枠を含む)
裏込砕石工	径0~40	m ²	(別途計上)	(別途計上)	再生砕石



○印施工	工種	寸法表 (mm)						
		(M) H (直高)	L(のり長)			a (控長)	b (裏込コン)	c (裏込砕石)
			N(前面勾配)					
			1:0.3	1:0.4	1:0.5			
	H= 500-N-b	0.500	0.887	0.915	0.950	350	0	200
	H=1,000-N-b	1.000	1.409	1.453	1.509	350	0	200
	H=1,500-N-b	1.500	1.931	1.992	2.068	350	0	200
	H=2,000-N-b	2.000	(2.453)	2.530	2.627	350	0	200
	H=2,500-N-b	2.500	(3.001)	3.096	3.214	350	100	300
	H=3,000-N-b	3.000	(3.601)	3.715	3.857	350	100	300
	H=3,500-N-b	3.500	————	(4.334)	4.499	350	100	300
	H=4,000-N-b	4.000	————	(4.954)	5.142	350	100	300

令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ

- 土質によりNについて考慮する。
- よく締まった地山の切土に使用する場合は、Nを1ランク下げることが出来る。
- 水抜きパイプはVPφ75を3m²に1カ所入れること。
- 15~20m毎に1カ所、伸縮目地を入れること。

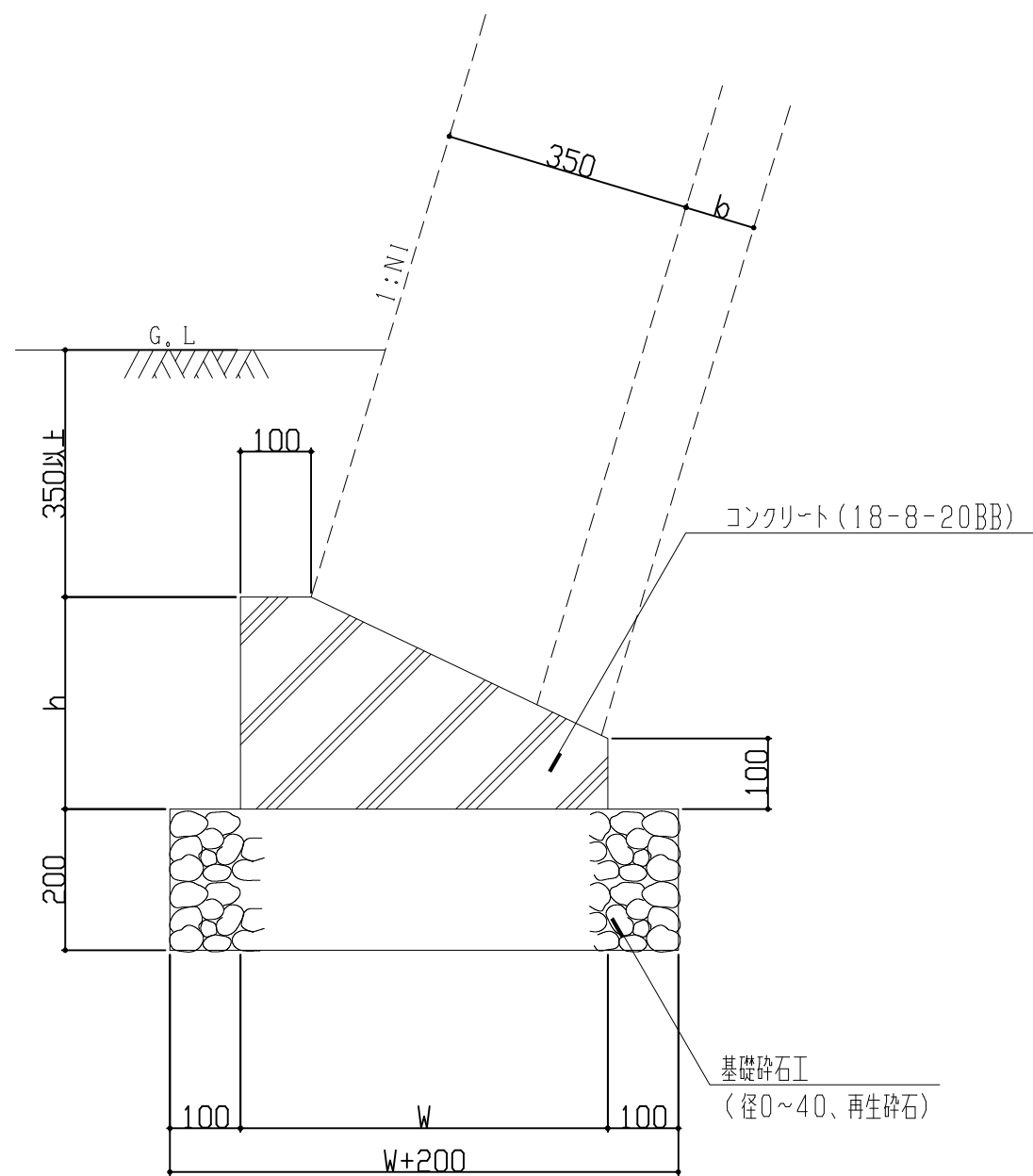
石積工、ブロック積工

備 考

13年9月修正
14年9月修正

(1.0m当り)

名称	形状寸法	単位	数量		摘要
			(A)	(B)	
基礎砕石工	径0~40 t200	m ²	0.63	0.72	再生砕石
コンクリート	18-8-20BB	m ³	0.083	0.114	
型枠損料		m ²	0.350	0.400	



	b	h	W
基礎工(A)	0	250	430
基礎工(B)	100	300	520

令和5年10月改定

神戸市公園施設標準図集	仕 様	名 称	コード番号	記 号	ページ

・根入れは350を基準とするが、傾斜地等に設置する場合は、深さを考慮すること。

石積、ブロック積基礎工(A)、(B)

備考
13年9月修正
14年9月修正